

2011年（第61回）学生生活実態調査の結果報告書

東京大学学生委員会
学生生活調査室

目 次

調査の概要

報告について

第1部 学生生活の評価と将来の選択

- 1 大学院入学の目的…………… 3
- 2 学会参加・留学…………… 5
- 3 研究活動…………… 7
- 4 就職……………14
- 5 不安・悩み……………16
- 6 大学への要望……………20

第2部 学生生活の背景

- 1 家庭の状況……………22
 - 2 生活費の状況……………25
 - 3 研究奨励金及び奨学金……………27
 - 4 アルバイト……………29
 - 5 研究・学生生活のサポート体制……………31
- 特殊分析の試み……………33
- 資料1（調査票及単純集計結果）……………37
- 資料2（クロス集計表）……………59

調査の概要

1. 調査票の作成

2011年（平成23年）5月から10月にかけて、学生委員会 学生生活調査室で調査内容の企画立案を行った。

2. 調査の期間

2011年（平成23年）11月下旬～12月下旬。

3. 調査の対象及び抽出率

大学院男子・女子学生。研究科系統別無作為抽出法で、在籍者数の1/4を抽出。

4. 調査の方法

郵送調査で行い、対象者自身が記入する（自記式）方法。

5. 調査の内容

I. 基本的事項、II. 大学院入学の目的、III. 学会参加・留学、研究活動、IV. 就職、V. 不安・悩み、VI. 大学への要望、VII. 家庭の状況、VIII. 生活費の状況、IX. 研究奨励金及び奨学金、X. アルバイト、XI. 研究・学生生活のサポート体制、XII. 具体的記述

報告について

1. 今回は、2009年（第59回）と同様に、大学院男子・女子学生を対象として学生生活実態調査を行った。

集計結果の分析に当たっては、研究科間・年度間・男女間などの相違に注目し、特異な数値傾向の把握に努めた。

2. 学内広報掲載の報告については、調査票・単純集計表及びクロス集計表を省略した。省略した表等については、ホームページ掲載の報告を参照されたい。

3. 平成21年度までは、2分の1程度の具体的記述を原文のまま報告書に記載していたが、読む人によって個人が特定できる可能性があること、さらに、報告書掲載の基準が恣意的になりやすいこともあり、平成22度より具体的記述は報告書に掲載しないこととした。ただ、このことは具体的記述を無視するとか軽視することを意味しているわけではなく、それぞれの具体的記述は学生生活調査室で検討するとともに、担当理事によっても検討され、大学の施策の改善に役立てられている。

4. 複数回答の百分率（パーセント）は、非該当及び無回答を除く総回答数に対するもので、合計が100パーセントとなる。また、本文中の「ポイント」とは、総数の百分率（パーセンテージ・ポイント）を表す。

5. 今回の単純集計表及びクロス集計表は、大学総合教育研究センターの作成による。

グラフと表について

1. 今回、本文に掲載した経年変化のグラフと表については、1985年調査までさかのぼって取り上げた項目がいくつかあり、「表1」に1958年以降の調査の実施状況を表示した。
2. 文中に掲げたグラフと表については、それぞれの年の比較を見やすくするため「無回答」及び「非該当」を除いた比率で作成している。また、個々の数値を四捨五入しているため、合計が100%に満たないものと100%を超えるものがある。
3. 複数回答の設問については、非該当及び無回答を除く総回答数に対するもので、合計が100パーセントとなる。
4. 平均値の算出は、無回答のものを除く該当者平均を求めた。
5. 作表の説明変数として用いた用語の定義は、次のとおりである。
 - 「全体」……………回答者全員の比率を示す。
 - 「文科系」「理科系」……………在籍する研究科等により二つの系に区分したものを示す。

表1 学生生活実態調査（大学院学生）実施状況一覧表

回数	調査年月	対象学生	抽出率	対象者数	回収率	調査方法
第9回	1958年12月	課程在籍者	男子 1/5 女子 1/5	人 248	% 95.6	面接調査 (一部郵送)
第11回	1960年11月	課程在籍者 + 留年者	男子 1/3 女子 全数 留年者 全数	785	85.2	〃
第17回	1966年12月	課程在籍者	全 数	3,002	48.7	研究科窓口配布 (一部郵送)
第28回	1978年12月	課程在籍者	男子 1/4 女子 全数	1,177	66.2	郵送自記式
第35回	1985年11月	課程在籍者 + OM、OD	男子 1/2~1/4 女子 1/2 OM、OD 1/2	1,382	66.3	〃
第42回	1992年11月	課程在籍者	男子(文) 1/2 男子(理) 1/6 女子 1/2	1,496	59.8	〃
第49回	1999年11月	課程在籍者 + OM、OD	男子 1/4 女子 1/4	2,099	49.5	〃
第54回	2004年11月	課程在籍者	男子 1/4 女子 1/4	2,539	40.6	〃
第59回	2009年11月	課程在籍者	男子 1/4 女子 1/4	2,675	49.9	〃
第61回	2011年11月	課程在籍者	男子 1/4 女子 1/4	2,621	45.3	〃

注 1) 「OM」はオーバーマスター、「OD」はオーバードクターの略を示す。

2) 「休学者」「外国人留学生」は、対象学生から除かれている。但し、1992年調査は「OM、OD」を除き「外国人留学生」を含む。

表2 2011年(第61回)学生生活実態調査回収状況一覽

学 部 名	修士課程及び専門職学位課程						博 士 課 程						全 体		
	男 子			女 子			男 子			女 子					
	対象者数	回収数	回収率	対象者数	回収数	回収率	対象者数	回収数	回収率	対象者数	回収数	回収率	対象者数	回収数	回収率
	人	人	%	人	人	%	人	人	%	人	人	%	人	人	%
人文社会系研究科	37	13	35.1	20	14	70.0	36	15	41.7	20	14	70.0	113	56	49.6
教育学研究科	24	9	37.5	20	14	70.0	24	13	54.2	15	8	53.3	83	44	53.0
法学政治学研究科	100	42	42.0	54	24	44.4	7	3	42.9	2	2	100.0	163	71	43.6
経済学研究科	27	10	37.0	3	1	33.3	15	7	46.7	3	2	66.7	48	20	41.7
総合文化研究科	70	35	50.0	40	24	60.0	73	37	50.7	40	20	50.0	223	116	52.0
理学系研究科	145	61	42.1	28	16	57.1	114	59	51.8	24	8	33.3	311	144	46.3
工学系研究科	378	141	37.3	38	20	52.6	127	55	43.3	17	9	52.9	560	225	40.2
農学生命科学研究科	98	36	36.7	41	25	61.0	64	32	50.0	22	11	50.0	225	104	46.2
医学系研究科	17	9	52.9	24	14	58.3	122	45	36.9	67	37	55.2	230	105	45.7
薬学系研究科	32	12	37.5	12	8	66.7	32	15	46.9	8	7	87.5	84	42	50.0
数理科学研究科	20	11	55.0	1	1	100.0	14	6	42.9				35	18	51.4
新領域創成科学研究科	172	80	46.5	42	20	47.6	71	36	50.7	22	12	54.5	307	148	48.2
情報理工学系研究科	86	31	36.0	3	1	33.3	34	16	47.1	3	1	33.3	126	49	38.9
学際情報学府	27	11	40.7	8	2	25.0	15	5	33.3	8	3	37.5	58	21	36.2
公共政策学教育部	40	16	40.0	15	8	53.3							55	24	43.6
合 計	1,273	517	40.6	349	192	55.0	748	344	46.0	251	134	53.4	2,621	1,187	45.3
2009年(第59回)調査	1,275	583	45.7	375	224	59.7	760	369	48.6	265	159	60.0	2,675	1,335	49.9

第1部 学生生活の評価と将来の選択

1-1. 大学院入学の目的

入学の目的は「高度の専門知識・技術を身につけるため」37.7%
 入学の動機は「自分の志望した研究科（専攻分野）があったから」28.4%
 「スタッフ・環境・設備が優れているから」24.2%

大学院入学の目的は、1999年の第49回から続けて、「高度の専門知識・技術を身につけるため」が37.7%で最も多く、次いで、「学位を取得するため」が18.7%、「大学等の研究・教育職をめざして」が17.0%、前回からの新たな選択項目の「社会に貢献できる能力・資質を身につけるため」が14.4%となっている（図1-1 クロス集計表1-1表）。

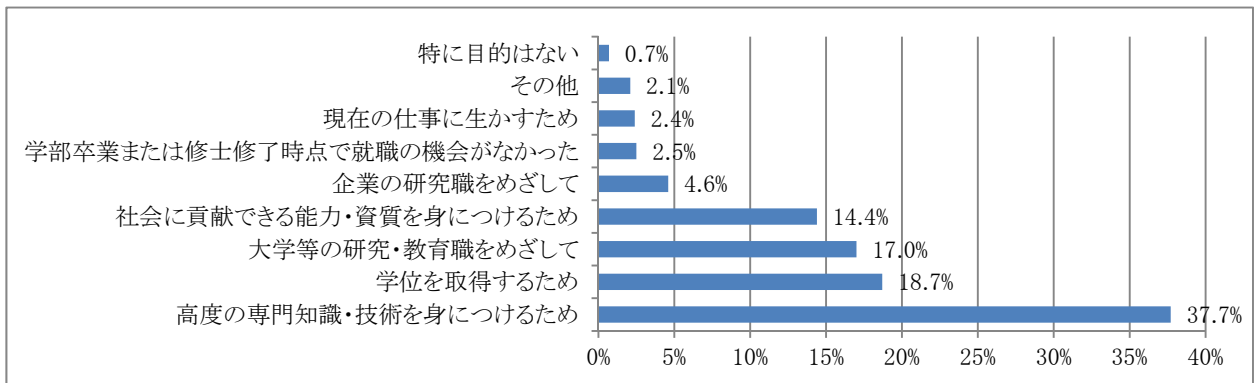


図1-1 大学院入学の目的

大学院入学の目的について、専門職学位課程と修士課程では、「高度の専門的知識・技術を身につけるため」がそれぞれ43.3%と42.8%と最も高い割合を示している。「獣医学又は医学博士課程」では「学位を取得するため」が36.8%と最も高い割合となっている。また、博士課程では「大学等の研究・教育職をめざして」も27.4%と相対的に高い割合となっている（図1-2）。

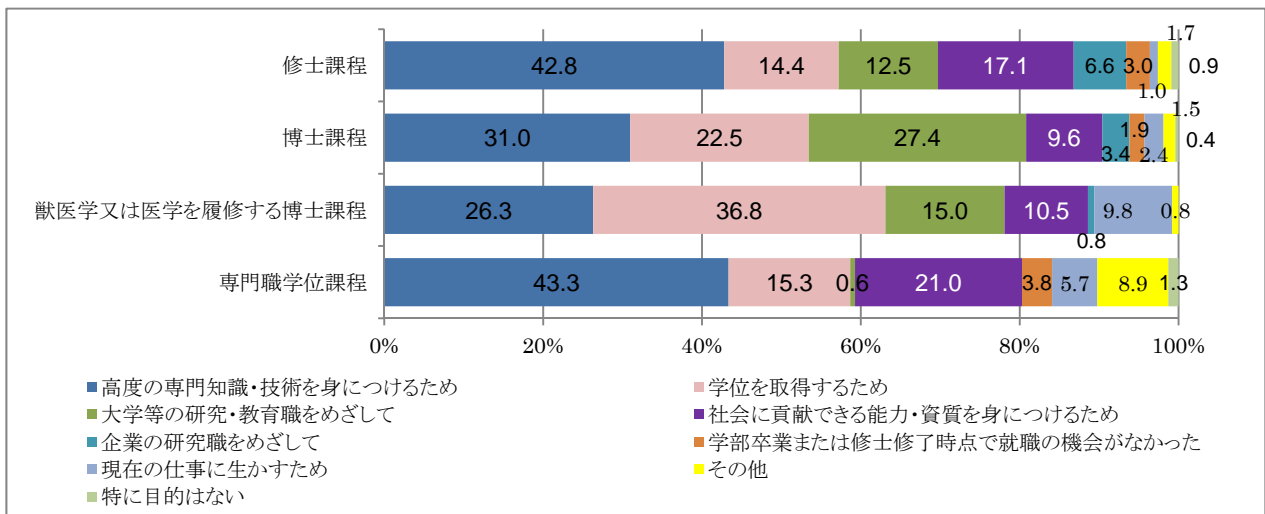


図1-2 大学院入学の目的（課程別）

東大入学の動機については、1999年（第49回）調査までは主たる動機を重視した順に、第1位から第3位まで調査したが、2004年（第54回）調査からは順位をつけずに、主たる動機を無順位に三つまで選択可として調査した。前回と今回との比較では、前回調査同様「自分の志望した研究科（専攻分野）があったから」が28.4%で最も多く、次いで「スタッフ・環境・設備が優れているから」24.2%、「将来の進路を考えて」13.8%と続き、前回調査と同順位となっている。これ以外の選択肢はいずれも10%以下であり、その中では、「社会的評価が高いから」9.6%で、前回調査と同様第4位となっている（図2、クロス集計表1－2表）。

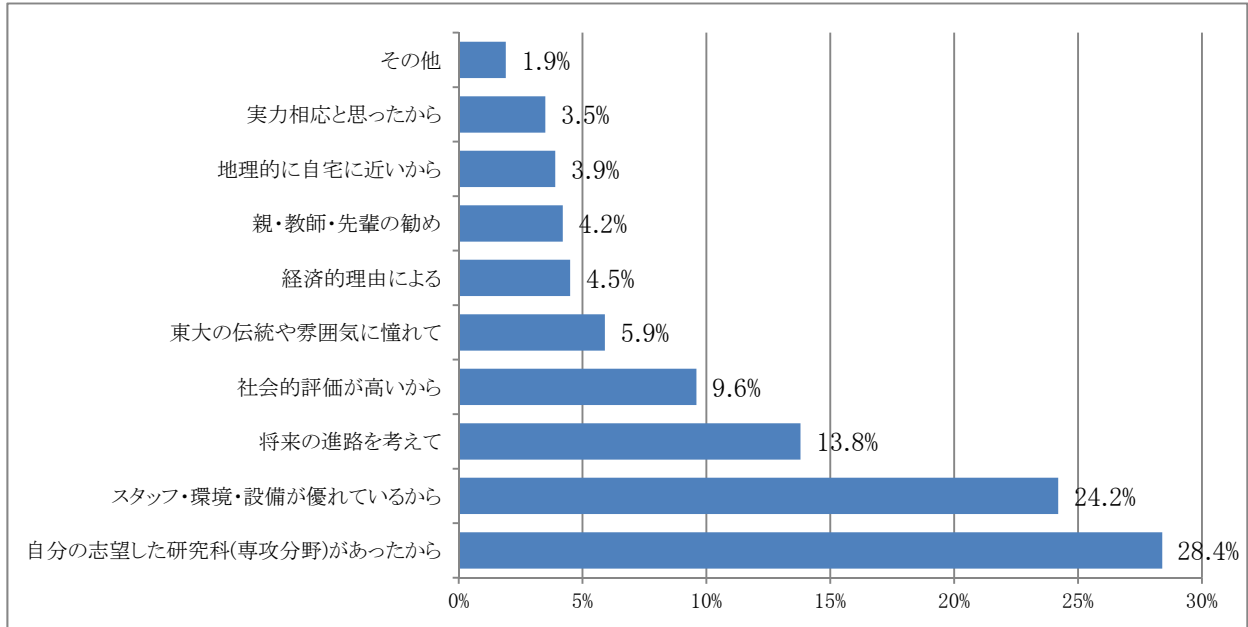


図2 大学入学の動機

「現在所属する大学院を選ぶ際、他にどのような進路を考えましたか」の問では、前回と同様「他大学の大学院」が34.3%で最も多くなり、次いで、「考えなかった」が27.9%、「本学の他の研究科」15.8%の順となっており、他大学の大学院への進学が以前に比べて重要な選択肢となってきていることが注目される（クロス集計表1－3表）。

最終的に本学を選んだ理由は、「希望専攻分野が東大の方が充実していた」45.1%で前回同様第1位で、次いで「東大の方がネームバリューがあると思った」が22.4%となっている。（クロス集計表1－4表）。

1-2. 学会参加・留学

- ・学会（国内）の「所属数」2.5、「参加数」2.6回、「発表数」2.8件
- ・海外学術調査の経験「ある」14.2%、留学の経験「ある」4.3%
- ・留学希望者60.5%、留学希望先は希望者のうち「北米」44.0%、「西ヨーロッパ」40.8%

1-2-1. 学会参加

現在所属している国内の学会数は、「1」が34.0%、「2」17.7%、「3以上」13.4%となっている。前回調査（2009年（第59回））とほぼ同様の結果である。前回同様に、理科系は文科系に比べ多くの学会に所属しており、所属していない者は文科系で51.5%に対して理科系では28.6%となっている。また、修士課程在籍者の半数以上（53.9%）、博士課程在籍者の9割（89.8%）が何らかの学会に所属している。国内に比べ国外の学会に所属している者は、あまり多くはみうけられず、「1」が1割（10.6%）で、それ以上は極めて少ないこれも前回と同様の結果である。また、文科系と理科系の差もあまりみられない。（クロス集計表2-1～2表）。

過去1年間の国内の学会参加回数は「1回」23.1%、「2回」21.7%、「3回以上」が25.3%で、発表件数は「1件」26.8%、「2件」14.2%、「3件以上」が13.2%である。また、国外の学会参加回数は「1回」16.0%、「2回」6.2%で、発表件数は「1件」15.8%、「2件」4.9%である。これらの結果も前回とほとんど変わっていない（クロス集計表2-3～6表）。

1-2-2. 留学等

大学院入学後、海外学術調査の経験が「ある」と答えた者は14.2%で前回調査と比較して、2.4ポイントの減少となっている。しかし、前々回とほぼ同じ結果である。修士課程在籍者（9.7%）より博士課程在籍者（25.1%）の方が高い。また、女子17.4%は男子13.0%に比べて海外学術調査の経験者が多い傾向にあるがその差は4.4ポイントである（クロス集計表2-7表）。

「大学院に入学してから海外留学をした体験がありますか」という問に、「ある」と答えた者は、全体で4.3%となっている。前回調査と比べて、2.2ポイントの減少となっている。また、海外学術調査の経験と同様、博士課程在籍者（9.7%）と女子（5.6%）の方が高い割合を示している（クロス集計表2-8表）。

「大学院在学期間中、海外留学の機会があれば希望しますか」という問に、「留学したい」35.2%、「どちらかといえば留学したい」25.3%となっており、これら双方を合わせると全体では60.5%で、男子の場合58.1%、女子の場合67.1%と女子の方が留学希望が高い。（図3-1、クロス集計表2-11表）。

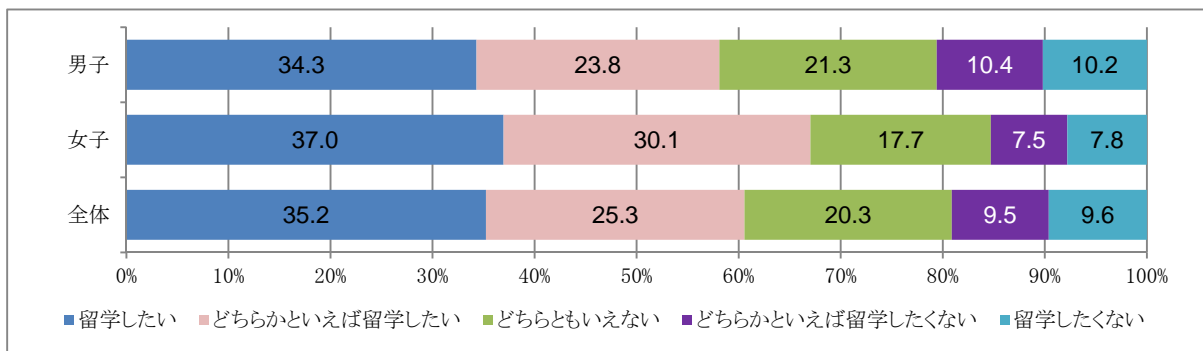


図3-1 在学中の留学希望

研究科により留学希望に差異があり、希望の多いところは、数理科学研究科（72.2%。「留学したい」と「どちらかといえば留学したい」の計）、公共政策学教育部（70.8%）、総合文化研究科（69.8%）、経済学研究科（66.6%）となっている（図3-2）。

留学期間については、「1年以上」が37.2%と最も高い割合で、次いで「半年以上、1年未満」27.6%と半数以上が長期の留学を希望している。文科系（56.7%）の方が理科系（29.5%）より「1年以上」の留学を希望する比率が高い。（クロス集計表2-12表）

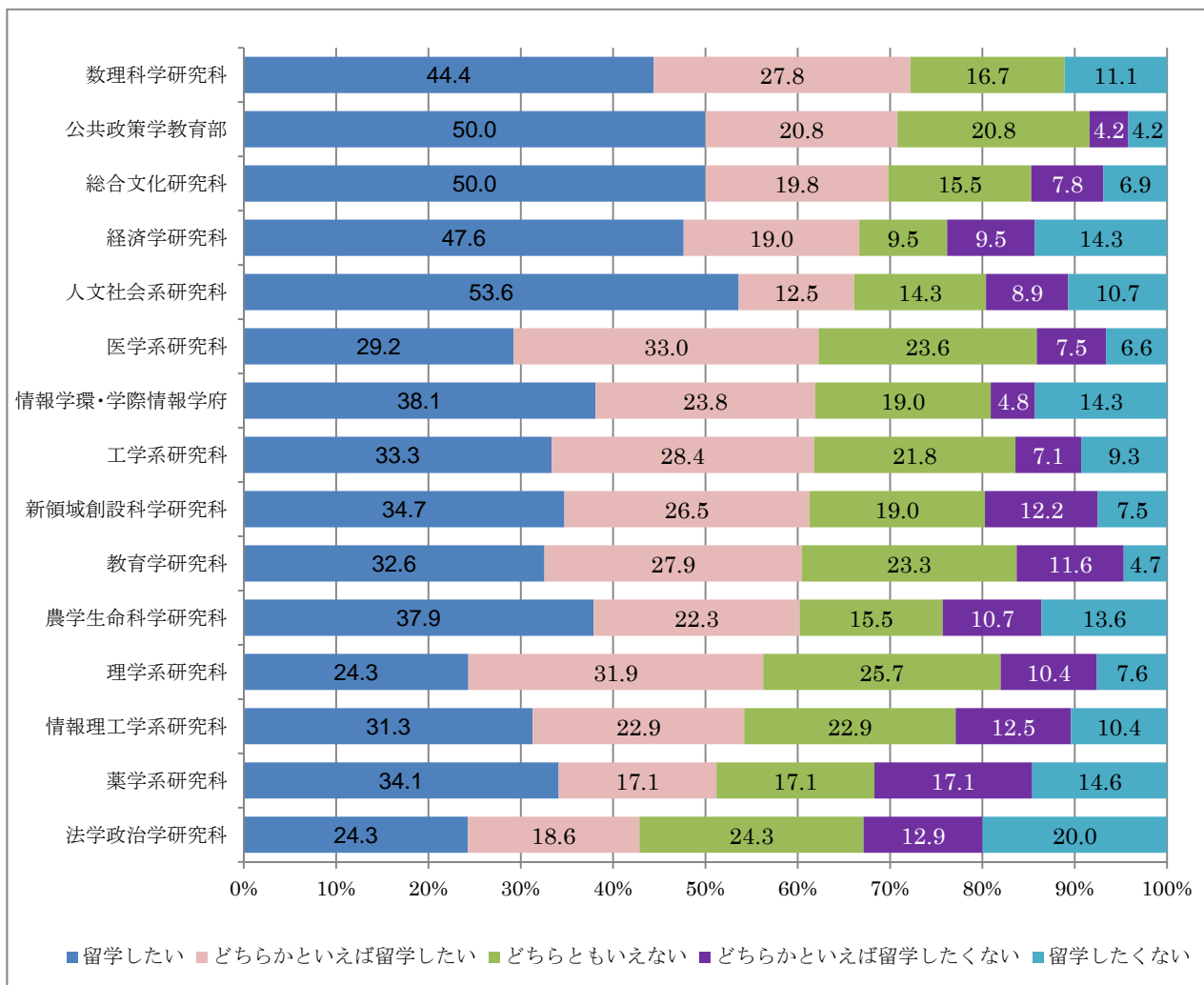


図3-2 在学中の留学希望（研究科別）

「留学に際して学位取得をめざしますか」という問に対して、修士課程では19.6%、博士課程では25.1%が博士学位の取得を希望している。ただし「学位取得をめざさない」者は、修士課程で58.7%、博士課程で65.5%、獣医学・医学を履修する博士課程で54.5%となっている。これに対して、専門職学位課程では専門職学位取得を40.5%が希望している。

「留学したくない理由」として、最も高い割合を示しているのは、「語学力の問題」（23.2%）いで「経済的な問題」（20.3%）、「東京大学の教育で十分」（17.0%）などとなっている。「留年しなければならない」（12.1%）や「大学の年間スケジュールとタイミングが合わない」（10.9%）や「就職に不利」（4.7%）などのネガティブな理由はあまり多くない。（クロス集計表2-13~14）

「外国の大学と交換留学制度があれば留学したいと思っていますか」という問に、72.0%（男子69.7%、女子77.7%）が「条件によっては留学したい」と回答しており、前回調査（70.2%）と同様の結果となっている（クロス集計表2-15表）。

交換留学制度があれば留学先としたい地域は、前回に続き今回の調査でも順位をつけずに、主たる地域を無順位に2つまで選択可として調査した。その結果、前回調査で第2位（前々回調査では第1位）の「北アメリカ」が44.0%で第1位、次いで、前回第1位の「西ヨーロッパ」が40.8%、「アジア」が5.7%の順となり欧米重視の傾向が窺われる（クロス集計表2-16表）。

1-3. 研究活動

- ・自分の研究成果に対する「不満」「やや不満」が40.6%
- ・研究経費の自己負担は年平均154,600円（前回調査に比べ約27,800円減少）
- ・「非常勤講師或いはTA、RAの経験がある」理科系56.9%、文科系40.3%
- ・「専用の机がある」理科系92.1%、文科系22.8%
- ・「1週間平均の研究時間数」理科系47.2時間、文科系38.0時間
- ・平日9時以降までキャンパスにいたことがある理科系87.9%、文科系64.7%

「あなたご自身のこれまでの研究成果についてどうお考えですか」という問に、「不満」16.6%、「やや不満」24.0%と合わせて不満が4割（40.6%）となっており、前回より3ポイントほど増加している。文科系（35.9%）より、理科系（42.4%）の方が、不満が高くなっている。

研究の成果に「不満、やや不満」と答えた者に、「不満と感じている問題」を尋ねたが、結果は多様となっている。第1位から第3位は、「思うように研究成果が上がらない」24.9%、「自分の能力や適性に不安がある」18.3%、「研究の見通しがたたない」12.0%となり、前々回・前回調査と同じ傾向にある。次いで、「研究時間が十分とれない」7.4%、「今やっている研究の意義がはっきりつかめない」6.2%、「研究テーマがはっきり決まっていない」6.0%、「教員の指導が不十分である」5.0%となっている（図4、クロス集計表3-1～2表）。

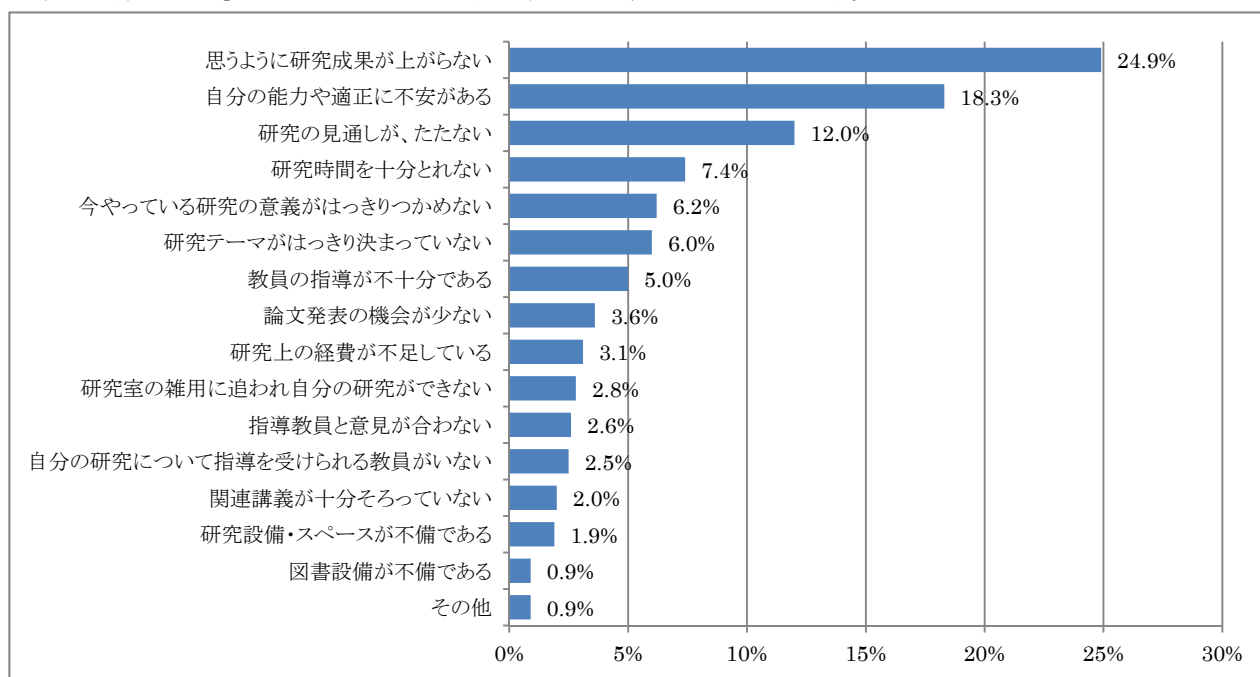


図4 これまでの研究成果の不満

理科系では、文科系より「思うように研究成果が上がらない」（文科系20.7%、理科系26.3%）点を案じている。理科系のほとんどの研究科では「思うように研究成果が上がらない」が20%台で、最も大きな理由であり、特に薬学系研究科では33.3%の学生がそれを挙げているのに対して、公共政策学教育部では皆無となっており、大きな差が見られる（クロス集計表3-2表）。

研究室での日常生活の中で、複数の項目について満足度を尋ねたところ（以下、満足度は「満足」「まあ満足」の計、不満度は「やや不満」「不満」の計）、「研究設備・スペースについて」は、総じて不満と答える者は21.8%で、文科系（43.3%）は理科系（13.5%）の3倍以上になっている。「研究上の経費について」についても、不満を示す割合（18.9%）は研究スペースと同様の傾向が見られ、文科系（35.3%）は理科系（12.5%）の3倍に近い。このように、これらの項目では文科系と理科系には有意な差が認められる。とりわけ不満の高かったものの中で、「研究設備・スペース」に

については公共政策学教育部で75.0%と法学政治学研究科で65.7%と不満が高く、これに教育学研究科(39.6%)、総合文化研究科(36.5%)、人文社会系研究科(32.2%)が続いている。「研究上の経費」については公共政策学教育部(41.7%)、人文社会系研究科(39.3%)、総合文化研究科(37.4%)、教育学研究科(37.2%)、法学政治学研究科(28.1%)、経済学研究科(23.8%)と文科系の多くの研究科等で3～4割前後が不満を持っている。次に、「人間関係について」は、「不満」4.8%、「やや不満」9.4%と合わせて14.2%が不満を示している。「指導教員の研究指導方法について」は、前回調査とは逆転し、文科系(69.7%)の方が理科系(62.8%)に比べやや満足度が高い。「所属研究科事務の対応について」は、69.0%が満足している。また、男女別にみると、「人間関係」を除く全ての項目で女子は男子よりも総じて「不満」と回答しており、前回調査の状況と変わっていない(図5、図6、クロス集計表3-3-1～5表)。

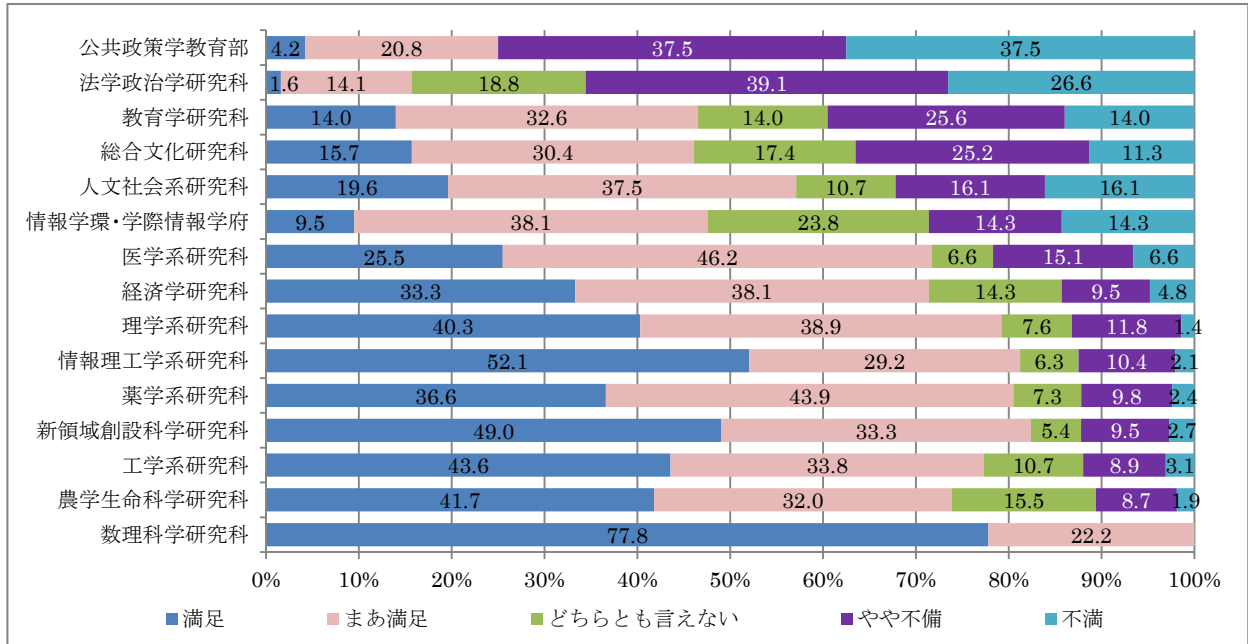


図5 研究設備・スペースについて(研究科別)

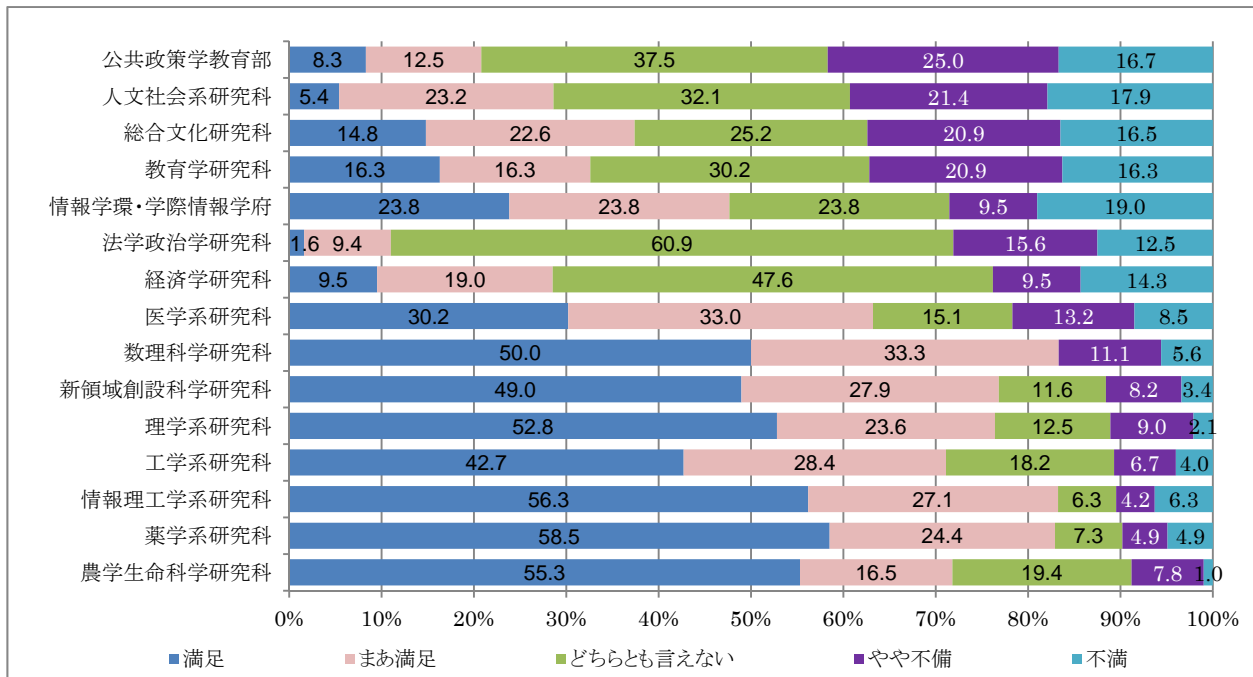


図6 研究上の経費について(研究科別)

「あなたの研究にあなた自身が負担しているお金は過去1年間でどれくらいですか」という質問に対して、各費目の平均の合計では154,600円（10の位以下四捨五入）と回答されている。男女別にみると、全ての項目で女子の負担額が大きく、平均合計額も女子（211,800円）が男子（133,000円）を大きく上回る。また、文科系の負担額（246,700円）は理科系（119,900円）の2倍以上となっている。（図7-1～5、クロス集計表3-4表）。

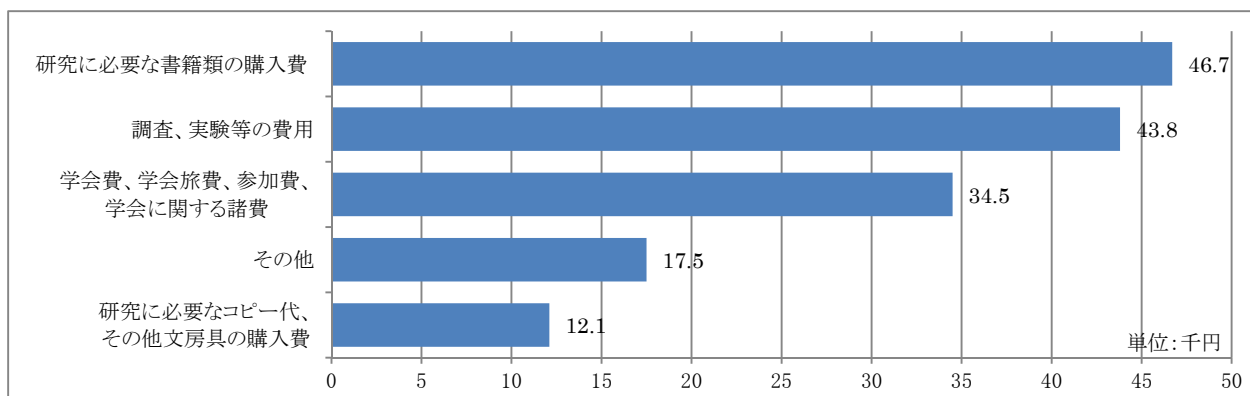


図7-1 過去1年間に自分自身が負担した平均研究費

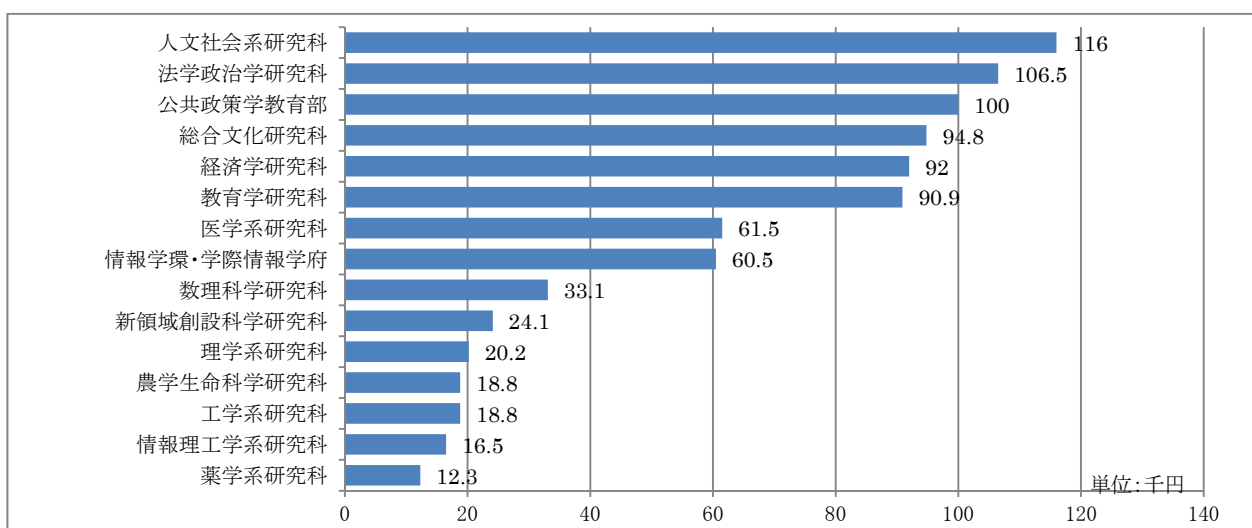


図7-2 過去1年間に自分自身が負担した研究に必要な書類の平均購入費

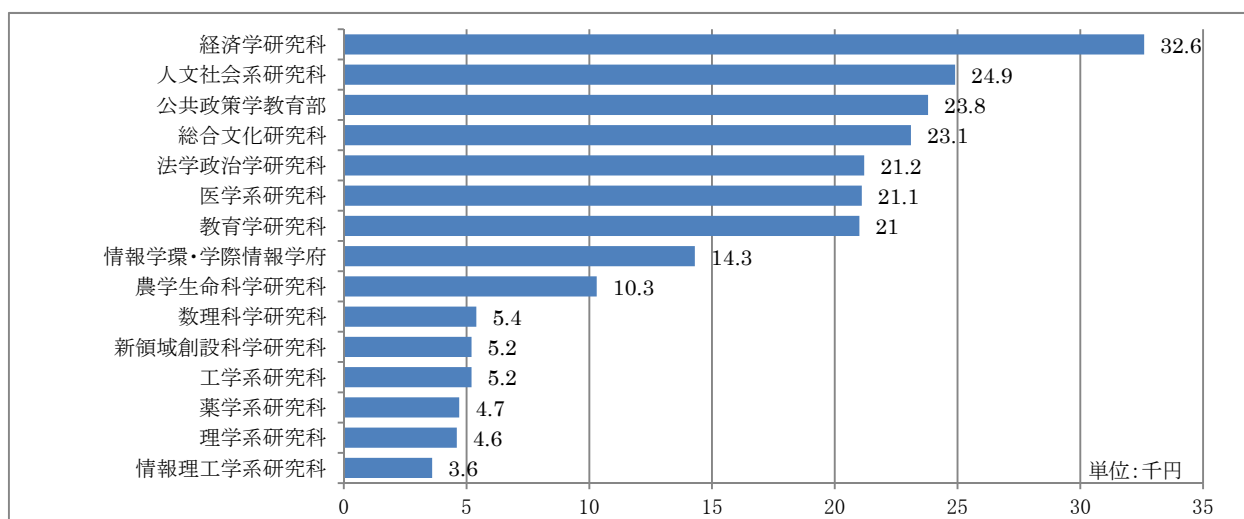


図7-3 過去1年間に自分自身が負担した研究に必要なコピー代、その他の文具の平均購入費

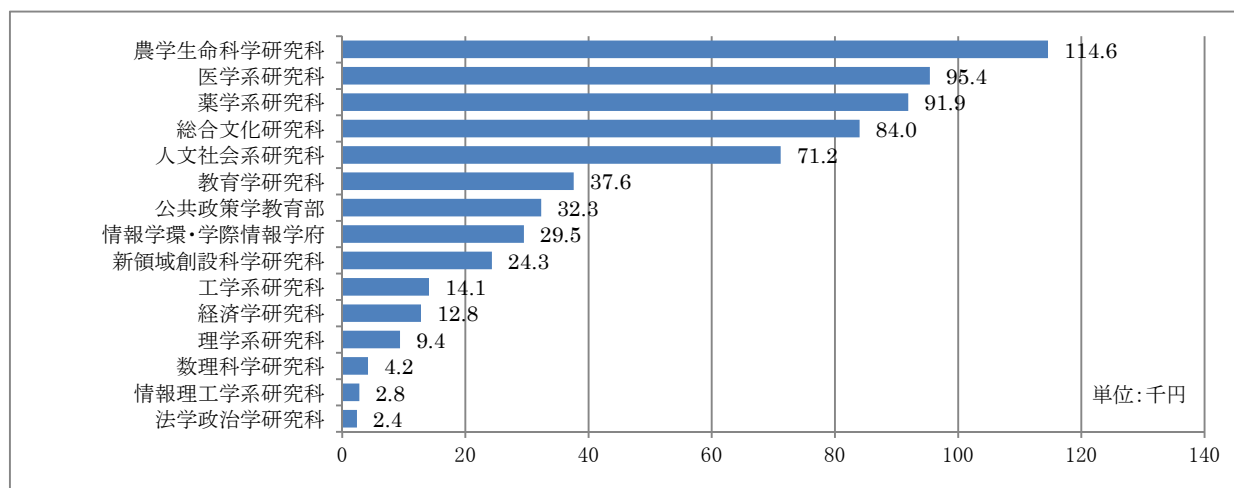


図 7-4 過去 1 年間に自分自身が負担した調査、実験等の平均費用費

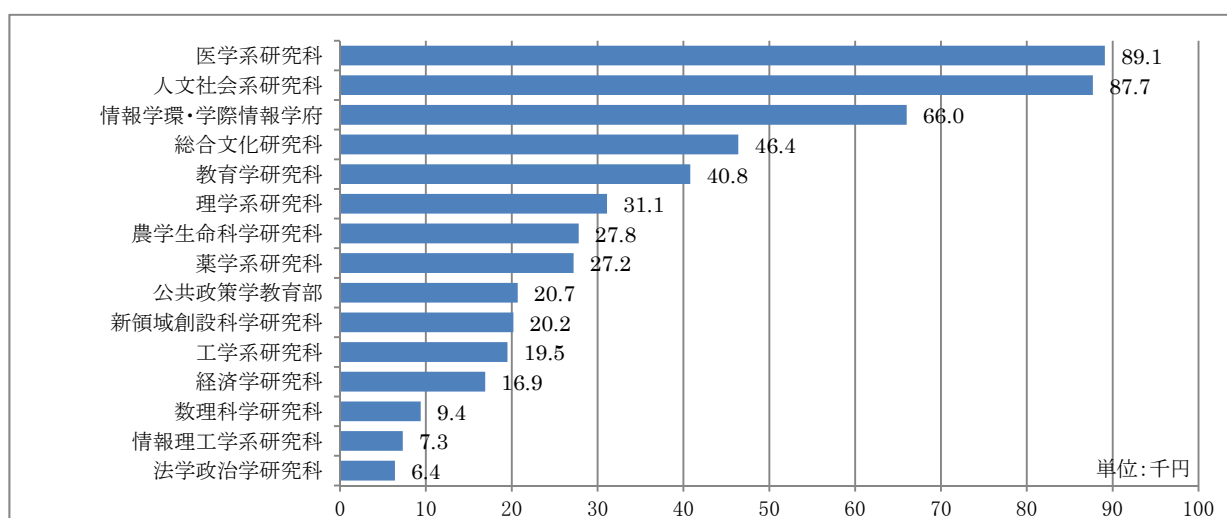


図 7-5 過去 1 年間に自分自身が負担した学会費、学会旅行費、参加費、学会に関する諸経費の平均

「大学、短大などの非常勤講師或いはTA、RAをしていますか」(TAはTeaching Assistant、RAはResearch Assistantの略)という間に、「していない(したことがない)」者が47.8%(前回調査50.5%)であり、「過去にしたことがある」が26.9%となっている。「現在している」と回答があったのは25.3%で前回調査からほぼ横ばいである。系別にみると、「していない(したことがない)」者について、文科系59.8%が理科系43.1%に比べて多い。また、男女別にみると男子47.0%、女子50.2%と女子の未経験の割合がやや多く、課程別では専門職学位課程の未経験の割合が91.1%ときわめて多くなっている(クロス集計表3-5表)。

「あなたが所属している研究室(実験室を含む)や学習スペースについて」たずねたところ、「24時間自由に利用できるスペース(研究室や実験室など)がある」と答えた者が75.3%と最も多く、「開設時間以外に利用することができない」11.5%、「一時的に鍵やカードなどを貸与されて利用できるスペース(研究室や実験室など)がある」8.7%などとなっており、「利用できるスペースがない」と答えた者は1.5%となっている。理科系では90.3%が「24時間自由に利用できるスペース(研究室や実験室など)がある」と回答しており、文科系の36.3%と大きな差がある(クロス集計表3-7表)。

「研究室に、あなたの専用又は共用の机はありますか」の間に、「専用の机がある」72.9%、「共用の机がある」15.7%と回答している。理科系では「専用の机がある」が92.1%を占めているが、文科系では「どちらもない」が36.3%となっており、文科系と理科系では状況はかなり異なっている(クロス集計表3-8表)。

「1週間に何日ぐらい大学に来ますか」との間に、「5日」28.8%、「6日」26.4%、「3~4日」19.3%の順で、合計で「3~6日」と回答する者が74.5%(文科系65.3%、理科系77.9%)となっている。大学に来る回数の多い5~

7日をとっても、文科系（が41.7%）より理科系（同74.5%）の方が高い割合を占めている（クロス集計表3-6表）。

今回より新たに加わった「平日の夜遅くまでキャンパス内にいることがありますか」という質問に対して、「夜9時までキャンパスにいることはない」と答えた者は、18.5%で、「深夜12時過ぎまでキャンパスにいることがある」と回答した者の比率が最も高く33.6%、次いで、「夜11時くらいまでならキャンパスにいたことがある」18.1%、「夜9時くらいまでならキャンパスにいることはある」16.0%、「夜10時くらいまでならキャンパスにいることはある」13.8%となっている。女子は「夜9時までキャンパスにいることはない」（女子23.4%、男子16.5%）、「夜9時くらいまでならキャンパスにいることはある」（女子21.2%、男子14.0%）と、男子に比べ夜遅くまでキャンパスにいる者の比率は低くなっている。また、同じように、「夜9時までキャンパスにいることはない」（文科系35.3%、理科系12.1%）、「夜9時くらいまでならキャンパスにいることはある」（文科系20.7%、理科系14.2%）と、文科系に比べ理科系の方が夜遅くまでキャンパスにいる者の比率は高くなっている。特に理科系では「深夜12時過ぎまでキャンパスにいることがある」と答えた者が42.0%とかなり高い割合を占めている。キャンパス別にも理科系がほとんどを占める柏で「深夜12時過ぎまでキャンパスにいることがある」と答えた者が55.1%と過半数を超えている（図8、クロス集計表3-9表）。

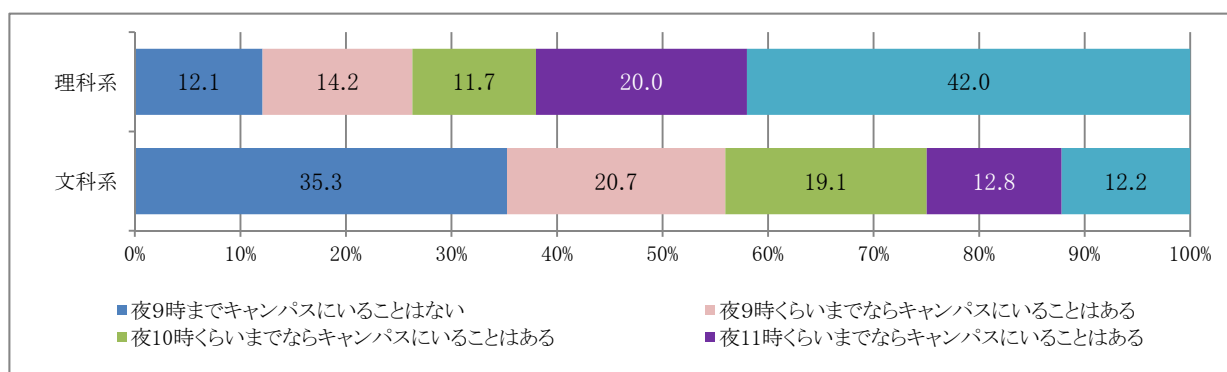


図8 平日にキャンパス内にいることはあるか

「キャンパスにいることはある」と答えた者にその頻度をたずねたところ、最も高い比率を示したのは、「ほぼ毎日」26.9%で、次いで「週に1, 2回くらい」26.8%、「週に3, 4回くらい」23.0%となっている。男女別と文科系理科系別、キャンパス別の傾向は、前問と同様である（クロス集計表3-10表）。

また、「あなたはこの学期が始まってから昼間を含めて土曜日・日曜日・祝日にキャンパスにいたことがありますか」という問に対して、82.3%があると答えている。男子84.0%に対して女子78.5%、文科系70.6%に対して理科系86.8%、柏キャンパスでは91.8%とこれも前々問と前問と同じ傾向である。

博士論文の執筆予定の間に、「在籍中に書く予定」と答える者が81.8%、「既にかいた」9.5%、「在籍中に書く予定はないが、課程博士は取りたい」7.0%となっている。「既にかいた」と答えた者は、理科系（11.9%）が文科系（2.5%）の約5倍になっている。また「在籍中に書く予定」は、法学政治学研究所と情報学環・学際情報学府の100%から人文社会系研究科まで差が見られる（クロス集計表3-20表）。

「研究上（研究発表と論文作成等を含む）使用する主な言語はどれですか」（主たるものを2つまで選択）の間に、「日本語」53.8%、「英語」43.2%と回答する者が大部分を占めており、他を挙げる者は「独語」1.0%、「仏語」0.8%、「中国語」0.2%と少ない。前回調査と比べて、中国語と独語が逆転している。使用する外国語について、理科系は専ら「英語」47.0%に集中し、文科系は「英語」31.8%、「独語」3.8%、「仏語」2.9%、「中国語」0.8%と比較的多様になっている（クロス集計表3-21表）。

1日平均の研究時間は7.9（前回調査7.9）時間である。文科系は6.2（前回調査6.2）時間、理科系は8.5（前回調査8.6）時間で、理科系は文科系に比べ1日平均2.3時間多くなっている。1週間平均の研究時間は平均44.7時間（文科系38.0時間、理科系47.2時間）である。文科系は前回調査（38.6時間）に比べて0.6時間減少し、理科系は文科系に比べ1週間平均9.2時間多くなっている（クロス集計表3-22-1～2表）。

東日本大震災時の状況

- ・東日本大震災時に「キャンパス内にいた」36.5%、「自宅」25.2%、「その他」38.3%。
理科系では42.0%に対して文科系では22.1%が「キャンパス内にいた」
- ・地震発生後に「帰宅」62.0%、「校内に泊まった」30.3%。
- ・地震発生後の研究室や部局の対応について「行動について指示を受けた」40.8%、「情報やニュースの伝達を受けた」30.3%などで、「何も無かった」は16.3%。
- ・「大学に非常時に備えた備蓄がある」のを知っていた者は24.6%

「東日本大震災発生時にあなたはどこにいましたか」という問に対して、「キャンパス内にいた」36.5%が最も高い割合を占め、次いで「その他」38.3%、「自宅」25.2%となっている。理科系では「キャンパス内にいた」は42.0%に対して文科系では22.1%と倍近い差がある。また、男子と女子では差は見られない。博士課程「キャンパス内にいた」が44.4%と高い割合を占めているのに対して、専門職学位課程では「その他」が49.5%となっている（図9-1、クロス集計表3-13表）

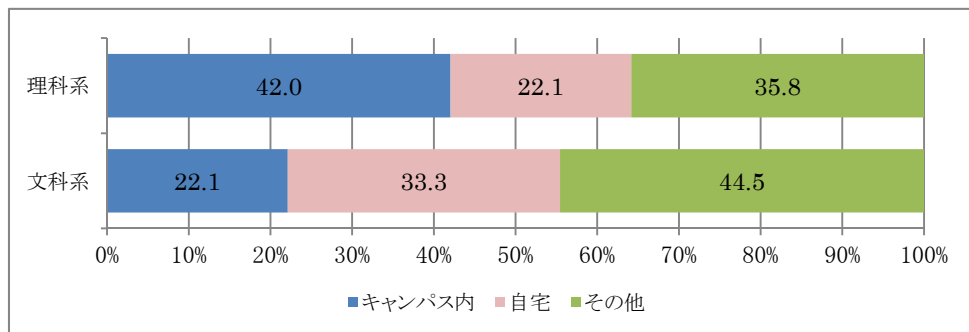


図9-1 東日本大震災時にどこにいたか

「地震発生後は、どうしましたか」という問に対して、「帰宅した」が62.0%と最も高い割合を示しており、次いで、「校内に泊まった」30.3%、「友人・知人宅に泊まった」5.8%などとなっている。女子では、「友人・知人宅に泊まった」が10.0%と男子の4.4%に比べ、倍以上となっている。また、獣医学又は医学の博士課程では「帰宅した」が73.5%と他の課程に比べ高い割合を示している。（図9-2、クロス集計表3-13~14表）

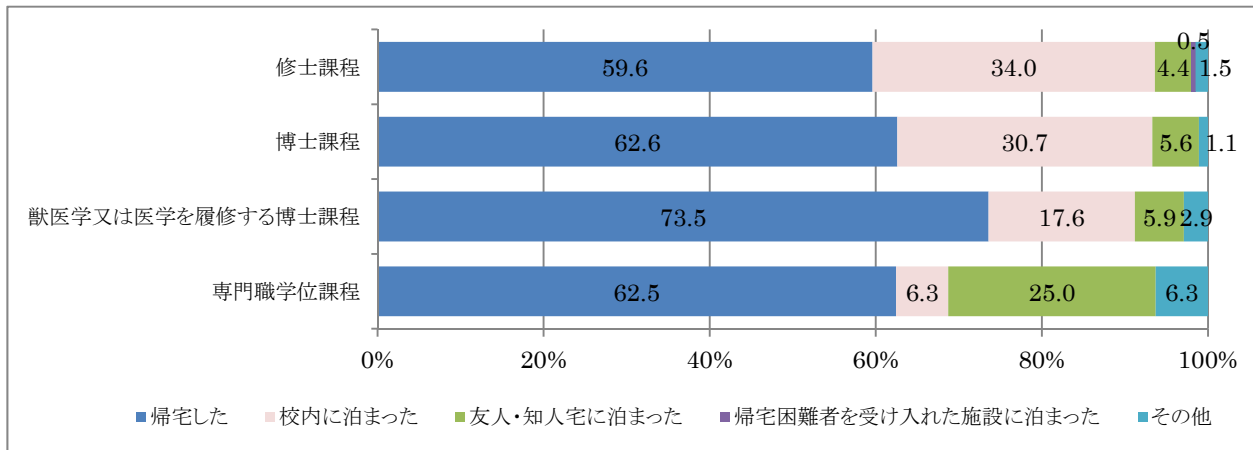


図9-2 東日本大震災発生後はどうしましたか（課程別）

「地震発生後の研究室や部局の対応」については、「行動について指示を受けた」40.8%、「情報やニュースの伝達を受けた」30.3%などで、「何も無かった」は16.3%となっている。「何も無かった」は文科系では22.2%と理科系の14.2%に比べて高い割合となっている（クロス集計表3-15表）。

「地震発生後の研究室や部局の対応をどのような手段で受けましたか」という問に対して、最も高い割合を示したのは、「電子メール」46.0%、次いで、「直接口頭で」21.5%、「安否確認の問い合わせを受けた」20.8%などとなっている。専門職学位課程では「直接口頭で」が1.3%と低くなっていて、「掲示等」が23.8%と他の課程に比べて非常に高い割合となっている。文科系では「直接口頭で」11.0%に対して、理科系では25.1%と倍以上の差がある（クロス集計表3-16表）。

「大震災時に、大学のあなたに対する対応は十分でしたか」という質問に対しては、「十分だった」32.7%、「まあ十分だった」33.5%と合わせて66.2%が十分だったと評価している。逆に「あまり十分ではなかった」3.7%、「十分でなかった」4.3%と合わせても8.0%が不十分だと評価している。男女別などで差はほとんど見られない（クロス集計表3-17表）。

「東日本大震災後に、あなたは情報を収集するためにどうしましたか」という問に対して、「(選択肢のようなことは)とくに何もしなかった」が24.1%と最も高い割合を占めている。ついで、「東京大学のホームページにアクセスした」22.8%、「自分が所属している、または所属予定の先輩やスタッフ、同級生に電話やメールした」20.4%、「自分が所属している、または所属予定の研究科ホームページにアクセスした」17.6%などとなっている。

「自分が所属している、または所属予定の研究科教員に電話やメールした」は理科系14.8%に対して、文科系では7.3%と倍以上の差が見られる（クロス集計表3-18表）。

「大学に非常時に備えた備蓄があることを知っていましたか」という問に対して、「どのようにして入手できるか知っていた」は0.7%に過ぎず、「入手方法は分からないがあることは知っていた」が23.9%で合わせても知っていたのは24.6%となっている。これに対して、75.4%は「知らなかった」と答えている。男女別などで有意な差は見られない（クロス集計表3-19表）。

1-4. 就職

- ・修士課程在籍者は大学院修了後、「研究職や専門職以外で就職したい」35.0%、博士課程在籍者は「研究職に就職したい」30.5%が第1希望
- ・就きたい職種「大学の教育職、研究職」26.5%
- ・就職の見通しは「かなり厳しい」と「たたない」が文科系44.6%、理科系30.0%

修士課程修了後の進路希望（2つまで選択）は、全体としては「研究職や専門職以外で就職したい」がもっとも高い割合で、35.0%となっている。これを文科系、理科系別にみると、文科系は「修士課程と同じ研究室の博士課程へ進学したい」と「研究職や専門職以外で就職したい」がともに29.5%と約3割を占め第1位である。一方、理科系は、「研究職や専門職以外で就職したい」が36.8%で第1位であり、「研究職に就職したい」28.3%を凌いでいる。博士課程修了後の進路希望（2つまで選択）は、全体としては「研究職に就職したい」30.5%となっている。また、「特別研究員などとして残りたい(研究生を除く)」の4つの選択肢を合せると、39.2%で約4割の者が研究員を希望している。この値は、前回調査（2009年）よりもやや減少している（クロス集計表4-1～2表）。

将来の就職先としては、「大学（短大、附置研究所を含む）の教育職、研究職」が26.5%で、前回調査（2009年調査）同様最も多く、次いで「企業の研究職、技術職」22.9%、「国公立研究機関（独立行政法人を含む）の研究職」14.9%と続いている。前回より「企業の研究職、技術職」が少し増加し、「国公立研究機関（独立行政法人を含む）の研究職」が5ポイント以上減少している。「大学の教育職、研究職」は、男子にも女子にも人気が高く、ともに第1位に挙げられている。しかし、男子では前者が25.7%に対して「企業の研究職、技術職」が25.6%とほとんど差が見られない。また、専門職学位課程在籍者は「専門職（弁護士、公認会計士、税理士、医師等）」を希望する傾向が53.7%と強くなっている。文科系では「大学の教育職、研究職」が36.5%、理科系では22.9%と差が見られる。理科系では「企業の研究職、技術職」が29.1%に対して、文科系では5.4%に過ぎない（図10、クロス集計表4-3表）。

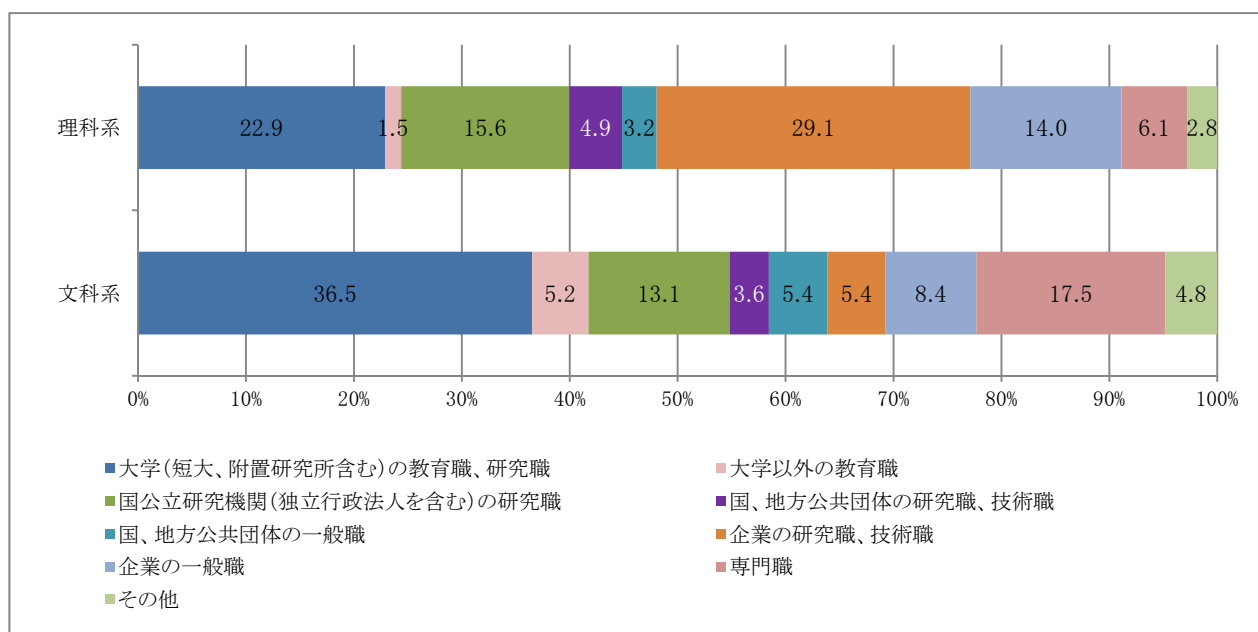


図10 就職希望（文科系・理科系別）

「就職の見通しについて、どのように考えていますか」という質問に対して、34.1%（前回調査36.3%）と約3分の1が「かなり厳しいと思っている」及び「見通しがたたない」と回答しており、特に文科系は44.6%と4割以上を占めている（クロス集計表4-4表）。

就職の情報について全体では、「自分で情報収集に努める」と答えた者が62.9%と最も多く、特に修士課程者（69.4%）、および専門職学位課程者（85.2%）で高い傾向が見られる（クロス集計表4-5表）。

教育職、研究職を目指している者に、「博士課程修了後、何年位で教育職、研究職に就けると思いますか」と尋ねたところ、「見通しが立たない」37.6%と前回より9ポイント増加しており、厳しい状況と認識されていることがうかがえる。次いで「3～5年」が25.0%と続いている（クロス集計表4－6表）。



安田講堂前

1-5. 不安・悩み

- ・「将来の進路や生き方」に79.4%の大学院学生が悩みや不安を感じている。
- ・「よく相談する相手」は友人が多く、大学の相談所は少ない。
- ・「経済的支援」を求める大学院学生が77.8%に達した。

学生生活の中で悩みや不安を感じるものとして、大学院学生が「よく悩む」と答えた質問項目は、「将来の進路や生き方」が42.3%で最も多く、「就職」35.3%、「経済的なことや経済的自立」31.5%が続いた。とくに「将来の進路や生き方」と「就職」については悩みを抱える大学院学生の割合が高く、「ときに悩む」を加えると「将来の進路や生き方」が79.4%、「就職」は69.5%に達した。ただし、いずれの項目も前回よりわずかではあるが、「よく悩む」と回答した者の割合は減少している。

この質問項目に関して、修士課程と博士課程では顕著な違いは見られなかった。性別による違いについては、全体に女子学生の方が悩んでいる割合が高い。とくに、「将来の進路や生き方」に関しては男子40.1%に対して女子48.3%と男女で顕著な差が見られる。「経済的なことや経済的自立」に関しては、文科系（38.2%）の方が理科系（28.8%）よりも悩んでいる割合が高く、顕著な差が見られる。また、とくに専門職学位課程の学生に「勉学」についての悩みを訴える割合が44.4%と高かった。（図11-1、クロス集計表5-1-1～11表）

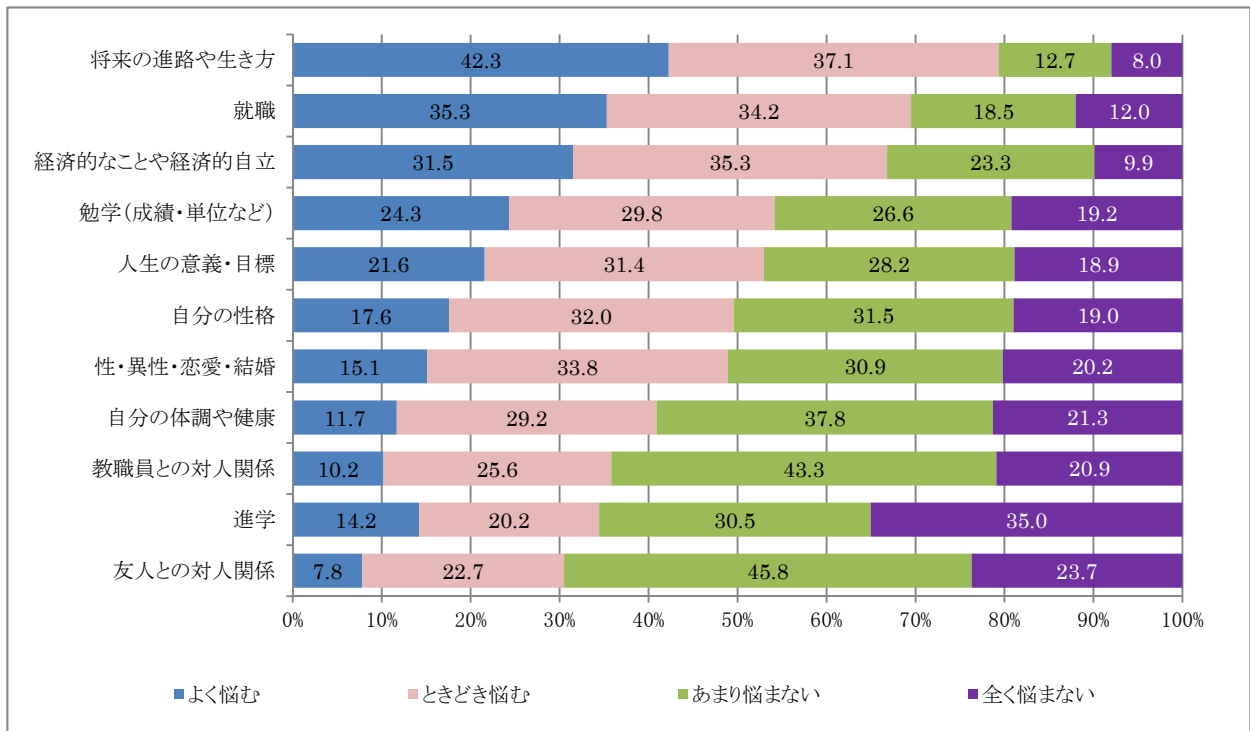


図11-1 不安・悩み

不安や悩みの相談相手では、「よく相談する」または「ときに相談する」相手は、「大学外の友人」が39.7%で最も多く、「学内の同じ学科や研究室の友人」39.4%、「父・母」33.4%、「恋人」30.9%が続いた。

「父・母」を相談相手とするかどうかについては、性別による顕著な差が認められ、女子学生の方が「相談相手とする」と回答した割合が高い（男子27.4%、女子49.7%）。また、対照的に、相談する相手として回答された割合が低かったのは、「なんでも相談コーナー・学生相談所等」（3.2%）および「大学の教職員」（11.7%）であった。（図11-2、クロス集計表5-2-1～9表）

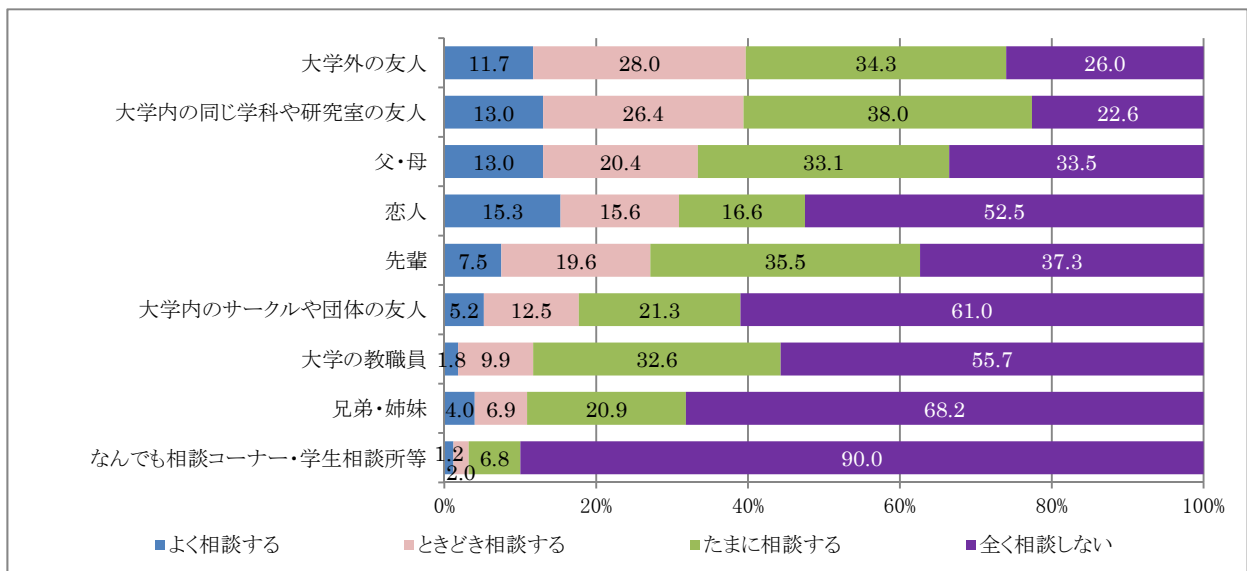


図11-2 相談相手

最近6ヶ月の間に、体験したり悩んだりしたこととしては、「しばしば体験した」「ときどき体験した」を合わせると、「強い不安に襲われた」は48.3%、「人と話していてもとても緊張したり、不安を感じた」は同じく34.2%、「気分が落ち込んだり、何も興味が持てなくなった」は34.1%、「やる気がなくなり、無気力状態(アパシー)になった」は33.6%、「ついつい過食してしまう傾向があった」は27.3%であった。いずれも前回よりわずかではあるが、減少傾向にある。こうした体験に関しては、全体的に理科系よりも文科系の方が割合が高い傾向があるが、「やる気がなくなり、無気力状態(アパシー)に」が理科系32.5%に対して文科系36.0%など、それぞれ顕著な差というほどではない。また、性別による違いは、全質問項目にわたって女子学生の方がこうした体験をしている割合が高いが、「やる気がなくなり、無気力状態(アパシー)に」が男子31.1%に対して女子39.1%などそれほど顕著な差というほどではない。(図11-3、クロス集計表5-3-1~12表)

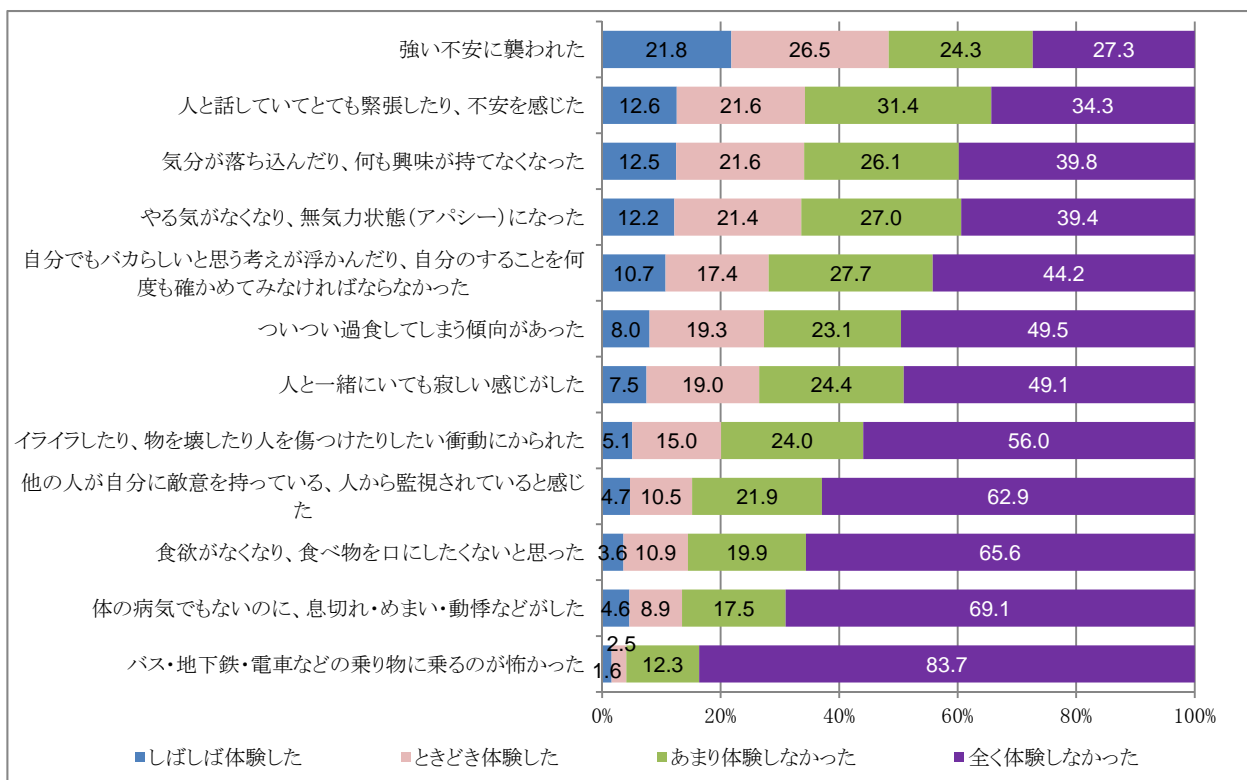


図11-3 体験したり悩んだりしたこと

悩みや不安を解消するために大学の対応として望むこととして「非常にそう思う」「まあそう思う」と回答した者を合わせると、「奨学金の充実や、授業料免除など、経済的支援」を求める声が77.8%と群を抜いて多い。ただし、前回より6ポイントほど減少している。続いて、「就職指導や進路相談機能を充実」が63.0%、「進学について相談機能を充実」が56.5%、「健康相談や保健センターの機能を充実」が54.0%、「学生同士が支え合うネットワークづくりを強化」が50.7%となっている。こうした要望に対して、性別、在学課程、文科系・理科系でのとくに顕著な違いは見られない。(図11-4、クロス集計表5-4-1~10表)

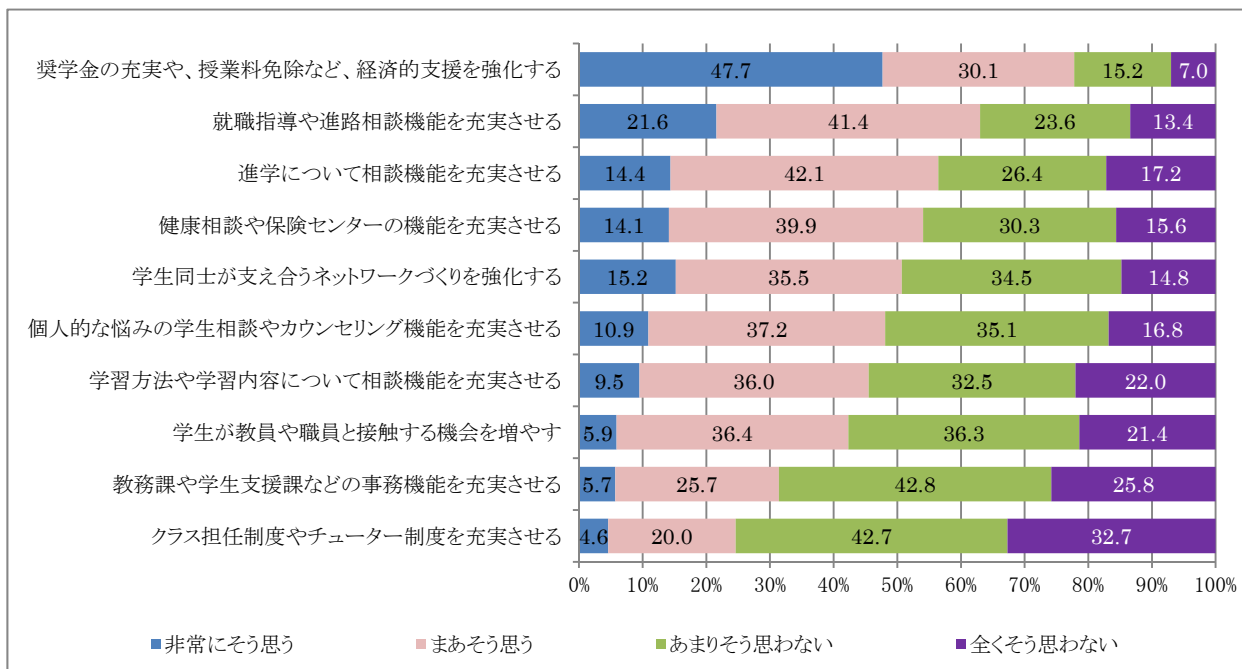


図11-4 不安や悩みへの大学の対応

「過去1年間に体の不調はありましたか」という質問に対しては、「よくあった」9.5%、「ときどきあった」31.9%と合わせて約4割(41.4%、以下同じ)の学生が不調を訴えている。男子(38.0%)より女子(50.5%)の方が不調を訴える者の割合が高くなっている(図12-1)。課程別などでは有意な差は見られない。

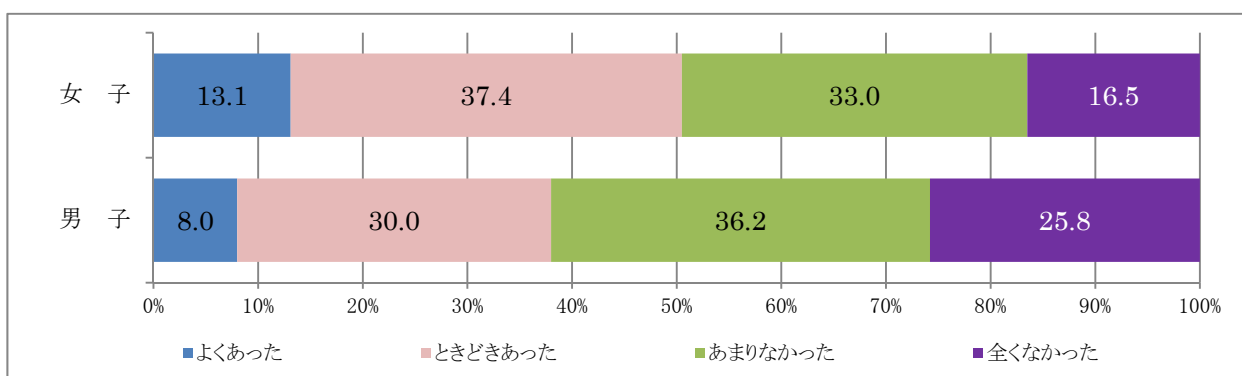


図12-1 過去1年間に体の不調はありましたか(男女別)

不調を訴えた者に、「体の不調があったときに、どのように対処しましたか」とたずねたところ、「地域のクリニックや病院を受診」が34.8%と最も高く、次いで「家族に相談」(23.9%)が高い割合を占め、次いで、「保健センター(本郷・駒場・柏)の診療部を受診」が16.9%と続き、「保健センター(本郷・駒場・柏)の健康管理室に相談」は1.0%に過ぎない。男女差などは見られない。(クロス集計表5-4-11~12表)

「過去1年間に、大学が行っている保健サービスを利用しましたか」については、「保健センターの定期健康診断の受診」が49.7%と最も高い割合を占め、次いで、「利用したことがない」21.5%、「保健センターの定期健康診断書や

健康診断証明書の発行」11.8%などとなっている（図12-2）。女子の方がやや利用率は高いが大きな差ではない。修士課程で「保健センターの定期健康診断書や健康診断証明書の発行」が19.9%、獣医学又は医学博士課程19.4%と比較的高いほかには、課程別には大きな差はない。文科系と理科系では有意な差は見られないが、「保健センターの定期健康診断の受診」では「未婚」69.0%に対して「既婚」40.0%と顕著な差が見られる。（クロス集計表5-4-13表）

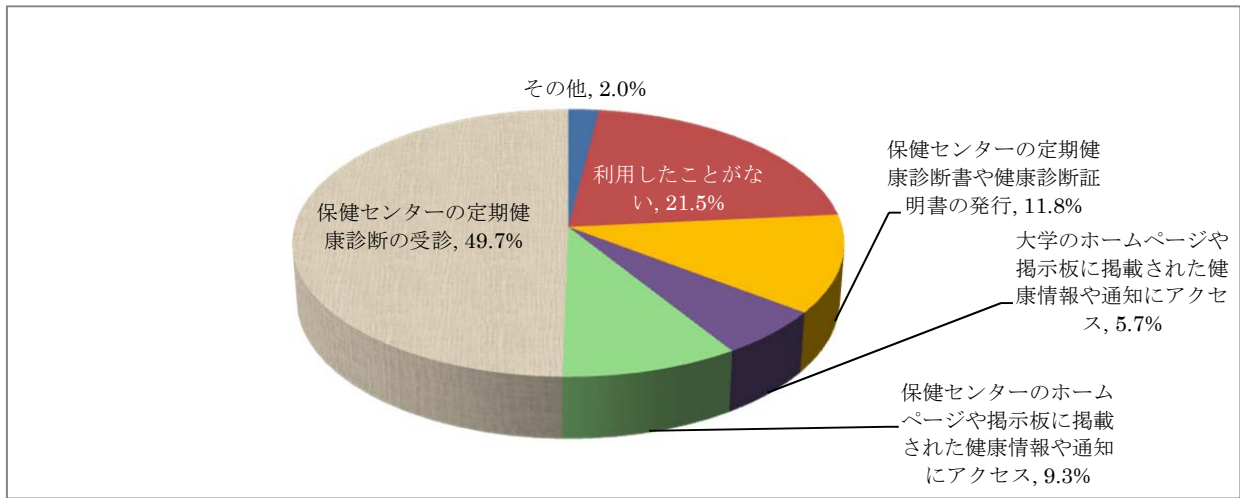


図12-2 過去1年間に、大学が行っている保険サービスを利用しましたか

1-6. 大学への要望

- ・大学への要望としては、「奨学金などの拡充や増額」(79.6%)「施設設備の充実」(76.1%)「海外留学の支援」(74.3%)がそれに続いた。
- ・大学の社会的貢献や国際化を推進するための関連事項は、「研究者交流」(94.8%)、「日本から外国へ留学する機会を拡大」(92.9%)、「国際共同研究の推進」(91.3%)、「基礎研究の充実」(89.4%)が高かった。

大学院学生が大学に要望・期待することとして最も多く選んだ項目は、「奨学金(育英資金)・育英貸付金などの拡充や増額」(「とっても期待する」と「期待する」を合わせて79.6%、以下同じ)、「施設設備の充実」(76.1%)、「実験室や実習室の充実」(63.0%)などである。上位には施設・設備や留学・国際化などの項目が多い。これらに対して、「学生自治の尊重」を選んだ者は23.2%で、時代の変遷を実感させる結果であった。ただし、この質問は前回までと質問形式を変えており、前回までと厳密に比較することはできない(図13-1、クロス集計表6-2-1~17表)。

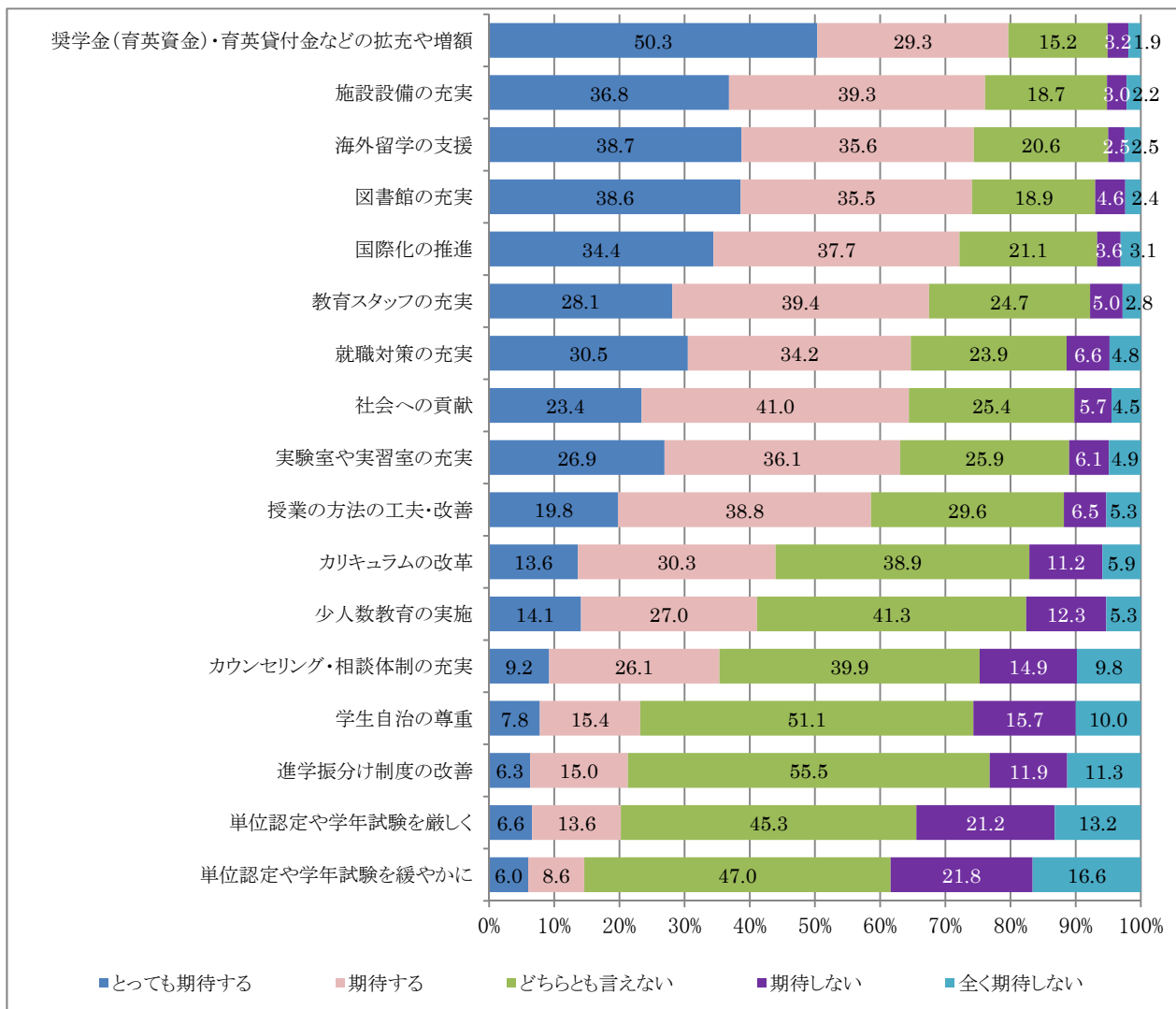


図13-1 大学に要望・期待すること

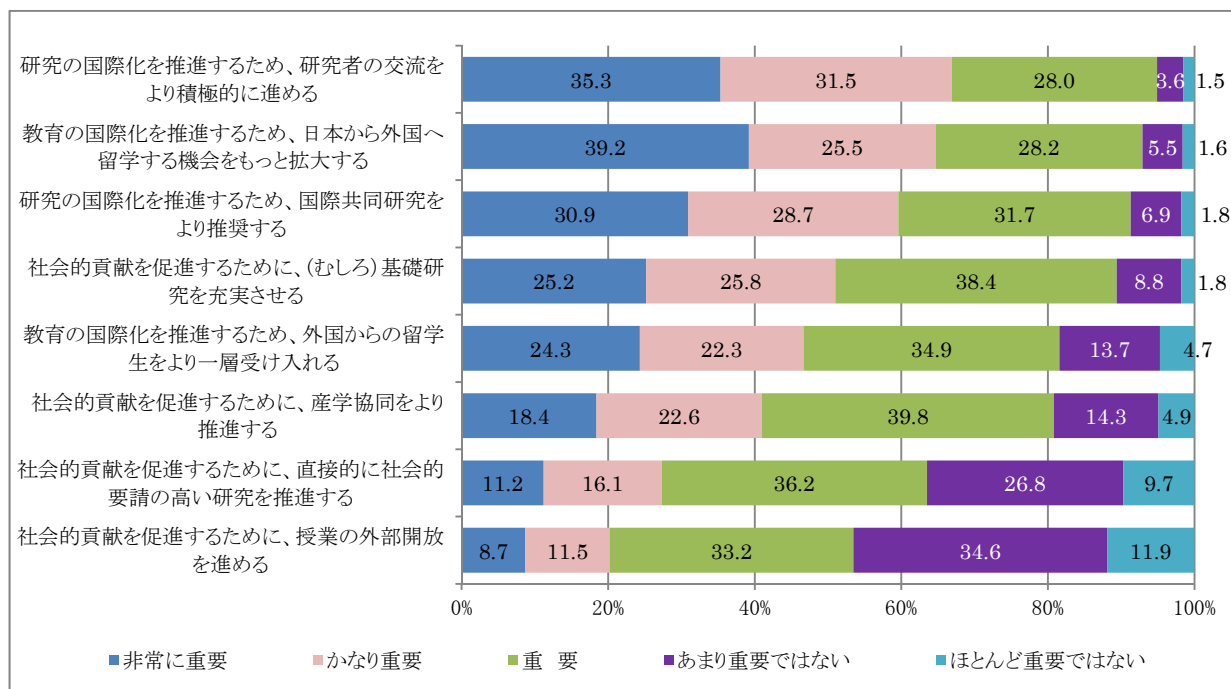


図13-2 大学の社会的貢献や国際化の重要度

大学の社会的貢献や国際化を推進するための関連する項目については、「非常に重要」、「かなり重要」、「重要」と評価した者の割合を合計すると、「研究者の交流を積極的に進める」94.8%、「日本から外国へ留学する機会を拡大」92.9%、「国際共同研究をより推奨する」91.3%、「基礎研究を充実させる」89.4%が9割前後と高く、「外国からの留学生をより一層受け入れる」81.5%がそれに続いた。充実させたい研究の性格に関しては、「基礎研究」の約9割に対して、「直接的に社会的要請の高い研究の充実」は63.5%にとどまった。大学への要望・期待と同様、経済的環境を反映した結果なのか興味深い点である。「授業の外部開放を進める」ことを重要と認識する学生は前回と同様比較的少なく、「あまり重要でない」、「ほとんど重要でない」を合わせると46.5%に達した（前々回は40.5%、前回は43.2%）（図13-2、クロス集計表6-1-1～8表）。

第2部 学生生活の背景

2-1. 家庭の状況

- ・実家の所在地は62.4%が関東、前々回前回と変化なし
- ・大学院学生のうち独身者は87.8%、既婚者は12.2%、子どもがいるのは6.7%
- ・父の職業は「専門的、技術的職業」が25.3%、「管理的職業」が20.8%、母の職業は「無職」43.7%、「事務」13.0%、「教育的職業」12.9%

実家の所在地は、「東京都」27.3%、東京都以外の「関東」が35.1%、合計すると62.4%で、前回調査（2009年（第59回））と比較して2.9ポイント増加したが、前々回からほぼ同じ傾向である。男女別では、「東京都」と「関東」で男子の59.8%に対し、女子は69.2%で前回前々回調査と同様男子を上回っている。（図14、クロス集計表7-1表）。

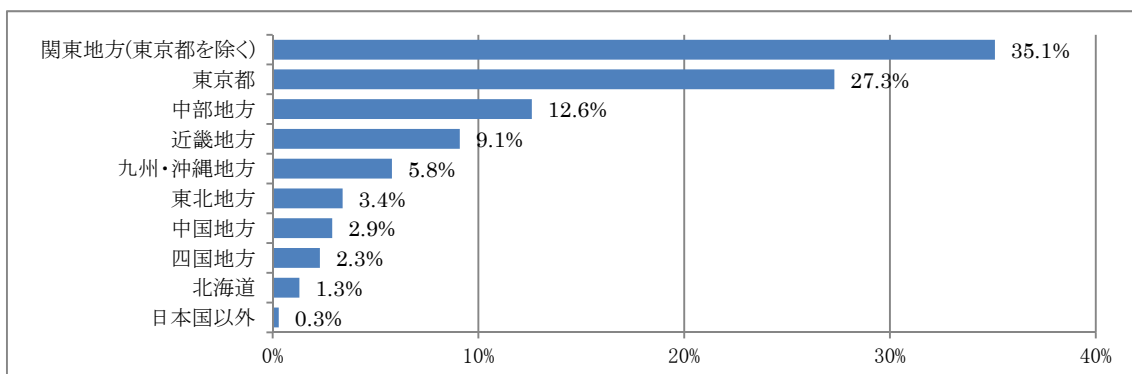


図14 家族の所在地

大学院学生のうち独身者は87.8%（前回調査86.5%）、既婚者は12.2%となっている（クロス集計表7-2表）。子どもがいると回答したのは回答者の6.7%（男子5.6%、女子9.1%）である。2人以上子どもがいる者は回答者の3.8%である（クロス集計表7-3表）。

子どもの世話について男女別にみると、全体を100%として割合を見ると「自分」が主として世話をしていると回答した者は、男子18.1%、女子53.4%であり、きわめて大きな差が見られる。「配偶者」が主として世話をしていると回答した者は、逆に男子66.6%、女子18.2%である。（クロス集計表7-4表）。

「あなたの家族は、あなたを含めて何人ですか」の間では、「4人」が32.5%（前回調査29.6%）と最も高い割合になっており、次いで、「3人」の23.1%（前回調査24.6%）を合すると半数を超えている。（図15、クロス集計表7-5表）。

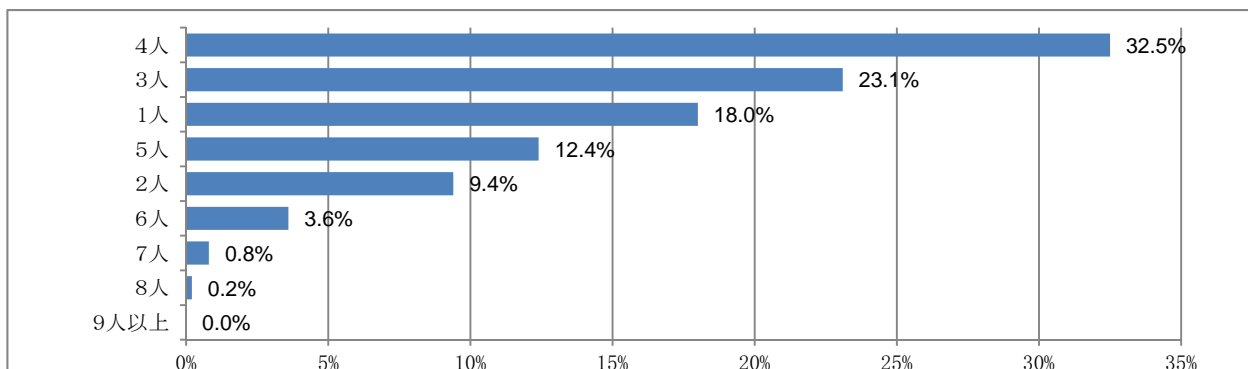


図15 家族数

主たる家計支持者は「父」51.9%（前回調査50.2%）、「本人」24.2%（前回調査24.9%）、「母」17.0%（前回調査17.2%）の順となっていた。既婚者に限ってみると、「配偶者」12.3%が未婚者の2.6%より高い割合となっている。既婚者について男女別にみると、「本人」が主たる家計支持者であると回答した者は男子の82.0%、女子の40.4%であり、「配偶者」が主たる家計支持者と回答した者は男子の30.3%、女子の92.3%であった（図16、クロス集計表7-6表）。

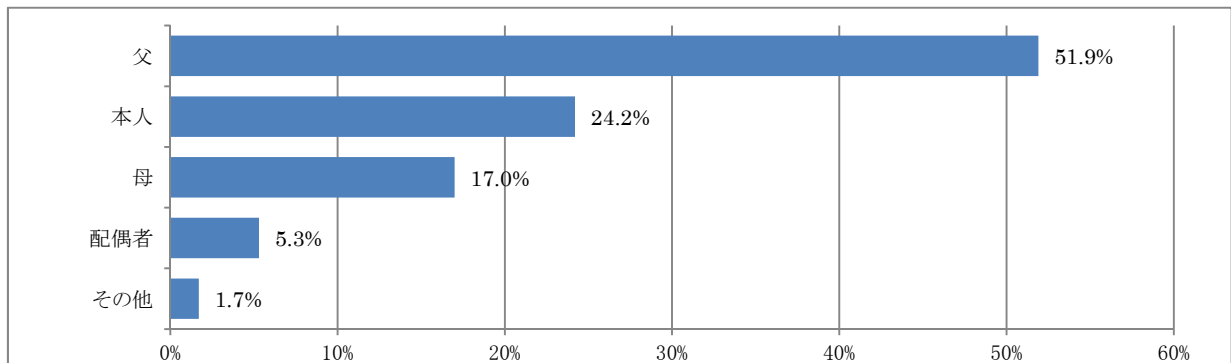


図16 家計をささえているのはだれですか

職業については、父は「専門的、技術的職業」が25.3%、「管理的職業」が20.8%、「教育的職業」が10.9%であった。母は「無職」が43.7%、「事務」が13.0%、「教育的職業」が12.9%、「専門的、技術的職業」が8.3%であった。なお、本人（職業を持っている者のみ）は「専門的、技術的職業」が64.6%、「教育的職業」が15.7%である（クロス集計表7-8～10表）。

親元の年収（社会人入学者は自分）については、「1,050万円以上」が24.5%であった（前回調査27.5%）。ただし、この問への回答者は55.1%であり、「わからない」が43.0%、その他の1.9%は無記入である。1999年より年収450万円未満の低所得層が次第に増加して、今回は、27.1%と全体の4分の1以上となっている。これに対して、1,500万円以上の高所得層は、前回の9.6%より今回は9.3%と減少しているものの長期的には増加傾向にある。（図17-1～17-3、クロス集計表7-7表）。

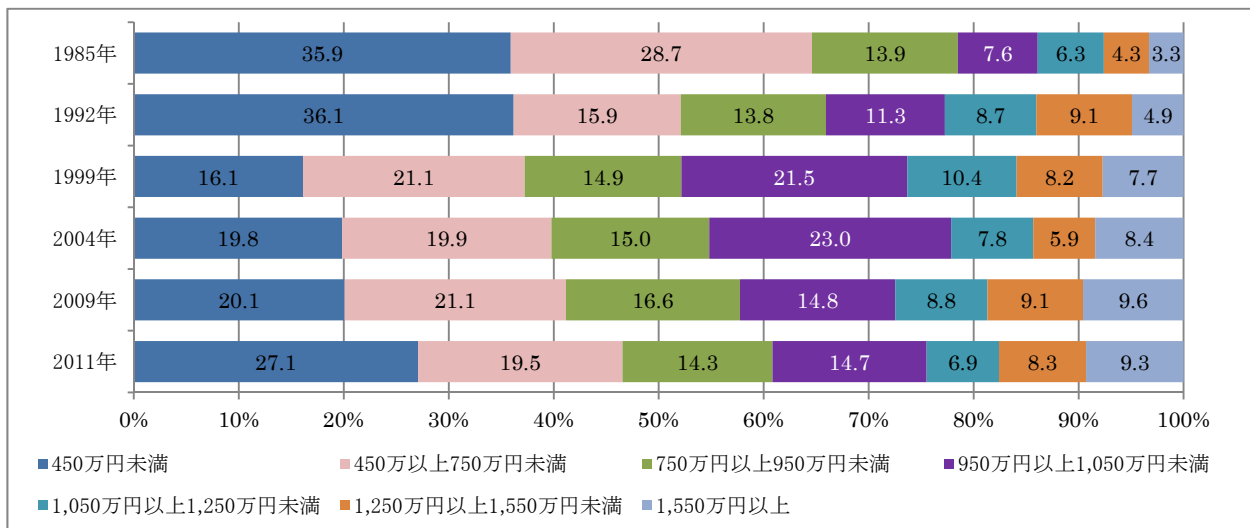


図17-1 年収の推移

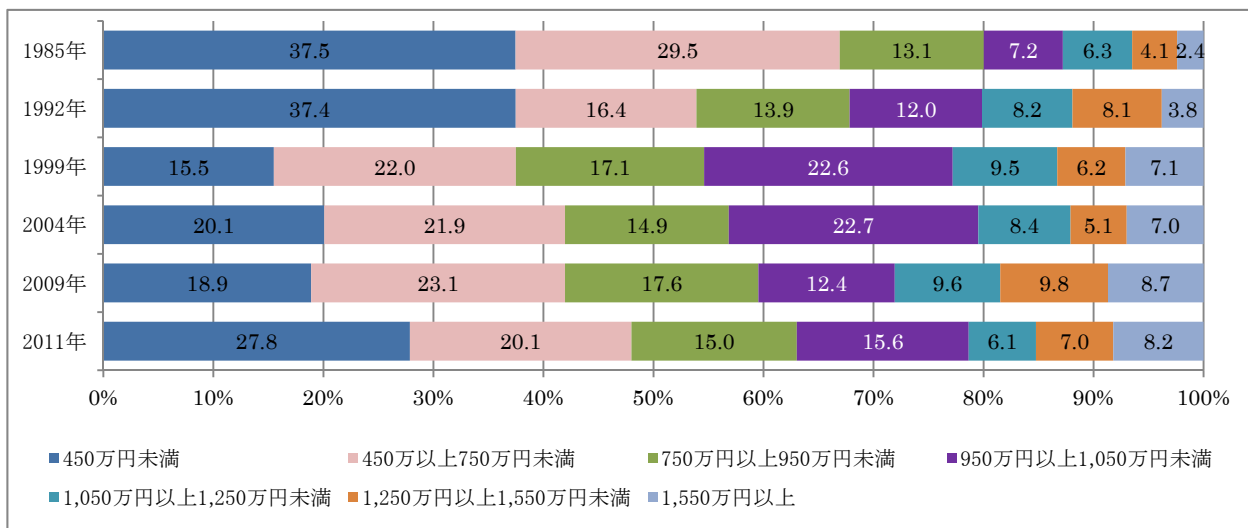


図17-2 年収の推移（男子）

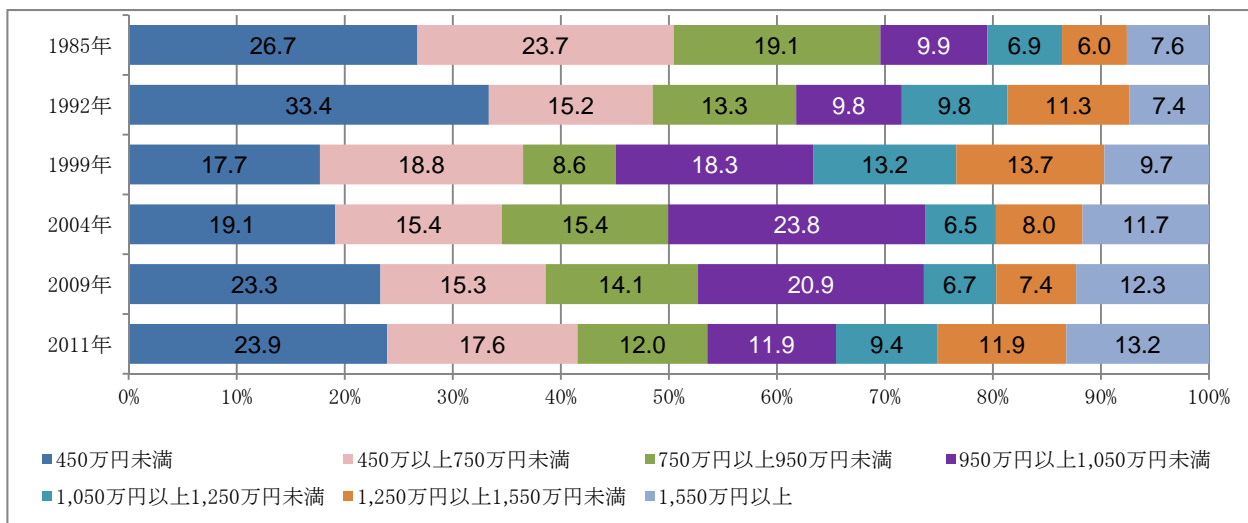


図17-3 年収の推移（女子）

2-2. 生活費の状況

- ・生活費は修士課程 124,700 円、博士課程 157,700 円(100 円未満は四捨五入)。
- ・収入は修士課程 157,800 円、博士課程 274,200 円。
- ・修士課程の収入は「仕送り」(58,000 円)、博士課程の収入は「助成金」(88,200 円)が最多。

1ヶ月当たりの「支出総額」(100円未満四捨五入)は月平均147,700円で、前回調査時(2009年・第59回)と比較すると、8,800円の減少となっている。修士課程在籍者124,700(前回、以下同じ133,000円)、博士課程在籍者157,700円(177,700円)、獣医学または医学を履修する博士課程在籍者274,900円(244,000円)、専門職学位課程在籍者158,100円(178,300円)となっている。獣医学または医学を履修する博士課程で30,900円増加した以外には、いずれの課程も1から2万円減少している。各費目の支出では、住居費が45,600円と前回調査(48,600円)より3,000円減少しているが、前々回とほぼ同じ水準になっている。他の費目も増減はみられるが、大きな変化はない。

一方、「収入総額」(100円未満四捨五入)は月平均229,700円で、前回調査時から41,500円の増加となっている。修士課程在籍者157,800円、博士課程在籍者274,200円、獣医学または医学を履修する博士課程在籍者525,600円、専門職学位課程在籍者299,800円となっている。獣医学または医学を履修する博士課程在籍者は177,900円、専門職学位課程在籍者109,400円と大幅な増加となっている。収入源としては全体では「助成金・奨学金」が最多で52,500円(前回調査時より5,500円減少)、次いで「家庭からの仕送り・小遣い」41,000円(2,100円減)、「定職」54,400円(16,800円増)となっている。課程別では、修士課程在籍者では「家庭からの仕送り・小遣い」が最多の58,000円であるが、博士課程在籍者では「助成金・奨学金」が88,200円で最多であり、「学内研究経費等」による経費と併せると129,400円となり、前回調査と比較すると9,800円の増加となっている。獣医学または医学を履修する博士課程在籍者と専門職学位課程では「定職」が225,900円と144,100円で最多となっている。前回よりそれぞれ102,400円、104,300円と大幅に増加している。

既婚者では「配偶者の収入」552,300円と多くなっているが、文科系でも「配偶者の収入」が147,400円と理科系の35,100円に比べて極めて多くなっている。(クロス集計表8-1~2表)

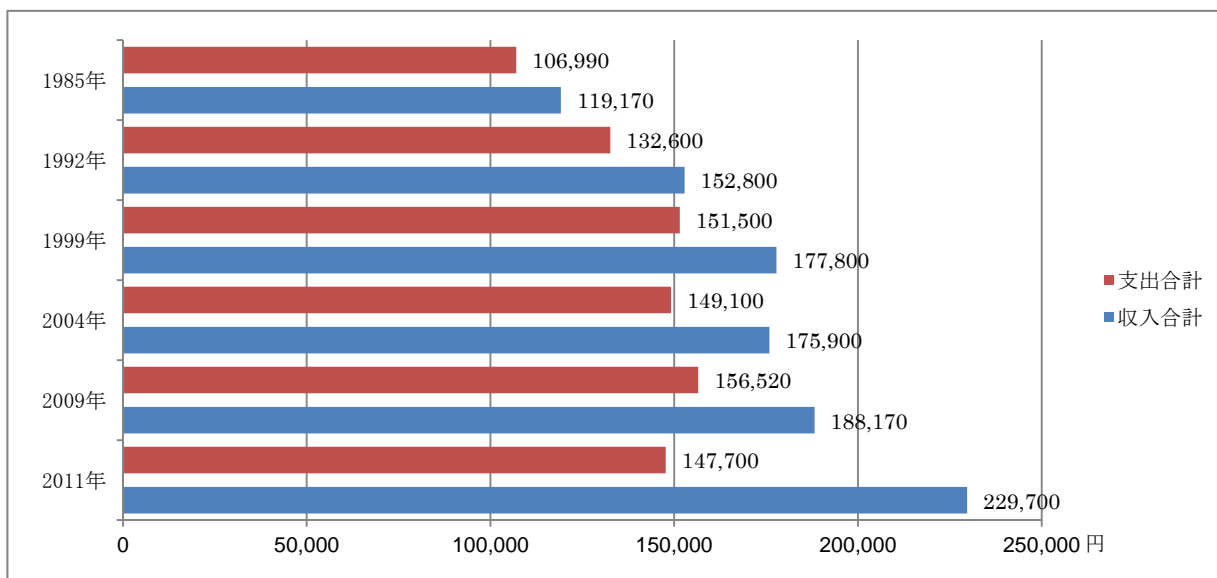


図18-1 収入と支出合計の推移

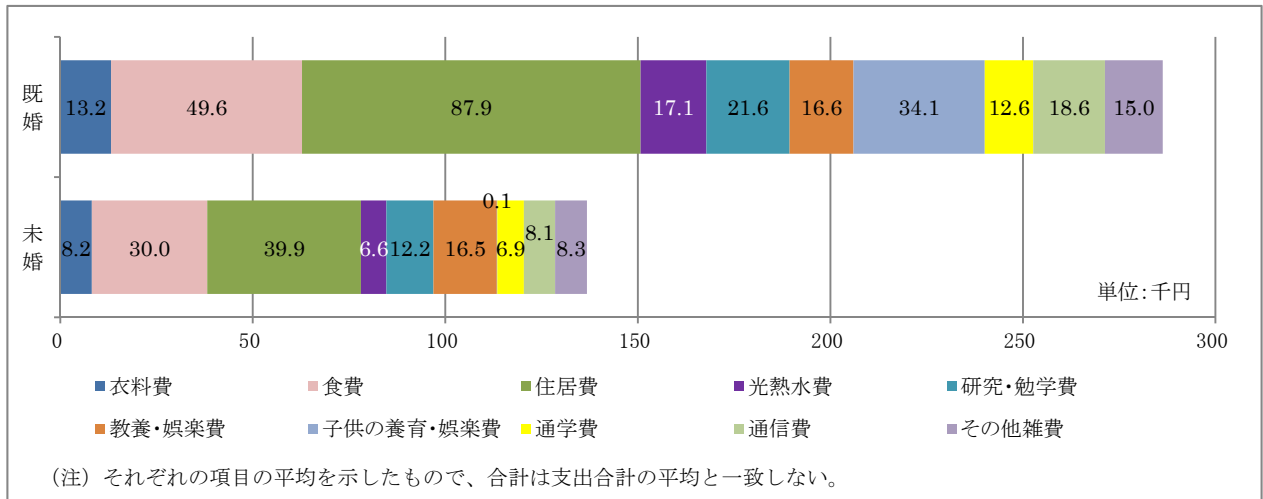


図18-2 支出内訳 (未婚・既婚別)

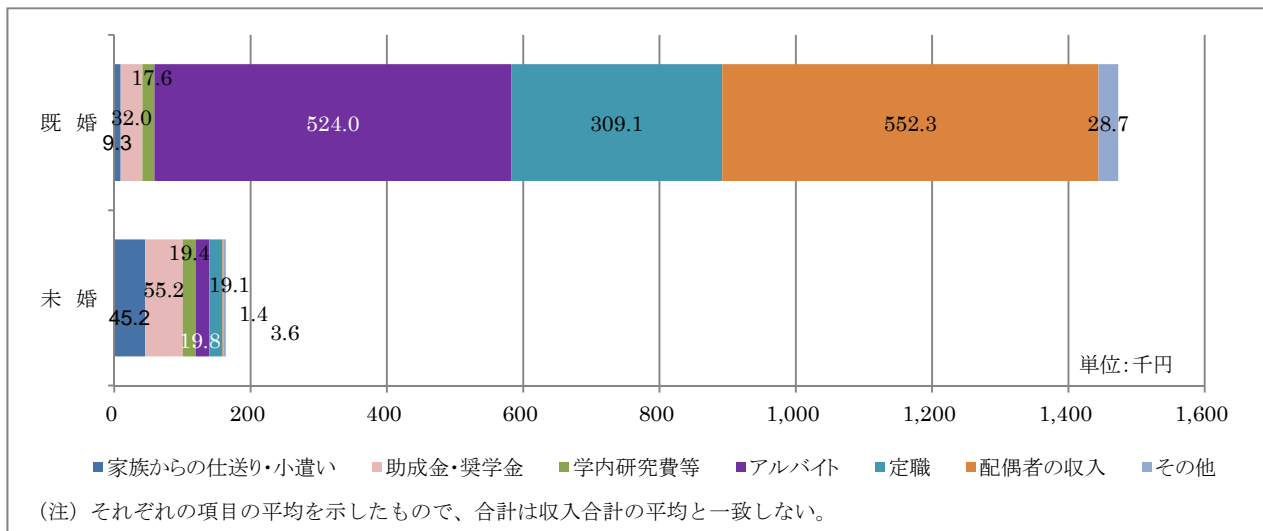


図18-3 収入内訳 (未婚・既婚別)

2-3. 研究奨励金及び奨学金

- ・日本学術振興会の研究奨励金は29.0%の学生が得ている
- ・その他の奨学的資金は、24.8%の学生が得ている。そのうち多数(66.4%)は日本学生支援機構から貸与を受けている。学術振興会特別研究員は25.1%。
- ・用途は「生活費」(35.2%)、「授業料」(20.9%)、「研究・勉学費」(20.5%)が中心

日本学術振興会の研究奨励金は29.0%が受領している。男女差をみると、日本学術振興会で女子の受領者が多少少なく、男子の31.9%に対して21.5%となっている。課程別では、「専門職学位課程」では、2.2%に過ぎないが、「獣医学又は医学を履修する博士課程」では19.4%、「博士課程」では36.7%が受けている(図19-1)。また、日本学術振興会の研究奨励金を受領していない者のうち「出願資格がない」とした者は21.2%「出願したが採用されなかった」者は23.9%であった。(クロス集計表9-1~2表)

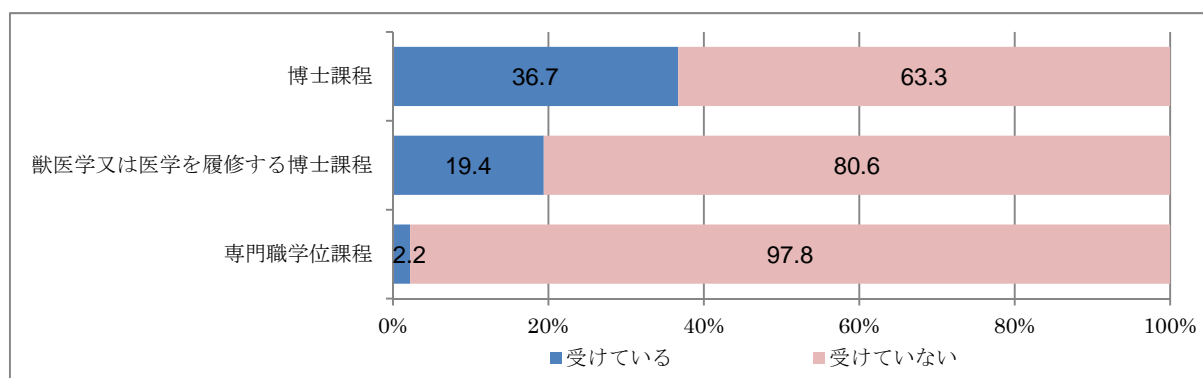


図19-1 日本学術振興会の研究奨励金（課程別）

「その他の奨学的な資金」では、受領率は、24.8%で、男子25.7%、女子22.3%とあまり差は大きくない。課程別にも差は見られない(図19-2)。奨学的な資金を受けている者のうち「日本学生支援機構」が66.4%、「日本学術振興会特別研究員」が25.1%となっている。博士課程では「日本学術振興会(特別研究員)」が57.6%と過半数を占めていて、「日本学生支援機構」は38.6%と少ない。それに対して、専門職学位課程では91.3%、修士課程では88.7%が「日本学生支援機構」を受けている。男女や文科系・理科系による差は見られない。「その他の奨学的な資金」では、受領していない者のうち「受ける必要がない」が29.2%と最も高い割合を占め、次いで、「出願資格がない」とした者は27.4%となっており、「出願したが採用されなかった」者は5.4%であった。(クロス集計表9-3~4表)

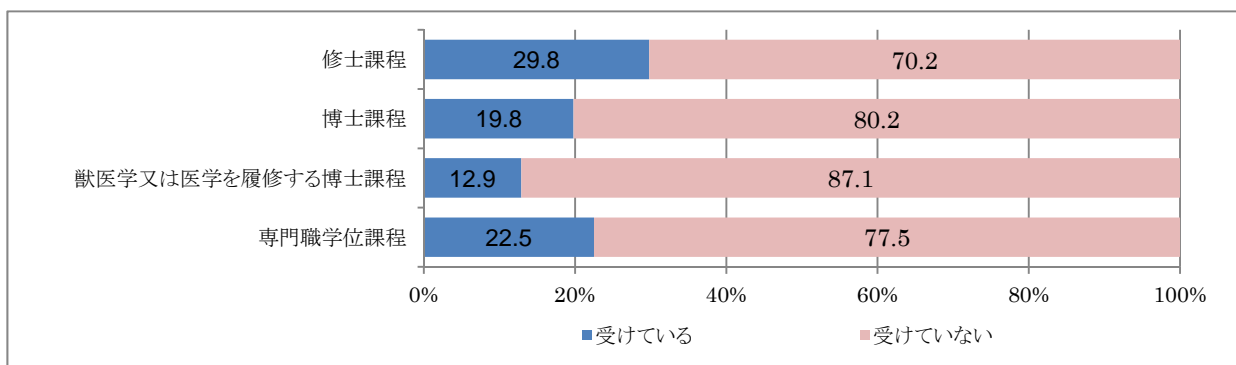


図19-2 その他の奨学的資金（課程別）

前回調査と比べて、日本学生支援機構の割合が4ポイントほど低下し、日本学術振興会（特別研究員）が3ポイントほど増加している。その結果、日本学生支援機構と日本学術振興会を合わせた割合は、あまり変わらない。いずれにせよ、学生の得ている奨学的資金の多くは、この二つの組織からのものである。

奨学的な資金の主たる支出目的（3つまで選択可）は、「生活費（衣・食・住居費）」35.2%、「授業料」20.9%、「研究・勉学費」20.5%、「教養・娯楽費」12.8%「貯金」6.6%の順となっている。前回調査と比べてあまり差はみられなかった。（クロス集計表9-5～6表）



総合研究博物館小石川分館（旧東京医学校本館）

2-4. アルバイト

- ・アルバイトをしている大学院学生が61.9%
- ・アルバイトの種類は「TA・RA」(26.1%)、「塾・予備校の講師」(12.7%)、「家庭教師」(8.9%)が多い
- ・週に10.5時間、月額で60,800円(100円未満は四捨五入)
- ・アルバイトの主な理由は「生活費を稼ぐため」が54.0%と最も多い

アルバイトをしていると61.9%が回答しており、前回調査(第59回実態調査)の58.5%に比べてやや増加している。しかし、前々回(第54回)は72.1%に比べると低くなっていることが特徴的である。「継続的」(1ヶ月以上)アルバイトをした者が39.1%と前回調査の37.9%とほぼ同じ割合になっている。しかし、前々回調査の50.1%に比べて低い数字となっている。男女別にみると、男子38.8%に対し、女子は40.1%であり大きな差はみられない(図20, クロス集計表10-1表)。

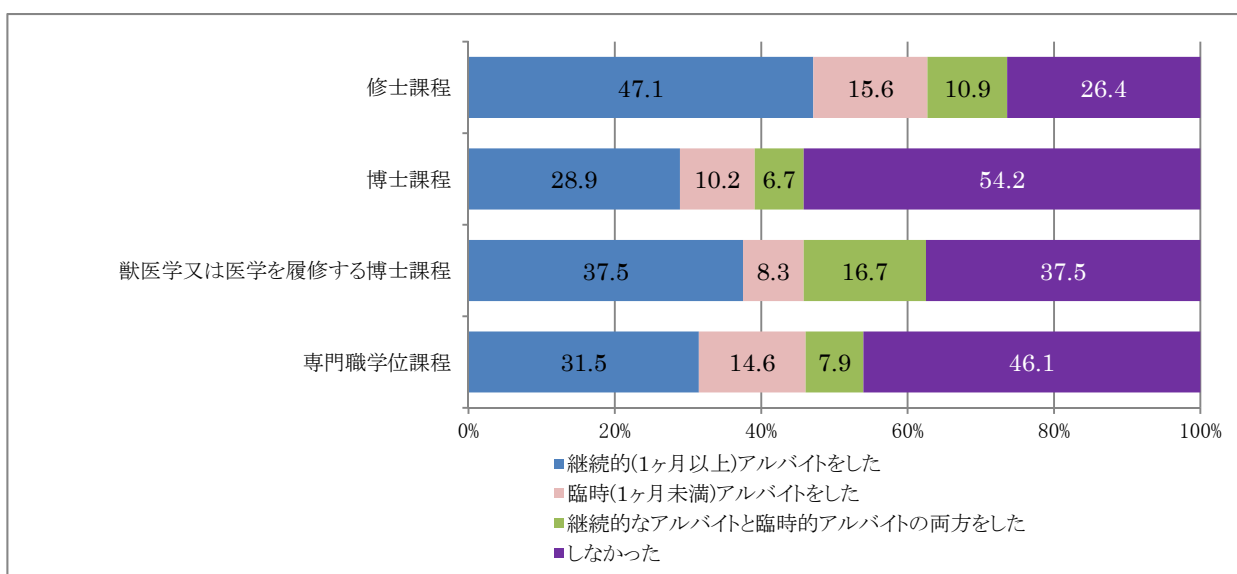


図20 アルバイト(課程別)

アルバイトの種類(2つまで選択可)は、「TA・RA」(「TA」はTeaching Assistantの略、「RA」はResearch Assistantの略)は26.1%が最も多く、次いで「塾・予備校の講師」12.7%、「上記以外の専門を生かしたもの」9.1%、「家庭教師」8.9%の順となっている。「TA・RA」は、博士課程では36.7%を占めているが、専門職学位課程では11.7%と3倍以上の差が見られる。

アルバイトに費やした1週間当たりの平均時間は、10.5時間で、これは前回の調査結果12.7時間よりやや減少している。また、1か月当たりの平均収入額は60,800円(100円未満は四捨五入)となっており、前回調査結果の収入額62,400円、前々回の68,900円よりも次第に下がっている。修士課程では、9.6時間、博士課程では11.2時間、獣医学又は医学を履修する博士課程では12.9時間、専門職学位課程では14.2時間となっている。収入では、獣医学又は医学を履修する博士課程で286,000円と他の課程に比べきわめて高くなっている(クロス集計表10-3表)

アルバイトの紹介者(2つまで選択可)は、「友人・知人等」29.2%、「指導教員」19.6%、「インターネット」18.8%と続いていて、前回と「指導教員」と「インターネット」の順位が入れ替わっているが、大きな差ではない。研究科別では、医学系研究科で「指導教員」が34.3%、薬学系研究科で「アルバイト先と直接」が46.2%と高い割合を示しているのが特徴である(クロス集計表10-4表)。

アルバイトをした理由では、「生活費を稼ぐため」と回答する者が54.0%と過半数を占めており、また「勉強費を稼ぐため」13.6%を合せると、約7割に達する。とくに獣医学又は医学を履修する博士課程では、「生活費を稼ぐため」が74.4%と高い割合を示しているが、それ以外には大きな差はみられない。

アルバイト収入の主たる使途(2つまで選択可)は、「生活費(衣・食・住居費)」が39.6%で最も多く、次いで、

「教養・娯楽費」25.4%となっている。課程別では、博士課程で「授業料」が13.1%、獣医学又は医学を履修する博士課程で20.3%が高い割合を示している。また、文科系では「研究・勉学費」が23.2%と理科系の7.6%に比べて高い割合となっている。研究科別では薬学系研究科で「生活費」が55.6%と「教養・娯楽費」が44.4%と高いのが目立つ（クロス集計表10-5～6表）。

「継続的アルバイトが勉学の妨げになりましたか」という問いに、「かなり妨げになった」10.2%（前回調査12.8%）、「多少妨げになった」42.6%（前回調査41.0%）の回答があり、双方合すると52.8%（前回調査53.8%）を占めた。前回調査と比べてあまり変化はない。研究科別では、総合文化研究科と教育学研究科で「かなり妨げになった」と答えた者が20.3%と18.5%と高いのが目立つ（図21、クロス集計表10-7表）。

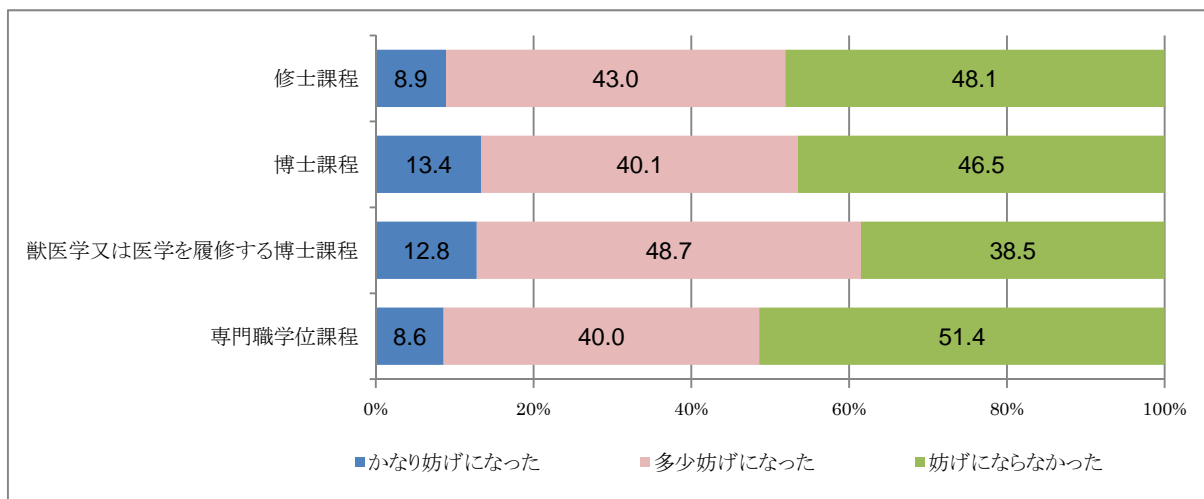


図21 アルバイトは勉学の妨げになった（課程別）

現在の暮らし向きについては、「かなり楽な方」及び「やや楽な方」と答えた者は30.0%で、前回調査結果33.5%に比べてやや低下している。さらに、「やや苦しい方」及び「大変苦しい方」と答えた者は28.1%であり、前回調査の結果30.2%に比べてやや減少している。未婚者では「やや苦しい方」と「大変苦しい方」を合わせて27.1%の者が苦しいと感じているのに対して、既婚者では35.4%が苦しいと感じている。研究科別では数理学研究科と情報理工学系研究科が「かなり楽な方」と「やや楽な方」を合わせて、それぞれ50.0%と48.0%と高いのが特徴である（図22、クロス集計表10-8表）

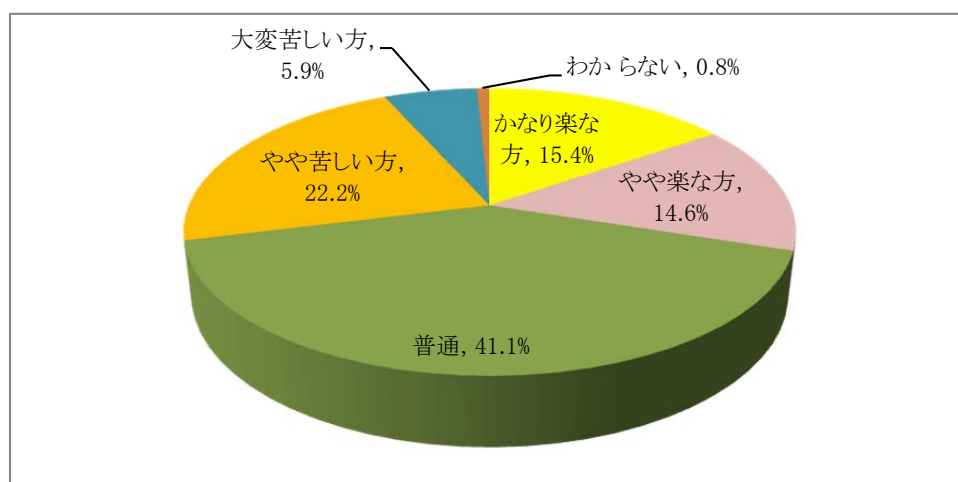


図22 現在の暮らし向き

2-5. 研究・学生生活のサポート体制

- ・通学に利用している交通機関（複数選択）は、「電車」が48.3%で最も多く、次いで「自転車」30.7%、「徒歩のみ」8.8%、「バス」7.4%の順
- ・「通学所要時間」は平均48.0分
- ・利用者の各施設・設備への満足度は高いが、「研究科内の学生控え室・談話室・ラウンジ」に関しては、不満の方がやや高い。

2-5-1. キャンパスへのアクセス

通学に利用している交通機関（複数選択）は、前回と同様に「電車」が48.3%で最も多く、次いで「自転車」30.7%、「徒歩のみ」8.8%、「バス」7.4%の順となっている。キャンパス別で見ると、本郷は「電車」（50.3%）と「自転車」（30.0%）が多く、駒場Iと駒場IIは同様な傾向にあるが、柏は「自転車」（44.6%）が最も多く、また「バス」（15.3%）「自家用車」（8.1%）の利用率が、他キャンパスよりも高い（図23、クロス集計表11-1表）。

通学所用時間は、片道平均48.0分で、前回調査の46.3分、前々回調査の45.9分より少しずつではあるが、次第に長くなっている。キャンパス別では、「その他のキャンパス」が38.9分で最も短く、次いで、柏への所用時間が40.3分、本郷が49.2分、駒場Iが51.3分、駒場IIが52.0分と最も長くなっている（クロス集計表11-2表）。

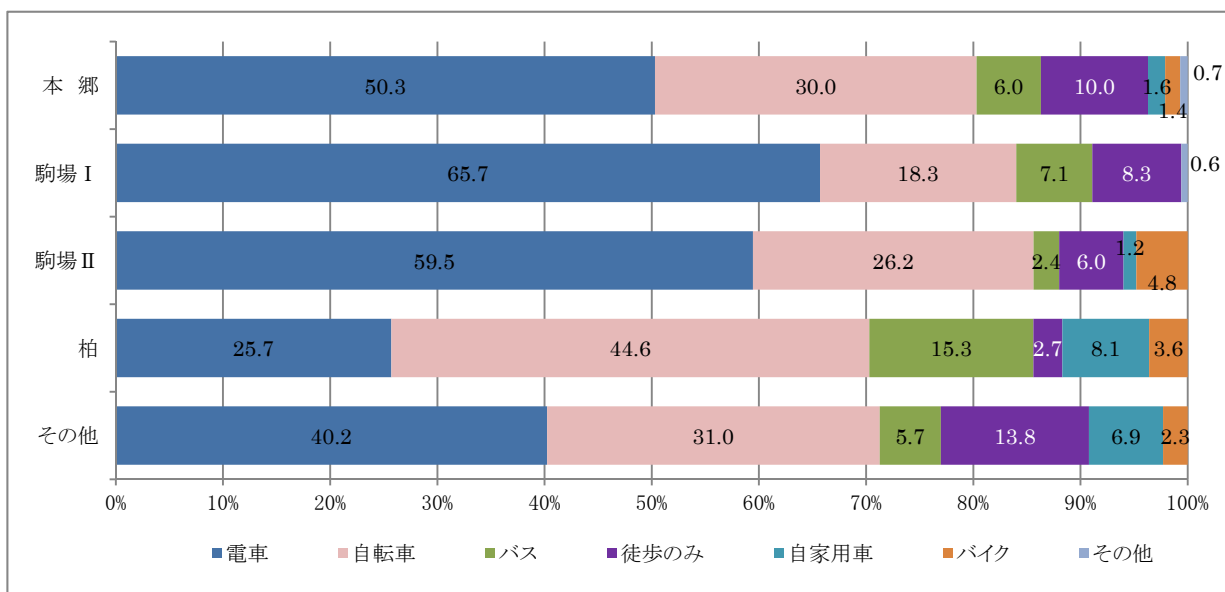


図23 通学手段（複数選択）

2-5-2. キャンパス内の諸施設

本学の課外活動施設、福利厚生施設等の満足度を全15項目について聞いたところ、図のように、すべての項目で「満足」の方が「不満」より多くなっているが、「研究科内の学生控室・談話室・ラウンジ」に関しては、満足23.1%に対して不満の方が22.9%とほぼ拮抗している。ただし、「学内食堂」、「保健センター」と「研究科内の学生控室・談話室・ラウンジ」を除いて、いずれの項目も利用したことがない者が多くを占めている。(図24、クロス集計表11-3-1～15表)。

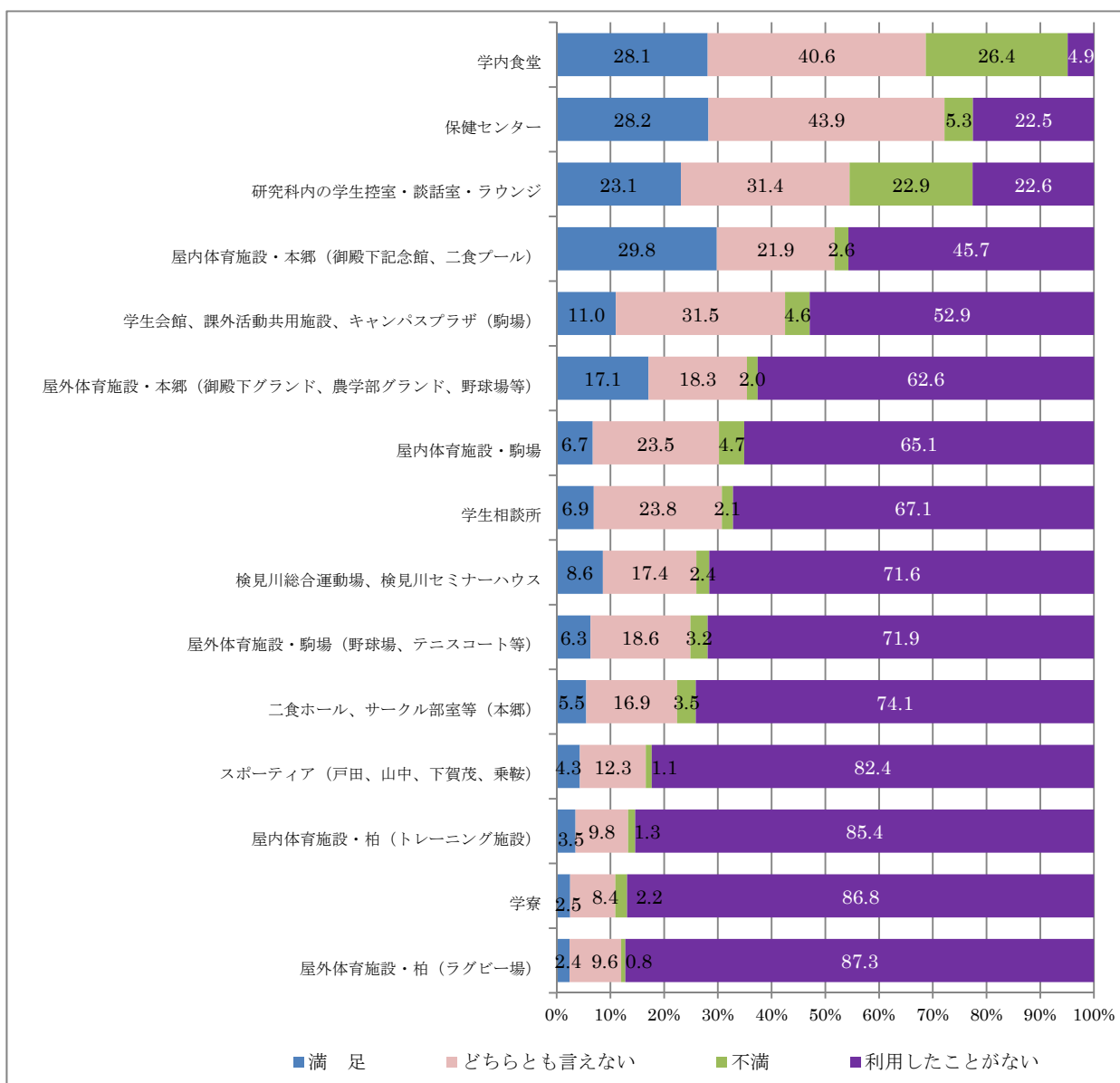


図24 キャンパス内の施設の満足度

〔特殊分析の試み〕

東大生の不安・悩みについて

はじめに

本調査には1996年度から、得られた結果を踏まえてテーマを絞って考察する「特殊分析」が含まれている。今回の特殊分析では、前回の大学院学生を対象とする調査(2009年度)と同様に、「V. 不安・悩みについて」の部分に関して、選択肢の回答と具体的記述に書かれたことを参考にして、前回調査や学部学生を対象とした調査(2010年度)との比較も含めつつ検討してみたい。

1. どのような領域で不安や悩みを感じるか

ここでの質問は、「現在の学生生活の中で、次の各項目について、どの程度悩んだり不安を感じたりしていますか」というもので、11の領域について「よく悩む」「ときどき悩む」「あまり悩まない」「全く悩まない」のいずれかを選択する回答形式である。以下に、「よく悩む」と「ときどき悩む」の合計%を指標として検討する(表1)。

表1 領域ごとの不安・悩みを抱える学生の割合と順位

順位	項目	今回調査(2011年度)	前回調査(2009年度)	学部学生調査(2010年度)
1	将来の進路や生き方	79.4%	82.3% (1位)	82.8% (1位)
2	就職	69.5%	75.6% (2位)	71.5% (2位)
3	経済的なことや経済的自立	66.8%	71.1% (3位)	63.9% (4位)
4	勉学(成績・単位など)	54.1%	58.2% (4位)	68.4% (3位)
5	人生の意義・目標	53.0%	56.9% (5位)	61.4% (6位)
6	自分の性格	49.6%	46.0% (7位)	54.4% (8位)
7	性・異性・恋愛・結婚	48.9%	51.3% (6位)	55.5% (7位)
8	自分の体調や健康	40.9%	44.1% (8位)	34.5% (10位)
9	教職員との対人関係	35.8%	37.2% (10位)	10.3% (11位)
10	進学	34.4%	40.2% (9位)	61.5% (5位)
11	友人との対人関係	30.5%	28.8% (11位)	41.0% (9位)

注) 括弧内は当該調査における順位

11項目中、合計%が最も高かったのは、「将来の進路や生き方」で79.4%(前回82.3%)である。これは、2番目に高かった「就職」(69.5%)や、3番目に高かった「経済的なことや経済的自立」(66.8%)とも密接な関係があると考えられる。前回調査(2009年度)や学部学生対象の調査(2010年度)においても同様の傾向が見られ、学部学生・大学院学生に共通する悩みとして、就職難による就職活動の厳しさとともに、将来の生活設計を見据えた進路選択の難しさや学生が抱える葛藤が反映していると言えるだろう。特に、アカデミックなポストを得て仕事をしていくことを希望する大学院学生は、博士課程修了後にも不安定な身分しか得られないことも少なくなく、研究者として安定した生活基盤を築いていくことがイメージしづらい状況となっており、将来設計に関連する不安や悩みを抱きやすいと考えられる。具体的記述にも、「将来就職できるかがとても心配」「研究活動が忙しすぎて就職活動に支障を来さないかが心配」「博士号取得後も研究職ポストに就きにくく、状況が深刻」「博士進学を考えているものの、アカデミックポストに就けるか等がとても心配」といった進路に関連する不安や悩みについての声が多数寄せられた。

「勉学」(54.1%)、「人生の意義・目標」(53.0%)、「性・異性・恋愛・結婚」(48.9%)については、将来設計の問題との関連が考えられる。研究者としてのキャリアを考える大学院学生にとっては、研究成果がうまく出せるかどうかという「勉学」の悩みは、進路決定の問題に直結する。キャリアも含めた「人生の意義・目標」をどのように設定するか、また、恋人ができて結婚まで視野に入れたときにパートナーとの関係をどう考えていくかは、大学

院学生の将来設計に関わる重要な一部である。

前回調査との比較ではほとんどの項目で不安や悩みを抱く割合が低下しているが、「自分の性格」(49.6%)と「友人との対人関係」(30.5%)の2項目については、いずれも前回調査と比較して上昇している。これらの項目は大学院学生よりも学部学生の方が不安や悩みを抱く割合が高い項目であり、大学院学生の心性が、より若年の学部学生の心性に近くなってきていることが示唆されている。

身体的健康は、大学院での研究生生活を充実したものにするための基礎となるものであるが、4割ほどの学生が「自分の体調や健康」(40.9%)で不安や悩みを抱えている。

「教職員との対人関係」(35.8%)の問題は、全体の順位はそれほど高くないが、学部学生と比較すると不安や悩みを抱える学生の割合が多い。研究室における活動が中心となる大学院学生の学生生活では、研究室での対人関係、とりわけ指導教員との関係が重要となる。その関係がうまくいかなくなると、研究活動の遂行や進路決定にも支障が出る可能性が高いため、そこでストレスを感じる学生が多いと考えられる。具体的記述には、「指導教員の恫喝が怖い」「指導教員から「死ぬほど働け」と言われ多大なストレスを感じる」「聞くに耐えない暴言を平気で言い、特定の学生だけ不平等な扱いをする教員がいる」というように教員との関係についての訴えが寄せられており、中にはストレスから心身の健康を害したという学生もいた。

また、1/3を超える学生が「進学」(34.4%)についての不安や悩みを訴えているが、6割ほどが不安や悩みがあると回答した学部学生と比べるとその割合は低くなっており、学部学生の進学の悩みが進学振り分けや大学院への進学に関連して生じていることと考えられる。

2. 不安や悩みを誰に相談するか

ここでの質問は、「あなたは、不安や悩みを感じたとき、だれと相談したり、話し合ったりしますか」というもので、(1)～(9)の対象について「よく相談する」「ときどき相談する」「たまに相談する」「全く相談しない」のいずれかを選択する形式で回答を求めている。不安や悩みを感じたとき、「よく相談する」相手は、「恋人」(15.3%)が最も多く、「大学内の同じ学科や研究室の友人」(13.0%)と「父・母」(13.0%)が同率で続き、さらに、「大学外の友人」(11.7%)、「先輩」(7.5%)、「大学内のサークルや団体の友人」(5.2%)、「兄弟・姉妹」(4.0%)、「大学の教職員」(1.8%)、「なんでも相談コーナー・学生相談所等」(1.2%)の順となっている。

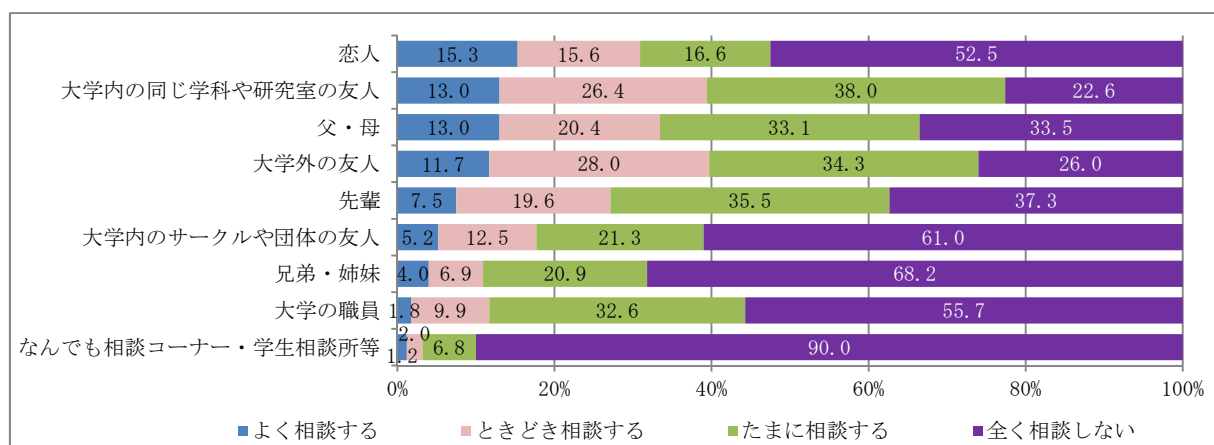


図25 悩みを相談する相手

相談相手には友人や恋人、先輩等の近い年齢の人たちが選ばれるだけでなく、大学院学生でも親に相談する学生が多いことがわかる。具体的記述では、「友人がいない」「恋人がいない」と記している学生も散見され、主要な相談相手となりうる対人的なつながりが希薄な学生は、問題を一人で抱えることになりかねない危険性が示唆される。また、他大学から大学院に入ってきた学生は対人関係を広げる機会に乏しく、孤立しやすいため、留学生を含めた他大学出身の大学院学生が、東京大学での大学院生活にスムーズに入っていけるように、対人ネットワーク構築の支援を充実していくことが望ましいだろう。

悩みが生じたときに、なんでも相談コーナーや学生相談所等の相談施設に「よく相談する」学生は、前回調査

(0.9%)よりも増加している(1.2%)。このことは、広報活動等を通して、学内の相談施設の認知と利用が広がっていることを示唆している。しかしその一方で、自由記述には、「学生相談所に相談に行っても、人員が足りず1～2週間先の予約を取らなければならず、利用しにくかった」といった記述や、「学生相談のシステムは大変有難いシステムだが、まだ敷居が高い印象がある」といった記述も見られた。学生のニーズに対応するための相談体制の強化に加えて、学生がより気軽に学生相談所等の相談施設を利用できるような対策を講じていく必要があるだろう。

一方で、「大学の教職員」に「よく相談する」という大学院学生の割合は減少している(前回2.7%→今回1.8%)。自由記述の中には、「教員の人間性に問題がある」といったものや、「事務職員の対応マナーが悪い」と教職員への不信感を表明しているものが散見された。研究指導や窓口業務で日常的に学生と接している教職員が、学生からより信頼され、身近な立場で学生のサポートができるように努めていくことが求められる。

3. メンタルヘルスに関わる体験について

メンタルヘルスに関わる体験についての質問は、「あなたは最近6ヶ月の間に次の項目について、体験したり悩んだりしましたか」というもので、(1)～(12)の項目について、「しばしば体験した」「ときどき体験した」「あまり体験しなかった」「全く体験しなかった」のいずれかを選択する形式で回答を求めている。

「しばしば体験した」または「ときどき体験した」と回答した学生の割合をみると、上位3項目は「強い不安に襲われた」(48.3%)、「人と話していてもとても緊張したり、不安を感じた」(34.2%)、「気分が落ち込んだり、何も興味が持てなくなった」(34.1%)となっている。これらの体験は、ひどい場合には「不安障害」や「鬱病」と診断されるケースも含まれると考えられる。この値からすると、大学院学生の中にはメンタルヘルスの状態が思わしくない学生が一定数いることが推察される。

第4位以下は、「やる気がなくなり、無気力状態(アパシー)になった」(33.6%)、「自分でもバカらしいと思う考えが浮かんだり、自分のすることを何度も確かめてみなければならなかった」(28.1%)、「ついつい過食してしまう傾向があった」(27.3%)、「人と一緒にいても寂しい感じがした」(26.5%)、「イライラしたり、物を壊したり人を傷つきたい衝動にかられた」(20.1%)等である。これらのメンタルヘルスに関する体験についても、かなり多くの学生が体験しているようである。

また、体験者の割合の高低については前回調査(2009年度)と同様の傾向であるが、すべての項目で体験者の割合が減少しており、若干ではあるが、大学院学生のメンタルヘルスは改善傾向にあると考えられる。

4. 体の不調とその対処

今回の調査で、過去1年間に体の不調が「よくあった」または「ときどきあった」と回答した学生は、合わせて41.4%であった。体の不調が「よくあった」「ときどきあった」「あまりなかった」と回答した学生の中で、地域のクリニックや病院を受診した者が34.8%、家族に相談した者が23.9%、保健センターを受診した者が16.9%であった。(図26)

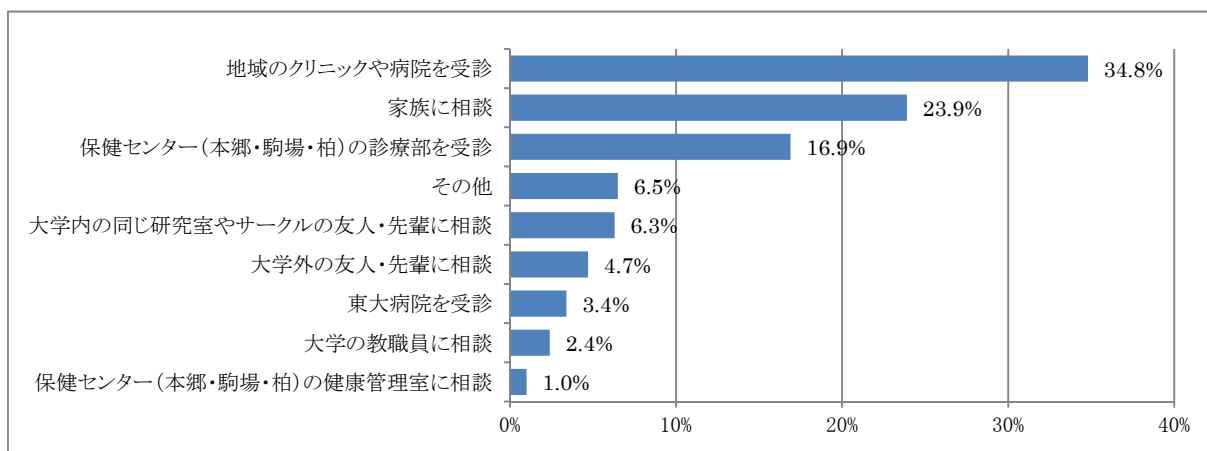


図26 体調不良があったときの対処

大学が行っている保健サービスの利用については、「保健センターの定期健康診断の受診」が49.7%で最も多く、「利用したことがない」(21.5%)、「保健センターの定期健康診断書や健康診断証明書の発行」(11.8%)が続いている。多くの学生が健康管理のために保健センターを活用していることがわかる。大学が行っている保健サービスへの満足度は、「満足」が41.2%、「どちらとも言えない」が52.4%、「不満」が6.4%となっており、基本的に受け入れられていると言えるだろう。ただし、自由記述の中では、「診察時間をもっと長くしてほしい」、「体調が優れないときに休息できるスペースを設けて欲しい」といった要望も寄せられていた。

5. 大学に望む対応

悩みや不安を解消するために、大学院学生は、大学に対してどのような対応を望むのだろうか。各要望項目について「非常にそう思う」と「まあそう思う」の合計の第1位が「奨学金の充実や、授業料免除など、経済的支援を強化する」(77.8%)、第2位が「就職指導や進路相談機能を充実させる」(63.0%)、第3位が「進学について相談機能を充実させる」(56.5%)である。この3項目は、前回調査(2009年度)や学部学生対象の調査(2010年度)でも上位3位に入っており、学生が一貫して、経済的支援や進路決定に関する支援の充実を訴えていることがわかる。

第4位以下は、「健康相談や保健センターの機能を充実させる」(54.0%)、「学生同士が支え合うネットワークづくりを強化する」(50.7%)、「個人的な悩みの学生相談やカウンセリング機能を充実させる」(48.1%)等が続いている。保健サービスや学生相談等の専門的支援の充実だけでなく、学生同士が支え合えるような大学コミュニティづくりが求められていると言えるだろう。

6. おわりに

以上の結果から、非常に多くの大学院学生が不安や悩みを抱えている現状が明らかになった。数ある不安や悩みの中でも、将来設計に関して不安や悩みを抱く大学院学生が非常に多いと言える。また、経済的に困窮している大学院学生が多く、奨学金の充実や授業料免除等経済的支援の充実を求める声が非常に強くなっている。さらに、研究を遂行する上で密接にコミュニケーションを行う必要がある指導教員との関係に苦しむ学生も一定数いることが明らかになった。これらの学生生活上のストレスから、メンタルヘルスに関連する問題を体験し、心身に不調をきたしている学生もかなりいることが示唆された。

学業の困難、経済状況の厳しさ、進路決定の難しさ等が増している近年のストレスフルな状況の中で、学生が抱く不安や悩みをゼロにすることは難しいが、学生が不安や悩みを抱えつつも、本学が提供する教育を十分に享受できるように、学生相談・学生支援のさらなる充実が求められていると言えよう。

第61回(2011年)学生生活実態調査票・単純集計表

I. 基本事項について伺います。

1. 性別	男	851人	72.5%	女	322人	27.5%
	無回答	13人		合計	1,173	100.0
2. 年齢	21~23歳	280人	23.7%	30~32歳	77人	6.5%
	24~26歳	517	43.7	33~35歳	39	3.3
	27~29歳	174	14.7	36歳以上	95	8.0
	無回答	4人		合計	1,182	100.0
	3. 課程	修士課程			618人	52.2%
	博士課程(獣医学又は医学を除く)			403	34.0	
	獣医学又は医学を履修する博士課程			72	6.1	
	専門職学位課程			91	7.7	
	無回答	2人		合計	1,184	100.0
3. 学年	1年	487人	41.6%	4年	41人	3.5%
	2年	480	41.0	5年	20	1.7
	3年	143	12.2	6年以上	1	0.1
	無回答	14人		合計	1,172	100.1
	4. 健在所属している研究科はどちらですか。	人文社会系研究科			56人	4.7%
	教育学研究科			43	3.6	
	法学政治学研究科			70	5.9	
	経済学研究科			21	1.8	
	総合文化研究科			116	9.8	
	理学系研究科			145	12.2	
	工学系研究科			226	19.1	
	農学生命科学研究科			103	8.7	
	医学系研究科			106	8.9	
	薬学系研究科			41	3.5	
	数理科学研究科			18	1.5	
	新領域創設科学研究科			147	12.4	
	情報理工学系研究科			48	4.1	
	情報学環・学際情報学府			21	1.8	
	公共政策学教育部			24	2.0	
	無回答	1人		合計	1,185	100.0
5. 現在主に研究に従事している場所はどちらですか。	所属する研究科			1,013人	85.8%	
	それ以外の学内の研究科、学内の研究所			95	8.1	
	学外の研究機関			72	6.1	
	無回答	6人		合計	1,180	100.0
6. 主に通っているキャンパスはどちらですか。	本郷	752人	63.7%	柏	148人	12.5%
	駒場Ⅰ	138	11.7	その他	72	6.1
	駒場Ⅱ	70	5.9			
	無回答	6人		合計	1,180	100.0
【修士課程及び専門職学位課程の方にお伺いします。】 7. 現在の大学院入学前の出身大学等についてお答えください。どれか1つに○をつけてください。	本学の学部学生			319人	45.1%	
	他大学の学部学生			325	45.9	
	本学の他研究科の大学院学生			4	0.6	
	他大学の大学院学生			14	2.0	
	社会人			39	5.5	
	その他			7	1.0	
	無回答	1人		合計	708	100.0
【修士課程及び専門職学位課程の方にお伺いします。】 8. あなたは社会人経験を経て入学されましたか。どれか1つに○をつけてください。	いいえ			636	90.0	
	社会人経験はあるが、現在は学業に専念している			50	7.1	
	現在は社会人生活と学業を両立させている			21	3.0	
	無回答	2人		合計	707	100.0

【修士課程及び専門職学位課程の方にお伺いします。】 9. 修士課程及び専門職学位課程に入学したのは何年ですか。どれか1つに○をつけてください。	2011年	345人	48.9%	
	2010年	303	43.0	
	2009年	49	7.0	
	2008年	5	0.7	
	2007年	3	0.4	
	無回答 4人	合計	705	100.0
【博士課程の方にお伺いします。】 10. 現在の大学院入学前の出身大学等についてお答えください。どれか1つに○をつけてください。	本学の大学院学生	310人	65.5%	
	本学の他研究科の大学院学生	9	1.9	
	他大学の大学院学生	61	12.9	
	社会人	80	16.9	
	その他	13	2.7	
無回答 2人	合計	473	99.9	
【博士課程の方にお伺いします。】 11. あなたは社会人経験を経て入学されましたか。どれか1つに○をつけてください。	いいえ	311人	65.8%	
	社会人経験はあるが、現在は学業に専念している	81	17.1	
	現在は社会人生活と学業を両立させている	81	17.1	
	無回答 2人	合計	473	100.0
【博士課程の方にお伺いします。】 12. 博士課程に入学または進学したのは何年ですか。どれか1つに○をつけてください。	2011年	148人	31.1%	
	2010年	142	29.8	
	2009年	106	22.3	
	2008年	41	8.6	
	2007年	17	3.6	
	2006年	8	1.7	
	2005年	5	1.1	
	2004年	7	1.5	
	2003年	2	0.4	
	2002年	0	0.0	
	無回答 1人	合計	476	100.1

Ⅱ. 大学院入学の目的

13. 本学の大学院に入学した目的は、どれにあたりますか。(2つまで選んで番号に○をつけてください。)	高度の専門知識・技術を身につけるため	805人	37.7%
	大学等の研究・教育職をめざして	363	17.0
	企業の研究職をめざして	99	4.6
	現在の仕事に生かすため	51	2.4
	学部卒業または修士修了時点で就職の機会がなかった	53	2.5
	学位を取得するため	399	18.7
	社会に貢献できる能力・資質を身につけるため	307	14.4
	特に目的はない	15	0.7
	その他	45	2.1
	無回答 8人	合計	2,137
14. 本学を選んだ理由は、どれにあたりますか。(3つまで選んで番号に○をつけてください。)	自分の志望した研究科(専攻分野)があったから	807人	28.4%
	スタッフ・環境・設備が優れているから	689	24.2
	東大の伝統や雰囲気憧れて	169	5.9
	実力相応と思ったから	99	3.5
	将来の進路を考えて	392	13.8
	社会的評価が高いから	274	9.6
	親・教師・先輩の勧め	120	4.2
	経済的理由による	128	4.5
	地理的に自宅に近いから	111	3.9
	その他	54	1.9
無回答 23人	合計	2,843	99.9

15. 現在所属する大学院を選ぶ際、他にどのような進路を考えましたか。(複数回答可)	本学の他の研究科	225人	15.8%
	他大学の大学院	488	34.3
	外国の大学院	119	8.4
	就職	195	13.7
	考えなかった	397	27.9
	無回答 6人	合計	1,424
【設問15で「他大学の大学院」または「外国の大学院」を選んだ方にお伺いします。】 16. 最終的に本学を選んだ理由は何ですか。(主たるものを2つまで選んで番号に○をつけてください。)	希望専攻分野が東大の方が充実していた	246人	45.1%
	東大の方がネームバリューがあった	122	22.4
	経済的理由	87	16.
	外国で勉強・生活するには語学の問題があった	21	3.9
	その他	69	12.7
	無回答 650人	合計	545

Ⅲ. 学会参加・研究活動について

17. 現在所属している日本国内・外の学会数はいくつですか。(1) 国内と (2) 国外のそれぞれに1～4のどれか1つに○をつけてください。

(1) 日本国内の学会	1 学会に所属	400人	34.0%
	2 学会に所属	208	17.7
	3 学会以上に所属	157	13.4
	学会に所属していない	411	34.9
	無回答 10人	合計	1,176
(2) 日本国外の学会	1 学会に所属	113	10.6%
	2 学会に所属	16	1.5
	3 学会以上に所属	3	0.3
	学会に所属していない	932	87.6
	無回答 122人	合計	1,064

18. 過去1年間の学会参加回数及び発表の件数を回答してください。(1)から(4)までそれぞれ1～4のどれか1つに○をつけてください。

日本国内の学会	(1) 参加回数	1 回参加	270人	23.1%
		2 回参加	254	21.7
		3 回以上参加	296	25.3
		なし	350	29.9
		無回答 16人	合計	1,170
	(2) 発表件数	1 件発表	312人	26.8%
		2 件発表	165	14.2
		3 件以上発表	154	13.2
		なし	535	45.9
		無回答 20人	合計	1,166
日本国外の学会	(3) 参加回数	1 回参加	176人	16.0%
		2 回参加	68	6.2
		3 回以上参加	30	2.7
		なし	823	75.0
		無回答 89人	合計	1,097
	(4) 発表件数	1 件発表	174人	15.8%
		2 件発表	54	4.9
		3 件以上発表	25	2.3
		なし	845	77.0
		無回答 88人	合計	1,098
19. 大学院に入学してから海外での調査研究をした経験がありますか。	ある	168人	14.2%	
	ない	1,015	85.8	
	無回答 3人	合計	1,183	100.0
20. 大学院に入学してから海外留学をした経験がありますか。	ある	51人	4.3%	
	ない	1,133	95.7	
	無回答 2人	合計	1,184	100.0

21. あなたは、大学院在学期間中、海外留学の機会があれば希望しますか。	留学したい	417 人	35.2 %
	どちらかといえば留学したい	300	25.3
	どちらともいえない	240	20.3
	どちらかといえば留学したくない	113	9.5
	留学したくない	114	9.6
	無回答 2人	合計	1,184 100.0
【設問21で「留学したい」、または「どちらかといえば留学したい」と答えた方にお伺いします。】 22. 留学の期間はどれくらいを希望しますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。	1ヶ月未満	36 人	5.0 %
	3ヶ月未満	116	16.2
	半年未満	100	14.0
	1年未満	197	27.6
	1年以上	266	37.2
	無回答 74人	合計	715 100.0
【設問21で「留学したい」、または「どちらかといえば留学したい」と答えた方にお伺いします。】 23. 留学に際しては、学位取得をめざしますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。	修士学位を取得したい	80 人	11.3 %
	博士学位を取得したい	150	21.2
	専門職学位を取得したい	34	4.8
	学位取得はめざさない	414	58.6
	その他	28	4.0
	無回答 13人	合計	706 100.0
【設問21で「どちらかといえば留学したくない」または「留学したくない」と答えた方にお伺いします。】 24. 留学したくない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。	語学力の問題	98 人	23.2 %
	経済的な問題	86	20.3
	大学の年間スケジュールとタイミングが合わない	46	10.9
	東京大学の教育で十分	72	17.0
	就職に不利	20	4.7
	留年しなければならない	51	12.1
	その他	50	11.8
	無回答 4人	合計	423 100.0
25. 外国の大学と交換留学制度があれば、留学したいと思っていますか。	条件によっては留学したい	789 人	72.0 %
	留学したいとは思わない	307	28.0
	無回答 90人	合計	1,096 100.0
【設問25で「条件によっては留学したい」と答えた方にお伺いします。】 26. どの地域に交換留学してみたいですか。 (主たるものを2つまで選んでください。)	アジア	79 人	5.7 %
	中近東	4	0.3
	アフリカ	8	0.6
	北アメリカ	613	44.0
	中南米 (メキシコを含む)	12	0.9
	西ヨーロッパ	568	40.8
	東ヨーロッパ (ロシアを含む)	70	5.0
	オセアニア	34	2.4
	その他	5	0.4
	無回答 101人	合計	1,393 100.0
27. あなたご自身のこれまでの研究成果についてどうお考えですか。	満足	49 人	4.2 %
	まあ満足	325	27.5
	どちらとも言えない	327	27.7
	やや不満	283	24.0
	不満	196	16.6
	無回答 6人	合計	1,180 100.0

【設問27で研究成果について「不満」または「やや不満」と答えた方にお伺いします。】 28. それは次のどのような不満ですか。 (主たるものを3つまで選んでください。)	思うように研究成果が上がらない	291人	24.9%			
	今やっている研究の意義がはっきりつかめない	73	6.2			
	研究テーマがはっきり決まっていない	70	6.0			
	研究の見通しが、たたない	140	12.0			
	自分の能力や適正に不安がある	214	18.3			
	研究時間を十分とれない	86	7.4			
	自分の研究について指導を受けられる教員がいない	29	2.5			
	教員の指導が不十分である	59	5.0			
	指導教員と意見が合わない	30	2.6			
	論文発表の機会が少ない	42	3.6			
	関連講義が十分そろっていない	23	2.0			
	研究設備・スペースが不備である	22	1.9			
	図書設備が不備である	11	0.9			
	研究上の経費が不足している	36	3.1			
	研究室の雑用に追われ自分の研究ができない	33	2.8			
その他	11	0.9				
無回答 6人	合計	1,170	100.0			
29. 研究室での日常生活の中で、次の各項目を総合的に見て、満足感をどの程度持っていますか。(1)～(5)までそれぞれ1～5のどれか1つに○をつけてください。						
(1) 研究設備・スペースについて	1. 満足	398人	33.8%			
	2. まあ満足	399	33.9			
	3. どちらとも言えない	124	10.5			
	4. やや不満	173	14.7			
	5. 不満	83	7.1			
	無回答 9人	合計	1,177 100.0			
(2) 研究上の経費について	1. 満足	430人	36.5%			
	2. まあ満足	284	24.1			
	3. どちらとも言えない	241	20.5			
	4. やや不満	133	11.3			
	5. 不満	89	7.6			
	無回答 9人	合計	1,177 100.0			
(3) 人間関係について	1. 満足	348人	29.6%			
	2. まあ満足	455	38.7			
	3. どちらとも言えない	207	17.6			
	4. やや不満	110	9.4			
	5. 不満	56	4.8			
	無回答 10人	合計	1,176 100.0			
(4) 指導教員の研究指導方法について	1. 満足	362人	30.8%			
	2. まあ満足	399	33.9			
	3. どちらとも言えない	214	18.2			
	4. やや不満	127	10.8			
	5. 不満	75	6.4			
	無回答 9人	合計	1,177 100.0			
(5) 所属研究科の事務の対応について	1. 満足	364人	30.9%			
	2. まあ満足	448	38.1			
	3. どちらとも言えない	243	20.6			
	4. やや不満	82	7.0			
	5. 不満	40	3.4			
	無回答 9人	合計	1,177 100.0			
30. あなたの研究にあなた自身が負担しているお金は過去1年間でどれくらいですか。(概算で、自己負担額を単位「千円」で記入してください。)		度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
	(1) 研究に必要な書籍類の購入費	1,146	0千円	1,000千円	46.7千円	83.4
	(2) 研究に必要なコピー代、その他文房具の購入費	1,141	0	500	12.1	26.9
	(3) 調査、実験等の費用	1,113	0	9,000	43.8	315.2
	(4) 学会費、学会旅費、参加費、学会に関する諸費用	1,128	0	2,500	34.5	101.6
	(5) その他	663	0	1,000	17.5	84.4
無回答 35人						

31. 大学、短大などの非常勤講師或いはTA、RAをしていますか。	現在している	299人	25.3%
	過去にしたことがある	317	26.9
	していない(したことがない)	564	47.8
	無回答 6人	合計 1,180	100.0
32. 一週間に何日ぐらい大学に来ますか。次の中から、最もあてはまるものを1つ選んでください。	0日	34人	2.9%
	1日～2日	146	12.4
	3日～4日	227	19.3
	5日	339	28.8
	6日	311	26.4
	7日	122	10.3
	無回答 7人	合計 1,179	100.1
33. あなたは、平日の夜、遅くまでキャンパス内にいることがありますか。次の中から、最もあてはまるものを1つ選んでください。	夜9時までキャンパスにいない。	219人	18.5%
	夜9時くらいまでならキャンパスにしていることはある。	189	16.0
	夜10時くらいまでならキャンパスにしていることはある。	163	13.8
	夜11時くらいまでならキャンパスにしていることはある。	214	18.1
	深夜12時過ぎまでキャンパスにしていることがある。	398	33.6
	無回答 3人	合計 1,183	100.0
【設問33で2～5を選んだ(「夜9時以降キャンパスにしていることはある」方に伺います)】 34. この半年間で夜9時過ぎまでキャンパスにいた回数で、次の中から、最もあてはまるものを1つ選んでください。	半年で1、2回くらい。	65人	6.8%
	月に1、2回くらい。	158	16.5
	週に1、2回くらい。	257	26.8
	週に3、4回くらい。	220	23.0
	ほぼ毎日。	258	26.9
	無回答 9人	合計 958	100.0
35. あなたは、この冬学期が始まってから昼間を含めて土曜日・日曜日・祝日にキャンパス内にいたことはありますか。	土・日・祝日にキャンパス内にいたことはない。	208人	17.7%
	土・日・祝日にキャンパス内にいたことがある。	970	82.3
	無回答 8人	合計 1,178	100.0
36. あなたの所属している研究室(実験室を含む)や学習スペースの利用について、次のあてはまる番号に○を付けてください	24時間自由に利用できるスペース(研究室や実験室など)がある。	917人	75.3%
	届けを出せば、24時間自由に利用できるスペース(研究室や実験室など)がある。	36	3.0
	一時的に鍵やカードなどを貸与されて利用できるスペース(研究室や実験室など)がある。	106	8.7
	開設時間以外に利用することはできない。	140	11.5
	利用できるスペースが無い。	18	1.5
無回答 8人	合計 1,217	100.0	
37. 研究室に、あなたの専用又は共用の机はありますか。	専用の机がある	862人	72.9%
	共用の机がある	186	15.7
	どちらも無い	134	11.3
	無回答 6人	合計 1,182	100.0
38. 2011年3月11日の東日本大震災の発生時にあなたはどこにいましたか。	キャンパス内	432人	36.5%
	自宅	299	25.2
	その他	454	38.3
	無回答 1人	合計 1,185	100.0
【設問38で「1.キャンパス内」にいたと答えた方にお伺いします。】 39. 地震発生後は、どうしましたか。あてはまる番号に1つだけ選んで○をしてください。	帰宅した	268人	62.0%
	校内に泊まった	131	30.3
	友人・知人宅に泊まった	25	5.8
	帰宅困難者を受け入れた施設に泊まった	1	0.2
	その他	7	1.6
無回答 1人	合計 432	100.0	
【全員に伺います】 40. 地震発生後の研究室や部局の対応についてお伺いします。次のようなことはありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。	行動について指示を受けた	593人	40.8%
	情報やニュースの伝達を受けた	440	30.3
	大学の備蓄の提供を受けた	50	3.4
	その他	132	9.1
	何も無かった	237	16.3
	無回答 14人	合計 1,452	100.0

【地震発生後の研究室や部局の対応があった方にお伺いします。】 41. その対応はどのような手段で受けられましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。	直接口頭で	280 人	21.5 %			
	電話	57	4.4			
	電子メール	598	46.0			
	掲示板等	59	4.5			
	安否確認の問い合わせを受けた	271	20.8			
	その他	35	2.7			
	無回答 95人	合計	1,300	99.9		
【地震発生後の研究室や部局の対応があった方にお伺いします。】 42. 大震災時に、大学のあなたに対する対応は十分でしたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。	十分だった	280 人	32.7 %			
	まあ十分だった	286	33.5			
	どちらとも言えない	220	25.7			
	あまり十分ではなかった	32	3.7			
	十分でなかった	37	4.3			
	無回答 94人	合計	855	99.9		
	【全員に伺います】 44. 東日本大震災の発生後に、あなたは情報を収集するために、次のようなことをしましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。	東京大学のホームページ(www.u-tokyo.ac.jp)にアクセスした	402 人	22.8 %		
自分が所属している、または所属予定の研究科のホームページにアクセスした		310	17.6			
自分が所属している、または所属予定の研究科の事務に電話やメールをした		45	2.6			
自分が所属している、または所属予定の研究室の教員に電話やメールをした		223	12.6			
自分が所属している、または所属予定の研究室の先輩やスタッフ、同級生に電話やメールをした		359	20.4			
上記のようなことは特にしなかった		425	24.1			
無回答 6人		合計	1,764	100.0		
45. 大学に非常時に備えた備蓄があることをご存じでしたか。	どのようにして入手できるか知っていた	8 人	0.7 %			
	入手方法はわからないがあることは知っていた	283	23.9			
	知らなかった	892	75.4			
	無回答 3人	合計	1,183	100.0		
【博士課程の方にお伺いします。】 46. あなたの博士論文の執筆予定はいかがですか。次の中から1つだけ番号に○をしてください。	既にかいた	45 人	9.5 %			
	在籍中に書く予定	386	81.8			
	在籍中に書く予定はないが、課程博士は取りたい	33	7.0			
	課程博士の期間内には書かない	8	1.7			
	無回答 5人	合計	472	100.0		
47. 研究上（研究発表と論文作成等を含む）使用する主な言語はどれですか。 （主たるものを2つまで選んで番号に○をつけてください。）	日本語	1,021 人	53.8 %			
	英語	819	43.2			
	中国語	4	0.2			
	独語	19	1.0			
	仏語	15	0.8			
	その他	20	1.1			
	無回答 93人	合計	1,898	100.0		
48. 1日平均および1週平均の研究時間はどれくらいですか。 （自宅等での作業時間も含む）		度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
	1日平均の研究時間	1,094	0時間	20時間	7.9時間	3.5
	1週平均の研究時間	1,092	0	99	44.7	22.0
	無回答 95人					

IV. 就職について

【修士課程の方にお伺いします。】 49. 修士課程修了後について、どのように考えていますか。 (2つまで選んで番号に○をつけてください。)	修士課程と同じ研究室の博士課程へ進学したい	204人	23.2%
	東京大学の他の研究室の博士課程へ進学したい	24	2.7
	他大学の博士課程へ進学したい	10	1.1
	学士入学したい	7	0.8
	留学したい(博士課程進学後の留学を含む)	75	8.5
	研究職に就職したい	218	24.8
	研究職や専門職以外で就職したい	308	35.0
	現在の職場に戻りたい(社会人入学の方のみ)	14	1.6
	現在の職場から新しい職場へ移りたい(社会人入学の方のみ)	12	1.4
	その他	7	0.8
	無回答 28人	合計	879
【博士課程の方にお伺いします。】 50. 博士課程修了後について、どのように考えていますか。 (2つまで選んで番号に○をつけてください。)	博士課程と同じ研究室に特別研究員など(研究生を除く)として残りたい	90人	11.7%
	東京大学の他の研究室に特別研究員など(研究生を除く)として残りたい	32	4.2
	他大学の研究室に特別研究員など(研究生を除く)として移りたい	96	12.5
	国公立研究機関(独立行政法人を含む)の研究室に特別研究員など(研究生を除く)として移りたい	83	10.8
	学士入学したい	3	0.4
	留学したい	75	9.8
	研究職に就職したい	234	30.5
	研究職や専門職以外で就職したい	69	9.0
	現在の職場に戻りたい(社会人入学の方のみ)	29	3.8
	現在の職場から新しい職場へ移りたい(社会人入学の方のみ)	23	3.0
	その他	33	4.3
無回答 2人	合計	767	100.0
51. 将来どのような方面に就職したいと思っていますか。 (2つまで選んで番号に○をつけてください。)	大学(短大、附置研究所含む)の教育職、研究職	503人	26.5%
	大学以外の教育職	47	2.5
	国公立研究機関(独立行政法人を含む)の研究職	283	14.9
	国、地方公共団体の研究職、技術職	86	4.5
	国、地方公共団体の一般職	73	3.8
	企業の研究職、技術職	434	22.9
	企業の一般職	238	12.5
	専門職 ※大学教員や研究職以外(弁護士、公認会計士、税理士、医師等)	172	9.1
	その他	63	3.3
	無回答 4人	合計	1,899
52. 就職の見通しについて、どのように考えていますか。次の中から1つだけ番号に○をしてください。	既に就職が決まっている	258人	21.8%
	決まってないが、見通しは明るい	63	5.4
	何とかかなると思っている	332	28.2
	かなり厳しいと思っている	234	19.9
	見通しが立たない	167	14.2
	あまり考えていない	90	7.7
	その他	32	2.7
無回答 8人	合計	1,176	100.0
53. 就職の情報について、どのように考えていますか。次の中から1つだけ番号に○をつけてください。	公募で探す	276人	23.8%
	所属する研究室の関係者(教授、先輩等)の斡旋に頼る	127	11.0
	自分で情報収集に努める	729	62.9
	その他	27	2.3
無回答 25人	合計	1,159	100.0
【教育職、研究職を目指している大学院学生にお伺いします。】 54. 博士課程修了後、何年位で教育職・研究職に就けるとお考えですか。次の中から1つだけ番号に○をしてください。	直ちに	97人	16.4%
	1~2年	84	14.2
	3~5年	148	25.0
	6~10年	41	6.9
	見通しが立たない	223	37.6
	無回答 593人	合計	593

V. 不安・悩みについて

55. 現在の学生生活の中で、次の各項目について、どの程度悩んだり不安を感じたりしていますか。

(1)～(11)までそれぞれ1～4のどれか1つに○をつけてください。

(1) 勉学 (成績・単位など)	1. よく悩む	288 人	24.3 %
	2. ときどき悩む	353	29.8
	3. あまり悩まない	315	26.6
	4. 全く悩まない	227	19.2
	無回答 3人	合計	1,183
(2) 進学	1. よく悩む	168 人	14.2 %
	2. ときどき悩む	239	20.2
	3. あまり悩まない	361	30.5
	4. 全く悩まない	414	35.0
	無回答 4人	合計	1,182
(3) 就職	1. よく悩む	418 人	35.3 %
	2. ときどき悩む	405	34.2
	3. あまり悩まない	219	18.5
	4. 全く悩まない	142	12.0
	無回答 2人	合計	1,184
(4) 将来の進路や生き方	1. よく悩む	500 人	42.3 %
	2. ときどき悩む	438	37.1
	3. あまり悩まない	150	12.7
	4. 全く悩まない	94	8.0
	無回答 4人	合計	1,182
(5) 友人との対人関係	1. よく悩む	92 人	7.8 %
	2. ときどき悩む	269	22.7
	3. あまり悩まない	542	45.8
	4. 全く悩まない	280	23.7
	無回答 3人	合計	1,183
(6) 教職員との対人関係	1. よく悩む	120 人	10.2 %
	2. ときどき悩む	303	25.6
	3. あまり悩まない	512	43.3
	4. 全く悩まない	247	20.9
	無回答 4人	合計	1,182
(7) 性・異性・恋愛・結婚	1. よく悩む	179 人	15.1 %
	2. ときどき悩む	399	33.8
	3. あまり悩まない	365	30.9
	4. 全く悩まない	239	20.2
	無回答 4人	合計	1,182
(8) 経済的なことや経済的自立	1. よく悩む	372 人	31.5 %
	2. ときどき悩む	417	35.3
	3. あまり悩まない	275	23.3
	4. 全く悩まない	117	9.9
	無回答 5人	合計	1,181
(9) 自分の性格	1. よく悩む	208 人	17.6 %
	2. ときどき悩む	378	32.0
	3. あまり悩まない	372	31.5
	4. 全く悩まない	224	19.0
	無回答 4人	合計	1,182
(10) 自分の体調や健康	1. よく悩む	138 人	11.7 %
	2. ときどき悩む	345	29.2
	3. あまり悩まない	447	37.8
	4. 全く悩まない	252	21.3
	無回答 4人	合計	1,182

(11)人生の意義・目標	1. よく悩む	255 人	21.6 %
	2. ときどき悩む	371	31.4
	3. あまり悩まない	333	28.2
	4. 全く悩まない	223	18.9
	無回答 4人	合計	1,182
56. あなたは、不安や悩みを感じたとき、だれと相談したり、話し合ったりしますか。			
(1)～(9)までそれぞれ1～4のどれか1つに○をつけてください。			
(1)父・母	1. よく相談する	153 人	13.0 %
	2. ときどき相談する	241	20.4
	3. たまに相談する	390	33.1
	4. 全く相談しない	395	33.5
	無回答 7人	合計	1,179
(2)兄弟・姉妹	1. よく相談する	46 人	4.0 %
	2. ときどき相談する	80	6.9
	3. たまに相談する	243	20.9
	4. 全く相談しない	792	68.2
	無回答 25人	合計	1,161
(3)なんでも相談コーナー・学生相談所等	1. よく相談する	14 人	1.2 %
	2. ときどき相談する	23	2.0
	3. たまに相談する	80	6.8
	4. 全く相談しない	1,058	90.0
	無回答 11人	合計	1,175
(4)大学の教職員	1. よく相談する	21 人	1.8 %
	2. ときどき相談する	117	9.9
	3. たまに相談する	384	32.6
	4. 全く相談しない	656	55.7
	無回答 8人	合計	1,178
(5)大学内の同じ学科や研究室の友人	1. よく相談する	153 人	13.0 %
	2. ときどき相談する	311	26.4
	3. たまに相談する	448	38.0
	4. 全く相談しない	267	22.6
	無回答 7人	合計	1,179
(6)大学内のサークルや団体の友人	1. よく相談する	61 人	5.2 %
	2. ときどき相談する	146	12.5
	3. たまに相談する	249	21.3
	4. 全く相談しない	714	61.0
	無回答 16人	合計	1,170
(7)大学外の友人	1. よく相談する	138 人	11.7 %
	2. ときどき相談する	330	28.0
	3. たまに相談する	404	34.3
	4. 全く相談しない	307	26.0
	無回答 7人	合計	1,179
(8)先輩	1. よく相談する	88 人	7.5 %
	2. ときどき相談する	231	19.6
	3. たまに相談する	418	35.5
	4. 全く相談しない	439	37.3
	無回答 10人	合計	1,176
(9)恋人	1. よく相談する	178 人	15.3 %
	2. ときどき相談する	181	15.6
	3. たまに相談する	192	16.6
	4. 全く相談しない	609	52.5
	無回答 26人	合計	1,160

57. あなたは最近6ヶ月の間に次の項目について、体験したり悩んだりしましたか。

(1)～(12)までそれぞれ1～4のどれか1つに○をつけてください。

(1)強い不安に襲われた	1.しばしば体験した	258人	21.8%
	2.ときどき体験した	314	26.5
	3.あまり体験しなかった	288	24.3
	4.全く体験しなかった	323	27.3
	無回答 3人	合計	1,183
(2)自分でもバカらしいと思う考えが浮かんだり、自分のすることを何度も確かめてみなければならなかった	1.しばしば体験した	126人	10.7%
	2.ときどき体験した	206	17.4
	3.あまり体験しなかった	328	27.7
	4.全く体験しなかった	522	44.2
	無回答 4人	合計	1,182
(3)人と話していてもとても緊張したり、不安を感じた	1.しばしば体験した	149人	12.6%
	2.ときどき体験した	256	21.6
	3.あまり体験しなかった	372	31.4
	4.全く体験しなかった	406	34.3
	無回答 3人	合計	1,183
(4)他の人が自分に敵意を持っている、人から監視されていると感じた	1.しばしば体験した	55人	4.7%
	2.ときどき体験した	124	10.5
	3.あまり体験しなかった	259	21.9
	4.全く体験しなかった	744	62.9
	無回答 4人	合計	1,182
(5)バス・地下鉄・電車などの乗り物に乗るのが怖かった	1.しばしば体験した	19人	1.6%
	2.ときどき体験した	29	2.5
	3.あまり体験しなかった	145	12.3
	4.全く体験しなかった	989	83.7
	無回答 4人	合計	1,182
(6)気分が落ち込んだり、何も興味を持てなくなった	1.しばしば体験した	148人	12.5%
	2.ときどき体験した	255	21.6
	3.あまり体験しなかった	308	26.1
	4.全く体験しなかった	470	39.8
	無回答 5人	合計	1,181
(7)人と一緒にいても寂しい感じがした	1.しばしば体験した	89人	7.5%
	2.ときどき体験した	225	19.0
	3.あまり体験しなかった	289	24.4
	4.全く体験しなかった	581	49.1
	無回答 2人	合計	1,184
(8)体の病気でもないのに、息切れ・めまい・動悸などがした	1.しばしば体験した	54人	4.6%
	2.ときどき体験した	105	8.9
	3.あまり体験しなかった	207	17.5
	4.全く体験しなかった	818	69.1
	無回答 2人	合計	1,184
(9)イライラしたり、物を壊したり人を傷つけたりしたい衝動にかられた	1.しばしば体験した	60人	5.1%
	2.ときどき体験した	177	15.0
	3.あまり体験しなかった	284	24.0
	4.全く体験しなかった	662	56.0
	無回答 3人	合計	1,183
(10)やる気がなくなり、無気力状態(アパシー)になった	1.しばしば体験した	144人	12.2%
	2.ときどき体験した	253	21.4
	3.あまり体験しなかった	320	27.0
	4.全く体験しなかった	466	39.4
	無回答 3人	合計	1,183
(11)つつい過食してしまう傾向があった	1.しばしば体験した	95人	8.0%
	2.ときどき体験した	229	19.3
	3.あまり体験しなかった	274	23.1
	4.全く体験しなかった	586	49.5
	無回答 2人	合計	1,184

(12) 食欲がなくなり、食べ物を口に したくないと思った	1. しばしば体験した	42 人	3.6 %
	2. ときどき体験した	129	10.9
	3. あまり体験しなかった	236	19.9
	4. 全く体験しなかった	776	65.6
	無回答 3人	合計	1,183
58. あなたの悩みや不安を解消するために、大学にどのような対応があればよいと思いますか。			
(1)～(10)までそれぞれ1～4のどれか1つに○をつけてください。			
(1) 学生が教員や職員と接触する機 会を増やす	1. 非常にそう思う	69 人	5.9 %
	2. まあそう思う	429	36.4
	3. あまりそう思わない	427	36.3
	4. 全くそう思わない	252	21.4
	無回答 9人	合計	1,177
(2) 教務課や学生支援課などの事務 機能を充実させる	1. 非常にそう思う	67 人	5.7 %
	2. まあそう思う	302	25.7
	3. あまりそう思わない	504	42.8
	4. 全くそう思わない	304	25.8
	無回答 9人	合計	1,177
(3) クラス担任制度やチューター制 度を充実させる	1. 非常にそう思う	54 人	4.6 %
	2. まあそう思う	235	20.0
	3. あまりそう思わない	502	42.7
	4. 全くそう思わない	384	32.7
	無回答 11人	合計	1,175
(4) 学習方法や学習内容について相 談機能を充実させる	1. 非常にそう思う	112 人	9.5 %
	2. まあそう思う	422	36.0
	3. あまりそう思わない	381	32.5
	4. 全くそう思わない	258	22.0
	無回答 13人	合計	1,173
(5) 進学について相談機能を充実さ せる	1. 非常にそう思う	169 人	14.4 %
	2. まあそう思う	495	42.1
	3. あまりそう思わない	310	26.4
	4. 全くそう思わない	202	17.2
	無回答 10人	合計	1,176
(6) 就職指導や進路相談機能を充実 させる	1. 非常にそう思う	254 人	21.6 %
	2. まあそう思う	487	41.4
	3. あまりそう思わない	277	23.6
	4. 全くそう思わない	158	13.4
	無回答 12人	合計	1,176
(7) 健康相談や保険センターの機能 を充実させる	1. 非常にそう思う	166 人	14.1 %
	2. まあそう思う	469	39.9
	3. あまりそう思わない	356	30.3
	4. 全くそう思わない	183	15.6
	無回答 12人	合計	1,174
(8) 個人的な悩みの学生相談やカウ ンセリング機能を充実させる	1. 非常にそう思う	128 人	10.9 %
	2. まあそう思う	439	37.2
	3. あまりそう思わない	414	35.1
	4. 全くそう思わない	198	16.8
	無回答 7人	合計	1,179
(9) 奨学金の充実や、授業料免除な ど、経済的支援を強化する	1. 非常にそう思う	562 人	47.7 %
	2. まあそう思う	354	30.1
	3. あまりそう思わない	179	15.2
	4. 全くそう思わない	82	7.0
	無回答 9人	合計	1,177
(10) 学生同士が支え合うネットワー クづくりを強化する	1. 非常にそう思う	179 人	15.2 %
	2. まあそう思う	418	35.5
	3. あまりそう思わない	406	34.5
	4. 全くそう思わない	174	14.8
	無回答 9人	合計	1,177

59. 過去1年間に体の不調はありましたか？次の中からどれか1つに○をつけてください。	よくあった	112人	9.5%
	ときどきあった	377	31.9
	あまりなかった	417	35.3
	全くなかった	276	23.4
	無回答 4人	合計	1,182
【設問59で、体の不調が「よくあった」「ときどきあった」「あまりなかった」と答えた方にお伺いします。】 60. 過去1年間に体の不調があったときに、どのように対処しましたか？あてはまるものすべてに○をつけてください。	家族に相談	358人	23.9%
	大学内の同じ研究室やサークルの友人・先輩に相談	94	6.3
	大学外の友人・先輩に相談	71	4.7
	大学の教職員に相談	36	2.4
	保健センター（本郷・駒場・柏）の診療部を受診	253	16.9
	保健センター（本郷・駒場・柏）の健康管理室に相談	15	1.0
	東大病院を受診	51	3.4
	地域のクリニックや病院を受診	521	34.8
	その他	98	6.5
	無回答 45人	合計	1,497
【全員に伺います】 61. 過去1年間に、大学が行っている保健サービスを利用しましたか？利用したものをすべて選んでください。	大学のホームページや掲示板に掲載された健康情報や通知にアクセス	88人	5.7%
	保健センターのホームページや掲示板に掲載された健康情報や通知にアクセス	145	9.3
	保健センターの定期健康診断の受診	774	49.7
	保健センターの定期健康診断書や健康診断証明書の発行	184	11.8
	利用したことがない	335	21.5
	その他	31	2.0
	無回答 4人	合計	1,557
62. 大学が行っている保健サービスに満足していますか？	満足	486人	41.2%
	どちらとも言えない	618	52.4
	不満	75	6.4
	無回答 7人	合計	1,179

VI. 大学への要望

63. 現在、大学では大学の社会的貢献を促進し、また、国際化を推進しようとしています。これらに関連して次に挙げるそれぞれの事項はどの程度重要だと思いますか。(1)～(8)までそれぞれ1～5のどれか1つに○をつけてください。			
(1) 社会的貢献を促進するために、授業の外部開放を進める	1. 非常に重要	103人	8.7%
	2. かなり重要	136	11.5
	3. 重要	392	33.2
	4. あまり重要ではない	409	34.6
	5. ほとんど重要ではない	141	11.9
	無回答 5人	合計	1,181
(2) 社会的貢献を促進するために、産学協同をより推進する	1. 非常に重要	217人	18.4%
	2. かなり重要	266	22.6
	3. 重要	468	39.8
	4. あまり重要ではない	168	14.3
	5. ほとんど重要ではない	58	4.9
	無回答 9人	合計	1,177
(3) 社会的貢献を促進するために、直接的に社会的要請の高い研究を推進する	1. 非常に重要	132人	11.2%
	2. かなり重要	190	16.1
	3. 重要	427	36.2
	4. あまり重要ではない	316	26.8
	5. ほとんど重要ではない	114	9.7
	無回答 7人	合計	1,179
(4) 社会的貢献を促進するために、(むしろ) 基礎研究を充実させる	1. 非常に重要	297人	25.2%
	2. かなり重要	305	25.8
	3. 重要	453	38.4
	4. あまり重要ではない	104	8.8
	5. ほとんど重要ではない	21	1.8
	無回答 6人	合計	1,180

(5) 研究の国際化を推進するため、研究者の交流をより積極的に進める	1. 非常に重要	417 人	35.3 %
	2. かなり重要	372	31.5
	3. 重要	330	28.0
	4. あまり重要ではない	43	3.6
	5. ほとんど重要ではない	18	1.5
	無回答 6人	合計	1,180
(6) 研究の国際化を推進するため、国際共同研究をより推奨する	1. 非常に重要	365 人	30.9 %
	2. かなり重要	339	28.7
	3. 重要	374	31.7
	4. あまり重要ではない	81	6.9
	5. ほとんど重要ではない	21	1.8
	無回答 6人	合計	1,180
(7) 教育の国際化を推進するため、日本から外国へ留学する機会をもっと拡大する	1. 非常に重要	462 人	39.2 %
	2. かなり重要	301	25.5
	3. 重要	333	28.2
	4. あまり重要ではない	65	5.5
	5. ほとんど重要ではない	19	1.6
	無回答 6人	合計	1,180
(8) 教育の国際化を推進するため、外国からの留学生をより一層受け入れる	1. 非常に重要	287 人	24.3 %
	2. かなり重要	263	22.3
	3. 重要	412	34.9
	4. あまり重要ではない	162	13.7
	5. ほとんど重要ではない	56	4.7
	無回答 6人	合計	1,180
64. 大学へ特に要望したいことや期待することは何ですか。			
(1)～(17) までそれぞれ1～5のどれか1つに○をつけてください。			
(1) カリキュラムの改革	1. とっても期待する	160 人	13.6 %
	2. 期待する	357	30.3
	3. どちらとも言えない	458	38.9
	4. 期待しない	132	11.2
	5. 全く期待しない	70	5.9
	無回答 9人	合計	1,177
(2) 実験室や実習室の充実	1. とっても期待する	318 人	26.9 %
	2. 期待する	426	36.1
	3. どちらとも言えない	306	25.9
	4. 期待しない	72	6.1
	5. 全く期待しない	58	4.9
	無回答 6人	合計	1,180
(3) 進学振分け制度の改善	1. とっても期待する	74 人	6.3 %
	2. 期待する	176	15.0
	3. どちらとも言えない	652	55.5
	4. 期待しない	140	11.9
	5. 全く期待しない	133	11.3
	無回答 11人	合計	1,175
(4) 授業の方法の工夫・改善	1. とっても期待する	234 人	19.8 %
	2. 期待する	458	38.8
	3. どちらとも言えない	349	29.6
	4. 期待しない	77	6.5
	5. 全く期待しない	62	5.3
	無回答 6人	合計	1,180
(5) 単位認定や学年試験を厳しく	1. とっても期待する	78 人	6.6 %
	2. 期待する	161	13.6
	3. どちらとも言えない	536	45.3
	4. 期待しない	251	21.2
	5. 全く期待しない	156	13.2
	無回答 4人	合計	1,182

(6) カウンセリング・相談体制の充実	1. とっても期待する	108 人	9.2 %
	2. 期待する	308	26.1
	3. どちらとも言えない	470	39.9
	4. 期待しない	176	14.9
	5. 全く期待しない	116	9.8
	無回答 8人	合計	1,178
(7) 奨学金（育英資金）・育英貸付金などの拡充や増額	1. とっても期待する	595 人	50.3 %
	2. 期待する	347	29.3
	3. どちらとも言えない	180	15.2
	4. 期待しない	38	3.2
	5. 全く期待しない	23	1.9
	無回答 3人	合計	1,183
(8) 社会への貢献	1. とっても期待する	276 人	23.4 %
	2. 期待する	484	41.0
	3. どちらとも言えない	300	25.4
	4. 期待しない	67	5.7
	5. 全く期待しない	53	4.5
	無回答 6人	合計	1,180
(9) 海外留学の支援	1. とっても期待する	458 人	38.7 %
	2. 期待する	421	35.6
	3. どちらとも言えない	243	20.6
	4. 期待しない	30	2.5
	5. 全く期待しない	30	2.5
	無回答 4人	合計	1,182
(10) 施設設備の充実	1. とっても期待する	435 人	36.8 %
	2. 期待する	464	39.3
	3. どちらとも言えない	221	18.7
	4. 期待しない	36	3.0
	5. 全く期待しない	26	2.2
	無回答 4人	合計	1,182
(11) 教育スタッフの充実	1. とっても期待する	333 人	28.1 %
	2. 期待する	466	39.4
	3. どちらとも言えない	292	24.7
	4. 期待しない	59	5.0
	5. 全く期待しない	33	2.8
	無回答 3人	合計	1,183
(12) 少人数教育の実施	1. とっても期待する	166 人	14.1 %
	2. 期待する	319	27.0
	3. どちらとも言えない	488	41.3
	4. 期待しない	145	12.3
	5. 全く期待しない	63	5.3
	無回答 5人	合計	1,181
(13) 単位認定や学年試験を緩やかに	1. とっても期待する	71 人	6.0 %
	2. 期待する	102	8.6
	3. どちらとも言えない	555	47.0
	4. 期待しない	258	21.8
	5. 全く期待しない	196	16.6
	無回答 4人	合計	1,182
(14) 図書館の充実	1. とっても期待する	457 人	38.6 %
	2. 期待する	420	35.5
	3. どちらとも言えない	224	18.9
	4. 期待しない	54	4.6
	5. 全く期待しない	28	2.4
	無回答 3人	合計	1,183

(15) 学生自治の尊重	1. とっても期待する	92 人	7.8 %
	2. 期待する	182	15.4
	3. どちらとも言えない	603	51.1
	4. 期待しない	185	15.7
	5. 全く期待しない	118	10.0
	無回答 6人	合計	1,180
(16) 就職対策の充実	1. とっても期待する	361 人	30.5 %
	2. 期待する	404	34.2
	3. どちらとも言えない	282	23.9
	4. 期待しない	78	6.6
	5. 全く期待しない	57	4.8
	無回答 4人	合計	1,182
(17) 国際化の推進	1. とっても期待する	407 人	34.4 %
	2. 期待する	446	37.7
	3. どちらとも言えない	249	21.1
	4. 期待しない	43	3.6
	5. 全く期待しない	37	3.1
	無回答 4人	合計	1,182

VII. 家庭の状況について

65. 実家の所在地はどこですか。	東京	324 人	27.3 %	近畿地方	108 人	9.1 %	
	関東地方 (東京都を除く)	416	35.1	中国地方	34	2.9	
	北海道	15	1.3	四国地方	27	2.3	
	東北地方	40	3.4	九州・沖縄地方	69	5.8	
	中部地方	149	12.6	日本国外	3	0.3	
	無回答 1人	合計	1,185	100.0			
66. 結婚していますか。	未婚	1,040 人	87.8 %				
	既婚	145	12.2				
	無回答 1人	合計	1,185	100.0			
67. 子供は何人いますか。	0 人	1,097 人	93.4 %				
	1 人	34	2.9				
	2 人	34	2.9				
	3 人以上	10	0.9				
	無回答 11人	合計	1,175	100.0			
【設問67で、「子供がいる」と答えた方のうち、未就学児がいる方にお伺いします。】 68. あなたの子供の世話はどのようにしていますか。全体を100%として、以下のそれぞれに割合を記入してください。	(1) 自分	度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差	
	(2) 配偶者	57	0 %	100 %	31.7 %	23.7	
	(3) 自分又は配偶者の親	56	0	100	50.1	29.8	
	(4) その他の親族	35	0	70	11.0	14.7	
	(5) 知人	25	0	10	0.9	2.4	
	(6) 保育所・幼稚園等	24	0	10	0.8	2.4	
	(7) その他	38	0	50	22.6	19.3	
		17	0	5	0.4	1.2	
69. あなたの家族は、あなたを含めて何人ですか。 (家族とは、生計を共にしている者)	1 人	212 人	18.0 %	6 人	43 人	3.6 %	
	2 人	111	9.4	7 人	9	0.8	
	3 人	273	23.1	8 人	2	0.2	
	4 人	384	32.5	9 人以上	0	0.0	
	5 人	146	12.4				
	無回答 6人	合計	1,180	100.0			
70. あなたの現在の生計を主に支えているのはだれですか。 (複数回答可)	父	753 人	51.9 %	配偶者	77 人	5.3 %	
	母	246	17.0	その他	24	1.7	
	本人	351	24.2				
	無回答 5人	合計	1,451	100.0			
71. あなたの親元の昨年 (2010年1月～12月) の年間税込み収入はどれくらいですか。 (給与生活者の場合はボーナスも含めてください。)	年収	度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差	
	年収わからない	510 人	653	-3 十万円	900 十万円	89.4 十万円	86.4
	無回答 23人						

72. あなたの親元の職業は何ですか。 (職業を持っている方は、ご自分の職業も回答してください)	父親の職業	専門的、技術的職業	272 人	25.3 %	
		教育的職業	117	10.9	
		管理的職業	224	20.8	
		事務	64	5.9	
		販売	32	3.0	
		サービス業	91	8.5	
		保安職業	13	1.2	
		農・林・漁業	14	1.3	
		生産工程	30	2.8	
		輸送・機械運転	9	0.8	
		建設・採掘	37	3.4	
		運搬・清掃	4	0.4	
		無職	118	11.0	
		その他	51	4.7	
		無回答	110人	合計	1,076
母親の職業	専門的、技術的職業	90 人	8.3 %		
	教育的職業	141	12.9		
	管理的職業	19	1.7		
	事務	142	13.0		
	販売	35	3.2		
	サービス業	92	8.4		
	保安職業	2	0.2		
	農・林・漁業	7	0.6		
	生産工程	10	0.9		
	輸送・機械運転	1	0.1		
	建設・採掘	1	0.1		
	運搬・清掃	7	0.6		
	無職	476	43.7		
	その他	67	6.1		
	無回答	96人	合計	1,090	100.0
ご自分の職業	専門的、技術的職業	148 人	64.6 %		
	教育的職業	36	15.7		
	管理的職業	6	2.6		
	事務	8	3.5		
	販売	0	0.0		
	サービス業	6	2.6		
	保安職業	0	0.0		
	農・林・漁業	0	0.0		
	生産工程	0	0.0		
	輸送・機械運転	0	0.0		
	建設・採掘	2	0.9		
	運搬・清掃	0	0.0		
	その他	23	10.0		
	無回答	957人	合計	229	100.0

Ⅷ. 生活費の状況について

73. 生活費の状況 (最近3ヶ月の実績から、平均1ヶ月の収支額を、該当しない場合は、「0」を記入する)	度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
衣料費	1,153	0千円	100千円	8.8千円	10.6
食費	1,156	0	500	32.1	25.6
住居費	1,148	0	372	45.6	47.1
光熱水費	1,146	0	100	7.8	9.6
研究・勉強費	1,151	0	300	13.3	22.7
教養・娯楽費	1,152	0	260	16.5	17.3
子供の養育・娯楽費	1,118	0	300	4.1	22.5
通学費	1,148	0	150	7.6	12.7
通信費	1,156	0	800	9.3	24.4
その他雑費	1,149	0	300	9.1	13.7
支出合計	1,143	0	980	147.7	99.7
家庭からの仕送り・小遣い	1,139	0千円	1,000千円	41.0千円	62.2
助成金・奨学金	1,130	0	290	52.5	69.4
学内研究費等	1,124	0	900	19.2	46.0
アルバイト	1,120	0	1,500	23.6	83.2
定職	1,109	0	9,000	54.4	435.2
配偶者の収入	1,087	0	20,000	66.3	719.8
その他の収入	1,050	0	800	6.4	44.9
収入合計	1,131	0	12,000	229.7	654.4

無回答 23人

Ⅸ. 研究奨励金及び奨学金について

74. 現在、日本学術振興会の研究奨励金を受けていますか。どちらかに○をつけてください。	受けている	163人	29.0%
	受けていない	400	71.0
	無回答 5人	合計	563 100.0
【設問74で奨励的な資金を「受けていない」と答えた方にお伺いします。】 75. その理由はどれにあたりますか。どれか1つに○をつけてください。	事務手続きは煩雑だから申請しなかった	31人	8.3%
	掲示等に気がつかなかった	21	5.6
	書類を期限までに整えられなかった	6	1.6
	出願資格がない	79	21.2
	出願したが採用されなかった	89	23.9
	貸与なので申請しなかった	56	15.0
	受ける必要がない	67	18.0
	その他	24	6.4
	無回答 32人	合計	373 100.0
76. 現在、他の奨励的な資金を受けていますか。(博士課程研究遂行協力制度、RA、TAを除く)どちらかに○をつけてください。	受けている	290人	24.8%
	受けていない	878	75.2
	無回答 18人	合計	1,168 100.0
【設問76で奨励的な資金を「受けていない」と答えた方にお伺いします。】 77. その理由はどれにあたりますか。どれか1つに○をつけてください。	事務手続きは煩雑だから申請しなかった	68人	8.4%
	掲示等に気がつかなかった	54	6.7
	書類を期限までに整えられなかった	16	2.0
	出願資格がない	222	27.4
	出願したが採用されなかった	44	5.4
	貸与なので申請しなかった	141	17.4
	受ける必要がない	236	29.2
	その他	28	3.5
	無回答 87人	合計	809 100.0
【設問74または76で奨励的な資金を「受けている」と答えた方にお伺いします。】 78. どの奨励的な資金を受けていますか。(いくつでも選んでください。)	日本学術振興会(特別研究員)	115	25.1
	日本学生支援機構	304	66.4
	地方公共団体(自治体)	4	0.9
	民間の奨励団体	35	7.6
	日本以外の奨励団体	0	0.0
	無回答 60人	合計	459 100.0

【設問74または76で奨学的な資金を「受けている」と答えた方にお伺いします。】 79. 現在受けている奨学的な資金の主な支出目的(用途)はどれにあたりますか。 (主たるものを3つまで選んで○をつけてください。)	生活費(衣・食・住居費)	379	35.2
	授業料	225	20.9
	研究・勉学費	221	20.5
	教養・娯楽費	138	12.8
	旅行(帰省も含む)	28	2.6
	技術・資格等取得費用	9	0.8
	貯金	71	6.6
	その他	7	0.6
	無回答 56人		
	合計	1,079	100.0

X. アルバイトについて

80. 過去1年間にアルバイトをしましたか。次の中からどれか1つに○をつけてください。	継続的(1ヶ月以上)アルバイトをした	461人	39.1%			
	臨時的(1ヶ月未満)アルバイトをした	156	13.2			
	継続的アルバイトと臨時的アルバイトを両方した	113	9.6			
	しなかった	449	38.1			
	無回答 7人					
合計	1,179	100.0				
【設問80で「過去に1年間にアルバイトをした」と答えた方にお伺いします。】 81. そのアルバイトの種類はどれにあたりますか。 (主たるものを2つまで選んでください。)	1. 大学などの非常勤講師	22人	2.1%			
	2. TA・RA	272	26.1			
	3. 研究事務補助	61	5.9			
	4. 小・中・高等学校の講師	6	0.6			
	5. 塾・予備校の講師	132	12.7			
	6. 家庭教師	93	8.9			
	7. 試験監督・採点・通信教育の添削	73	7.0			
	8. 執筆・翻訳・通訳・編集	51	4.9			
	9. 一般事務	50	4.8			
	10. 販売・サービス業	65	6.2			
	11. セールス・訪問調査	1	0.1			
	12. 飲食店	47	4.5			
	13. 宿直・警備	5	0.5			
	14. 肉体労働	33	3.2			
	15. 1～14以外の専門を生かしたもの	95	9.1			
	16. その他	36	3.5			
	無回答 13人					
合計	1,042	100.0				
【設問80で「過去に1年間にアルバイトをした」と答えた方にお伺いします。】 82. アルバイトに費やす時間と収入額はどれくらいでしたか。 (往復時間を含め、一週間あたりの平均時間を記入してください。)	時間(単位:時間/週)	度数 711	最小値 0時間	最大値 99時間	平均値 10.5時間	標準偏差 10.7
	収入額(単位:千円/月)	712	0千円	900千円	60.7千円	98.2
	無回答 13人					
【設問80で「継続的アルバイトをした」または「継続的・臨時的アルバイトを両方した」と答えた方にお伺いします。】 83. アルバイトの紹介者はだれでしたか。 (主たるものを2つまで選んでください。)	大学の担当事務	56人	8.0%			
	指導教員	138	19.6			
	日本学生支援機構	0	0.0			
	新聞広告・アルバイト広告誌	44	6.3			
	インターネット	132	18.8			
	友人・知人等	205	29.2			
	アルバイト先と直接	92	13.1			
	伝言版	8	1.1			
	その他	28	4.0			
	無回答 9人					
合計	703	100.0				
【設問80で「継続的アルバイトをした」または「継続的・臨時的アルバイトを両方した」と答えた方にお伺いします。】 84. アルバイトをした理由はどれにあたりますか。 (どれか1つに○をつけてください。)	生活費を稼ぐため	305人	54.0%			
	勉学費を稼ぐため	77	13.6			
	学生生活を楽しむため	71	12.6			
	社会経験のため	80	14.2			
	その他	32	5.7			
	無回答 9人					
合計	565	100.0				

【設問80で「継続的アルバイトをした」または「継続的・臨時的アルバイトを両方した」と答えた方にお伺いします。】 85. アルバイトの収入は、何に使っていましたか。 (主たるものを2つまで選んでください。)	生活費 (衣・食・住居費)	360 人	39.6 %	
	授業料	73	8.0	
	研究・勉学費	111	12.2	
	教養・娯楽費	231	25.4	
	旅行 (帰省も含む)	48	5.3	
	技術・資格等取得費用	6	0.7	
	貯金	70	7.7	
	その他	9	1.0	
	無回答 16人	合計	908	100.0
	【設問80で「継続的アルバイトをした」または「継続的・臨時的アルバイトを両方した」と答えた方にお伺いします。】 86. 継続的アルバイトは勉学の妨げになりませんでしたか。 (どれか1つに○をつけてください。)	かなり妨げになった	58 人	10.2 %
多少妨げになった		241	42.6	
妨げにならなかった		267	47.2	
無回答 15人		合計	566	100.0
【全員に伺います】				
87. 現在の暮らし向きについてどうお考えですか。次の中からどれか1つに○をつけてください。	かなり楽な方	182 人	15.4 %	
	やや楽な方	172	14.6	
	普通	484	41.1	
	やや苦しい方	261	22.2	
	大変苦しい方	70	5.9	
	わからない	9	0.8	
	無回答 8人	合計	1,178	100.0

X I. 研究・学生生活のサポート体制について

88. あなたが通学に通常利用している交通機関を記入してください。 (複数回答可)	電車	739 人	48.3 %		
	バス	113	7.4		
	自家用車	40	2.6		
	バイク	27	1.8		
	自転車	469	30.7		
	徒歩のみ	134	8.8		
	その他	8	0.5		
無回答 2人	合計	1,530	100.0		
89. 片道の通学所要時間はどれくらいですか。 (分単位で記入してください。)	度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
	所要時間	1,181	0 分	420 分	48.0 分
無回答 8人	合計				
90. 本学の課外活動施設、福利厚生施設等のうち、あなたは次の施設の現状をどう思いますか。 (1)～(15)までそれぞれ1～4のどれか1つに○をつけてください。					
(1) 研究科内の学生控室・談話室・ラウンジ	1. 満足	272 人	23.1 %		
	2. どちらともいえない	370	31.4		
	3. 不満	269	22.9		
	4. 利用したことがない	177	22.6		
	無回答 9人	合計	1,177	100.0	
(2) 学生会館、課外活動用共用施設、キャンパスプラザ(駒場)	1. 満足	130 人	11.0 %		
	2. どちらともいえない	371	31.5		
	3. 不満	54	4.6		
	4. 利用したことがない	623	52.9		
	無回答 8人	合計	1,178	100.0	
(3) 学生相談所	1. 満足	81 人	6.9 %		
	2. どちらともいえない	280	23.8		
	3. 不満	25	2.1		
	4. 利用したことがない	789	67.1		
	無回答 11人	合計	1,175	100.0	
(4) 屋内体育施設・駒場	1. 満足	79 人	6.7 %		
	2. どちらともいえない	277	23.5		
	3. 不満	55	4.7		
	4. 利用したことがない	766	65.1		
	無回答 9人	合計	1,177	100.0	
(5) 屋外体育施設・駒場 (野球場、テニスコート等)	1. 満足	74 人	6.3 %		
	2. どちらともいえない	219	18.6		
	3. 不満	38	3.2		
	4. 利用したことがない	848	71.9		
	無回答 7人	合計	1,179	100.0	
(6) 屋内体育施設・本郷 (御殿下記念館、二食プール)	1. 満足	351 人	29.8 %		
	2. どちらともいえない	258	21.9		
	3. 不満	31	2.6		
	4. 利用したことがない	539	45.7		
	無回答 7人	合計	1,179	100.0	
(7) 屋外体育施設・本郷 (御殿下グラウンド、農学部グラウンド、野球場等)	1. 満足	202 人	17.1 %		
	2. どちらともいえない	216	18.3		
	3. 不満	23	2.0		
	4. 利用したことがない	738	62.6		
	無回答 7人	合計	1,179	100.0	
(8) 屋内体育施設・柏 (トレーニング施設)	1. 満足	41 人	3.5 %		
	2. どちらともいえない	116	9.8		
	3. 不満	15	1.3		
	4. 利用したことがない	1,006	85.4		
	無回答 8人	合計	1,178	100.0	

(9)屋外体育施設・柏（ラグビー場）	1. 満足	28 人	2.4 %
	2. どちらともいえない	113	9.6
	3. 不満	9	0.8
	4. 利用したことがない	1,028	87.3
	無回答 7人	合計	1,178
(10)二食内ホール、サークル部室等（本郷）	1. 満足	65 人	5.5 %
	2. どちらともいえない	199	16.9
	3. 不満	41	3.5
	4. 利用したことがない	874	74.1
	無回答 8人	合計	1,179
(11)検見川総合運動場、検見川セミナーハウス	1. 満足	101 人	8.6 %
	2. どちらともいえない	205	17.4
	3. 不満	28	2.4
	4. 利用したことがない	844	71.6
	無回答 11人	合計	1,178
(12)スポーティア（戸田、山中、下賀茂、乗鞍）	1. 満足	50 人	4.3 %
	2. どちらともいえない	144	12.3
	3. 不満	13	1.1
	4. 利用したことがない	968	82.4
	無回答 5人	合計	1,175
(13)学内食堂	1. 満足	332 人	28.1 %
	2. どちらともいえない	479	40.6
	3. 不満	312	26.4
	4. 利用したことがない	58	4.9
	無回答 8人	合計	1,181
(14)学寮（豊島国際学生宿舎、追分インターナショナルハウス、三鷹国際学生宿舎）	1. 満足	30 人	2.5 %
	2. どちらともいえない	99	8.4
	3. 不満	26	2.2
	4. 利用したことがない	1,023	86.8
	無回答 8人	合計	1,178
(15)保健センター	1. 満足	333 人	28.2 %
	2. どちらともいえない	518	43.9
	3. 不満	63	5.3
	4. 利用したことがない	266	22.5
	無回答 6人	合計	1,180

クロス集計表

ここでは、「調査票」のそれぞれの設問項目と、所要な基本項目とのクロス集計を行ったものを一括して順次掲載した。また、前回調査との比較のため今回調査と同じ設定をしている調査項目の数値を、適宜、各集計表の中で（ ）内に示した。

表の見方

1. 百分率（パーセント）表示については、小数点第一位までを有効数字として算出した。
2. 各項目の無回答を除いた百分率あるいは平均を示した。
3. 作表の説明変数として用いた用語の定義は、次のとおりである。

「全体」-----回答者全員の比率を示す。

「文科系」「理科系」---在籍する研究科等により二つの系に区分したものを示す。

「自宅」-----自宅通学者（親と同居）を示す。

「自宅外」-----賃貸マンション、アパート、下宿、学寮、他寮の居住者を一括して示す。

「その他の寮」-----地方公共団体等が設置した学生寮の居住者を示す。

基－1表 年齢構成分布（設問2）

区 分	21～23歳	24～26歳	27～29歳	30～32歳	33～35歳	36歳以上	事例数
2009年(59回)	% (19.9)	% (43.4)	% (15.6)	% (9.1)	% (3.8)	% (8.2)	人 (1332)
全 体	23.7	43.7	14.7	6.5	3.3	8.0	1182
男 子	24.6	45.3	16.2	5.2	2.7	6.0	847
女 子	21.1	40.4	11.5	9.3	5.0	12.8	322
修士課程 博士課程	40.9	48.7 41.8	4.5 30.8	2.3 9.0	0.3 4.2	3.2 14.2	616 402
獣医学又は医学を履修する博士課程 専門職学位課程		6.9 47.3	22.2 6.6	31.9 4.4	23.6 3.3	15.3 7.7	72 91
文科系	17.0	42.9	16.4	8.8	3.0	11.9	329
理科系	26.2	44.1	14.1	5.6	3.4	6.6	852

基－2表 課程（設問3）

区 分	修士課程		博士課程		獣医学または医学を履修する博士課程		専門職学位課程		合計
	事例数	割合	事例数	割合	事例数	割合	事例数	割合	事例数
2009年(59回)	(684)	% (51.5)	(490)	% (36.9)	(38)	% (2.9)	(115)	% (8.7)	(1327)
男 子	452	53.2	297	34.9	41	4.8	60	7.1	850
女 子	158	49.2	101	31.5	31	9.7	31	9.7	321
合 計	610	52.1	398	34.0	72	6.1	91	7.8	1171

基－3表 学年（設問3）

区 分	1年		2年		3年		4年	
	事例数	割合	事例数	割合	事例数	割合	事例数	割合
2009年(59回)	(471)	% (36.0)	(555)	% (42.4)	(183)	% (14.0)	(64)	% (4.9)
全 体	487	41.1	480	40.5	143	12.1	41	3.5
男 子	351	41.8	350	41.7	100	11.9	27	3.2
女 子	133	41.6	125	39.1	41	12.8	13	4.1
修士課程 博士課程	302 130	49.5 32.4	288 132	47.2 32.9	20 95	3.3 23.7	0 24	0 6.0
獣医学又は医学を履修する博士課程 専門職学位課程	17 37	23.9 41.6	24 36	33.8 40.4	12 16	16.9 18.0	17 0	23.9 0
文科系	133	40.7	123	37.6	52	15.9	11	3.4
理科系	353	41.8	357	42.3	91	10.8	30	3.6

区 分	5年		6年		合計
	事例数	割合	事例数	割合	事例数
2009年(59回)	(28)	% (2.1)	(9)	% (0.7)	(1310)
全 体	20	1.7	1	0.1	1172
男 子	11	1.3	1	0.1	840
女 子	8	2.5	0	0	320
修士課程 博士課程	0 19	0 4.7	0 1	0 0.2	610 401
獣医学又は医学を履修する博士課程 専門職学位課程	1 0	1.4 0	0 0	0 0	71 89
文科系	8	2.4	0	0	327
理科系	12	1.4	1	0.1	844

基－４表 大学院入学前の出身大学等について（修士課程及び、専門職学位課程）（設問７）

区 分	本学の 学部学生	他大学の 学部学生	本学の他研 究科の大学 院学生	他大学の 大学院学生	社会人	その他	事例数
2009年(59回)	% (42.6)	% (47.1)	% (0.6)	% (2.4)	% (7.3)	% (0.1)	(799)
全 体	45.1	45.8	0.6	2.0	5.5	7	709
男 子	48.1	44.2	0.6	1.2	4.7	1.2	511
女 子	38.1	49.2	0.5	4.2	7.4	0.5	189
未 婚	47.2	46.5	0.4	1.6	3.3	0.9	667
既 婚	7.5	37.5	2.5	7.5	42.5	2.5	40
文科系	34.0	51.2	1.9	4.3	7.7	1.0	209
理科系	49.6	43.8	0.0	1.0	4.6	1.0	498

基－５表 社会人経験を経て入学（修士課程及び、専門職学位課程）（設問８）

区 分	いいえ	社会人経験はあるが、現在 は学業に専念している	現在は社会人生活と 学業を両立させている	事例数
2009年(59回)	% (87.2)	% (8.8)	% (4.0)	(798)
全 体	90.0	7.1	3.0	709
男 子	92.5	4.7	2.7	510
女 子	84.1	12.7	3.2	189
未 婚	94.3	4.5	1.2	666
既 婚	17.5	50.0	32.5	40
文科系	80.9	13.4	5.7	209
理科系	93.8	4.4	1.8	497

基－６表 大学院入学前の出身大学等について（博士課程）（設問10）

区 分	本学の 大学院学生	本学の他研究科 の大学院学生	他大学の 大学院学生	社会人	その他	事例数
2009年(59回)	% (68.8)	% (3.7)	% (14.5)	% (12.4)	% (0.6)	(484)
全 体	65.6	1.9	12.9	16.9	2.7	474
男 子	67.2	1.2	14.2	15.4	2.1	338
女 子	60.8	3.8	10.0	20.8	4.6	130
未 婚	72.4	2.4	13.2	9.7	2.2	370
既 婚	40.8		11.7	42.7	4.9	103
文科系	73.3	2.5	11.7	11.7	0.8	120
理科系	62.9	1.7	13.3	18.7	0.0	353

基－７表 社会人経験を経て入学（博士課程）（設問11）

区 分	いいえ	社会人経験はあるが、現在 は学業に専念している	現在は社会人生活と学業 を両立させている	事例数
2009年(59回)	% (70.8)	% (12.7)	% (16.4)	(487)
全 体	65.8	17.1	17.1	474
男 子	70.6	13.1	16.3	337
女 子	52.7	28.2	19.1	131
未 婚	78.8	12.8	8.4	368
既 婚	20.0	32.4	47.6	105
文科系	66.7	13.3	20.0	120
理科系	65.4	18.4	16.1	353

基－８表 現在主に研究に従事している場所（設問５）

区 分	所属する研究科	それ以外の学内研究科、 学内の研究所	学外の研究機関	事例数
2009年(59回)	% (81.9)	% (11.4)	% (6.7)	人 (1321)
全 体	85.8	8.1	6.1	1180
男 子	85.5	8.1	6.4	847
女 子	86.9	7.8	5.3	320
文科系	98.2	1.2	0.6	327
理科系	81.1	10.7	8.2	853

基－９表 主に通っているキャンパス（設問６）

区 分	本郷	駒場Ⅰ	駒場Ⅱ	柏	その他	事例数
2009年(59回)	% (62.6)	% (10.7)	% (5.8)	% (12.1)	% (8.9)	人 (1320)
全 体	63.7	11.7	5.9	12.5	6.1	1180
男 子	63.2	10.4	6.9	13.8	5.7	846
女 子	66.0	14.0	3.7	8.7	7.5	321
文科系	65.5	34.5				330
理科系	63.1	2.8	8.2	17.4	8.5	850

1-1表 大学院に入学した目的 (設問13)

(2つまで)

区 分	高度の専門知識・技術を身につけるため	大学等の研究・教育職をめざして	企業の研究職をめざして	現在の仕事に生かすため	学部卒業・修士修了で就職の機会がなかった	学位を取得するため	社会に貢献できる能力・資質を身につける	特に目的はない	その他	事例数
2009年(59回)	% (40.9)	% (20.9)	% (6.0)	% (1.4)	% (2.1)	% (11.7)	% (13.8)	% (1.0)	% (2.2)	件 (2299)
全 体	37.7	17.0	4.6	2.4	2.5	18.7	14.4	0.7	2.1	2137
男 子	37.7	17.1	4.7	2.0	2.1	18.9	14.7	0.9	2.0	1553
女 子	37.9	16.3	4.5	3.6	3.4	18.2	13.6	0.2	2.4	583
修士課程	42.8	12.5	6.6	1.0	3.0	14.4	17.1	0.9	1.7	1101
博士課程	31.0	27.4	3.4	2.4	1.9	22.5	9.6	0.4	1.5	742
獣医学又は医学を履修する博士課程	26.3	15.0	0.8	9.8	0.0	36.8	10.5	0.0	0.8	133
専門職学位課程	43.3	0.6	0.0	5.7	3.8	15.3	21.0	1.3	8.9	157
文科系	37.8	23.3	0.9	1.9	3.2	16.7	11.8	0.5	3.9	587
理科系	37.6	14.6	6.1	2.6	2.2	19.4	15.4	0.8	1.4	1549

1-2表 本学を選んだ理由 (設問14)

(3つまで)

区 分	自分の志望した研究科(専攻分野)があったから	スタッフ・環境・設備が優れているから	東大の伝統や雰囲気憧れて	実力相応と思ったから	将来の進路を考えて	社会的評価が高いから	親・教師・先輩の勧め	経済的理由による	地理的に自宅に近いから	その他	事例数
2009年(59回)	% (28.4)	% (23.8)	% (6.0)	% (3.4)	% (14.2)	% (8.8)	% (3.5)	% (4.7)	% (4.8)	% (2.5)	件 (3222)
全 体	28.4	24.2	5.9	3.5	13.8	9.6	4.2	4.5	3.9	1.9	2843
男 子	27.9	25.0	6.0	3.6	13.6	10.4	3.4	4.0	4.0	1.8	2002
女 子	30.6	23.0	5.1	3.1	13.5	7.3	6.0	5.7	3.9	1.9	749
修士課程	28.7	23.5	6.6	3.8	15.2	9.9	3.7	4.2	3.4	1.2	1462
博士課程	31.1	26.5	4.1	2.8	10.8	7.9	4.9	4.9	3.9	3.2	945
獣医学又は医学を履修する博士課程	26.8	28.0	5.5	4.9	11.6	7.3	5.5	5.5	4.3	0.6	164
専門職学位課程	18.3	18.3	8.4	4.0	17.3	16.3	3.0	4.5	7.9	2.0	202
文科系	27.0	22.6	5.6	3.0	14.0	10.0	5.4	4.8	4.9	2.7	771
理科系	29.3	25.1	5.9	3.7	13.5	9.4	3.6	4.4	3.5	1.6	2005

1-3表 大学院を選ぶ際、他にどのような進路を考えたか (設問15) (複数回答)

区 分	本学の他の 研究科	他大学の 大学院	外国の 大学院	就 職	考えな かった	事例数
2009年(59回)	% (14.7)	% (37.4)	% (7.5)	% (12.7)	% (27.7)	人 (1570)
全 体	15.8	34.3	8.4	13.7	27.9	1424
男 子	17.1	32.1	8.1	14.0	28.8	1032
女 子	12.5	40.2	8.8	13.0	25.5	376
修士課程	19.3	37.0	7.1	10.6	25.9	745
博士課程	13.1	26.7	11.2	17.6	31.4	490
獣医学又は医学を履修する博士課程	6.1	28.0	8.5	20.7	36.6	82
専門職学位課程	10.6	54.8	3.8	11.5	19.2	104
文科系	11.5	41.2	9.7	12.0	25.6	391
理科系	17.3	31.7	7.8	14.3	28.8	1032

1-4表 最終的に本学を選んだ理由 (設問16) (2つまで)

区 分	希望専攻分野 が東大の方が 充実していた	東大の方が ネームバリュー があると 思った	経済的理由	外国で勉強・ 生活するには 語学の問題が あった	その他	事例数
2009年(59回)	% (45.7)	% (20.2)	% (18.2)	% (2.3)	% (13.6)	人 (683)
全 体	45.1	22.4	16.0	3.9	12.7	545
男 子	46.9	24.0	14.0	4.2	10.9	358
女 子	42.2	20.0	18.9	2.8	16.1	180
修士課程	49.7	22.1	13.4	3.0	11.7	298
博士課程	44.1	14.7	17.5	5.6	18.2	143
獣医学又は医学を履修する博士課程	44.8	10.3	17.2	10.3	17.2	29
専門職学位課程	29.3	42.7	22.7	1.3	4.0	75
文科系	37.4	28.1	18.7	3.0	12.8	203
理科系	49.7	19.0	14.3	4.4	12.6	342

2-1表 現在所属している日本国内の学会数 (設問17_1)

区 分	1学会	2学会	3学会以上	なし	事例数
2009年(59回)	% (36.5)	% (15.1)	% (13.2)	% (35.2)	人 (1327)
全 体	34.0	17.7	13.4	34.9	1176
男 子	17.0	12.0	35.7	35.3	845
女 子	20.0	16.9	32.5	30.6	320
修士課程	39.2	12.0	2.8	46.1	610
博士課程	36.7	29.4	23.7	10.2	401
獣医学又は医学を履修する博士課程	11.1	20.8	56.9	11.1	72
専門職学位課程	5.5	2.2	4.4	87.9	91
文科系	20.9	13.8	13.8	51.5	326
理科系	39.0	19.2	13.2	28.6	849

2-2 現在所属している日本国外の学会数 (設問17_2)

区 分	1学会	2学会	3学会以上	なし	事例数
2009年(59回)	% (9.9)	% (1.2)	% (0.1)	% (88.9)	人 (1212)
全 体	10.6	1.5	0.3	87.6	1064
男 子	10.0	1.8	0.4	87.8	772
女 子	12.0	0.7	0.0	87.3	283
修士課程	4.7	0.4	0.2	94.7	550
博士課程	20.7	2.5	0.6	76.3	358
獣医学又は医学を履修する博士課程	20.0	4.6		75.4	65
専門職学位課程		2.2		97.8	89
文科系	7.4	1.3		91.2	297
理科系	11.9	1.6	0.4	86.2	767

2-3表 国内の学会過去1年間の参加回数 (設問18_1)

区 分	1回	2回	3回以上	なし	事例数
2009年(59回)	% (24.7)	% (20.0)	% (24.5)	% (30.8)	人 (1327)
全 体	23.1	21.7	25.3	29.9	1170
男 子	22.9	21.7	24.2	31.1	842
女 子	23.1	22.2	28.2	26.6	316
修士課程	27.8	19.7	16.8	35.7	608
博士課程	20.9	27.9	39.7	11.5	401
獣医学又は医学を履修する博士課程	18.1	25.0	41.7	15.3	72
専門職学位課程	3.4	3.4	5.7	87.4	87
文科系	14.6	18.0	24.5	43.0	323
理科系	26.3	23.1	25.6	24.9	847

2-4表 国内の学会過去1年間の発表件数 (設問18_2)

区 分	1件	2件	3件以上	なし	事例数
2009年(59回)	% (26.7)	% (14.4)	% (10.6)	% (48.3)	人 (1310)
全 体	26.8	14.2	13.2	45.9	1166
男 子	27.3	14.4	14.3	44.0	840
女 子	26.1	14.4	10.2	19.7	314
修士課程	27.7	10.2	5.8	56.3	606
博士課程	29.7	22.4	24.9	22.9	401
獣医学又は医学を履修する博士課程	31.4	14.3	24.3	30.0	70
専門職学位課程	1.1	3.4	2.3	93.1	87
文科系	17.4	9.0	6.9	66.7	321
理科系	30.2	16.1	15.6	38.0	844

2-5表 国外の学会過去1年間の参加回数 (設問18_3)

区 分	1回	2回	3回以上	なし	事例数
2009年(59回)	% (15.9)	% (3.9)	% (1.7)	% (78.5)	人 (1268)
全 体	16.0	6.2	2.7	75.0	1097
男 子	15.8	6.9	3.3	74.1	799
女 子	17.1	4.2	1.0	77.7	287
修士課程	9.5	2.6	0.4	87.5	567
博士課程	27.1	13.0	7.2	52.8	377
獣医学又は医学を履修する博士課程	26.2	6.2	1.5	66.2	65
専門職学位課程	3.5			96.5	86
文科系	6.0	3.3	1.0	89.6	299
理科系	19.8	7.3	3.4	69.5	798

2-6表 国外の学会過去1年間の発表件数 (設問18_4)

区 分	1件	2件	3件以上	なし	事例数
2009年(59回)	% (14.5)	% (3.4)	% (1.4)	% (80.7)	人 (1267)
全 体	15.8	4.9	2.3	77.0	1098
男 子	16.2	5.2	2.6	75.9	802
女 子	15.1	3.9	1.1	80.0	285
修士課程	8.3	2.5		89.3	568
博士課程	28.2	10.1	6.4	55.3	376
獣医学又は医学を履修する博士課程	27.3	3.0	1.5	68.2	66
専門職学位課程	3.5			96.5	86
文科系	6.3	2.3	1.0	90.4	301
理科系	19.4	5.9	2.8	71.9	797

2-7表 外国での調査や研究をした経験 (設問19)

区 分	ある	ない	事例数
2009年(59回)	% (16.6)	% (83.4)	人 (1331)
全 体	14.2	85.8	1183
男 子	13.0	87.0	848
女 子	17.4	82.6	322
修士課程	9.7	90.3	616
博士課程	25.1	74.9	402
獣医学又は医学を履修する博士課程	4.2	95.8	72
専門職学位課程	3.3	96.7	91
文科系	19.4	80.6	330
理科系	12.2	87.8	852

2-8表 海外留学をした体験 (設問20)

区 分	ある	ない	事例数
2009年(59回)	% (6.5)	% (93.5)	人 (1331)
全 体	4.3	95.7	1184
男 子	3.7	96.3	849
女 子	5.6	94.4	322
修士課程	1.6	98.4	616
博士課程	9.7	90.3	403
獣医学又は医学を履修する博士課程	1.4	98.6	72
専門職学位課程	1.1	98.9	91
文科系	5.8	94.2	329
理科系	3.7	96.3	854

2-11表 海外留学の機会があれば希望 (設問21)

区 分	留学 したい	どちらか といえば留学 したい	どちらとも いええない	どちらか といえば留学 したくない	留学した くない	事例数
2009年(59回)	% (36.0)	% (23.5)	% (20.9)	% (7.7)	% (12.0)	人 (1317)
全 体	35.2	25.3	20.3	9.5	9.6	1184
男 子	34.3	23.8	21.3	10.4	10.2	849
女 子	37.0	30.1	17.7	7.5	7.8	322
修士課程	35.4	27.8	18.3	9.3	9.3	616
博士課程	37.5	21.6	21.8	9.7	9.4	403
獣医学又は医学を履修する博士課程	33.3	29.2	23.6	8.3	5.6	72
専門職学位課程	25.3	22.0	24.2	12.1	16.5	91
文科系	42.7	19.4	18.2	9.4	10.3	330
理科系	32.4	27.5	21.1	9.6	9.4	853
人文社会系研究科	53.6	12.5	14.3	8.9	10.7	56
教育学研究科	32.6	27.9	23.3	11.6	4.7	43
法学政治学研究科	24.3	18.6	24.3	12.9	20.0	70
経済学研究科	47.6	19.0	9.5	9.5	14.3	21
総合文化研究科	50.0	19.8	15.5	7.8	6.9	116
理学系研究科	24.3	31.9	25.7	10.4	7.6	144
工学系研究科	33.3	28.4	21.8	7.1	9.3	225
農学生命科学研究科	37.9	22.3	15.5	10.7	13.6	103
医学系研究科	29.2	33.0	23.6	7.5	6.6	106
薬学系研究科	34.1	17.1	17.1	17.1	14.6	41
数理科学研究科	44.4	27.8	16.7		11.1	18
新領域創設科学研究科	34.7	26.5	19.0	12.2	7.5	147
情報理工学系研究科	31.3	22.9	22.9	12.5	10.4	48
情報学環・学際情報学府	38.1	23.8	19.0	4.8	14.3	21
公共政策学教育部	50.0	20.8	20.8	4.2	4.2	24

2-12表 留学期間はどのくらいを希望しますか (設問22)

区 分	1ヶ月未満	3ヶ月未満	半年未満	1年未満	1年以上	事例数
2009年(59回)	% (-)	% (-)	% (--)	% (-)	% (-)	人 (-)
全 体	5.0	16.2	14.0	27.6	37.2	715
男 子	5.5	16.3	15.1	28.7	34.4	491
女 子	4.2	15.7	11.1	25.9	43.1	216
修士課程	6.4	16.5	15.4	29.6	32.1	389
博士課程	3.4	19.0	12.7	26.2	38.8	237
獣医学又は医学を履修する博士課程 専門職学位課程	7.1	8.9	8.9	20.0	62.2	45
文科系	3.9	7.1	14.3	26.2	45.2	42
理科系	5.3	9.9	7.4	22.2	56.7	203
		18.8	16.6	29.7	29.5	511

2-13表 留学に際して学位取得をめざしますか (設問23)

区 分	修士学位を 取得したい	博士学位を 取得したい	専門職学位を 取得したい	学位取得は めざさない	その他	事例数
2009年(59回)	% (-)	% (-)	% (-)	% (-)	% (-)	人 (-)
全 体	11.3	21.2	4.8	58.6	4.0	706
男 子	10.5	22.3	5.1	58.0	4.1	488
女 子	13.3	18.0	4.3	60.7	3.8	211
修士課程	15.9	19.6	2.9	58.7	2.9	383
博士課程	3.8	25.1	1.3	65.5	4.3	235
獣医学又は医学を履修する博士課程 専門職学位課程	23.8	29.5	6.8	54.5	9.1	44
文科系	16.4	4.8	40.5	23.8	7.1	42
理科系	9.3	19.0	8.5	45.3	3.5	201
		26.4	3.4	64.1	4.2	504

2-14表 留学したくない理由 (設問24)

(複数回答)

区 分	語学力 の問題	経済的 な問題	大学の年間スケジ ュールとタイミン グが合わない	東京大学 の教育で 十分	就職に 不利	留年しな ければな らない	その他	事例数
2009年(59回)	% (-)	% (-)	% (-)	% (-)	% (-)	% (-)	% (-)	人 (-)
全 体	23.2	20.3	10.9	17.0	4.7	12.1	11.8	423
男 子	24.5	19.6	10.9	17.8	5.1	11.8	10.3	331
女 子	17.4	22.1	11.6	14.0	3.5	14.0	17.4	86
修士課程	25.4	23.7	7.9	17.1	5.7	11.8	8.3	228
博士課程	21.1	17.3	11.3	19.5	3.8	9.8	17.3	133
獣医学又は医学を履修する博士課程 専門職学位課程	20.0	26.7	6.7	13.3	6.7	13.3	13.3	15
文科系	19.1	10.6	25.5	10.6	2.1	19.1	12.8	47
理科系	20.4	22.2	9.3	15.7	1.9	11.1	19.4	108
	24.1	19.7	11.4	17.5	5.7	12.4	9.2	315

2-15表 外国の大学との交換留学希望 (設問25)

区 分	条件によっては 留学したい	留学したいとは 思わない	事例数
2009年(59回)	% (70.2)	% (29.8)	人 (1329)
全 体	72.0	28.0	1096
男 子	69.7	30.3	785
女 子	77.7	22.3	300
修士課程	73.1	26.9	558
博士課程	71.0	29.0	386
獣医学又は医学を履修する博士課程 専門職学位課程	75.4	24.6	65
文科系	65.9	34.1	85
理科系	74.3	25.7	303
	71.1	28.9	793

2-16表 留学希望地域 (設問26)

(2つまで)

区 分	アジア	中近東	アフリカ	北アメリカ	中南米 (メキシコ を含む)	西ヨーロッ パ
2009年(59回)	% (5.9)	% (0.1)	% (1.2)	% (42.5)	% (1.0)	% (44.3)
全 体	5.7	0.3	0.6	44.0	0.9	40.8
男 子	6.3	0.3	0.3	45.3	0.4	40.8
女 子	4.4	0.2	1.2	41.0	1.7	40.8
修士課程	6.3	0.4	0.7	43.6	0.7	39.4
博士課程	4.4	0.2	0.4	43.2	1.2	42.6
獣医学又は医学を履修する博士課程	2.4	0.0	0.0	51.8	0.0	44.7
専門職学位課程	10.3	0.0	0.9	43.9	0.9	38.3
文科系	8.7	0.5	1.1	37.8	1.9	42.6
理科系	4.5	0.2	0.4	46.3	0.5	40.1

区 分	東ヨーロッパ (ロシアを含む)	オセアニア	その他	事例数
2009年(59回)	% (3.0)	% (1.7)	% (0.2)	件 (1627)
全 体	5.0	2.4	0.4	1393
男 子	4.6	1.7	0.3	974
女 子	5.9	4.2	0.5	407
修士課程	5.7	2.9	0.3	716
博士課程	5.4	2.1	0.4	481
獣医学又は医学を履修する博士課程	0.0	0.0	1.2	85
専門職学位課程	2.8	2.8	0.0	107
文科系	4.8	2.4	0.3	378
理科系	5.1	2.5	0.4	1015

3-1表 これまでの研究成果 (設問27)

区 分	満足	まあ満足	どちらとも 言えない	やや不満	不満	事例数
2009年(59回)	% (4.0)	% (28.8)	% (29.3)	% (22.7)	% (15.2)	人 (1322)
全 体	4.2	27.5	27.7	24.0	16.6	1180
男 子	4.4	26.1	27.9	24.4	17.2	849
女 子	3.8	30.5	27.4	23.3	15.1	318
修士課程	3.3	27.0	28.1	23.7	17.9	615
博士課程	5.5	28.9	21.2	27.9	16.5	401
獣医学又は医学を履修する博士課程	5.6	27.8	31.9	22.2	12.5	72
専門職学位課程	3.3	24.4	51.1	8.9	12.2	90
文科系	3.7	26.4	34.0	21.2	14.7	326
理科系	4.3	28.0	25.3	25.0	17.4	853

3-2表 これまでの研究成果についての不満 (設問28)

(3つまで)

区分	思うように研究成果が上がらない	今やっている研究の意義はつきりつかめない	研究テーマはつきり決っていない	研究の見通しがない	自分の能力に不安がある	研究時間をとれない	自分の研究について指導を受けられる教員が少ない	教員の指導が不十分である	指導教員と意見が合わない	論文発表の機会が少ない	関連講義が十分そろっていない	研究設備・スペースが不備である	図書設備が不備である	研究上の経費が不足している	研究室の雑用に追われ自分の研究ができない	その他	事例数
	% (23.2)	% (7.2)	% (7.3)	% (10.6)	% (16.3)	% (7.5)	% (3.7)	人 (5.5)	% (2.4)	% (1.6)	% (2.0)	% (2.9)	% (1.6)	% (3.7)	% (2.3)	% (2.2)	人 (1286)
2009年(59回)																	
全体	24.9	6.2	6.0	12.0	18.3	7.4	2.5	5.0	2.6	3.6	2.0	1.9	0.9	3.1	2.8	0.9	1170
男子	26.7	6.6	5.4	11.7	17.9	7.5	2.3	4.6	2.6	4.1	2.0	1.9	0.7	2.3	2.7	1.1	839
女子	20.3	5.3	7.2	12.8	20.0	6.9	3.1	5.9	2.2	2.5	1.9	1.9	1.3	5.3	3.1	0.3	320
修士課程	25.2	7.5	8.1	11.8	19.9	5.7	1.8	4.3	2.4	3.3	2.4	1.3	1.1	2.2	2.2	0.6	627
博士課程	26.1	5.4	2.1	11.7	16.9	9.2	3.1	5.6	3.5	3.8	1.4	1.9	0.7	4.2	3.3	1.2	426
獣医学又は医学を履修する博士課程	20.0	3.1	10.8	16.9	13.8	7.7	6.2	6.2	0.0	3.1	0.0	3.1	0.0	3.1	6.2	0.0	65
専門職学位課程	16.3	2.0	6.1	10.2	14.3	12.2	2.0	8.2	0.0	6.1	4.1	8.2	2.0	2.0	2.0	4.1	49
文科系	20.7	5.5	6.9	12.4	19.0	9.0	2.4	4.1	0.7	3.1	4.1	4.5	2.1	3.4	0.7	1.4	290
理科系	26.3	6.5	5.7	11.8	18.1	6.8	2.5	5.3	3.2	3.8	1.3	1.0	0.6	3.0	3.5	0.7	879
人文社会系研究科	25.5	7.8	7.8	11.8	21.6	5.9	0.0	5.9	0.0	0.0	2.0	3.9	0.0	5.9	0.0	2.0	51
教育学研究科	20.5	10.3	10.3	23.1	20.5	7.7	0.0	2.6	0.0	0.0	2.6	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	39
法学政治学研究科	19.4	0.0	2.8	8.3	19.4	16.7	0.0	5.6	0.0	2.8	5.6	5.6	5.6	2.8	0.0	5.6	36
経済学研究科	25.0	0.0	0.0	8.3	8.3	25.0	0.0	8.3	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	12
総合文化研究科	20.7	5.0	5.7	10.7	20.0	7.9	4.3	2.9	0.7	4.3	5.0	4.3	2.9	4.3	0.7	0.7	140
理学系研究科	27.7	5.6	6.2	14.7	20.9	3.4	2.3	5.1	3.4	4.5	1.7	0.0	0.0	2.3	2.3	0.0	177
工学系研究科	27.4	6.6	4.7	10.8	16.5	11.3	1.4	4.2	2.4	4.7	0.5	2.4	1.4	1.9	2.4	1.4	212
農学生命科学研究科	29.2	10.6	3.5	10.6	13.3	6.2	1.8	9.7	3.5	3.5	0.9	0.9	0.0	0.9	5.3	0.0	113
医学系研究科	20.0	3.2	9.5	12.6	14.7	6.3	7.4	6.3	1.1	3.2	0.0	2.1	0.0	6.3	7.4	0.0	95
薬学系研究科	33.3	6.1	0.0	12.1	18.2	3.0	0.0	6.1	6.1	9.1	0.0	0.0	0.0	6.1	0.0	0.0	33
数理科学研究科	28.0	4.0	8.0	20.0	12.0	16.0	0.0	4.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	25
新領域創設科学研究科	25.4	4.9	4.2	9.9	24.6	6.3	2.1	4.9	4.2	2.8	2.8	0.7	1.4	2.1	2.8	0.7	142
情報理工学系研究科	25.4	11.9	11.9	11.9	18.6	1.7	5.1	0.0	5.1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	6.8	0.0	59
情報学環・学際情報学府	13.0	4.3	4.3	4.3	13.0	8.7	0.0	8.7	4.3	4.3	4.3	0.0	0.0	21.7	4.3	4.3	23
公共政策学教育部	0.0	8.3	25.0	16.7	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	12

3-3-1表 研究設備・スペースについて (設問29_1)

区 分	満足	まあ満足	どちらとも 言えない	やや不備	不満	事例数
2009年(59回)	% (31.0)	% (35.6)	% (11.0)	% (13.1)	% (9.3)	人 (1308)
全 体	33.8	33.9	10.5	14.7	7.1	1177
男 子	35.5	33.9	10.7	13.5	6.4	844
女 子	28.8	34.7	10.0	17.8	8.8	320
修士課程	38.3	35.3	9.8	11.7	4.9	614
博士課程	34.5	32.0	12.4	15.1	6.0	403
獣医学又は医学を履修する博士課程	26.4	47.2	5.6	13.9	6.9	72
専門職学位課程	5.8	19.8	11.6	34.9	27.9	86
文科系	13.6	28.5	14.6	26.3	17.0	323
理科系	41.5	36.0	9.0	10.3	3.2	853
人文社会系研究科	19.6	37.5	10.7	16.1	16.1	56
教育学研究科	14.0	32.6	14.0	25.6	14.0	43
法学政治学研究科	1.6	14.1	18.8	39.1	26.6	64
経済学研究科	33.3	38.1	14.3	9.5	4.8	21
総合文化研究科	15.7	30.4	17.4	25.2	11.3	115
理学系研究科	40.3	38.9	7.6	11.8	1.4	144
工学系研究科	43.6	33.8	10.7	8.9	3.1	225
農学生命科学研究科	41.7	32.0	15.5	8.7	1.9	103
医学系研究科	25.5	46.2	6.6	15.1	6.6	106
薬学系研究科	36.6	43.9	7.3	9.8	2.4	41
数理科学研究科	77.8	22.2				18
新領域創設科学研究科	49.0	33.3	5.4	9.5	2.7	147
情報理工学系研究科	52.1	29.2	6.3	10.4	2.1	48
情報学環・学際情報学府	9.5	38.1	23.8	14.3	14.3	21
公共政策学教育部	4.2	20.8		37.5	37.5	24

3-3-2表 研究上の経費について (設問29_2)

区 分	満足	まあ満足	どちらとも 言えない	やや不備	不満	事例数
2009年(59回)	% (31.0)	% (24.8)	% (22.1)	% (13.0)	% (9.2)	人 (1305)
全 体	36.5	24.1	20.5	11.3	7.6	1177
男 子	40.4	23.9	18.2	10.4	7.0	844
女 子	26.3	25.0	25.9	14.1	8.8	320
修士課程	42.8	23.1	19.4	9.0	5.7	614
博士課程	34.5	26.6	15.9	13.6	9.4	403
獣医学又は医学を履修する博士課程	30.6	36.1	16.7	11.1	5.6	72
専門職学位課程	5.8	10.5	53.5	16.3	14.0	86
文科系	9.9	18.3	36.5	19.5	15.8	323
理科系	46.7	26.4	14.4	8.2	4.3	853
人文社会系研究科	5.4	23.2	32.1	21.4	17.9	56
教育学研究科	16.3	16.3	30.2	20.9	16.3	43
法学政治学研究科	1.6	9.4	60.9	15.6	12.5	64
経済学研究科	9.5	19.0	47.6	9.5	14.3	21
総合文化研究科	14.8	22.6	25.2	20.9	16.5	115
理学系研究科	52.8	23.6	12.5	9.0	2.1	144
工学系研究科	42.7	28.4	18.2	6.7	4.0	225
農学生命科学研究科	55.3	16.5	19.4	7.8	1.0	103
医学系研究科	30.2	33.0	15.1	13.2	8.5	106
薬学系研究科	58.5	24.4	7.3	4.9	4.9	41
数理科学研究科	50.0	33.3		11.1	5.6	18
新領域創設科学研究科	49.0	27.9	11.6	8.2	3.4	147
情報理工学系研究科	56.3	27.1	6.3	4.2	6.3	48
情報学環・学際情報学府	23.8	23.8	23.8	9.5	19.0	21
公共政策学教育部	8.3	12.5	37.5	25.0	16.7	24

3-3-3表 人間関係について (設問29_3)

区 分	満足	まあ満足	どちらとも 言えない	やや不備	不満	事例数
2009年(59回)	% (26.8)	% (40.7)	% (17.8)	% (9.6)	% (5.0)	人 (1307)
全 体	29.6	38.7	17.6	9.4	4.8	1176
男 子	29.9	39.3	16.5	9.6	4.7	843
女 子	28.8	38.1	19.7	8.4	5.0	320
修士課程	33.9	36.8	15.1	10.3	3.9	614
博士課程	27.5	38.5	20.3	8.4	5.2	403
獣医学又は医学を履修する博士課程	19.4	50.0	8.3	13.9	8.3	72
専門職学位課程	17.6	43.5	29.4	3.5	5.9	85
文科系	22.0	42.5	23.9	6.2	5.3	322
理科系	32.5	37.3	15.2	10.6	4.5	853
人文社会系研究科	23.2	42.9	21.4	5.4	7.1	56
教育学研究科	20.9	48.8	25.6		4.7	43
法学政治学研究科	11.1	42.9	31.7	6.3	7.9	63
経済学研究科	28.6	28.6	28.6	9.5	4.8	21
総合文化研究科	26.1	41.7	18.3	9.6	4.3	115
理学系研究科	31.3	39.6	19.4	6.3	3.5	144
工学系研究科	34.7	35.1	16.9	10.7	2.7	225
農学生命科学研究科	27.2	35.9	20.4	8.7	7.8	103
医学系研究科	19.8	49.1	9.4	15.1	6.6	106
薬学系研究科	19.5	46.3	12.2	12.2	9.8	41
数理科学研究科	44.4	38.9	5.6	5.6	5.6	18
新領域創設科学研究科	40.1	29.9	13.6	14.3	2.0	147
情報理工学系研究科	41.7	31.3	8.3	10.4	8.3	48
情報学環・学際情報学府	47.6	38.1	14.3			21
公共政策学教育部	25.0	45.8	29.2			24

3-3-4表 指導教員の研究指導方法について (設問29_4)

区 分	満足	まあ満足	どちらとも 言えない	やや不備	不満	事例数
2009年(59回)	% (29.2)	% (3.26)	% (20.6)	% (9.6)	% (7.6)	人 (1308)
全 体	30.8	33.9	18.2	10.8	6.4	1177
男 子	30.7	33.6	19.1	10.3	6.3	844
女 子	30.6	35.0	15.3	12.5	6.6	320
修士課程	33.2	33.1	18.2	9.0	6.5	614
博士課程	32.0	32.5	17.9	11.9	5.7	403
獣医学又は医学を履修する博士課程	22.2	41.7	8.3	20.8	6.9	72
専門職学位課程	15.1	39.5	27.9	9.3	8.1	86
文科系	31.3	38.4	17.6	8.0	4.6	323
理科系	30.6	32.2	18.4	11.8	6.9	853
人文社会系研究科	33.9	41.1	16.1	7.1	1.8	56
教育学研究科	39.5	41.9	11.6	4.7	2.3	43
法学政治学研究科	17.2	32.8	31.3	12.5	6.3	64
経済学研究科	38.1	38.1	9.5	4.8	9.5	21
総合文化研究科	36.5	36.5	13.9	9.6	3.5	115
理学系研究科	31.3	35.4	16.7	9.0	7.6	144
工学系研究科	31.1	33.3	20.0	11.1	4.4	225
農学生命科学研究科	29.1	31.1	18.4	12.6	8.7	103
医学系研究科	19.8	36.8	14.2	19.8	9.4	106
薬学系研究科	26.8	31.7	22.0	9.8	9.8	41
数理科学研究科	61.1	16.7	11.1		11.1	18
新領域創設科学研究科	33.3	29.3	17.7	15.0	4.8	147
情報理工学系研究科	39.6	25.0	25.0	2.1	8.3	48
情報学環・学際情報学府	23.8	33.3	23.8	9.5	9.5	21
公共政策学教育部	16.7	50.0	20.8		12.5	24

3-3-5表 所属研究科の事務の対応について (設問29_5)

区 分	満足	まあ満足	どちらとも 言えない	やや不備	不満	事例数
2009年(59回)	% (32.0)	% (39.6)	% (17.7)	% (7.3)	% (3.5)	人 (1307)
全 体	30.9	38.1	20.6	7.0	3.4	1177
男 子	29.1	38.5	22.2	6.9	3.3	844
女 子	35.6	37.2	16.6	6.9	3.8	320
修士課程	32.4	38.6	20.2	5.5	3.3	614
博士課程	33.5	36.5	19.4	7.2	3.5	403
獣医学又は医学を履修する博士課程	22.2	29.2	31.9	15.3	1.4	72
専門職学位課程	15.1	48.8	20.9	9.3	5.8	86
文科系	29.4	41.8	18.6	6.5	3.7	323
理科系	31.5	36.7	21.5	7.2	3.2	853
人文社会系研究科	35.7	32.1	23.2	5.4	3.6	56
教育学研究科	51.2	37.2	7.0	4.7		43
法学政治学研究科	14.1	43.8	25.0	12.5	4.7	64
経済学研究科	42.9	38.1	9.5	4.8	4.8	21
総合文化研究科	26.1	42.6	20.9	6.1	4.3	115
理学系研究科	32.6	38.2	18.8	6.9	3.5	144
工学系研究科	27.1	38.7	22.7	8.4	3.1	225
農学生命科学研究科	28.2	39.8	23.3	6.8	1.9	103
医学系研究科	25.5	25.5	28.3	12.3	8.5	106
薬学系研究科	36.6	41.5	17.1	4.9		41
数理科学研究科	50.0	33.3	16.7			18
新領域創設科学研究科	40.1	33.3	19.0	4.8	2.7	147
情報理工学系研究科	25.0	56.3	18.8			48
情報学環・学際情報学府	47.6	19.0	19.0	14.3		21
公共政策学教育部	20.8	66.7	8.3		4.2	24

3-4表 過去1年間に自分が負担した研究費 (設問30)

区 分	研究に必要な書籍類の購入費		研究に必要なコピー代、 その他文房具の購入費		調査、実験等の費用		学会費、学会旅費、参加費、 学会に関する諸費用		その他	
	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数
2009年(59回)	(57.3)	(1278)	(16.2)	(1272)	(44.0)	(1240)	(38.4)	(1263)	(26.5)	(669)
全 体	46.7	1146	12.1	1141	43.8	1113	34.5	1128	17.5	663
男 子	43.2	824	10.6	820	39.0	804	27.4	812	12.8	480
女 子	55.2	309	15.7	309	57.4	298	52.3	304	31.2	175
修士課程	30.8	595	7.7	592	17.9	578	17.0	586	5.2	349
博士課程	57.1	394	15.6	395	84.7	388	55.2	394	32.0	220
獣医学又は医学を履修する博士課程	94.0	84	19.6	83	11.1	77	11.0	76	39.7	58
専門職学位課程	46.7	1144	12.1	1139	43.9	1111	34.5	1126	17.5	662
文科系	100.5	317	23.4	315	52.2	298	41.8	302	28.8	179
理科系	26.1	828	7.8	825	40.8	814	31.8	825	13.4	483
人文社会系研究科	116.0	54	24.9	54	71.2	54	87.7	54	32.0	30
教育学研究科	90.9	41	21.0	41	37.6	39	40.8	40	32.7	24
法学政治学研究科	106.5	65	21.2	63	2.4	57	6.4	58	28.1	44
経済学研究科	92.0	20	32.6	19	12.8	16	16.9	18	35.0	6
総合文化研究科	94.8	114	23.1	114	84.0	109	46.4	111	15.1	61
理学系研究科	20.2	137	4.6	138	9.4	137	31.1	139	9.6	84
工学系研究科	18.8	217	5.2	216	14.1	212	19.5	214	14.6	131
農学生命科学研究科	18.8	101	10.3	100	114.6	100	27.8	102	7.6	60
医学系研究科	61.5	103	21.1	101	95.4	99	89.1	102	30.1	56
薬学系研究科	12.3	41	4.7	41	91.9	41	27.2	41	3.0	25
数理科学研究科	33.1	18	5.4	18	4.2	18	9.4	18	14.0	10
新領域創設科学研究科	24.1	143	5.2	143	24.3	141	20.2	142	9.8	79
情報理工学系研究科	16.5	48	3.6	48	2.8	46	7.3	47	0.0	28
情報学環・学際情報学府	60.5	20	14.3	20	29.5	20	66.0	20	60.0	10
公共政策学教育部	100.0	23	23.8	24	32.3	23	20.7	21	75.0	14

3-5表 大学、短大などの非常勤講師或いはTA、RAをしているか (設問31)

区 分	現在している	過去にしたことがある	していない(したことがない)	事例数
2009年(59回)	% (25.7)	% (23.8)	% (50.5)	人 (1307)
全 体	25.3	26.9	47.8	1180
男 子	24.7	28.3	47.0	846
女 子	26.8	23.1	50.2	321
修士課程	18.8	26.0	55.2	616
博士課程	39.4	32.9	27.7	401
獣医学又は医学を履修する博士課程	29.6	26.8	43.7	71
専門職学位課程	4.4	4.4	91.1	90
文科系	24.1	16.2	59.8	328
理科系	25.9	31.0	43.1	851

3-6表 一週間の登校数 (設問32)

区 分	0日	1日～2日	3日～4日	5日	6日	7日	事例数
2009年(59回)	% (2.7)	% (13.3)	% (18.1)	% (28.9)	% (24.5)	% (12.5)	人 (1315)
全 体	2.9	12.4	19.3	28.8	26.4	10.3	1179
男 子	2.5	11.6	17.6	30.1	27.3	11.0	847
女 子	3.8	13.8	23.8	25.7	24.5	8.5	319
修士課程	1.5	7.7	24.0	31.6	26.3	9.0	613
博士課程	5.5	21.6	12.9	22.6	27.1	10.2	402
獣医学又は医学を履修する博士課程	2.8	15.5	5.6	22.5	40.8	12.7	71
専門職学位課程	1.1	1.1	26.4	40.7	12.1	18.7	91
文科系	3.1	21.5	33.7	22.1	9.5	10.1	326
理科系	2.8	8.9	13.7	31.3	32.9	10.3	852
本 郷	2.8	11.7	19.7	28.3	26.4	11.1	746
駒場Ⅰ	2.9	24.6	32.6	21.7	10.1	8.0	138
駒場Ⅱ	1.4	11.4	20.0	28.6	34.3	4.3	70
柏	4.7	6.1	10.8	34.5	31.8	12.2	148
その他	1.4	8.5	5.6	35.2	40.8	8.5	71

3-7表 研究室や学習スペース (設問36)

区 分	24時間自由に利用できるスペース(研究室実験室)がある	届けを出せば、24時間自由に利用できるスペース(研究室実験室)がある	一時的に鍵やカードなどを貸与されて利用できるスペース(研究室実験室)がある	開設時間以外に利用することができない	利用できる学習スペースがない	事例数
2009年(59回)	% (-)	% (-)	% (-)	% (-)	% (-)	人 (-)
全 体	75.3	3.0	8.7	11.5	1.5	1217
男 子	79.3	2.5	8.0	8.7	1.5	876
女 子	65.2	4.3	10.4	18.9	1.2	328
修士課程	83.0	2.2	6.8	6.8	1.1	630
博士課程	74.2	3.6	12.2	8.6	1.4	418
獣医学又は医学を履修する博士課程	83.8	6.8	6.8	1.4	1.4	74
専門職学位課程	21.5	2.2	7.5	64.5	4.3	93
文科系	36.3	3.0	18.2	39.6	3.0	336
理科系	90.3	3.0	5.1	0.8	0.8	880

3-8表 研究室に専用または共用の機の有無 (設問37)

区 分	専用機がある	共用の機がある	どちらもない	事例数
2009年(59回)	% (68.0)	% (16.1)	% (15.9)	人 (1315)
全 体	72.9	15.7	11.3	1182
男 子	78.0	13.1	9.1	849
女 子	60.6	22.8	16.6	320
修士課程	81.2	12.1	6.6	618
博士課程	71.4	15.9	12.7	402
獣医学又は医学を履修する博士課程	87.5	12.5	0.0	72
専門職学位課程	9.1	43.2	47.7	88
文科系	22.8	40.9	36.3	325
理科系	92.1	6.2	1.8	856

3-9表 平日の夜、遅くまでキャンパス内にいることがありますか (設問33)

区 分	夜9時までキャンパスに いることはない	夜9時くらい までならキャン パスにいる ことはある	夜10時くらい までならキャン パスにいる ことはある	夜11時くらい までならキャン パスにいる ことはある	深夜12時過ぎ までキャンパ スにいること がある	事例数
2009年(59回)	% (-)	% (-)	% (-)	% (-)	% (-)	人 (-)
全 体	18.5	16.0	13.8	18.1	33.6	1183
男 子	16.5	14.0	13.4	17.8	38.3	849
女 子	23.4	21.2	14.6	19.3	21.5	321
修士課程	13.3	13.8	13.9	21.1	37.9	617
博士課程	24.9	16.5	10.5	14.2	33.9	401
獣医学又は医学を履修する博士課程	16.7	22.2	13.9	13.9	33.3	72
専門職学位課程	27.5	24.2	26.4	18.7	3.3	91
文科系	35.3	20.7	19.1	12.8	12.2	329
理科系	12.1	14.2	11.7	20.0	42.0	853
本郷	18.3	14.8	14.3	19.7	32.9	750
駒場Ⅰ	33.3	23.2	17.4	10.1	15.9	138
駒場Ⅱ	11.4	8.6	14.3	22.9	42.9	70
柏	12.2	13.6	6.8	12.2	55.1	147
その他	9.7	27.8	15.3	22.2	25.0	72

3-10表 9時過ぎまでいた回数 (設問34)

区 分	半年で1、 2回くらい	月に1、2 回くらい	週に1、2 回くらい	週に3、4 回くらい	ほぼ毎日	事例数
2009年(59回)	% (-)	% (-)	% (-)	% (-)	% (-)	人 (-)
全 体	6.8	16.5	26.8	23.0	26.9	958
男 子	5.4	16.1	27.2	23.3	28.0	707
女 子	10.7	17.4	26.4	21.9	23.6	242
修士課程	5.6	17.3	27.8	26.1	23.1	532
博士課程	8.3	14.3	24.0	19.7	33.7	300
獣医学又は医学を履修する博士課程	5.1	22.0	20.3	20.3	32.2	59
専門職学位課程	10.8	15.4	36.9	13.8	23.1	65
文科系	13.7	18.0	34.1	20.4	13.7	211
理科系	4.8	16.1	24.8	23.7	30.6	746
本郷	7.6	15.6	26.6	22.7	27.6	609
駒場Ⅰ	13.2	22.0	29.7	25.3	9.9	91
駒場Ⅱ	1.6	24.2	32.3	19.4	22.6	62
柏	3.1	13.2	25.6	23.3	34.9	129
その他	3.1	17.2	23.4	25.0	31.3	64

3-11表 土曜日・日曜日・祝日にキャンパス内にいたことはありますか (設問35)

区 分	ない	ある	事例数
2009年(59回)	% (-)	% (-)	人 (-)
全 体	17.7	82.3	1178
男 子	16.0	84.0	844
女 子	21.5	78.5	321
修士課程	11.9	88.1	612
博士課程	24.9	75.1	401
獣医学又は医学を履修する博士課程	16.7	83.3	72
専門職学位課程	25.3	74.7	91
文科系	29.4	70.6	327
理科系	13.2	86.8	850
本郷	17.8	82.2	746
駒場Ⅰ	26.8	73.2	138
駒場Ⅱ	17.4	82.6	69
柏	8.2	91.8	147
その他	13.9	86.1	72

3-12表 土曜日・日曜日・祝日にキャンパスにいた回数 (設問35)

区 分	平均回数	事例数
2009年(59回)	(-)	人 (-)
全 体	8.4	888
男 子	8.7	650
女 子	7.6	229
修士課程	8.4	496
博士課程	8.4	281
獣医学又は医学を履修する博士課程	9.0	47
専門職学位課程	8.2	62
文科系	6.8	215
理科系	8.9	673
本 郷	8.5	556
駒場Ⅰ	6.6	95
駒場Ⅱ	8.4	54
柏	9.0	124
その他	9.1	58

3-13表 東日本大震災時にあなたはどこにいましたか (設問38)

区 分	キャンパス内	自宅	その他	事例数
2009年(59回)	% (-)	% (-)	% (-)	人 (-)
全 体	36.5	25.2	38.3	1185
男 子	37.3	26.1	36.6	850
女 子	34.2	23.0	42.9	322
修士課程	32.9	30.6	36.5	617
博士課程	44.4	17.9	37.7	403
獣医学又は医学を履修する博士課程	47.2	11.1	41.7	72
専門職学位課程	17.6	33.0	49.5	91
文科系	22.1	33.3	44.5	330
理科系	42.0	22.1	35.8	854

3-14表 地震発生後は、どうしましたか (設問39)

区 分	帰宅した	校内に泊まった	友人・知人宅に泊まった	帰宅困難者を受け入れた施設に泊まった	その他	事例数
2009年(59回)	% (-)	% (-)	% (-)	% (-)	% (-)	人 (-)
全 体	62.0	30.3	5.8	0.2	1.6	432
男 子	62.8	30.9	4.4	0.3	1.6	317
女 子	59.1	29.1	10.0	0.0	1.8	110
修士課程	59.6	34.0	4.4	0.5	1.5	203
博士課程	62.6	30.7	5.6		1.1	179
獣医学又は医学を履修する博士課程	73.5	17.6	5.9		2.9	34
専門職学位課程	62.5	6.3	25.0		6.3	16
文科系	57.5	31.5	8.2		2.7	73
理科系	63.0	30.1	5.3	0.3	1.4	359

3-15表 地震発生後の研究室や部局の対応 (設問40)

(複数回答)

区 分	行動について支持を受けた	情報やニュースの伝達を受けた	大学の備蓄の提供を受けた	その他	何も無かった	事例数
2009年(59回)	% (-)	% (-)	% (-)	% (-)	% (-)	人 (-)
全 体	40.8	30.3	3.4	9.1	16.3	1452
男 子	41.6	30.4	3.4	8.5	16.0	1047
女 子	38.6	30.4	3.6	10.7	16.6	391
修士課程	42.1	30.5	3.5	8.1	15.8	770
博士課程	42.2	30.3	4.2	9.1	14.1	495
獣医学又は医学を履修する博士課程	34.5	35.6	1.1	6.9	21.8	87
専門職学位課程	30.6	23.5	1.0	19.4	25.5	98
文科系	28.6	31.9	1.9	15.4	22.2	370
理科系	45.1	29.8	4.0	6.9	14.2	1081

3-16表 地震発生後の研究室や部局の対応をどのような手段で受けましたか (設問41) (複数回答)

区 分	直接口頭 で	電話	電子 メール	掲示等	安否確認の 問い合わせ を受けた	その他	事例数
2009年(59回)	% (-)	% (-)	% (-)	% (-)	% (-)	% (-)	人 (-)
全 体	21.5	4.4	46.0	4.5	20.8	2.7	1300
男 子	21.4	4.9	44.7	4.7	21.3	3.0	948
女 子	21.4	3.2	49.6	4.1	19.7	2.0	345
修士課程	21.6	4.4	47.9	3.7	20.2	2.2	677
博士課程	23.3	4.2	45.2	2.5	21.4	3.4	476
獣医学又は医学を履修する博士課程	31.8	9.1	37.9	4.5	15.2	1.5	66
専門職学位課程	1.3	1.3	42.5	23.8	27.5	3.8	80
文科系	11.0	1.8	50.0	7.7	27.6	1.8	326
理科系	25.1	5.2	44.7	3.5	18.6	3.0	974

3-17表 大震災時に、大学のあなたに対する対応は十分でしたか (設問42)

区 分	十分だった	まあ十分 だった	どちらとも 言えない	あまり十分 でなかった	十分でな かった	事例数
2009年(59回)	% (-)	% (-)	% (-)	% (-)	% (-)	人 (-)
全 体	32.7	33.5	25.7	3.7	4.3	855
男 子	35.0	33.4	24.7	3.1	3.9	620
女 子	27.5	33.2	28.8	5.2	5.2	229
修士課程	34.9	36.2	21.3	2.9	4.7	447
博士課程	31.5	29.6	29.9	4.1	4.8	314
獣医学又は医学を履修する博士課程	31.0	19.0	40.5	9.5		42
専門職学位課程	23.5	45.1	25.5	3.9	2.0	51
文科系	29.8	34.9	25.1	5.1	5.1	215
理科系	33.8	33.0	25.9	3.3	4.1	640

3-18表 東日本大震災後に、あなたは情報を収集するためにどうしましたか (設問44) (複数回答)

区 分	東京大学 のホーム ページに アクセス した	自分が所属している、または所属予定の研究科				左記のよ うなこ とはとく にしな かった	事例数
		ホームペ ージにア クセスし た	事務に 電話や メール した	教員に 電話や メール した	先輩やスタ ッフ、同級生 に電話やメ ールした		
2009年(59回)	% (-)	% (-)	% (-)	% (-)	% (-)	% (-)	人 (-)
全 体	22.8	17.6	2.6	12.6	20.4	24.1	1764
男 子	22.8	18.3	2.7	12.7	18.9	24.5	1255
女 子	23.4	15.9	2.2	12.5	23.6	22.4	496
修士課程	23.7	18.9	2.3	13.0	19.4	22.7	932
博士課程	21.0	12.6	1.4	16.0	22.7	26.3	581
獣医学又は医学を履修する博士課程	17.9	8.4	3.2	8.4	23.2	38.9	95
専門職学位課程	26.6	34.4	8.4	0.6	14.9	14.9	154
文科系	26.4	22.6	3.9	7.3	18.5	21.3	508
理科系	21.4	15.5	2.0	14.8	21.0	25.3	1255

3-19表 大学に非常時に備えた備蓄があることを知っていましたか (設問45)

区 分	どのようにして入手 できるか知っていた	入手方法はわからないが あることは知っていた	知らなかった	事例数
2009年(59回)	% (-)	% (-)	% (-)	人 (-)
全 体	0.7	23.9	75.4	1183
男 子	0.6	24.5	74.9	850
女 子	0.6	22.5	76.9	320
修士課程	0.8	25.5	73.7	615
博士課程	0.7	24.1	75.2	403
獣医学又は医学を履修する博士課程		19.4	80.6	72
専門職学位課程		16.5	83.5	91
文科系		18.2	81.8	329
理科系	0.9	26.0	73.0	853

3-20表 博士論文の執筆予定 (設問46)

区 分	既にかいた	在籍中に書く予定	在籍中に書く予定はないが、課程博士は取りたい	課程博士の期間内には書かない	事例数
2009年(59回)	% (8.5)	% (77.4)	% (11.6)	% (2.5)	人 (483)
全 体	9.5	81.8	7.0	1.7	472
男 子	8.0	85.1	5.7	1.2	336
女 子	13.7	73.3	9.9	3.1	131
文科系	2.5	73.9	19.3	4.2	119
理科系	11.9	84.4	2.8	0.8	353
人文社会系研究科		67.9	28.6	3.6	28
教育学研究科		73.7	21.1	5.3	19
法学政治学研究科		100.0			5
経済学研究科	10.0	50.0	30.0	10.0	10
総合文化研究科	3.5	78.9	14.0	3.5	57
理学系研究科	9.0	86.6	3.0	1.5	67
工学系研究科	9.5	87.3	3.2		63
農学生命科学研究科	16.3	74.4	7.0	2.3	43
医学系研究科	20.0	80.0			80
薬学系研究科		90.5	9.5		21
数理科学研究科		100.0			6
新領域創設科学研究科	10.4	85.4	2.1	2.1	48
情報理工学系研究科	11.8	88.2			17
情報学環・学際情報学府		100.0			8
公共政策学教育部					

3-21表 研究上使用する主な言語 (設問47)

(2つまで)

区 分	日本語	英 語	中国語	独 語	仏 語	その他	事例数
2009年(59回)	% (54.8)	% (41.7)	% (0.7)	% (0.6)	% (1.2)	% (1.1)	件 (1615)
全 体	53.8	43.2	0.2	1.0	0.8	1.1	1898
男 子	54.1	44.2	0.2	0.5	0.4	0.6	1368
女 子	53.3	40.5	0.2	2.1	1.7	2.1	516
修士課程	54.4	42.9	0.1	0.8	0.8	1.0	947
博士課程	52.0	43.9	0.4	1.3	1.0	1.4	710
獣医学又は医学を履修する博士課程	47.3	51.9	0.0	0.8	0.0	0.0	129
専門職学位課程	68.8	29.4	0.0	0.9	0.0	0.9	109
文科系	57.1	31.8	0.8	3.8	2.9	3.6	478
理科系	52.6	47.0	0.0	0.1	0.1	0.2	1419

3-22-1表 一日平均研究時間 (設問48)

区 分	平均値	度 数
2009年(59回)	時間 (7.9)	件 (1335)
全 体	7.9	1094
男 子	8.0	786
女 子	7.6	298
修士課程	7.6	544
博士課程	8.2	399
獣医学又は医学を履修する博士課程	9.3	71
専門職学位課程	6.7	78
文科系	6.2	300
理科系	8.5	793

3-22-2表 一週間平均研究時間

区 分	平均値	度 数
2009年(59回)	時間 (45.0)	件 (922)
全 体	44.7	1092
男 子	45.4	785
女 子	43.0	297
修士課程	42.6	543
博士課程	47.4	398
獣医学又は医学を履修する博士課程	51.0	71
専門職学位課程	41.0	78
文科系	38.0	299
理科系	47.2	792

4-1表 修士課程修了後の進路 (設問49)

(2つまで)

区 分	修士課程と同じ研究室の博士課程へ進学したい	東京大学の他の研究室の博士課程へ進学したい	他大学の博士課程へ進学したい	学士入学したい	留学したい (博士課程進学の留学を含む)	研究職に就職したい	研究職や専門職以外で就職したい	(社会人入学の方のみ)		その他	事例数
								現在の職場に戻りたい	現在の職場から新しい職場へ移りたい		
2009年(59回)	% (25.3)	% (3.6)	% (1.8)	% (1.2)	% (7.5)	% (24.7)	% (30.4)	% (1.1)	% (0.9)	% (3.6)	件 (1042)
全 体	23.2	2.7	1.1	0.8	8.3	24.8	35.0	1.6	1.4	0.8	879
男 子	21.6	3.1	1.5	0.9	7.9	25.7	35.7	1.1	1.5	0.9	649
女 子	27.0	1.4	0.0	0.0	10.8	22.5	34.2	2.7	0.9	0.5	222
文科系	29.5	3.4	1.0	0.5	15.9	13.5	29.5	2.9	2.9	1.0	207
理科系	21.3	2.5	1.2	0.9	6.3	28.3	36.8	1.2	0.7	0.7	671

4-2表 博士課程修了後の進路 (設問50)

(2つまで)

区 分	博士課程と同じ研究室に特別研究員などとして残りたい	東京大学の他の研究室に特別研究員などとして残りたい	他大学の研究室に特別研究員などとして移りたい	国公立研究機関(独立行政法人を含む)の研究室に特別研究員などとして移りたい	学士入学したい	留学したい	研究職に就職したい	研究職や専門職以外で就職したい	(社会人入学の方のみ)		その他	事例数
									現在の職場に戻りたい	現在の職場から新しい職場へ移りたい		
2009年(59回)	% (14.9)	% (6.5)	% (11.5)	% (12.7)	% (0.4)	% (9.9)	% (28.2)	% (5.0)	% (5.1)	% (2.3)	% (3.6)	人 (837)
全 体	11.7	4.2	12.5	10.8	0.4	9.8	30.5	9.0	3.8	3.0	4.3	767
男 子	10.5	4.2	14.0	12.0	0.6	9.6	29.5	9.4	3.7	3.0	3.5	542
女 子	14.8	3.7	7.9	7.9	0.0	10.6	32.9	8.3	4.2	3.2	6.5	216
文科系	10.5	5.5	15.0	7.0	0.0	7.0	38.5	4.0	1.5	5.5	5.5	200
理科系	12.2	3.7	11.6	12.2	0.5	10.8	27.7	10.8	4.6	2.1	3.9	567

4-3表 就職希望職種 (設問51)

(2つまで)

区 分	大学(短大、附置研究所含む)の教育職、研究職	大学以外の教育職	国公立研究機関(独立行政法人を含む)の研究職	国、地方公共団体の研究職、技術職	国、地方公共団体の一般職	企業の研究職、技術職	企業の一般職	専門職※	その他	事例数
2009年(59回)	% (31.7)	% (3.6)	% (20.5)	% (3.9)	% (3.6)	% (19.4)	% (8.5)	% (6.4)	% (2.4)	人 (1623)
全 体	26.5	2.5	14.9	4.5	3.8	22.9	12.5	9.1	3.3	1899
男 子	25.7	2.2	15.0	4.5	3.5	25.6	13.5	7.1	2.9	1373
女 子	28.3	3.0	14.6	4.5	4.9	16.0	9.9	14.6	4.2	506
修士課程	19.6	2.5	10.3	5.8	5.3	30.8	19.2	3.8	2.8	981
博士課程	37.6	3.1	24.2	3.8	1.2	17.4	5.0	3.7	3.7	679
獣医学又は医学を履修する博士課程	39.1	0.0	14.8	1.7	0.0	4.3	0.0	39.1	39.1	115
専門職学位課程	9.1	0.8	0.8	0.8	10.7	6.6	12.4	53.7	53.7	121
文科系	36.5	5.2	13.1	3.6	5.4	5.4	8.4	17.5	4.8	498
理科系	22.9	1.5	15.6	4.9	3.2	29.1	14.0	6.1	2.8	1400

※専門職：大学教員や研究職以外（弁護士、公認会計士、税理士、医師等）

4-4表 就職の見通し (設問52)

区 分	既に就職 が決まっ ている	決まっ てないが、 見通しは 明るい	何とかな ると思っ ている	かなり厳 しいと思 っている	見通しが 立たない	あまり考 えていな い	その他	事例数
2009年(59回)	% (20.2)	% (5.1)	% (29.6)	% (24.1)	% (12.2)	% (5.8)	% (3.0)	人 (954)
全 体	21.9	5.4	28.2	19.9	14.2	7.7	2.7	1176
男 子	23.4	5.1	29.7	17.6	13.6	8.2	2.5	843
女 子	18.4	6.3	25.0	25.3	15.6	6.6	2.8	320
修士課程	30.0	3.8	26.9	16.5	13.7	7.5	1.6	613
博士課程	13.8	4.0	30.3	23.8	16.5	7.8	4.0	400
獣医学又は医学を履修する博士課程	6.9	26.4	29.2	18.1	6.9	9.7	2.8	72
専門職学位課程	15.7	5.6	28.1	27.0	13.5	5.6	4.5	89
文科系	13.8	2.8	27.1	24.6	20.0	8.0	3.7	325
理科系	25.1	6.4	28.7	18.1	11.9	7.5	2.4	850

4-5表 就職の情報 (設問53)

区 分	公募で探す	所属する研究室 の関係者(教授、 先輩等)の斡旋 に頼る	自分で情報収集 に努める	その他	事例数
2009年(59回)	% (28.9)	% (13.2)	% (54.3)	% (3.6)	人 (971)
全 体	23.8	11.0	62.9	2.3	1159
男 子	23.9	9.9	63.8	2.4	836
女 子	22.4	13.8	61.5	2.2	312
修士課程	22.4	6.6	69.4	1.6	607
博士課程	31.7	13.3	51.4	3.6	391
獣医学又は医学を履修する博士課程	12.7	45.1	42.3		71
専門職学位課程	8.0	3.4	85.2	3.4	88
文科系	35.3	6.9	56.3	1.6	320
理科系	19.5	12.5	65.4	2.6	838

4-6表 博士課程修了後、何年位で教育職・研究職に就けるとお考えですか (設問54)

区 分	直ちに	1～2年	3～5年	6～10年	見通しが 立たない	事例数
2009年(59回)	% (14.8)	% (17.5)	% (29.7)	% (9.4)	% (28.5)	人 (508)
全 体	16.4	14.2	25.0	6.9	37.6	593
男 子	18.2	14.5	24.2	7.6	35.5	422
女 子	12.3	13.5	26.4	4.9	42.9	163
修士課程	12.7	13.6	25.9	5.9	41.8	220
博士課程	19.5	13.5	25.5	8.2	33.3	318
獣医学又は医学を履修する博士課程	10.9	19.6	19.6	4.3	45.7	46
専門職学位課程	25.0	25.0	12.5		37.5	8
文科系	8.6	16.0	22.3	5.7	47.4	175
理科系	19.7	13.4	26.1	7.4	33.3	417

現在の学生生活の中で、各項目について、どの程度悩んだり不安を感じたりしていますか (設問55)

5-1-1表 勉学(成績・単位など)

区 分	よく悩む	ときどき悩む	あまり悩まない	全く悩まない	事例数
2009年(59回)	% (26.1)	% (32.1)	% (26.8)	% (15.0)	人 (1321)
全 体	24.3	29.8	26.6	19.2	1183
男 子	22.9	28.3	27.5	21.3	848
女 子	27.6	33.9	24.5	14.0	322
修士課程	24.0	29.9	28.2	17.9	616
博士課程	21.8	25.8	27.8	24.6	403
獣医学又は医学を履修する博士課程	15.3	45.8	23.6	15.3	72
専門職学位課程	44.4	35.6	12.2	7.8	90
未 婚	24.5	28.9	26.6	20.0	1038
既 婚	23.4	36.6	26.9	13.1	145
文科系	30.8	30.8	22.6	15.9	328
理科系	21.8	29.5	28.2	20.5	854
人文社会系研究科	28.6	26.8	21.4	23.2	56
教育学研究科	27.9	27.9	27.9	16.3	43
法学政治学研究科	55.1	33.3	7.2	4.3	69
経済学研究科	10.0	20.0	35.0	35.0	20
総合文化研究科	25.0	32.8	27.6	14.7	116
理学系研究科	24.3	29.9	23.6	22.2	144
工学系研究科	18.6	31.9	32.3	17.3	226
農学生命科学研究科	28.2	30.1	25.2	16.5	103
医学系研究科	15.1	40.6	28.3	16.0	106
薬学系研究科	26.8	19.5	31.7	22.0	41
数理科学研究科	33.3	27.8	5.6	33.3	18
新領域創設科学研究科	20.4	21.8	31.3	26.5	147
情報理工学系研究科	25.0	25.0	27.1	22.9	48
情報学環・学際情報学府	23.8	28.6	23.8	23.8	21
公共政策学教育部	16.7	37.5	25.0	20.8	24

5-1-2表 進学

区 分	よく悩む	ときどき悩む	あまり悩まない	全く悩まない	事例数
2009年(59回)	% (16.8)	% (23.4)	% (28.0)	% (31.8)	人 (1308)
全 体	14.2	20.2	30.5	35.0	1182
男 子	13.1	20.4	29.4	37.1	848
女 子	16.5	19.6	34.0	29.9	321
修士課程	17.8	23.2	28.5	30.5	617
博士課程	9.7	14.5	31.2	44.6	401
獣医学又は医学を履修する博士課程	11.1	19.4	38.9	30.6	72
専門職学位課程	12.2	25.6	35.6	26.7	90
未 婚	14.6	20.3	31.0	34.1	1037
既 婚	11.7	19.3	27.6	41.4	145
文科系	17.7	20.8	30.6	30.9	327
理科系	12.8	20.0	30.6	36.7	854
人文社会系研究科	23.2	26.8	25.0	25.0	56
教育学研究科	21.4	16.7	33.3	28.6	42
法学政治学研究科	13.2	22.1	41.2	23.5	68
経済学研究科		4.8	33.3	61.9	21
総合文化研究科	21.6	19.0	27.6	31.9	116
理学系研究科	16.0	26.4	27.8	29.9	144
工学系研究科	9.7	19.0	36.3	35.0	226
農学生命科学研究科	16.5	17.5	22.3	43.7	103
医学系研究科	12.3	17.9	38.7	31.1	106
薬学系研究科	9.8	12.2	36.6	41.5	41
数理科学研究科	22.2	27.8	5.6	44.4	18
新領域創設科学研究科	13.6	22.4	25.9	38.1	147
情報理工学系研究科	6.3	14.6	29.2	50.0	48
情報学環・学際情報学府	14.3	14.3	33.3	38.1	21
公共政策学教育部	8.3	33.3	20.8	37.5	24

5-1-3表 就職

区 分	よく悩む	ときどき悩む	あまり悩まない	全く悩まない	事例数
2009年(59回)	% (42.3)	% (33.3)	% (14.5)	% (9.9)	人 (1318)
全 体	35.3	34.2	18.5	12.0	1184
男 子	33.8	34.7	17.9	13.5	849
女 子	39.4	33.2	19.6	7.8	322
修士課程	37.6	33.5	16.4	12.5	617
博士課程	33.3	36.5	19.6	10.7	403
獣医学又は医学を履修する博士課程	26.4	25.0	34.7	13.9	72
専門職学位課程	36.7	34.4	15.6	13.3	90
未 婚	37.1	35.0	17.7	10.2	1039
既 婚	22.8	28.3	24.1	24.8	145
文科系	39.5	31.3	20.1	9.1	329
理科系	33.6	35.4	17.9	13.1	854
人文社会系研究科	37.5	35.7	19.6	7.1	56
教育学研究科	39.5	23.3	25.6	11.6	43
法学政治学研究科	39.1	37.7	15.9	7.2	69
経済学研究科	19.0	38.1	14.3	28.6	21
総合文化研究科	47.4	26.7	21.6	4.3	116
理学系研究科	37.5	42.4	13.9	6.3	144
工学系研究科	32.7	31.9	19.9	15.5	226
農学生命科学研究科	46.6	34.0	8.7	10.7	103
医学系研究科	25.5	29.2	33.0	12.3	106
薬学系研究科	36.6	24.4	24.4	14.6	41
数理科学研究科	33.3	38.9	16.7	11.1	18
新領域創設科学研究科	30.6	42.2	14.3	12.9	147
情報理工学系研究科	25.0	41.7	10.4	22.9	48
情報学環・学際情報学府	28.6	19.0	23.8	28.6	21
公共政策学教育部	25.0	33.3	20.8	20.8	24

5-1-4表 将来の進路や生き方

区 分	よく悩む	ときどき悩む	あまり悩まない	全く悩まない	事例数
2009年(59回)	% (49.6)	% (32.7)	% (12.3)	% (5.5)	人 (1320)
全 体	42.3	37.1	12.7	8.0	1182
男 子	40.1	37.5	13.6	8.8	848
女 子	48.3	36.1	10.0	5.6	321
修士課程	44.1	35.9	13.0	7.0	615
博士課程	39.7	37.2	13.6	9.4	403
獣医学又は医学を履修する博士課程	41.7	41.7	8.3	8.3	72
専門職学位課程	42.2	40.0	10.0	7.8	90
未 婚	43.2	36.5	12.9	7.4	1038
既 婚	36.1	41.0	11.1	11.8	144
文科系	40.9	36.3	15.2	7.6	328
理科系	42.8	37.4	11.7	8.1	853
人文社会系研究科	43.6	29.1	18.2	9.1	55
教育学研究科	39.5	39.5	9.3	11.6	43
法学政治学研究科	34.8	46.4	10.1	8.7	69
経済学研究科	19.0	33.3	42.9	4.8	21
総合文化研究科	47.4	34.5	13.8	4.3	116
理学系研究科	48.6	34.7	10.4	6.3	144
工学系研究科	36.4	37.8	16.9	8.9	225
農学生命科学研究科	54.4	32.0	7.8	5.8	103
医学系研究科	44.3	39.6	9.4	6.6	106
薬学系研究科	36.3	36.6	14.6	12.2	41
数理科学研究科	66.7	22.2		11.1	18
新領域創設科学研究科	38.8	42.9	9.5	8.8	147
情報理工学系研究科	39.6	39.6	14.6	6.3	48
情報学環・学際情報学府	33.3	38.1	9.5	19.0	21
公共政策学教育部	41.7	29.2	16.7	12.5	24

5-1-5表 友人との対人関係

区 分	よく悩む	ときどき悩む	あまり悩まない	全く悩まない	事例数
2009年(59回)	% (5.6)	% (23.2)	% (47.6)	% (23.6)	人 (1321)
全 体	7.8	22.7	45.8	23.7	1183
男 子	8.0	22.1	45.5	24.4	849
女 子	6.5	24.6	47.0	21.8	321
修士課程	9.3	23.1	45.0	22.7	616
博士課程	6.2	20.1	45.7	28.0	403
獣医学又は医学を履修する博士課程	4.2	26.4	50.0	19.4	72
専門職学位課程	7.8	30.0	47.8	14.4	90
未 婚	8.3	24.1	45.3	22.3	1039
既 婚	4.2	13.2	49.3	33.3	144
文科系	6.7	22.6	48.2	22.6	328
理科系	8.1	22.8	45.0	24.1	854
人文社会系研究科	1.8	27.3	54.5	16.4	55
教育学研究科	7.0	18.6	48.8	25.6	43
法学政治学研究科	10.1	30.4	43.5	15.9	69
経済学研究科		14.3	57.1	28.6	21
総合文化研究科	9.5	17.2	45.7	27.6	116
理学系研究科	10.4	17.4	45.8	26.4	144
工学系研究科	10.2	23.9	43.8	22.1	226
農学生命科学研究科	8.7	24.3	49.5	17.5	103
医学系研究科	5.7	20.8	52.8	20.8	106
薬学系研究科	2.4	39.0	36.6	22.0	41
数理科学研究科		22.2	44.4	33.3	18
新領域創設科学研究科	5.4	23.8	40.1	30.6	147
情報理工学系研究科	12.5	20.8	52.1	14.6	48
情報学環・学際情報学府	4.8	19.0	23.8	52.4	21
公共政策学教育部		29.2	50.0	20.8	24

5-1-6表 教職員との対人関係

区 分	よく悩む	ときどき悩む	あまり悩まない	全く悩まない	事例数
2009年(59回)	% (11.5)	% (25.7)	% (41.9)	% (20.9)	人 (1321)
全 体	10.2	25.6	43.3	20.9	1182
男 子	8.8	25.2	43.5	22.4	848
女 子	13.1	25.9	43.9	17.1	321
修士課程	10.4	30.2	41.1	18.3	616
博士課程	10.4	21.4	44.8	23.4	402
獣医学又は医学を履修する博士課程	15.3	26.4	44.4	13.9	72
専門職学位課程	3.3	12.2	51.1	33.3	90
未 婚	10.1	25.4	43.8	20.6	1038
既 婚	10.4	27.1	39.6	22.9	144
文科系	7.0	18.9	48.8	25.3	328
理科系	11.3	28.3	41.3	19.2	853
人文社会系研究科	5.5	21.8	58.2	14.5	55
教育学研究科	9.3	27.9	46.5	16.3	43
法学政治学研究科	4.3	13.0	47.8	34.8	69
経済学研究科	4.8	9.5	57.1	28.6	21
総合文化研究科	10.3	20.7	44.0	25.0	116
理学系研究科	9.7	24.3	44.4	21.5	144
工学系研究科	11.1	26.2	43.1	19.6	225
農学生命科学研究科	11.7	35.0	37.9	15.5	103
医学系研究科	18.9	27.4	39.6	14.2	106
薬学系研究科	17.1	24.4	39.0	19.5	41
数理科学研究科	5.6	22.2	44.4	27.8	18
新領域創設科学研究科	5.4	32.0	38.1	24.5	147
情報理工学系研究科	14.6	25.0	50.0	10.4	48
情報学環・学際情報学府	9.5	42.9	28.6	19.0	21
公共政策学教育部		12.5	50.0	37.5	24

5-1-7表 性・異性・恋愛・結婚

区 分	よく悩む	ときどき悩む	あまり悩まない	全く悩まない	事例数
2009年(59回)	% (17.2)	% (34.1)	% (29.1)	% (19.7)	人 (1321)
全 体	15.1	33.8	30.9	20.2	1182
男 子	15.7	33.1	30.6	20.6	849
女 子	13.1	36.1	32.1	18.7	321
修士課程	16.7	35.3	30.9	17.1	615
博士課程	13.2	30.5	30.8	25.6	403
獣医学又は医学を履修する博士課程	15.3	34.7	27.8	22.2	72
専門職学位課程	13.3	35.6	34.4	16.7	90
未 婚	16.7	36.6	31.4	15.4	1039
既 婚	4.2	13.3	27.3	55.2	143
文科系	14.7	32.7	33.6	19.0	327
理科系	15.2	34.2	29.9	20.7	854
人文社会系研究科	12.7	40.0	34.5	12.7	55
教育学研究科	16.3	30.2	32.6	20.9	43
法学政治学研究科	13.0	33.3	36.2	17.4	69
経済学研究科	19.0	23.8	33.3	23.8	21
総合文化研究科	16.5	33.0	28.7	21.7	115
理学系研究科	11.8	36.1	29.9	22.2	144
工学系研究科	18.1	31.0	34.5	16.4	226
農学生命科学研究科	13.6	37.9	25.2	23.3	103
医学系研究科	15.1	34.0	27.4	23.6	106
薬学系研究科	7.3	48.8	22.0	22.0	41
数理科学研究科	16.7	22.2	27.8	33.3	18
新領域創設科学研究科	15.6	37.4	28.6	18.4	147
情報理工学系研究科	22.9	18.8	37.5	20.8	48
情報学環・学際情報学府	9.5	33.3	23.8	33.3	21
公共政策学教育部	8.3	25.0	50.0	16.7	24

5-1-8表 経済的なことや経済的自立

区 分	よく悩む	ときどき悩む	あまり悩まない	全く悩まない	事例数
2009年(59回)	% (36.0)	% (35.1)	% (21.6)	% (7.3)	人 (1321)
全 体	31.5	35.3	23.3	9.9	1181
男 子	31.3	35.1	23.6	10.0	849
女 子	30.9	36.3	22.8	10.0	320
修士課程	30.4	36.9	24.9	7.8	615
博士課程	36.3	33.3	18.4	11.9	402
獣医学又は医学を履修する博士課程	22.2	23.6	40.3	13.9	72
専門職学位課程	25.6	42.2	20.0	12.2	90
未 婚	31.8	37.0	23.0	8.2	1038
既 婚	29.4	23.1	25.2	22.4	143
文科系	38.2	35.5	17.1	9.2	327
理科系	28.8	35.3	25.7	10.2	853
人文社会系研究科	50.9	29.1	12.7	7.3	55
教育学研究科	34.9	32.6	25.6	7.0	43
法学政治学研究科	26.1	43.5	15.9	14.5	69
経済学研究科	38.1	19.0	33.3	9.5	21
総合文化研究科	45.2	37.4	12.2	5.2	115
理学系研究科	36.1	35.4	20.1	8.3	144
工学系研究科	25.2	38.1	28.8	8.0	226
農学生命科学研究科	37.9	25.2	23.3	13.6	103
医学系研究科	24.5	24.5	37.7	13.2	106
薬学系研究科	24.4	36.6	22.0	17.1	41
数理科学研究科	38.9	44.4	11.1	5.6	18
新領域創設科学研究科	24.0	43.8	23.3	8.9	146
情報理工学系研究科	31.3	37.5	22.9	8.3	48
情報学環・学際情報学府	23.8	33.3	23.8	19.0	21
公共政策学教育部	16.7	37.5	25.0	20.8	24

5-1-9表 自分の性格

区 分	よく悩む	ときどき悩む	あまり悩まない	全く悩まない	事例数
2009年(59回)	% (15.6)	% (30.4)	% (37.7)	% (16.4)	人 (1320)
全 体	17.6	32.0	31.5	19.0	1182
男 子	17.7	30.0	31.9	20.4	849
女 子	16.3	38.4	30.0	15.3	320
修士課程	21.4	33.4	28.1	17.0	616
博士課程	14.2	27.4	34.1	24.4	402
獣医学又は医学を履修する博士課程	6.9	31.9	48.6	12.5	72
専門職学位課程	14.4	43.3	28.9	13.3	90
未 婚	18.4	32.8	31.0	17.8	1038
既 婚	11.8	26.4	34.7	27.1	143
文科系	16.8	32.9	30.2	20.1	328
理科系	17.8	31.7	32.0	18.5	853
人文社会系研究科	18.2	32.7	34.5	14.5	55
教育学研究科	14.0	30.2	39.5	16.3	43
法学政治学研究科	13.0	39.1	30.4	17.4	69
経済学研究科	9.5	33.3	23.8	33.3	21
総合文化研究科	21.6	30.2	25.0	23.3	116
理学系研究科	20.8	27.8	30.6	20.8	144
工学系研究科	19.9	31.9	31.0	17.3	226
農学生命科学研究科	16.5	36.9	32.0	14.6	103
医学系研究科	11.3	34.0	42.5	12.3	106
薬学系研究科	19.5	24.4	34.1	22.0	41
数理科学研究科	16.7	33.3	22.2	27.8	18
新領域創設科学研究科	12.3	34.2	30.8	22.6	146
情報理工学系研究科	31.3	25.0	27.1	16.7	48
情報学環・学際情報学府	19.0	28.6	23.8	28.6	21
公共政策学教育部	12.5	33.3	33.3	20.8	24

5-1-10表 自分の体調や健康

区 分	よく悩む	ときどき悩む	あまり悩まない	全く悩まない	事例数
2009年(59回)	% (12.5)	% (31.6)	% (36.0)	% (19.9)	人 (1321)
全 体	11.7	29.2	37.8	21.3	1182
男 子	10.6	27.4	39.1	22.9	849
女 子	13.4	34.1	35.0	17.5	320
修士課程	11.0	29.7	36.4	22.9	616
博士課程	28.9	28.9	37.3	20.9	402
獣医学又は医学を履修する博士課程	30.6	30.6	40.3	13.9	72
専門職学位課程	25.6	25.6	47.8	18.9	90
未 婚	11.8	28.5	37.8	21.9	1038
既 婚	10.4	34.0	38.2	17.4	144
文科系	11.6	26.8	41.2	20.4	328
理科系	11.6	30.1	36.6	21.7	853
人文社会系研究科	12.7	20.0	50.9	16.4	55
教育学研究科	9.3	25.6	46.5	18.6	43
法学政治学研究科	11.6	29.0	42.0	17.4	69
経済学研究科	14.3	19.0	28.6	38.1	21
総合文化研究科	13.8	31.0	35.3	19.8	116
理学系研究科	13.9	31.3	36.1	18.8	144
工学系研究科	8.4	31.9	41.2	18.6	226
農学生命科学研究科	13.6	29.1	28.2	29.1	103
医学系研究科	13.2	29.2	45.3	12.3	106
薬学系研究科	14.6	24.4	36.6	24.4	41
数理科学研究科	5.6	33.3	17.8	33.3	18
新領域創設科学研究科	6.8	28.8	33.6	30.8	146
情報理工学系研究科	22.9	27.1	33.3	16.7	48
情報学環・学際情報学府	19.0	38.1	23.8	19.0	21
公共政策学教育部		25.0	45.8	29.2	24

5-1-11表 人生の意義・目標

区 分	よく悩む	ときどき悩む	あまり悩まない	全く悩まない	事例数
2009年(59回)	% (24.1)	% (32.8)	% (28.6)	% (14.4)	人 (1292)
全 体	21.6	31.4	28.2	18.9	1182
男 子	21.6	30.2	27.7	20.6	849
女 子	20.9	35.0	29.4	14.7	320
修士課程	24.4	33.6	25.6	16.4	616
博士課程	18.2	24.6	31.3	25.9	402
獣医学又は医学を履修する博士課程	20.8	40.3	29.2	9.7	72
専門職学位課程	18.9	37.8	31.1	12.2	90
未 婚	22.4	30.8	28.4	18.4	1038
既 婚	16.0	35.4	26.4	22.2	144
文科系	19.5	28.4	33.2	18.9	328
理科系	22.3	32.6	26.3	18.9	853
人文社会系研究科	23.6	25.5	34.5	16.4	55
教育学研究科	14.0	27.9	41.9	16.3	43
法学政治学研究科	17.4	31.9	37.7	13.0	69
経済学研究科	9.5	28.6	33.3	28.6	21
総合文化研究科	22.4	25.9	29.3	22.4	116
理学系研究科	27.1	23.6	23.6	25.7	144
工学系研究科	19.9	33.6	31.4	15.0	226
農学生命科学研究科	20.4	31.1	26.2	22.3	103
医学系研究科	18.9	41.5	29.2	10.4	106
薬学系研究科	22.0	31.7	26.8	19.5	41
数理科学研究科	38.9	22.2	16.7	22.2	18
新領域創設科学研究科	21.9	34.2	21.2	22.6	146
情報理工学系研究科	29.2	37.5	20.8	12.5	48
情報学環・学際情報学府	14.3	33.3	20.8	23.8	21
公共政策学教育部	20.8	37.5	28.2	20.8	24

あなたは、不安や悩みを感じたとき、だれと相談したり、話し合ったりしますか（設問56）

5-2-1表 父・母

区 分	よく相談する	ときどき相談する	たまに相談する	全く相談しない	事例数
2009年(59回)	% (17.2)	% (21.0)	% (34.4)	% (27.3)	人 (1318)
全 体	13.0	20.4	33.1	33.5	1179
男 子	8.3	19.1	34.1	38.6	845
女 子	25.2	24.5	30.7	19.6	322
修士課程	14.0	20.7	33.3	32.0	615
博士課程	11.0	18.5	31.8	38.8	400
獣医学又は医学を履修する博士課程	12.7	23.9	42.3	21.1	71
専門職学位課程	14.3	25.3	29.7	30.8	91
未 婚	14.0	21.3	32.0	32.8	1038
既 婚	5.7	14.2	41.1	39.0	141
文科系	14.9	31.9	30.4	32.8	329
理科系	12.2	19.9	34.2	33.7	849
人文社会系研究科	19.6	12.5	35.7	32.1	56
教育学研究科	14.0	23.3	30.2	32.6	43
法学政治学研究科	17.1	21.4	38.6	22.9	70
経済学研究科	4.8	23.8	14.3	57.1	21
総合文化研究科	13.9	25.2	29.6	31.3	115
理学系研究科	15.4	16.8	31.5	36.4	143
工学系研究科	9.8	17.8	36.4	36.0	225
農学生命科学研究科	11.8	18.6	36.3	33.3	102
医学系研究科	13.3	22.9	37.1	26.7	105
薬学系研究科	7.3	31.7	34.1	26.8	41
数理科学研究科	16.7	16.7	22.2	44.4	18
新領域創設科学研究科	15.6	23.8	31.3	29.3	147
情報理工学系研究科	8.5	19.1	40.4	31.9	47
情報学環・学際情報学府	4.8	9.5	19.0	66.7	21
公共政策学教育部	12.5	25.0	12.5	50.0	24

5-2-2表 兄弟・姉妹

区 分	よく相談する	ときどき相談する	たまに相談する	全く相談しない	事例数
2009年(59回)	% (5.0)	% (10.1)	% (22.7)	% (62.2)	人 (1295)
全 体	4.0	6.9	20.9	68.2	1161
男 子	1.8	5.5	19.8	72.9	837
女 子	9.6	10.6	24.0	55.8	312
修士課程	5.1	6.8	20.0	68.2	606
博士課程	2.3	7.1	19.8	70.8	394
獣医学又は医学を履修する博士課程	5.6	8.5	28.2	57.7	71
専門職学位課程	2.3	5.7	27.3	64.8	88
未 婚	4.1	7.3	20.0	68.6	1022
既 婚	2.9	3.6	28.1	65.5	139
文科系	5.9	6.8	22.7	64.6	322
理科系	3.2	6.9	20.3	69.6	838
人文社会系研究科	12.5	8.9	12.5	66.1	56
教育学研究科	9.5	7.1	31.0	52.4	42
法学政治学研究科	4.4	5.9	27.9	61.8	68
経済学研究科	4.8	9.5	14.3	71.4	21
総合文化研究科	3.6	6.3	21.6	68.5	111
理学系研究科	2.1	6.4	17.0	74.5	141
工学系研究科	3.2	5.9	22.2	68.8	221
農学生命科学研究科	4.9	4.9	16.7	73.5	102
医学系研究科	5.9	6.9	25.7	61.4	101
薬学系研究科		4.9	26.8	68.3	41
数理科学研究科		11.1	11.1	77.8	18
新領域創設科学研究科	4.1	8.9	19.9	67.1	146
情報理工学系研究科		14.9	17.0	68.1	47
情報学環・学際情報学府			19.0	81.0	21
公共政策学教育部		4.2	29.2	66.7	24

5-2-3表 なんでも相談コーナー・学生相談所等

区 分	よく相談する	ときどき相談する	たまに相談する	全く相談しない	事例数
2009年(59回)	% (0.9)	% (2.1)	% (6.5)	% (90.4)	人 (1317)
全 体	1.2	2.0	6.8	90.0	1175
男 子	1.3	1.5	5.9	91.2	843
女 子	0.9	2.8	9.1	87.2	320
修士課程	1.6	2.8	7.2	88.4	614
博士課程	0.3	1.3	7.3	91.2	399
獣医学又は医学を履修する博士課程	2.8		4.2	93.0	71
専門職学位課程	1.1	1.1	4.5	93.3	89
未 婚	1.2	2.1	6.8	90.0	1035
既 婚	1.4	0.7	7.1	90.7	140
文科系	1.2	1.5	5.2	92.0	326
理科系	1.2	2.1	7.4	89.3	848
人文社会系研究科		3.6	8.9	87.5	56
教育学研究科			4.8	95.2	42
法学政治学研究科	1.4	1.4	2.9	94.2	69
経済学研究科			9.5	90.5	21
総合文化研究科	2.6	1.7	3.5	92.2	115
理学系研究科	2.8	1.4	10.5	85.3	143
工学系研究科		2.2	6.3	91.5	224
農学生命科学研究科	1.0	2.0	4.9	92.2	102
医学系研究科	1.9		3.8	94.3	105
薬学系研究科		4.9	9.8	85.4	41
数理科学研究科	5.6		16.7	77.8	18
新領域創設科学研究科	1.4	2.7	10.2	85.7	147
情報理工学系研究科		6.4	2.1	91.5	47
情報学環・学際情報学府			9.5	90.5	21
公共政策学教育部			8.7	91.3	23

5-2-4表 大学の職員

区 分	よく相談する	ときどき相談する	たまに相談する	全く相談しない	事例数
2009年(59回)	% (2.7)	% (9.1)	% (35.2)	% (52.9)	人 (1314)
全 体	1.8	9.9	32.6	55.7	1178
男 子	1.3	9.6	31.6	57.5	845
女 子	3.1	10.9	34.9	51.1	321
修士課程	1.5	9.6	32.2	56.7	614
博士課程	2.5	11.2	35.2	51.1	401
獣医学又は医学を履修する博士課程	1.4	12.7	45.1	40.8	71
専門職学位課程	1.1	3.3	13.3	82.2	90
未 婚	1.7	10.1	32.9	55.3	1037
既 婚	2.1	8.5	30.5	58.9	141
文科系	2.1	8.0	27.2	62.7	329
理科系	1.6	10.7	34.7	52.9	849
人文社会系研究科	1.8	5.4	41.1	51.8	56
教育学研究科		7.1	28.6	64.3	42
法学政治学研究科	2.9	2.9	10.1	84.1	69
経済学研究科	9.5	4.8	28.6	57.1	21
総合文化研究科	1.7	13.9	31.3	53.0	115
理学系研究科	2.8	9.1	37.1	51.0	143
工学系研究科	0.4	10.7	32.0	56.9	225
農学生命科学研究科	1.0	12.6	33.0	53.4	103
医学系研究科	1.0	10.5	41.0	47.6	105
薬学系研究科	4.9	12.2	46.3	36.6	41
数理科学研究科	5.6	11.1	27.8	55.6	18
新領域創設科学研究科	2.0	11.6	29.9	56.5	147
情報理工学系研究科	2.1	12.8	40.4	44.7	47
情報学環・学際情報学府			28.6	71.4	21
公共政策学教育部		4.2	20.8	75.0	24

5-2-5表 大学内の同じ学科や研究室の友人

区 分	よく相談する	ときどき相談する	たまに相談する	全く相談しない	事例数
2009年(59回)	% (12.5)	% (26.4)	% (39.7)	% (21.3)	人 (1317)
全 体	13.0	26.4	38.0	22.6	1179
男 子	11.2	27.1	36.9	24.7	845
女 子	17.8	24.6	40.8	16.8	321
修士課程	14.8	30.4	36.3	18.5	615
博士課程	11.3	19.8	38.3	30.8	396
獣医学又は医学を履修する博士課程	11.3	21.1	45.1	22.5	71
専門職学位課程	9.9	33.0	41.8	15.4	90
未 婚	14.1	27.5	37.4	21.1	1038
既 婚	5.0	18.4	42.6	34.0	141
文科系	13.7	23.7	40.1	22.5	329
理科系	12.7	27.4	37.2	22.6	849
人文社会系研究科	12.5	21.4	42.9	23.2	56
教育学研究科	21.4	21.4	31.0	26.2	42
法学政治学研究科	8.6	28.6	44.3	18.6	70
経済学研究科	19.0	9.5	38.1	33.3	21
総合文化研究科	13.8	23.3	39.7	23.3	116
理学系研究科	11.2	23.8	37.8	27.3	143
工学系研究科	10.7	29.3	38.2	21.8	225
農学生命科学研究科	14.6	26.2	32.0	27.2	103
医学系研究科	12.4	23.8	41.9	21.9	105
薬学系研究科	12.2	31.7	41.5	14.6	41
数理科学研究科	16.7	38.9	27.8	16.7	18
新領域創設科学研究科	13.0	29.5	37.7	19.9	146
情報理工学系研究科	14.9	27.7	40.4	17.0	47
情報学環・学際情報学府	28.6	23.8	14.3	33.3	21
公共政策学教育部	12.5	33.3	41.7	12.5	24

5-2-6表 大学内のサークルや団体の友人

区 分	よく相談する	ときどき相談する	たまに相談する	全く相談しない	事例数
2009年(59回)	% (4.6)	% (13.6)	% (18.6)	% (63.3)	人 (1304)
全 体	5.2	12.5	21.3	61.0	1170
男 子	5.5	13.9	22.2	58.4	839
女 子	4.4	8.8	18.5	68.3	319
修士課程	8.0	16.4	22.7	52.9	614
博士課程	2.0	7.6	17.9	72.5	401
獣医学又は医学を履修する博士課程	1.4	4.2	16.9	77.5	71
専門職学位課程	3.3	14.4	28.9	53.3	91
未 婚	5.6	13.7	23.0	57.7	1030
既 婚	2.1	3.6	8.6	85.7	140
文科系	4.3	9.6	19.6	66.5	322
理科系	5.5	13.6	22.0	58.9	847
人文社会系研究科	1.8	9.1	16.4	72.7	55
教育学研究科	14.3	2.4	9.5	73.8	42
法学政治学研究科	1.5	8.8	35.3	54.4	68
経済学研究科			9.5	90.5	21
総合文化研究科	2.7	11.6	16.1	69.6	112
理学系研究科	2.1	11.9	19.6	66.4	143
工学系研究科	7.1	15.6	26.3	50.9	224
農学生命科学研究科	5.8	20.4	17.5	56.3	103
医学系研究科	2.9	3.8	15.4	77.9	104
薬学系研究科	7.3	12.2	29.3	51.2	41
数理科学研究科	11.1	16.7	16.7	55.6	18
新領域創設科学研究科	6.8	11.6	24.0	57.5	146
情報理工学系研究科	6.4	19.1	25.5	48.9	47
情報学環・学際情報学府	4.8	19.0	14.3	61.9	21
公共政策学教育部	12.5	25.0	25.0	37.5	24

5-2-7表 大学外の友人

区 分	よく相談する	ときどき相談する	たまに相談する	全く相談しない	事例数
2009年(59回)	% (13.4)	% (29.4)	% (33.8)	% (23.4)	人 (1318)
全 体	11.7	28.0	34.3	26.0	1179
男 子	11.1	24.9	35.3	28.6	846
女 子	13.1	35.3	32.2	19.4	320
修士課程	14.3	29.6	31.4	24.6	613
博士課程	9.0	25.2	35.9	29.9	400
獣医学又は医学を履修する博士課程	2.8	25.4	46.5	25.4	70
専門職学位課程	13.2	31.9	35.2	19.8	91
未 婚	12.7	28.6	33.9	24.7	1037
既 婚	4.2	23.2	36.6	35.9	142
文科系	10.4	30.2	34.1	25.3	328
理科系	12.2	27.2	34.4	26.2	850
人文社会系研究科	8.9	25.0	28.6	37.5	56
教育学研究科	7.1	28.6	35.7	28.6	42
法学政治学研究科	8.7	30.4	37.7	23.2	68
経済学研究科	14.3	23.8	38.1	23.8	21
総合文化研究科	11.2	33.6	34.5	20.7	116
理学系研究科	9.1	16.8	38.5	35.7	143
工学系研究科	12.4	27.6	35.1	24.9	225
農学生命科学研究科	15.5	28.2	29.1	27.2	103
医学系研究科	8.6	26.7	41.0	23.8	105
薬学系研究科	4.9	29.3	29.3	36.6	41
数理科学研究科	16.7	33.3	33.3	16.7	18
新領域創設科学研究科	15.6	32.7	32.0	19.7	147
情報理工学系研究科	14.9	29.8	31.9	23.4	47
情報学環・学際情報学府	14.3	38.1	23.8	23.8	21
公共政策学教育部	16.7	33.3	29.2	20.8	24

5-2-8表 先輩

区 分	よく相談する	ときどき相談する	たまに相談する	全く相談しない	事例数
2009年(59回)	% (9.1)	% (24.0)	% (32.5)	% (34.5)	人 (1312)
全 体	7.5	19.6	35.5	37.3	1176
男 子	7.2	18.9	34.0	39.9	845
女 子	7.8	21.6	40.1	30.4	319
修士課程	9.5	22.0	36.1	32.5	609
博士課程	5.3	19.0	31.8	44.0	393
獣医学又は医学を履修する博士課程	7.1	8.6	48.6	35.7	68
専門職学位課程	4.4	14.3	38.5	42.9	88
未 婚	7.9	20.5	35.8	35.7	1035
既 婚	4.3	13.5	33.3	48.9	141
文科系	5.8	19.3	34.4	40.5	326
理科系	8.1	19.8	36.0	36.0	849
人文社会系研究科	5.4	19.6	35.7	39.3	56
教育学研究科	11.9	23.8	26.2	38.1	42
法学政治学研究科	2.9	10.1	40.6	46.4	69
経済学研究科			33.3	66.7	21
総合文化研究科	7.0	27.2	31.6	34.2	114
理学系研究科	6.3	16.8	39.9	37.1	143
工学系研究科	6.7	21.3	38.2	33.8	225
農学生命科学研究科	12.6	19.4	26.2	41.7	103
医学系研究科	6.7	12.5	47.1	33.7	104
薬学系研究科	4.9	31.7	36.6	26.8	41
数理科学研究科	11.1	22.2	27.8	38.9	18
新領域創設科学研究科	10.2	19.0	36.1	34.7	147
情報理工学系研究科	6.4	25.5	23.4	44.7	47
情報学環・学際情報学府	14.3	28.6	14.3	42.9	21
公共政策学教育部	4.2	16.7	41.7	37.5	24

5-2-9表 恋人

区 分	よく相談する	ときどき相談する	たまに相談する	全く相談しない	事例数
2009年(59回)	% (18.7)	% (15.6)	% (16.5)	% (49.2)	人 (1266)
全 体	15.3	15.6	16.6	52.5	1160
男 子	11.8	13.8	16.9	57.5	836
女 子	24.7	21.2	16.0	38.1	312
修士課程	15.1	15.4	16.7	52.7	615
博士課程	16.5	17.6	12.7	53.2	403
獣医学又は医学を履修する博士課程	13.2	11.8	25.0	50.0	72
専門職学位課程	12.5	11.4	26.1	50.0	91
未 婚	14.7	15.8	16.9	52.6	1026
既 婚	20.1	14.2	14.2	51.5	134
文科系	16.3	14.7	15.6	53.4	320
理科系	15.0	16.0	16.9	52.1	839
人文社会系研究科	14.3	16.1	14.3	55.4	56
教育学研究科	20.0	17.5	10.0	52.5	40
法学政治学研究科	7.6	9.1	28.8	54.5	66
経済学研究科	28.6	4.8	14.3	52.4	21
総合文化研究科	18.6	16.8	9.7	54.9	113
理学系研究科	10.5	14.0	16.1	59.4	143
工学系研究科	14.7	11.6	20.1	53.6	224
農学生命科学研究科	12.7	21.6	14.7	51.0	102
医学系研究科	18.2	9.1	26.3	46.5	99
薬学系研究科	22.0	22.0	4.9	51.2	41
数理科学研究科	11.1	11.1	5.6	72.2	18
新領域創設科学研究科	15.9	22.1	17.9	44.1	145
情報理工学系研究科	19.6	21.7	4.3	54.3	46
情報学環・学際情報学府	19.0	19.0	9.5	52.4	21
公共政策学教育部	16.7	20.8	20.8	41.7	24

あなたは最近6ヶ月の間に次の項目について、体験したり悩んだりしましたか (設問57)

5-3-1表 強い不安に襲われた

区 分	しばしば 体験した	ときどき 体験した	あまり 体験しなかった	全く 体験しなかった	事例数
2009年(59回)	% (22.5)	% (35.9)	% (21.6)	% (20.0)	人 (1322)
全 体	21.8	26.5	24.3	27.3	1183
男 子	19.4	25.0	25.0	30.6	849
女 子	26.8	31.5	23.4	18.4	321
修士課程	26.0	26.8	23.1	24.1	615
博士課程	18.6	25.1	23.6	32.8	403
獣医学又は医学を履修する博士課程	8.3	27.8	30.6	33.3	72
専門職学位課程	17.6	29.7	31.9	20.9	91
未 婚	23.1	26.2	24.5	26.2	1038
既 婚	12.4	29.0	23.4	35.2	145
文科系	21.9	27.7	24.6	25.8	329
理科系	21.7	26.1	24.3	27.9	853
人文社会系研究科	28.6	28.6	26.8	16.1	56
教育学研究科	20.9	32.6	18.6	27.9	43
法学政治学研究科	18.8	36.2	23.2	21.7	69
経済学研究科	9.5	19.0	33.3	38.1	21
総合文化研究科	24.1	25.0	24.1	26.7	116
理学系研究科	25.0	29.9	24.3	20.8	144
工学系研究科	23.6	19.6	21.3	35.6	225
農学生命科学研究科	27.2	25.2	25.2	22.3	103
医学系研究科	10.4	31.1	30.2	28.3	106
薬学系研究科	22.0	22.0	26.8	29.3	41
数理科学研究科	27.8	22.2	16.7	33.3	18
新領域創設科学研究科	16.3	28.6	27.2	27.9	147
情報理工学系研究科	27.1	27.1	18.8	27.1	48
情報学環・学際情報学府	16.7	42.9	14.3	14.3	21
公共政策学教育部	21.7	12.5	29.2	41.7	24

5-3-2表 自分でもバカらしいと思う考えが浮かんだり、自分のすることを何度も確かめてみなければならなかった

区 分	しばしば 体験した	ときどき 体験した	あまり 体験しなかった	全く 体験しなかった	事例数
2009年(59回)	% (10.0)	% (21.0)	% (30.9)	% (38.1)	人 (1320)
全 体	10.7	17.4	27.7	44.2	1182
男 子	10.5	16.4	26.5	46.6	849
女 子	10.0	19.9	31.5	38.6	321
修士課程	12.7	19.7	27.2	40.5	615
博士課程	9.5	14.7	26.6	49.3	402
獣医学又は医学を履修する博士課程	6.9	12.5	27.8	52.8	72
専門職学位課程	4.4	17.6	37.4	40.7	91
未 婚	11.0	17.7	28.0	43.3	1037
既 婚	8.3	15.2	26.2	50.3	145
文科系	8.8	21.3	31.1	38.7	328
理科系	11.3	15.9	26.5	46.3	853
人文社会系研究科	10.7	28.6	33.9	26.8	56
教育学研究科	14.0	16.3	30.2	39.5	43
法学政治学研究科	5.8	21.7	33.3	39.1	69
経済学研究科		4.8	28.6	66.7	21
総合文化研究科	11.3	23.5	28.7	36.5	115
理学系研究科	13.9	14.6	31.3	40.3	144
工学系研究科	8.9	16.4	25.8	48.9	225
農学生命科学研究科	10.7	16.5	24.3	48.5	103
医学系研究科	7.5	13.2	29.2	50.0	106
薬学系研究科	4.9	14.6	26.8	53.7	41
数理科学研究科	22.2	22.2	16.7	38.9	18
新領域創設科学研究科	12.9	18.4	23.8	44.9	147
情報理工学系研究科	16.7	14.6	16.7	52.1	48
情報学環・学際情報学府	19.0	14.3	47.6	19.0	21
公共政策学教育部		16.7	33.3	50.0	24

5-3-3表 人と話していても緊張したり、不安を感じた

区 分	しばしば 体験した	ときどき 体験した	あまり 体験しなかった	全く 体験しなかった	事例数
2009年(59回)	% (10.4)	% (28.1)	% (32.0)	% (29.6)	人 (1322)
全 体	12.6	21.6	31.4	34.3	1183
男 子	12.6	19.1	30.3	38.0	849
女 子	11.8	28.3	34.9	24.9	321
修士課程	15.4	23.4	31.5	29.6	615
博士課程	10.4	17.6	30.8	41.2	402
獣医学又は医学を履修する博士課程	6.9	22.2	27.8	43.1	72
専門職学位課程	7.7	27.5	36.3	28.6	91
未 婚	12.9	22.4	32.0	32.7	1038
既 婚	10.3	15.9	27.6	46.2	145
文科系	12.2	26.4	28.9	32.5	329
理科系	12.7	19.8	32.5	35.1	853
人文社会系研究科	10.7	32.1	26.8	30.4	56
教育学研究科	16.3	25.6	23.3	34.9	43
法学政治学研究科	5.8	31.9	37.7	24.6	69
経済学研究科	4.8	14.3	23.8	57.1	21
総合文化研究科	16.4	25.0	28.4	30.2	116
理学系研究科	13.2	20.1	34.0	32.6	144
工学系研究科	12.0	19.1	32.4	36.4	225
農学生命科学研究科	14.6	23.3	31.1	31.1	103
医学系研究科	6.6	19.8	34.9	38.7	106
薬学系研究科	9.8	9.8	43.9	36.6	41
数理学研究科	5.6	16.7	38.9	38.9	18
新領域創設科学研究科	12.2	22.4	29.9	35.4	147
情報理工学系研究科	27.1	10.4	27.1	35.4	48
情報学環・学際情報学府	19.0	33.3	19.0	28.6	21
公共政策学教育部	12.5	16.7	25.0	45.8	24

5-3-4表 他の人が自分に敵意を持っている、人から監視されていると感じた

区 分	しばしば 体験した	ときどき 体験した	あまり 体験しなかった	全く 体験しなかった	事例数
2009年(59回)	% (4.1)	% (12.1)	% (25.9)	% (57.9)	人 (1321)
全 体	4.7	10.5	21.9	62.9	1182
男 子	4.5	9.9	19.9	65.7	848
女 子	5.0	11.8	26.8	56.4	321
修士課程	4.7	11.4	22.8	61.1	614
博士課程	5.0	9.4	20.1	65.5	403
獣医学又は医学を履修する博士課程	1.4	9.7	16.7	72.2	72
専門職学位課程	5.5	9.9	27.5	57.1	91
未 婚	4.9	10.7	22.3	62.1	1037
既 婚	2.8	9.0	19.3	69.0	145
文科系	4.0	11.2	26.1	58.7	329
理科系	4.8	10.2	20.3	64.7	852
人文社会系研究科	5.4	14.3	30.4	50.0	56
教育学研究科	4.7	2.3	25.6	67.4	43
法学政治学研究科	5.8	10.1	29.0	55.1	69
経済学研究科		9.5	14.3	76.2	21
総合文化研究科	2.6	14.7	26.7	56.0	116
理学系研究科	5.6	9.0	21.5	63.9	144
工学系研究科	4.9	9.8	21.3	64.0	225
農学生命科学研究科	2.9	11.7	22.3	63.1	103
医学系研究科	2.8	11.3	15.1	70.8	106
薬学系研究科	7.3	14.6	14.6	63.4	41
数理学研究科	5.6	11.1	16.7	66.7	18
新領域創設科学研究科	3.4	11.0	21.9	63.7	146
情報理工学系研究科	14.6	6.3	16.7	62.5	48
情報学環・学際情報学府		4.8	28.6	66.7	21
公共政策学教育部	4.2	8.3	16.7	70.8	24

5-3-5表 バス・地下鉄・電車などの乗り物に乗るのが怖かった

区 分	しばしば 体験した	ときどき 体験した	あまり 体験しなかった	全く 体験しなかった	事例数
2009年(59回)	% (1.4)	% (3.9)	% (10.5)	% (84.2)	人 (1320)
全 体	1.6	2.5	12.3	83.7	1182
男 子	1.3	2.4	9.9	86.4	848
女 子	2.5	2.2	18.4	76.9	321
修士課程	1.5	3.3	13.2	82.1	614
博士課程	1.7	1.5	10.7	86.1	403
獣医学又は医学を履修する博士課程	1.4		12.5	86.1	72
専門職学位課程	2.2	3.3	13.2	81.3	91
未 婚	1.4	2.6	12.5	83.4	1037
既 婚	2.8	1.4	10.3	85.5	145
文科系	1.8	3.0	14.6	80.5	329
理科系	1.4	2.2	11.4	85.0	852
人文社会系研究科	1.8		23.2	75.0	56
教育学研究科	4.7		14.0	81.4	43
法学政治学研究科	1.4	4.3	14.5	79.7	69
経済学研究科		4.8	9.5	85.7	21
総合文化研究科	0.9	5.2	12.9	81.0	116
理学系研究科	2.1	2.1	9.7	86.1	144
工学系研究科	1.3	3.1	9.3	86.2	225
農学生命科学研究科	3.9	1.0	9.7	85.4	103
医学系研究科	0.9	0.9	13.2	84.9	106
薬学系研究科			14.6	85.4	41
数理科学研究科		5.6	11.1	83.3	18
新領域創設科学研究科		2.7	12.9	84.4	147
情報理工学系研究科	2.1	4.3	17.0	76.6	47
情報学環・学際情報学府			14.3	85.7	21
公共政策学教育部	4.2		8.3	87.5	24

5-3-6表 気分が落ち込んだり、何も興味が持てなくなった

区 分	しばしば 体験した	ときどき 体験した	あまり 体験しなかった	全く 体験しなかった	事例数
2009年(59回)	% (12.6)	% (26.8)	% (27.6)	% (32.9)	人 (1321)
全 体	12.5	21.6	26.1	39.8	1181
男 子	10.8	19.5	26.2	43.5	848
女 子	16.2	27.1	26.2	30.5	321
修士課程	14.5	22.6	26.5	36.3	614
博士課程	10.4	30.1	24.6	44.8	402
獣医学又は医学を履修する博士課程	9.7	25.0	19.4	45.8	72
専門職学位課程	9.9	17.6	35.2	37.4	91
未 婚	13.0	22.0	26.6	38.4	1037
既 婚	9.0	18.8	22.2	50.0	144
文科系	13.3	22.1	26.1	38.5	330
理科系	12.1	21.4	26.1	40.4	850
人文社会系研究科	16.1	32.1	23.2	28.6	56
教育学研究科	16.3	23.3	16.3	44.2	43
法学政治学研究科	12.9	20.0	28.6	38.6	70
経済学研究科		14.3	19.0	66.7	21
総合文化研究科	16.4	21.6	28.4	33.6	116
理学系研究科	12.5	25.0	23.6	38.9	144
工学系研究科	13.0	17.5	30.9	38.6	223
農学生命科学研究科	12.6	26.2	23.3	37.9	103
医学系研究科	10.4	27.4	22.6	39.6	106
薬学系研究科	17.1	17.1	17.1	48.8	41
数理科学研究科	5.6	33.3	27.8	33.3	18
新領域創設科学研究科	7.5	18.5	27.4	46.6	146
情報理工学系研究科	18.8	18.8	20.8	41.7	48
情報学環・学際情報学府	19.0	9.5	42.9	28.6	21
公共政策学教育部		12.5	37.5	50.0	24

5-3-7表 人と一緒にいても寂しい感じがした

区 分	しばしば 体験した	ときどき 体験した	あまり 体験しなかった	全く 体験しなかった	事例数
2009年(59回)	% (7.7)	% (20.9)	% (26.8)	% (44.6)	人 (1321)
全 体	7.5	19.0	24.4	49.1	1184
男 子	6.6	17.6	22.6	53.2	849
女 子	9.0	23.0	29.8	38.2	322
修士課程	8.1	19.2	27.6	45.1	616
博士課程	6.2	16.1	22.1	55.6	403
獣医学又は医学を履修する博士課程	6.9	18.1	22.2	52.8	72
専門職学位課程	9.9	30.8	14.3	45.1	91
未 婚	7.6	19.2	25.5	47.7	1039
既 婚	6.9	17.9	16.6	58.6	145
文科系	10.0	24.2	24.5	41.2	330
理科系	6.4	17.0	24.4	52.2	853
人文社会系研究科	10.7	28.6	32.1	28.6	56
教育学研究科	11.6	18.6	30.2	39.5	43
法学政治学研究科	12.9	28.6	17.1	41.4	70
経済学研究科		23.8	23.8	52.4	21
総合文化研究科	11.2	19.8	25.0	44.0	116
理学系研究科	5.6	18.8	22.9	52.8	144
工学系研究科	6.7	15.6	26.2	51.6	225
農学生命科学研究科	6.8	21.4	20.4	51.5	103
医学系研究科	6.6	18.9	23.6	50.9	106
薬学系研究科	9.8	22.0	24.4	43.9	41
数理科学研究科		33.3	11.1	55.6	18
新領域創設科学研究科	4.8	12.2	27.2	55.8	147
情報理工学系研究科	10.4	12.5	22.9	54.2	48
情報学環・学際情報学府	9.5	9.5	33.3	47.6	21
公共政策学教育部		33.3	16.7	50.0	24

5-3-8表 体の病気でもないのに、息切れ・めまい・動悸などがした

区 分	しばしば 体験した	ときどき 体験した	あまり 体験しなかった	全く 体験しなかった	事例数
2009年(59回)	% (4.1)	% (11.4)	% (18.8)	% (65.7)	人 (1321)
全 体	4.6	8.9	17.5	69.1	1184
男 子	3.8	7.2	15.7	73.4	849
女 子	6.5	12.4	22.7	58.4	322
修士課程	5.0	9.7	16.7	68.5	616
博士課程	4.2	8.4	17.1	70.2	403
獣医学又は医学を履修する博士課程	5.6	6.9	16.7	70.8	72
専門職学位課程	2.2	5.5	24.2	68.1	91
未 婚	4.1	9.1	17.7	69.0	1039
既 婚	7.6	6.9	15.9	69.7	145
文科系	4.8	9.1	20.9	65.2	330
理科系	4.3	8.8	16.2	70.7	853
人文社会系研究科	3.6	12.5	25.0	58.9	56
教育学研究科	4.7	14.0	14.0	67.4	43
法学政治学研究科	2.9	8.6	25.7	62.9	70
経済学研究科		4.8	9.5	85.7	21
総合文化研究科	8.6	8.6	20.7	62.1	116
理学系研究科	4.2	7.6	15.3	72.9	144
工学系研究科	3.1	8.9	19.1	68.9	225
農学生命科学研究科	4.9	8.7	16.5	69.9	103
医学系研究科	4.7	6.6	14.2	74.5	106
薬学系研究科	4.9	14.6	14.6	65.9	41
数理科学研究科	5.6	16.7	5.6	72.2	18
新領域創設科学研究科	2.7	8.2	16.3	72.8	147
情報理工学系研究科	10.4	14.6	12.5	62.5	48
情報学環・学際情報学府	9.5		19.0	71.4	21
公共政策学教育部			20.8	79.2	24

5-3-9表 イライラしたり、物を壊したり人を傷つけたりしたい衝動にかられた

区 分	しばしば 体験した	ときどき 体験した	あまり 体験しなかった	全く 体験しなかった	事例数
2009年(59回)	% (6.4)	% (18.8)	% (23.2)	% (51.6)	人 (1321)
全 体	5.1	15.0	24.0	56.0	1183
男 子	5.4	13.2	22.3	59.1	848
女 子	3.7	19.3	28.9	48.1	322
修士課程	4.9	15.3	24.2	55.6	615
博士課程	5.5	13.6	24.1	56.8	403
獣医学又は医学を履修する博士課程	5.6	18.1	18.1	58.3	72
専門職学位課程	4.4	15.4	26.4	53.8	91
未 婚	5.3	15.0	24.1	55.6	1038
既 婚	3.4	14.5	23.4	58.6	145
文科系	3.3	15.5	23.3	57.9	330
理科系	5.6	14.8	24.3	55.3	852
人文社会系研究科	1.8	16.1	23.2	58.9	56
教育学研究科	4.7	16.3	18.6	60.5	43
法学政治学研究科	4.3	21.4	21.4	52.9	70
経済学研究科		14.3	9.5	76.2	21
総合文化研究科	3.4	13.8	28.4	54.3	116
理学系研究科	9.8	11.2	25.2	53.8	143
工学系研究科	4.9	11.6	24.9	58.7	225
農学生命科学研究科	3.9	22.3	25.2	48.5	103
医学系研究科	5.7	16.0	24.5	53.8	106
薬学系研究科	4.9	22.0	26.8	46.3	41
数理科学研究科		22.2	27.8	50.0	18
新領域創設科学研究科	5.4	12.2	23.1	59.2	147
情報理工学系研究科	6.3	20.8	16.7	56.3	48
情報学環・学際情報学府		14.3	23.8	61.9	21
公共政策学教育部	4.2	4.2	25.0	66.7	24

5-3-10表 やる気がなくなり、無気力状態（アパシー）になった

区 分	しばしば 体験した	ときどき 体験した	あまり 体験しなかった	全く 体験しなかった	事例数
2009年(59回)	% (11.4)	% (27.1)	% (26.8)	% (34.7)	人 (1321)
全 体	12.2	21.4	27.0	39.4	1183
男 子	11.6	19.5	26.5	42.5	848
女 子	13.0	26.1	28.6	32.3	322
修士課程	14.3	21.8	27.9	36.0	616
博士課程	9.7	19.9	27.4	43.0	402
獣医学又は医学を履修する博士課程	11.1	19.4	23.6	45.8	72
専門職学位課程	9.9	26.4	23.1	40.7	91
未 婚	12.6	22.3	27.4	37.8	1038
既 婚	9.0	15.2	24.8	51.0	145
文科系	13.0	23.0	25.8	38.2	330
理科系	11.7	20.8	27.6	39.9	852
人文社会系研究科	8.9	35.7	26.8	28.6	56
教育学研究科	11.6	20.9	27.9	39.5	43
法学政治学研究科	12.9	25.7	20.0	41.4	70
経済学研究科		9.5	33.3	57.1	21
総合文化研究科	19.8	20.7	25.9	33.6	116
理学系研究科	13.3	28.7	23.1	35.0	144
工学系研究科	12.0	18.7	30.2	39.1	225
農学生命科学研究科	12.6	26.2	21.4	39.8	103
医学系研究科	9.4	20.8	25.5	44.3	106
薬学系研究科	12.2	12.2	19.5	56.1	41
数理科学研究科		33.3	44.4	22.2	18
新領域創設科学研究科	8.2	17.0	33.3	41.5	147
情報理工学系研究科	20.8	16.7	25.0	37.5	48
情報学環・学際情報学府	19.0	4.8	38.1	38.1	21
公共政策学教育部	4.2	12.5	29.2	54.2	24

5-3-11表 ついつい過食してしまう傾向があった

区 分	しばしば 体験した	ときどき 体験した	あまり 体験しなかった	全く 体験しなかった	事例数
2009年(59回)	% (9.5)	% (22.2)	% (24.3)	% (44.1)	人 (1321)
全 体	8.0	19.3	23.1	49.5	1184
男 子	6.2	17.9	23.0	52.9	849
女 子	12.1	23.3	23.3	41.3	322
修士課程	9.7	20.1	22.7	47.4	616
博士課程	5.0	18.1	23.6	53.3	403
獣医学又は医学を履修する博士課程	6.9	15.3	20.8	56.9	72
専門職学位課程	11.0	22.0	26.4	40.7	91
未 婚	8.4	20.0	22.2	49.4	1039
既 婚	5.5	14.5	29.7	50.3	145
文科系	7.6	20.0	26.7	45.8	330
理科系	8.1	19.1	21.8	51.0	853
人文社会系研究科	5.4	21.4	21.4	51.8	56
教育学研究科	9.3	20.9	30.2	39.5	43
法学政治学研究科	11.4	15.7	25.7	47.1	70
経済学研究科		23.8	23.8	52.4	21
総合文化研究科	6.9	19.0	29.3	44.8	116
理学系研究科	6.3	16.0	27.8	50.0	144
工学系研究科	6.7	22.2	16.4	54.7	225
農学生命科学研究科	6.8	22.3	24.3	46.6	103
医学系研究科	9.4	17.0	20.8	52.8	106
薬学系研究科	17.1	12.2	24.4	46.3	41
数理科学研究科		11.1	44.4	44.4	18
新領域創設科学研究科	8.8	23.8	19.0	48.3	147
情報理工学系研究科	12.5	8.3	20.8	58.3	48
情報学環・学際情報学府	9.5	14.3	28.6	47.6	21
公共政策学教育部	8.3	29.2	25.0	37.5	24

5-3-12表 食欲がなくなり、食べ物を口にしたくないと思った

区 分	しばしば 体験した	ときどき 体験した	あまり 体験しなかった	全く 体験しなかった	事例数
2009年(59回)	% (3.0)	% (13.4)	% (23.0)	% (60.6)	人 (1318)
全 体	3.6	10.9	19.9	65.6	1183
男 子	3.3	7.7	17.2	71.8	848
女 子	4.0	18.6	27.6	49.7	322
修士課程	4.4	11.0	19.3	65.3	616
博士課程	2.2	11.7	19.1	67.0	403
獣医学又は医学を履修する博士課程	5.6	7.0	25.4	62.0	71
専門職学位課程	2.2	9.9	24.2	63.7	91
未 婚	3.7	11.4	20.6	66.4	1039
既 婚	2.8	7.6	15.3	74.3	144
文科系	3.0	11.5	23.6	61.8	330
理科系	3.6	10.7	18.5	67.1	852
人文社会系研究科	1.8	14.3	23.2	60.7	56
教育学研究科	7.0	7.0	23.3	62.8	43
法学政治学研究科	2.9	11.4	21.4	64.3	70
経済学研究科			19.0	81.0	21
総合文化研究科	3.4	13.8	25.9	56.9	116
理学系研究科	2.8	15.3	17.4	64.6	144
工学系研究科	2.7	7.1	19.6	70.7	225
農学生命科学研究科	6.8	13.6	11.7	68.0	103
医学系研究科	4.8	9.5	23.8	61.9	106
薬学系研究科	2.4	9.8	17.1	70.7	41
数理科学研究科	5.6	16.7	22.2	55.6	18
新領域創設科学研究科	2.7	12.2	15.6	69.4	147
情報理工学系研究科	2.1	6.3	25.0	66.7	48
情報学環・学際情報学府	9.5	4.8	28.6	57.1	21
公共政策学教育部		12.5	25.0	62.5	24

あなたの悩みや不安を解消するために、大学にどのような対応があればよいと思いますか（設問58）

5-4-1表 学生が教員や職員と接触する機会を増やす

区 分	非常に そう思う	まあ そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない	事例数
2009年(59回)	% (8.0)	% (36.4)	% (35.3)	% (20.3)	人 (1315)
全 体	5.9	36.4	36.3	21.4	1177
男 子	6.2	36.1	34.5	23.3	843
女 子	5.3	36.8	41.4	16.5	321
修士課程	6.4	35.3	37.6	20.7	614
博士課程	5.0	37.2	34.2	23.6	398
獣医学又は医学を履修する博士課程	2.8	45.8	36.1	15.3	72
専門職学位課程	8.8	31.9	37.4	22.0	91
未 婚	6.1	34.6	37.2	22.1	1035
既 婚	4.2	50.0	29.6	16.2	142
文科系	6.4	35.7	37.8	20.1	328
理科系	5.5	36.8	35.7	21.9	848
人文社会系研究科	3.6	35.7	46.4	14.3	56
教育学研究科	2.3	39.5	32.6	25.6	43
法学政治学研究科	5.9	25.0	47.1	22.1	68
経済学研究科	9.5	33.3	38.1	19.0	21
総合文化研究科	6.9	40.5	33.6	19.0	116
理学系研究科	7.7	24.5	44.1	23.8	143
工学系研究科	5.0	38.7	34.7	21.6	222
農学生命科学研究科	3.9	35.9	32.0	28.2	103
医学系研究科	5.7	41.5	37.7	15.1	106
薬学系研究科	2.5	40.0	35.0	22.5	40
数理科学研究科	11.1	33.3	27.8	27.8	18
新領域創設科学研究科	4.8	43.5	30.6	21.1	147
情報理工学系研究科	6.3	33.3	37.5	22.9	48
情報学環・学際情報学府	9.5	38.1	38.1	14.6	21
公共政策学教育部	16.7	37.5	20.8	25.0	24

5-4-2表 教務課や学生支援課などの事務機能を充実させる

区 分	非常に そう思う	まあ そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない	事例数
2009年(59回)	% (5.3)	% (26.0)	% (43.2)	% (25.5)	人 (1316)
全 体	5.7	25.7	42.8	25.8	1177
男 子	5.1	25.6	40.9	28.4	843
女 子	6.9	25.9	48.3	19.0	321
修士課程	6.7	25.6	41.7	26.1	614
博士課程	4.8	23.6	45.0	26.6	398
獣医学又は医学を履修する博士課程	2.8	36.1	41.7	19.4	72
専門職学位課程	5.5	27.5	41.8	25.3	91
未 婚	5.8	24.3	43.6	26.4	1035
既 婚	4.9	35.9	37.3	21.8	142
文科系	5.2	29.9	43.0	22.0	328
理科系	5.8	24.1	42.8	27.4	848
人文社会系研究科	5.4	25.0	55.4	14.3	56
教育学研究科		34.9	37.2	27.9	43
法学政治学研究科	5.8	29.0	42.0	23.2	69
経済学研究科	4.8	28.6	42.9	23.8	21
総合文化研究科	7.0	31.3	40.9	20.9	115
理学系研究科	6.3	19.6	47.6	26.6	143
工学系研究科	5.0	27.5	39.2	28.4	222
農学生命科学研究科	4.9	18.4	45.6	31.1	103
医学系研究科	5.7	30.2	42.5	21.7	106
薬学系研究科	2.5	22.5	52.5	22.5	40
数理科学研究科	5.6	16.7	38.9	38.9	18
新領域創設科学研究科	8.2	25.9	41.5	24.5	147
情報理工学系研究科	4.2	16.7	45.8	33.3	48
情報学環・学際情報学府	9.5	28.6	23.8	38.1	21
公共政策学教育部	4.2	29.2	37.5	29.2	24

5-4-3表 クラス担任制度やチューター制度を充実させる

区 分	非常に そう思う	まあ そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない	事例数
2009年(59回)	% (4.6)	% (21.7)	% (43.5)	% (30.3)	人 (1315)
全 体	4.6	20.0	42.7	32.7	1175
男 子	4.0	19.2	41.4	35.3	843
女 子	6.0	21.0	47.3	25.7	319
修士課程	4.2	18.9	42.6	34.3	613
博士課程	4.0	17.1	44.1	34.8	397
獣医学又は医学を履修する博士課程	4.2	23.6	48.6	23.6	72
専門職学位課程	9.9	36.3	33.0	20.9	91
未 婚	4.3	18.6	43.5	33.7	1033
既 婚	7.0	30.3	37.3	25.4	142
文科系	4.9	24.5	41.1	29.4	326
理科系	4.4	18.3	43.4	34.0	848
人文社会系研究科	5.5	16.4	52.7	25.5	55
教育学研究科		20.9	41.9	37.2	43
法学政治学研究科	7.4	36.8	36.8	19.1	68
経済学研究科	4.8	14.3	47.6	33.3	21
総合文化研究科	3.5	21.7	40.0	34.8	115
理学系研究科	2.1	14.0	49.7	34.3	143
工学系研究科	5.0	19.4	39.6	36.0	222
農学生命科学研究科	4.9	11.7	49.5	34.0	103
医学系研究科	6.6	22.6	46.2	24.5	106
薬学系研究科		12.5	47.5	40.0	40
数理科学研究科	5.6	16.7	22.2	55.6	18
新領域創設科学研究科	4.1	20.4	41.5	34.0	147
情報理工学系研究科	4.2	25.0	39.6	31.3	48
情報学環・学際情報学府	9.5	28.6	28.6	33.3	21
公共政策学教育部	12.5	37.5	25.0	25.0	24

5-4-4表 学習方法や学習内容について相談機能を充実させる

区 分	非常に そう思う	まあ そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない	事例数
2009年(59回)	% (9.7)	% (33.8)	% (33.2)	% (23.3)	人 (1315)
全 体	9.5	36.0	32.5	22.0	1173
男 子	8.7	34.4	31.6	25.3	841
女 子	10.9	40.0	35.9	13.1	320
修士課程	8.0	39.3	31.6	21.1	611
博士課程	10.1	30.0	34.3	25.7	397
獣医学又は医学を履修する博士課程	11.1	36.1	38.9	13.9	72
専門職学位課程	16.5	40.7	25.3	17.6	91
未 婚	9.1	35.1	32.7	23.1	1031
既 婚	12.7	42.3	31.0	14.1	142
文科系	12.2	38.8	29.7	19.3	327
理科系	8.4	34.9	33.6	23.1	845
人文社会系研究科	7.3	38.2	41.8	12.7	55
教育学研究科	4.7	37.2	30.2	27.9	43
法学政治学研究科	15.9	42.0	29.0	13.0	69
経済学研究科	4.8	28.6	38.1	28.6	21
総合文化研究科	16.5	39.1	25.2	13.1	115
理学系研究科	7.7	28.7	35.0	28.7	143
工学系研究科	4.1	39.1	33.2	23.6	220
農学生命科学研究科	13.6	35.0	27.2	24.3	103
医学系研究科	12.3	35.8	34.9	17.0	106
薬学系研究科	5.1	23.1	46.2	25.6	39
数理科学研究科	11.1	38.9	22.2	27.8	18
新領域創設科学研究科	8.8	38.1	32.7	20.4	147
情報理工学系研究科	8.3	22.9	43.8	25.0	48
情報学環・学際情報学府	14.3	52.4	23.8	9.5	21
公共政策学教育部	12.5	41.7	16.7	29.2	24

5-4-5表 進学について相談機能を充実させる

区 分	非常に そう思う	まあ そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない	事例数
2009年(59回)	% (16.8)	% (41.8)	% (23.7)	% (17.7)	人 (1314)
全 体	14.4	42.1	26.4	17.2	1176
男 子	13.2	40.8	26.5	19.6	843
女 子	16.9	45.3	27.2	10.6	320
修士課程	15.3	44.9	25.4	14.4	613
博士課程	14.6	37.2	26.9	21.4	398
獣医学又は医学を履修する博士課程	6.9	47.2	33.3	12.5	72
専門職学位課程	13.2	40.7	25.3	20.9	91
未 婚	15.0	42.1	25.7	17.2	1034
既 婚	9.9	42.3	31.0	16.9	142
文科系	14.7	42.2	27.2	15.9	327
理科系	14.2	42.1	26.1	17.7	848
人文社会系研究科	10.7	51.8	30.4	7.1	56
教育学研究科	11.6	44.2	27.9	16.3	43
法学政治学研究科	13.2	39.7	29.4	17.6	68
経済学研究科	14.3	28.6	33.3	23.8	21
総合文化研究科	19.1	40.0	25.2	15.7	115
理学系研究科	14.0	42.7	18.9	24.5	143
工学系研究科	13.1	46.4	24.3	16.2	222
農学生命科学研究科	21.4	35.9	22.3	20.4	103
医学系研究科	7.5	42.5	32.1	17.9	106
薬学系研究科	10.0	40.0	35.0	15.0	40
数理科学研究科	16.7	38.9	16.7	27.8	18
新領域創設科学研究科	18.4	41.5	29.3	10.9	147
情報理工学系研究科	8.3	39.6	37.5	14.6	48
情報学環・学際情報学府	14.3	38.1	23.8	23.8	21
公共政策学教育部	12.5	45.8	16.7	25.0	24

5-4-6表 就職指導や進路相談機能を充実させる

区 分	非常に そう思う	まあ そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない	事例数
2009年(59回)	% (25.2)	% (42.7)	% (19.2)	% (12.9)	人 (1315)
全 体	21.6	41.4	23.6	13.4	1176
男 子	19.8	39.4	25.3	15.4	842
女 子	25.9	46.7	19.6	7.8	321
修士課程	24.0	41.9	22.3	11.7	613
博士課程	21.1	38.4	23.9	16.6	398
獣医学又は医学を履修する博士課程	8.3	50.0	30.6	11.1	72
専門職学位課程	18.7	42.9	25.3	13.2	91
未 婚	22.6	41.2	22.9	13.2	1034
既 婚	14.1	43.0	28.2	14.8	142
文科系	22.6	42.4	23.8	11.3	328
理科系	21.1	41.1	23.5	14.3	847
人文社会系研究科	12.5	53.6	26.8	7.1	56
教育学研究科	27.9	32.6	25.6	14.0	43
法学政治学研究科	20.9	41.2	26.5	11.8	68
経済学研究科	19.0	23.8	38.1	19.0	21
総合文化研究科	29.3	41.4	19.0	10.3	116
理学系研究科	16.8	44.1	23.8	15.4	143
工学系研究科	23.5	41.6	21.3	13.6	221
農学生命科学研究科	28.2	37.9	15.5	18.4	103
医学系研究科	10.4	47.2	27.4	15.1	106
薬学系研究科	37.5	27.5	22.5	12.5	40
数理科学研究科	27.8	44.4	11.1	16.7	18
新領域創設科学研究科	23.8	40.1	27.2	8.8	147
情報理工学系研究科	10.4	35.4	37.5	16.7	48
情報学環・学際情報学府	14.3	42.9	19.0	23.8	21
公共政策学教育部	12.5	58.3	16.7	12.5	24

5-4-7表 健康相談や保険センターの機能を充実させる

区 分	非常に そう思う	まあ そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない	事例数
2009年(59回)	% (14.5)	% (40.9)	% (28.7)	% (15.9)	人 (1317)
全 体	14.1	39.9	30.3	15.6	1174
男 子	13.9	38.3	30.8	16.9	840
女 子	14.3	43.6	29.9	12.1	321
修士課程	13.4	40.6	31.0	15.0	613
博士課程	17.4	39.3	27.0	16.4	397
獣医学又は医学を履修する博士課程	2.8	45.8	38.9	12.5	72
専門職学位課程	14.4	32.2	34.4	18.9	90
未 婚	14.1	39.3	30.3	16.3	1032
既 婚	14.8	44.4	30.3	10.6	142
文科系	14.7	39.8	31.2	14.4	327
理科系	13.8	40.1	30.0	16.1	846
人文社会系研究科	8.9	44.6	35.7	10.7	56
教育学研究科	11.9	42.9	33.3	11.9	42
法学政治学研究科	16.2	30.9	36.8	16.2	68
経済学研究科	23.8	14.3	33.3	28.6	21
総合文化研究科	17.2	43.1	27.6	12.1	116
理学系研究科	13.3	37.1	31.5	18.2	143
工学系研究科	15.0	42.7	24.5	17.7	220
農学生命科学研究科	16.5	35.0	26.2	22.3	103
医学系研究科	4.7	48.1	33.0	14.2	106
薬学系研究科	20.0	42.5	20.0	17.5	40
数理科学研究科	16.7	33.3	27.8	22.2	18
新領域創設科学研究科	15.0	38.8	35.4	10.9	147
情報理工学系研究科	10.4	33.3	45.8	10.4	48
情報学環・学際情報学府	23.8	42.9	28.6	4.8	21
公共政策学教育部	8.3	54.2	16.7	20.8	24

5-4-8表 個人的な悩みの学生相談やカウンセリング機能を充実させる

区 分	非常に そう思う	まあ そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない	事例数
2009年(59回)	% (12.8)	% (39.7)	% (29.3)	% (18.2)	人 (1309)
全 体	10.9	37.2	35.1	16.8	1179
男 子	9.8	35.5	35.7	19.0	844
女 子	13.0	41.3	34.8	10.9	322
修士課程	11.9	36.4	35.3	16.4	615
博士課程	10.5	39.6	31.1	18.8	399
獣医学又は医学を履修する博士課程	5.6	41.7	41.7	11.1	72
専門職学位課程	9.9	28.6	46.2	15.4	91
未 婚	11.1	36.0	35.6	17.4	1037
既 婚	9.2	46.5	31.7	12.7	142
文科系	10.9	37.7	35.0	16.4	329
理科系	10.7	37.1	35.2	17.0	849
人文社会系研究科	8.9	37.5	39.3	14.3	56
教育学研究科	7.0	55.8	23.3	14.0	43
法学政治学研究科	11.6	29.0	42.0	17.4	69
経済学研究科	4.8	28.6	47.6	19.0	21
総合文化研究科	15.5	37.9	29.3	17.2	116
理学系研究科	11.1	33.3	36.1	19.4	144
工学系研究科	10.4	37.8	33.3	18.5	222
農学生命科学研究科	12.6	31.1	35.9	20.4	103
医学系研究科	7.5	41.5	40.6	10.4	106
薬学系研究科	12.5	47.5	25.0	15.0	40
数理科学研究科	16.7	44.4	22.2	16.7	18
新領域創設科学研究科	10.2	36.7	36.7	16.3	147
情報理工学系研究科	10.4	39.6	33.3	16.7	48
情報学環・学際情報学府	14.3	33.3	42.9	9.5	21
公共政策学教育部	4.2	37.5	41.7	16.7	24

5-4-9表 奨学金の充実や、授業料免除など、経済的支援を強化する

区 分	非常に そう思う	まあ そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない	事例数
2009年(59回)	% (57.6)	% (26.1)	% (10.8)	% (5.6)	人 (1315)
全 体	47.7	30.1	15.2	7.0	1177
男 子	47.9	29.4	15.1	7.6	843
女 子	46.4	32.1	16.2	5.3	321
修士課程	43.6	32.4	17.1	6.8	614
博士課程	57.5	26.6	9.8	6.0	398
獣医学又は医学を履修する博士課程	36.1	31.9	23.6	8.3	72
専門職学位課程	42.9	27.5	19.8	9.9	91
未 婚	48.0	30.0	14.9	7.1	1035
既 婚	45.8	30.3	17.6	6.3	142
文科系	56.7	22.9	15.9	4.6	328
理科系	44.2	32.9	15.0	7.9	848
人文社会系研究科	67.9	17.9	12.5	1.8	56
教育学研究科	46.5	30.2	16.3	7.0	43
法学政治学研究科	47.1	23.5	22.1	7.4	68
経済学研究科	61.9	28.6	9.5		21
総合文化研究科	64.7	18.1	14.7	2.6	116
理学系研究科	50.3	30.1	11.2	8.4	143
工学系研究科	43.7	34.2	15.3	6.8	222
農学生命科学研究科	47.6	29.1	15.5	7.8	103
医学系研究科	38.7	32.1	19.8	9.4	106
薬学系研究科	47.5	30.0	15.0	7.5	40
数理科学研究科	50.0	33.3	5.6	11.1	18
新領域創設科学研究科	42.9	38.1	12.2	6.8	147
情報理工学系研究科	33.3	33.3	25.0	8.3	48
情報学環・学際情報学府	42.9	28.6	14.3	14.3	21
公共政策学教育部	33.3	37.5	16.7	12.5	24

5-4-10表 学生同士が支え合うネットワークづくりを強化する

区 分	非常に そう思う	まあ そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない	事例数
2009年(59回)	% (17.6)	% (37.7)	% (29.0)	% (15.7)	人 (1314)
全 体	15.2	35.5	34.5	14.8	1177
男 子	14.5	37.0	32.6	15.9	843
女 子	15.9	31.8	40.5	11.8	321
修士課程	18.2	35.5	32.6	13.7	614
博士課程	13.8	34.7	35.4	16.1	398
獣医学又は医学を履修する博士課程	5.6	38.9	41.7	13.9	72
専門職学位課程	8.8	36.3	37.4	17.6	91
未 婚	15.5	35.6	34.0	15.0	1035
既 婚	13.4	35.2	38.0	13.4	142
文科系	14.6	36.6	35.4	13.4	328
理科系	15.3	35.1	34.2	15.3	848
人文社会系研究科	16.1	33.9	42.9	7.1	56
教育学研究科	11.6	41.9	37.2	9.3	43
法学政治学研究科	7.4	33.8	41.2	17.6	68
経済学研究科	4.8	47.6	38.1	9.5	21
総合文化研究科	22.4	33.6	28.4	15.5	116
理学系研究科	14.7	32.9	38.5	14.0	143
工学系研究科	17.1	37.4	28.4	17.1	222
農学生命科学研究科	16.5	32.0	35.0	16.5	103
医学系研究科	8.5	34.9	41.5	15.1	106
薬学系研究科	7.5	40.0	30.0	22.5	40
数理科学研究科	22.2	22.2	27.8	27.8	18
新領域創設科学研究科	19.7	36.7	32.7	10.9	147
情報理工学系研究科	12.5	39.6	35.4	12.5	48
情報学環・学際情報学府	14.3	23.8	47.6	14.3	21
公共政策学教育部	8.3	45.8	29.2	16.7	24

5-4-11表 過去1年間に体の不調はありましたか (設問59)

区 分	よく あった	ときどき あった	あまり なかった	全く なかった	事例数
2009年(59回)	% (-)	% (-)	% (-)	% (-)	人 (-)
全 体	9.5	31.9	35.3	23.4	1182
男 子	8.0	30.0	36.2	25.8	848
女 子	13.1	37.4	33.0	16.5	321
修士課程	8.6	32.2	34.0	25.2	615
博士課程	11.7	29.9	38.6	19.9	402
獣医学又は医学を履修する博士課程	8.3	38.9	26.4	26.4	72
専門職学位課程	6.6	33.0	36.3	24.2	91
未 婚	9.6	31.7	35.0	23.6	1037
既 婚	8.3	33.1	37.2	21.4	145
文科系	10.3	35.0	34.0	20.7	329
理科系	9.0	30.8	35.8	24.4	852

5-4-12表 体の不調があったときに、どのように対処しましたか (設問60)

(複数回答)

区 分	家族に 相談	大学内の同じ 研究室やサー クルの友人・ 先輩に相談	大学外の友 人・先輩に 相談	大学の教職員 に相談	保健センター (本郷・駒 場・柏)の診 療部を受診	保健センター(本 郷・駒場・柏)の 健康管理室に相談	東大病院を 受診	地域のクリニ ックや病院を 受診	その他	事例数
2009年(59回)	% (-)	% (-)	% (-)	% (-)	% (-)	% (-)	% (-)	% (-)	% (-)	人 (-)
全 体	23.9	6.3	4.7	2.4	16.9	1.0	3.4	34.8	6.5	1497
男 子	22.0	5.0	4.9	2.0	18.1	1.1	3.6	35.7	7.6	962
女 子	27.4	8.6	4.6	3.1	14.6	0.8	2.7	33.7	4.6	522
修士課程	24.7	6.3	5.5	2.1	16.9	1.3	3.1	33.5	6.7	765
博士課程	21.9	6.3	3.6	2.9	18.1	0.8	2.1	37.2	7.1	524
獣医学又は医学を履修する博士課程	25.3	10.8	3.6	4.8	7.2	0.0	10.8	28.9	8.4	83
専門職学位課程	26.9	3.4	5.9	0.8	17.6	0.8	5.0	37.0	2.5	119
未 婚	23.1	6.7	4.7	2.5	17.8	1.0	3.3	34.1	6.9	1321
既 婚	30.1	2.8	5.1	1.7	10.2	1.1	4.5	40.3	4.0	176
文科系	27.7	5.6	4.5	1.6	15.4	0.9	2.9	37.3	4.2	448
理科系	22.3	6.6	4.9	2.8	17.6	1.0	3.6	33.8	7.5	1048

5-4-13表 過去1年間に、大学が行っている保健サービスを利用しましたか (設問61)

(複数回答)

区 分	大学のホームページや掲示板 に掲載された健康情報や通知 にアクセス	保健センターのホームペー ジや掲示板に掲載された健康情 報や通知にアクセス	保健センターの 定期健康診断の受診	保健センターの定期健 康診断書や健康診断証 明書の発行	利用したこ とがない	その他	事例数
2009年(59回)	% (-)	% (-)	% (-)	% (-)	% (-)	% (-)	人 (-)
全 体	5.7	9.3	49.7	11.8	21.5	2.0	1557
男 子	6.6	11.7	65.4	14.9	29.2	2.4	847
女 子	9.6	14.3	66.5	17.4	25.8	3.1	322
修士課程	8.0	12.9	67.9	19.9	25.7	2.8	614
博士課程	6.2	11.9	62.3	9.7	31.3	3.0	403
獣医学又は医学を履修する博士課程	5.6	6.9	56.9	19.4	38.9	2.8	72
専門職学位課程	11.0	12.1	70.3	9.9	25.3	0.0	91
未 婚	7.8	12.6	69.0	16.7	25.2	2.5	1037
既 婚	4.8	9.7	40.0	7.6	51.0	3.4	145
文科系	6.7	10.3	63.0	9.7	31.5	2.4	330
理科系	7.8	12.9	66.5	17.9	27.1	2.7	851
本 郷	8.1	13.2	66.1	15.1	27.2	2.5	749
駒場Ⅰ	3.6	8.7	68.8	12.3	27.5	2.9	138
駒場Ⅱ	1.4	4.3	52.2	18.8	42.0	0.0	69
柏	9.5	12.2	68.2	19.6	25.7	4.7	148
その他	8.3	15.3	62.5	16.7	31.9	1.4	72

5-4-14表 大学が行っている保健サービスに満足していますか (設問62)

区 分	満足	どちらとも言えない	不満	事例数
2009年(59回)	% (-)	% (-)	% (-)	人 (-)
全 体	41.2	52.4	6.4	1179
男 子	42.7	51.6	5.7	845
女 子	38.0	54.2	7.8	321
修士課程	43.9	51.4	4.7	615
博士課程	39.3	52.9	7.8	399
獣医学又は医学を履修する博士課程	31.9	58.3	9.7	72
専門職学位課程	37.4	53.8	8.8	91
未 婚	43.1	51.0	5.9	1034
既 婚	27.6	62.8	9.7	145
文科系	35.0	58.1	7.0	329
理科系	43.7	50.3	6.0	849

6-1表 現在、大学では大学の社会的貢献を促進し、また、国際化を推進しようとしています。これらに関連して次に挙げるそれぞれの事項はどの程度重要だと思いますか

6-1-1表 社会的貢献を促進するために、授業の外部開放を進める（設問63）

区 分	非常に重要	かなり重要	重 要	あまり重要ではない	ほとんど重要ではない	事例数
2009年(59回)	% (8.9)	% (14.1)	% (33.7)	% (32.8)	% (10.4)	人 (1322)
全 体	8.7	11.5	33.2	34.6	11.9	1181
男 子	8.7	11.1	30.9	35.3	13.9	847
女 子	8.1	12.8	38.0	34.0	7.2	321
修士課程	9.6	11.2	34.2	34.7	10.3	614
博士課程	8.2	12.4	31.3	32.3	15.7	402
獣医学又は医学を履修する博士課程	8.3	12.5	31.9	41.7	5.6	72
専門職学位課程	4.4	8.8	36.3	38.5	12.1	91
未 婚	8.7	10.7	33.5	35.1	12.1	1037
既 婚	9.0	17.4	31.3	31.3	11.1	144
文科系	8.5	9.1	31.0	36.8	14.6	329
理科系	8.7	12.5	34.1	33.8	10.9	851
本 郷	8.4	11.0	33.2	33.9	13.5	747
駒場Ⅰ	7.2	9.4	31.9	38.4	13.0	138
駒場Ⅱ	8.6	10.0	32.9	41.4	7.1	70
柏	8.8	16.2	35.1	29.7	10.1	148
その他	13.9	11.1	31.9	40.3	2.8	72

6-1-2表 社会的貢献を促進するために、産学協同をより推進する

区 分	非常に重要	かなり重要	重 要	あまり重要ではない	ほとんど重要ではない	事例数
2009年(59回)	% (18.1)	% (24.2)	% (37.8)	% (14.6)	% (5.2)	人 (1320)
全 体	18.4	22.6	39.8	14.3	4.9	1177
男 子	20.0	21.9	38.9	13.2	6.0	846
女 子	14.5	24.8	41.8	17.0	1.9	318
修士課程	19.9	25.3	37.7	13.2	3.8	612
博士課程	17.7	19.0	39.9	15.7	7.7	402
獣医学又は医学を履修する博士課程	12.7	22.5	53.5	11.3		71
専門職学位課程	15.4	20.9	41.8	17.6	4.4	91
未 婚	18.2	22.4	39.9	14.7	4.8	1033
既 婚	20.1	24.3	38.9	11.1	5.6	144
文科系	15.2	17.4	37.5	22.3	7.6	328
理科系	19.6	24.6	40.7	11.2	3.9	848
本 郷	19.2	21.3	38.9	14.9	5.6	745
駒場Ⅰ	15.2	14.5	39.9	22.5	8.0	138
駒場Ⅱ	15.9	27.5	43.5	13.0		69
柏	17.7	29.3	43.5	7.5	2.0	147
その他	18.1	31.9	38.9	8.3	2.8	72

6-1-3表 社会的貢献を促進するために、直接的に社会的要請の高い研究を推進する

区 分	非常に重要	かなり重要	重 要	あまり重要ではない	ほとんど重要ではない	事例数
2009年(59回)	% (10.3)	% (15.7)	% (30.9)	% (30.2)	% (12.9)	人 (1323)
全 体	11.2	16.1	36.2	26.8	9.7	1179
男 子	12.0	15.8	34.7	26.7	10.7	847
女 子	9.1	17.2	40.4	26.6	6.6	319
修士課程	11.7	17.6	36.7	25.3	8.6	613
博士課程	11.2	11.5	31.7	32.7	13.0	401
獣医学又は医学を履修する博士課程	8.3	26.4	45.8	16.7	2.8	72
専門職学位課程	9.9	18.7	44.0	19.8	7.7	91
未 婚	10.8	15.4	35.4	28.5	9.8	1036
既 婚	14.0	21.0	42.0	14.7	8.4	143
文科系	10.1	13.4	33.8	29.3	13.4	328
理科系	11.5	17.2	37.2	25.9	8.2	850
本 郷	9.8	17.0	35.8	27.9	9.4	745
駒場Ⅰ	12.3	9.4	30.4	26.8	21.0	138
駒場Ⅱ	14.3	18.6	38.6	22.9	5.7	70
柏	15.5	19.6	37.8	21.6	5.4	148
その他	6.9	11.1	45.8	31.9	4.2	72

6-1-4表 社会的貢献を促進するために、(むしろ)基礎研究を充実させる

区 分	非常に重要	かなり重要	重 要	あまり重要ではない	ほとんど重要ではない	事例数
2009年(59回)	% (31.1)	% (26.2)	% (32.7)	% (7.8)	% (2.3)	人 (1322)
全 体	25.2	25.8	38.4	8.8	1.8	1180
男 子	26.9	24.4	37.7	9.1	1.9	847
女 子	20.9	28.8	41.3	8.1	0.9	320
修士課程	22.8	26.6	39.2	9.8	1.6	613
博士課程	32.8	27.9	29.4	8.2	1.7	402
獣医学又は医学を履修する博士課程	12.5	22.2	59.7	5.6		72
専門職学位課程	16.5	15.4	56.0	7.7	4.4	91
未 婚	24.7	25.7	38.3	9.4	1.9	1036
既 婚	28.5	27.1	38.9	4.9	0.7	144
文科系	27.7	24.7	38.4	6.4	2.7	328
理科系	24.1	26.3	38.4	9.8	1.4	851
本 郷	25.7	23.6	39.8	8.7	2.1	746
駒場Ⅰ	29.0	27.5	34.1	7.2	2.2	138
駒場Ⅱ	12.9	37.1	37.1	12.9		70
柏	20.9	35.1	33.8	8.8	1.4	148
その他	30.6	18.1	43.1	8.3		72

6-1-5表 研究の国際化を推進するため、研究者の交流をより積極的に進める

区 分	非常に重要	かなり重要	重 要	あまり重要ではない	ほとんど重要ではない	事例数
2009年(59回)	% (38.6)	% (31.7)	% (24.9)	% (3.5)	% (1.4)	人 (1322)
全 体	35.3	31.5	28.0	3.6	1.5	1180
男 子	35.7	29.9	28.5	4.0	2.0	847
女 子	34.7	35.3	27.2	2.5	0.3	320
修士課程	37.0	32.1	25.9	3.6	1.3	613
博士課程	36.3	28.6	29.9	3.7	1.5	402
獣医学又は医学を履修する博士課程	29.2	40.3	29.2	1.4		72
専門職学位課程	24.2	34.1	31.9	5.5	4.4	91
未 婚	35.7	30.9	27.9	3.8	1.6	1035
既 婚	32.4	35.9	28.3	2.8	0.7	145
文科系	33.1	30.7	28.3	5.2	2.7	329
理科系	36.1	31.9	27.9	3.1	1.1	850
本 郷	35.7	30.8	28.2	3.5	1.9	746
駒場Ⅰ	39.9	26.8	27.5	4.3	1.4	138
駒場Ⅱ	27.1	42.9	22.9	5.7	1.4	70
柏	30.4	33.1	32.4	4.1		148
その他	38.9	34.7	23.6	1.4	1.4	72

6-1-6表 研究の国際化を推進するため、国際共同研究をより推奨する

区 分	非常に重要	かなり重要	重 要	あまり重要ではない	ほとんど重要ではない	事例数
2009年(59回)	% (30.9)	% (31.8)	% (28.4)	% (7.0)	% (1.8)	人 (1322)
全 体	30.9	28.7	31.7	6.9	1.8	1180
男 子	30.1	27.0	32.8	7.7	2.4	847
女 子	32.8	33.4	28.8	4.7	0.3	320
修士課程	32.0	30.3	29.2	6.7	1.8	613
博士課程	32.3	24.1	33.6	8.2	1.7	402
獣医学又は医学を履修する博士課程	25.0	37.5	33.3	4.2		72
専門職学位課程	23.1	31.9	37.4	4.4	3.3	91
未 婚	31.3	28.0	31.5	7.1	2.0	1035
既 婚	28.3	33.8	33.1	4.8		145
文科系	30.4	28.6	30.4	7.9	2.7	329
理科系	31.1	28.8	32.2	6.5	1.4	850
本 郷	30.3	28.6	32.3	6.7	2.1	746
駒場Ⅰ	37.0	24.6	26.1	10.1	2.2	138
駒場Ⅱ	27.1	30.0	35.7	5.7	1.4	70
柏	27.7	31.1	33.8	7.4		148
その他	33.3	33.3	29.2	2.8	1.4	72

6-1-7表 教育の国際化を推進するため、日本から外国へ留学する機会をもっと拡大する

区 分	非常に重要	かなり重要	重 要	あまり重要ではない	ほとんど重要ではない	事例数
2009年(59回)	% (34.9)	% (29.3)	% (26.7)	% (7.0)	% (2.1)	人 (1323)
全 体	39.2	25.5	28.2	5.5	1.6	1180
男 子	38.3	25.3	28.5	5.8	2.2	847
女 子	41.6	26.3	27.8	4.4	0.0	320
修士課程	42.1	26.4	25.6	4.4	1.5	613
博士課程	37.1	23.4	30.3	7.5	1.7	402
獣医学又は医学を履修する博士課程	27.8	34.7	33.3	4.2		72
専門職学位課程	37.4	22.0	33.0	4.4	3.3	91
未 婚	39.2	25.0	28.0	5.9	1.8	1035
既 婚	38.6	29.0	29.7	2.8		145
文科系	39.8	25.2	26.1	6.4	2.4	329
理科系	38.8	25.6	29.1	5.2	1.3	850
本 郷	39.3	24.9	28.6	5.2	2.0	746
駒場Ⅰ	43.5	23.9	26.1	5.1	1.4	138
駒場Ⅱ	37.1	25.7	32.9	4.3		70
柏	33.1	29.1	27.7	9.5	0.7	148
その他	41.7	29.2	25.0	2.8	1.4	72

6-1-8表 教育の国際化を推進するため、外国からの留学生をより一層受け入れる

区 分	非常に重要	かなり重要	重 要	あまり重要ではない	ほとんど重要ではない	事例数
2009年(59回)	% (21.2)	% (22.7)	% (32.8)	% (17.5)	% (5.8)	人 (1323)
全 体	24.3	22.3	34.9	13.7	4.7	1180
男 子	24.4	22.4	32.7	14.3	6.1	847
女 子	24.1	21.9	41.3	11.6	1.3	320
修士課程	25.4	25.3	33.1	12.4	3.8	613
博士課程	24.1	17.9	35.6	15.4	7.0	402
獣医学又は医学を履修する博士課程	15.3	22.2	45.8	15.3	1.4	72
専門職学位課程	25.3	22.0	35.2	13.2	4.4	91
未 婚	24.0	22.4	34.1	14.5	5.0	1035
既 婚	26.9	21.4	40.7	8.3	2.8	145
文科系	27.1	20.4	33.4	13.7	5.5	329
理科系	23.2	23.1	35.5	13.8	4.5	850
本 郷	24.5	21.2	35.7	13.7	5.0	746
駒場Ⅰ	29.0	19.6	29.7	15.2	6.5	138
駒場Ⅱ	18.6	28.6	37.1	12.9	2.9	70
柏	20.3	28.4	33.8	13.5	4.1	148
その他	25.0	22.2	37.5	12.5	2.8	72

6-2表 大学へ特に要望したいことや期待することは何ですか (設問64)

6-2-1表 カリキュラムの改革

区 分	とつても期待する	期待する	どちらとも言えない	期待しない	全く期待しない	事例数
2009年(59回)	% (—)	% (—)	% (—)	% (—)	% (—)	人 (—)
全 体	13.6	30.3	38.9	11.2	5.9	1177
男 子	14.1	29.7	36.8	12.2	7.1	844
女 子	11.9	32.2	44.1	8.8	3.1	320
本 郷	14.8	30.7	37.8	10.8	5.9	743
駒場Ⅰ	13.0	27.5	36.2	13.0	10.1	138
駒場Ⅱ	15.7	31.4	35.7	12.9	4.3	70
柏	8.1	31.8	41.9	14.2	4.1	148
その他	9.7	30.6	51.4	4.2	4.2	72
修士課程	12.9	31.5	36.9	12.7	5.9	612
博士課程	12.2	26.1	43.9	10.4	7.4	403
獣医学又は医学を履修する博士課程	7.0	23.9	56.3	8.5	4.2	71
専門職学位課程	30.3	44.9	16.9	6.7	1.1	89
未 婚	13.8	30.3	37.8	11.8	6.3	1034
既 婚	11.9	30.8	46.9	7.0	3.5	143
文科系	16.0	32.2	33.7	12.0	6.1	326
理科系	12.6	29.6	40.9	10.9	5.9	850

6-2-2表 実験室や実習室の充実

区 分	とつても 期待する	期待する	どちらとも 言えない	期待しない	全く 期待しない	事例数
2009年(59回)	% (—)	% (—)	% (—)	% (—)	% (—)	人 (—)
全 体	26.9	36.1	25.9	6.1	4.9	1180
男 子	27.0	34.0	26.6	6.6	5.8	846
女 子	26.8	42.1	23.7	5.0	2.5	321
本 郷	26.9	35.0	26.3	6.7	5.1	746
駒場Ⅰ	34.1	31.2	21.7	5.1	8.0	138
駒場Ⅱ	25.7	34.3	28.6	8.6	2.9	70
柏	22.3	43.9	25.7	4.7	3.4	148
その他	22.2	43.1	29.2	2.8	2.8	72
修士課程	26.1	37.5	24.9	6.5	5.0	614
博士課程	26.3	32.5	29.5	6.0	5.7	403
獣医学又は医学を履修する博士課程	22.2	52.8	20.8	1.4	2.8	72
専門職学位課程	39.3	29.2	21.3	7.9	2.2	89
未 婚	27.5	35.9	25.2	6.4	5.0	1036
既 婚	22.9	37.5	31.3	4.2	4.2	144
文科系	32.1	30.6	24.5	8.0	4.9	327
理科系	24.9	38.3	26.5	5.4	4.9	852

6-2-3表 進学振分け制度の改善

区 分	とつても 期待する	期待する	どちらとも 言えない	期待しない	全く 期待しない	事例数
2009年(59回)	% (—)	% (—)	% (—)	% (—)	% (—)	人 (—)
全 体	6.3	15.0	55.5	11.9	11.3	1175
男 子	7.3	15.0	52.7	12.7	12.2	844
女 子	3.5	15.1	62.6	10.4	8.5	318
本 郷	6.9	13.7	55.9	12.0	11.5	742
駒場Ⅰ	5.1	15.2	50.0	13.0	16.7	138
駒場Ⅱ	4.3	24.3	47.1	14.3	10.0	70
柏	5.4	14.3	59.2	12.9	8.2	147
その他	5.6	20.8	59.7	5.6	8.3	72
修士課程	8.2	17.7	50.2	13.8	10.2	610
博士課程	4.5	13.4	58.0	10.9	13.2	402
獣医学又は医学を履修する博士課程		8.5	76.1	11.3	4.2	71
専門職学位課程	5.6	8.9	64.4	4.4	16.7	90
未 婚	7.0	15.2	53.3	12.8	11.7	1032
既 婚	1.4	13.3	71.3	5.6	8.4	143
文科系	4.9	12.0	58.0	9.2	16.0	326
理科系	6.7	16.2	54.6	13.0	9.6	848

6-2-4表 授業の方法の工夫・改善

区 分	とつても 期待する	期待する	どちらとも 言えない	期待しない	全く 期待しない	事例数
2009年(59回)	% (—)	% (—)	% (—)	% (—)	% (—)	人 (—)
全 体	19.8	38.8	29.6	6.5	5.3	1180
男 子	21.2	36.8	29.1	6.7	6.3	846
女 子	16.5	43.3	31.5	5.9	2.8	321
本 郷	19.7	39.5	28.8	6.4	5.6	747
駒場Ⅰ	18.2	35.0	30.7	6.6	9.5	137
駒場Ⅱ	20.0	50.0	18.6	8.6	2.9	70
柏	19.6	36.5	35.1	6.8	2.0	148
その他	22.2	36.1	33.3	5.6	2.8	72
修士課程	20.9	39.8	28.1	6.4	4.9	613
博士課程	17.2	36.3	32.6	7.5	6.5	402
獣医学又は医学を履修する博士課程	6.9	33.3	51.4	4.2	4.2	72
専門職学位課程	34.1	47.3	9.9	5.5	3.3	91
未 婚	20.3	38.4	28.8	7.0	5.5	1036
既 婚	16.7	41.7	35.4	2.8	3.5	144
文科系	18.6	41.2	25.9	7.0	7.3	328
理科系	20.2	38.0	31.0	6.3	4.5	851

6-2-5表 単位認定や学年試験を厳しく

区 分	とつても 期待する	期待する	どちらとも 言えない	期待しない	全く 期待しない	事例数
2009年(59回)	% (—)	% (—)	% (—)	% (—)	% (—)	人 (—)
全 体	6.6	13.6	45.3	21.2	13.2	1182
男 子	7.3	15.1	43.8	20.5	13.3	348
女 子	5.0	10.0	49.2	23.4	12.5	321
本 郷	6.8	14.0	42.5	22.7	13.9	748
駒場Ⅰ	7.2	13.0	52.9	12.3	14.5	138
駒場Ⅱ	5.7	14.3	38.6	30.0	11.4	70
柏	4.7	13.5	50.0	19.6	12.2	148
その他	6.9	11.1	54.2	19.4	8.3	72
修士課程	6.7	11.4	44.1	23.9	13.8	614
博士課程	7.7	18.4	47.1	16.6	10.2	403
獣医学又は医学を履修する博士課程	4.2	9.7	61.1	15.3	9.7	72
専門職学位課程	3.3	11.0	33.0	28.6	24.2	91
未 婚	6.8	13.5	44.6	21.3	13.8	1037
既 婚	5.5	14.5	50.3	20.7	9.0	145
文科系	4.6	11.2	43.8	22.2	18.2	329
理科系	7.3	14.6	46.0	20.9	11.3	852

6-2-6表 カウンセリング・相談体制の充実

区 分	とつても 期待する	期待する	どちらとも 言えない	期待しない	全く 期待しない	事例数
2009年(59回)	% (—)	% (—)	% (—)	% (—)	% (—)	人 (—)
全 体	9.2	26.1	39.9	14.9	9.8	1178
男 子	8.6	25.0	39.9	14.8	11.6	844
女 子	9.7	29.3	40.5	15.3	5.3	321
本 郷	7.8	25.4	40.3	16.0	10.5	744
駒場Ⅰ	15.2	29.0	34.1	12.3	9.4	138
駒場Ⅱ	10.0	31.4	31.4	17.1	10.0	70
柏	10.1	25.0	43.2	12.8	8.8	148
その他	8.3	26.4	45.8	12.5	6.9	72
修士課程	10.3	26.6	36.8	16.0	10.3	612
博士課程	8.2	27.1	42.8	12.4	9.5	402
獣医学又は医学を履修する博士課程	4.2	22.2	54.2	12.5	6.9	72
専門職学位課程	10.0	22.2	35.6	21.1	11.1	90
未 婚	9.1	25.8	39.6	15.3	10.3	1034
既 婚	9.7	28.5	42.4	12.5	6.9	144
文科系	10.1	28.7	35.7	15.9	9.8	328
理科系	8.7	25.2	41.6	14.6	9.9	849

6-2-7表 奨学金(育英資金)・育英貸付金などの拡充や増額

区 分	とつても 期待する	期待する	どちらとも 言えない	期待しない	全く 期待しない	事例数
2009年(59回)	% (—)	% (—)	% (—)	% (—)	% (—)	人 (—)
全 体	50.3	29.3	15.2	3.2	1.9	1183
男 子	51.5	27.1	15.3	3.8	2.2	848
女 子	46.3	35.4	15.2	1.9	1.2	322
本 郷	50.5	27.8	16.0	3.6	2.1	749
駒場Ⅰ	64.5	19.6	13.0	2.2	0.7	138
駒場Ⅱ	41.4	40.0	14.3	1.4	2.9	70
柏	47.3	33.1	15.5	1.4	2.7	148
その他	36.1	44.4	12.5	6.9		72
修士課程	49.4	30.6	14.6	3.4	2.0	615
博士課程	56.1	25.6	14.4	2.5	1.5	403
獣医学又は医学を履修する博士課程	30.6	38.9	26.4	4.2		72
専門職学位課程	46.2	29.7	14.3	4.4	5.5	91
未 婚	51.3	29.5	14.2	3.1	1.9	1038
既 婚	42.8	28.3	22.8	4.1	2.1	145
文科系	56.7	23.9	13.3	2.7	3.3	330
理科系	47.8	31.5	16.0	3.4	1.4	852

6-2-8表 社会への貢献

区 分	とつても 期待する	期待する	どちらとも 言えない	期待しない	全く 期待しない	事例数
2009年(59回)	% (—)	% (—)	% (—)	% (—)	% (—)	人 (—)
全 体	23.4	41.0	25.4	5.7	4.5	1180
男 子	22.5	37.4	27.9	7.1	5.2	846
女 子	25.9	51.4	18.1	2.2	2.5	321
本 郷	22.1	41.2	25.8	6.2	4.7	747
駒場Ⅰ	21.7	35.5	27.5	7.2	8.0	138
駒場Ⅱ	24.3	44.3	25.7	2.9	2.9	70
柏	29.1	38.5	25.7	4.1	2.7	148
その他	25.0	52.8	16.7	4.2	1.4	72
修士課程	25.3	40.8	24.1	6.2	3.6	613
博士課程	22.4	37.1	28.4	5.5	6.7	402
獣医学又は医学を履修する博士課程	18.1	61.1	18.1	2.8		72
専門職学位課程	18.7	45.1	26.4	5.5	4.4	91
未 婚	22.8	40.3	26.4	5.8	4.6	1036
既 婚	27.8	45.8	18.1	4.9	3.5	144
文科系	20.7	39.5	26.4	7.3	6.1	329
理科系	24.4	41.6	25.1	5.1	3.9	850

6-2-9表 海外留学の支援

区 分	とつても 期待する	期待する	どちらとも 言えない	期待しない	全く 期待しない	事例数
2009年(59回)	% (—)	% (—)	% (—)	% (—)	% (—)	人 (—)
全 体	38.7	35.6	20.6	2.5	2.5	1182
男 子	37.6	33.4	22.6	3.2	3.2	848
女 子	41.7	41.7	15.0	0.6	0.9	321
本 郷	37.3	36.5	21.3	2.1	2.8	748
駒場Ⅰ	47.1	33.3	15.2	2.9	1.4	138
駒場Ⅱ	34.3	44.3	11.4	4.3	5.7	70
柏	37.8	32.4	25.0	4.1	0.7	148
その他	43.1	29.2	23.6	1.4	2.8	72
修士課程	40.9	36.5	18.1	2.4	2.1	614
博士課程	39.5	33.0	21.3	2.5	3.7	403
獣医学又は医学を履修する博士課程	27.8	55.6	16.7			72
専門職学位課程	29.7	26.4	36.3	5.5	2.2	91
未 婚	39.2	35.6	20.0	2.6	2.7	1037
既 婚	35.9	35.9	24.8	2.1	1.4	145
文科系	41.3	31.3	20.7	3.6	3.0	329
理科系	37.7	37.3	20.5	2.1	2.3	852

6-2-10表 施設設備の充実

区 分	とつても 期待する	期待する	どちらとも 言えない	期待しない	全く 期待しない	事例数
2009年(59回)	% (—)	% (—)	% (—)	% (—)	% (—)	人 (—)
全 体	36.8	39.3	18.7	3.0	2.2	1182
男 子	36.0	39.2	18.8	3.7	2.4	847
女 子	38.8	39.4	18.3	1.6	1.9	322
本 郷	37.0	38.5	19.6	2.7	2.3	749
駒場Ⅰ	43.8	34.3	12.4	5.1	4.4	137
駒場Ⅱ	31.4	37.1	24.3	5.7	1.4	70
柏	35.1	43.9	16.9	2.7	1.4	148
その他	29.2	48.6	20.8	1.4		72
修士課程	35.7	39.9	19.2	3.4	1.8	614
博士課程	36.7	36.7	20.6	3.0	3.0	403
獣医学又は医学を履修する博士課程	30.6	55.6	12.5		1.4	72
専門職学位課程	49.5	33.0	12.1	3.3	2.2	91
未 婚	37.3	38.5	18.6	3.4	2.2	1037
既 婚	33.1	44.8	19.3	0.7	2.1	145
文科系	46.5	32.2	14.9	2.7	3.6	329
理科系	33.0	42.0	20.2	3.2	1.6	852

6-2-11表 教育スタッフの充実

区 分	とつても 期待する	期待する	どちらとも 言えない	期待しない	全く 期待しない	事例数
2009年(59回)	% (—)	% (—)	% (—)	% (—)	% (—)	人 (—)
全 体	28.1	39.4	24.7	5.0	2.8	1183
男 子	26.5	38.2	26.3	5.9	3.1	848
女 子	32.3	41.9	20.8	2.8	2.2	322
本 郷	28.6	38.9	25.0	4.7	2.9	749
駒場Ⅰ	36.2	39.9	14.5	5.8	3.6	138
駒場Ⅱ	21.4	45.7	21.4	7.1	4.3	70
柏	23.6	35.8	34.5	4.7	1.4	148
その他	22.2	45.8	25.0	5.6	1.4	72
修士課程	26.5	39.7	26.7	4.9	2.3	615
博士課程	32.0	36.2	22.6	5.7	3.5	403
獣医学又は医学を履修する博士課程	22.2	51.4	22.2	1.4	2.8	72
専門職学位課程	26.4	41.8	23.1	5.5	3.3	91
未 婚	27.4	39.3	25.0	5.5	2.9	1038
既 婚	33.8	40.0	22.8	1.4	2.1	145
文科系	32.1	41.5	18.2	4.2	3.9	330
理科系	26.5	38.6	27.2	5.3	2.3	852

6-2-12表 少人数教育の実施

区 分	とつても 期待する	期待する	どちらとも 言えない	期待しない	全く 期待しない	事例数
2009年(59回)	% (—)	% (—)	% (—)	% (—)	% (—)	人 (—)
全 体	14.1	27.0	41.3	12.3	5.3	1181
男 子	13.5	24.9	42.3	12.8	6.5	846
女 子	16.1	32.0	38.8	10.6	2.5	322
本 郷	14.3	25.7	41.8	12.6	5.6	747
駒場Ⅰ	19.6	28.3	33.3	13.0	5.8	138
駒場Ⅱ	10.0	38.6	34.3	10.0	7.1	70
柏	10.1	26.4	43.9	15.5	4.1	148
その他	12.5	27.8	52.8	4.2	2.8	72
修士課程	13.4	27.5	41.0	13.2	4.9	614
博士課程	15.6	22.6	41.7	13.2	6.9	403
獣医学又は医学を履修する博士課程	5.6	33.3	54.2	5.6	1.4	72
専門職学位課程	17.8	38.9	31.1	7.8	4.4	90
未 婚	13.8	26.0	41.2	13.4	5.6	1036
既 婚	15.9	34.5	42.1	4.1	3.4	145
文科系	17.6	31.9	35.3	9.7	5.5	329
理科系	12.6	25.1	43.7	13.3	5.3	851

6-2-13表 単位認定や学年試験を緩やかに

区 分	とつても 期待する	期待する	どちらとも 言えない	期待しない	全く 期待しない	事例数
2009年(59回)	% (—)	% (—)	% (—)	% (—)	% (—)	人 (—)
全 体	6.0	8.6	47.0	21.8	16.6	1182
男 子	6.7	8.8	45.3	21.3	17.8	848
女 子	4.0	8.1	50.2	23.7	14.0	321
本 郷	6.1	9.6	45.1	21.0	18.2	748
駒場Ⅰ	5.8	5.1	47.1	23.2	18.8	138
駒場Ⅱ	8.6	12.9	45.7	20.0	12.9	70
柏	4.7	7.4	48.6	27.7	11.5	148
その他	4.2	4.2	62.5	18.1	11.1	72
修士課程	6.5	10.1	45.3	23.3	14.8	614
博士課程	3.5	4.5	47.1	22.8	22.1	403
獣医学又は医学を履修する博士課程	5.6	8.3	66.7	13.9	5.6	72
専門職学位課程	14.3	17.6	41.8	14.3	12.1	91
未 婚	6.2	8.7	46.1	22.3	16.8	1037
既 婚	4.8	8.3	53.1	18.6	15.2	145
文科系	8.2	10.3	46.5	18.5	16.4	329
理科系	5.0	8.0	47.2	23.1	16.7	852

6-2-14表 図書館の充実

区 分	とつても 期待する	期待する	どちらとも 言えない	期待しない	全く 期待しない	事例数
2009年(59回)	% (—)	% (—)	% (—)	% (—)	% (—)	人 (—)
全 体	38.6	35.5	18.9	4.6	2.4	1183
男 子	38.0	33.3	20.8	5.3	2.7	848
女 子	39.8	41.9	14.0	2.8	1.6	322
本 郷	37.4	37.2	18.2	4.4	2.8	749
駒場Ⅰ	54.3	24.6	13.8	4.3	2.9	138
駒場Ⅱ	37.1	38.6	21.4	2.9		70
柏	38.5	33.1	23.0	4.1	1.4	148
その他	23.6	41.7	25.0	8.3	1.4	72
修士課程	40.2	34.3	18.5	4.9	2.1	615
博士課程	38.5	34.7	18.6	5.0	3.2	402
獣医学又は医学を履修する博士課程	22.2	48.6	26.4	2.8		72
専門職学位課程	42.9	35.2	17.6	2.2	2.2	91
未 婚	38.9	34.6	19.2	4.9	2.4	1038
既 婚	36.6	42.1	17.2	2.1	2.1	145
文科系	51.8	30.6	12.7	2.4	2.4	330
理科系	33.5	37.4	21.4	5.4	2.3	852

6-2-15表 学生自治の尊重

区 分	とつても 期待する	期待する	どちらとも 言えない	期待しない	全く 期待しない	事例数
2009年(59回)	% (—)	% (—)	% (—)	% (—)	% (—)	人 (—)
全 体	7.8	15.4	51.1	15.7	10.0	1180
男 子	8.7	15.2	47.8	17.1	11.1	847
女 子	5.0	15.9	59.4	12.2	7.5	320
本 郷	7.9	14.6	50.2	15.8	11.5	747
駒場Ⅰ	8.7	14.5	46.4	20.3	10.1	138
駒場Ⅱ	8.6	12.9	54.3	14.3	10.0	70
柏	7.4	18.9	54.7	14.2	4.7	148
その他	2.8	20.8	61.1	9.7	5.6	72
修士課程	9.6	17.5	50.6	14.8	7.5	614
博士課程	5.0	14.4	19.0	17.7	13.9	403
獣医学又は医学を履修する博士課程	5.6	8.3	66.7	12.5	6.9	72
専門職学位課程	9.9	12.1	51.6	15.4	11.0	91
未 婚	7.8	15.7	50.6	16.2	9.7	1036
既 婚	7.6	13.2	54.9	11.8	12.5	144
文科系	9.1	15.2	48.9	14.9	11.9	329
理科系	7.2	15.5	52.0	16.0	9.3	850

6-2-16表 就職対策の充実

区 分	とつても 期待する	期待する	どちらとも 言えない	期待しない	全く 期待しない	事例数
2009年(59回)	% (—)	% (—)	% (—)	% (—)	% (—)	人 (—)
全 体	30.5	34.2	23.9	6.6	4.8	1182
男 子	27.9	32.7	26.5	7.3	5.5	848
女 子	37.1	38.6	16.5	5.0	2.8	321
本 郷	28.1	33.3	25.5	7.4	5.7	748
駒場Ⅰ	40.6	30.4	16.7	9.4	2.9	138
駒場Ⅱ	37.1	32.9	18.6	2.9	8.6	70
柏	34.5	36.5	25.0	2.7	1.4	148
その他	23.6	45.8	22.2	5.6	2.8	72
修士課程	33.6	35.2	20.7	5.7	4.9	614
博士課程	29.0	33.5	24.6	7.4	5.5	403
獣医学又は医学を履修する博士課程	18.1	30.6	43.1	6.9	1.4	72
専門職学位課程	27.5	33.0	26.4	8.8	4.4	91
未 婚	31.3	35.0	21.7	6.9	5.0	1037
既 婚	24.8	28.3	39.3	4.1	3.4	145
文科系	34.7	30.7	21.6	8.5	4.6	329
理科系	28.9	35.6	24.8	5.9	4.9	852

6-2-17表 国際化の推進

区 分	とつても 期待する	期待する	どちらとも 言えない	期待しない	全く 期待しない	事例数
2009年(59回)	% (—)	% (—)	% (—)	% (—)	% (—)	人 (—)
全 体	34.4	37.7	21.1	3.6	3.1	1182
男 子	32.9	36.4	22.9	4.2	3.5	848
女 子	38.3	41.7	16.2	2.2	1.6	321
本 郷	33.8	36.9	22.1	3.7	3.5	748
駒場Ⅰ	35.5	39.1	15.9	6.5	2.9	138
駒場Ⅱ	28.6	44.3	18.6	1.4	7.1	70
柏	32.4	41.9	22.3	2.7	0.7	148
その他	45.8	30.6	20.8	1.4	1.4	72
修士課程	37.0	37.9	19.7	2.6	2.8	614
博士課程	33.0	36.5	21.6	4.7	4.2	403
獣医学又は医学を履修する博士課程	26.4	43.1	29.2	1.4	72	72
専門職学位課程	29.7	37.4	22.0	7.7	3.3	91
未 婚	34.6	37.4	20.7	3.9	3.4	1037
既 婚	33.1	40.0	23.4	2.1	1.4	145
文科系	32.2	36.2	20.4	6.4	4.9	329
理科系	35.2	38.4	21.4	2.6	2.5	852

7-1表 実家の所在地 (設問65)

区 分	東京都	関東地方(東 京都を除く)	北海道	東北地方	中部地方	近畿地方	中国地方
2009年(59回)	% (25.3)	% (34.2)	% (1.5)	% (3.6)	% (12.5)	% (10.4)	% (4.6)
全 体	27.3	35.1	1.3	3.4	12.6	9.1	2.9
男 子	26.0	33.8	1.1	3.8	13.5	10.1	3.1
女 子	30.7	38.5	1.9	2.5	9.9	6.5	2.2
本 郷	28.6	34.1	1.5	3.6	13.2	7.6	3.2
駒場Ⅰ	32.6	30.4	1.4	2.9	9.4	11.6	2.9
駒場Ⅱ	27.1	34.3			17.1	11.4	1.4
柏	18.9	41.2	0.7	6.1	12.8	11.5	1.4
その他	20.8	44.4	1.4		8.3	13.9	
修士課程	24.5	37.1	1.3	3.9	13.9	9.1	2.6
博士課程	28.0	34.0	1.2	3.7	11.2	10.9	3.0
獣医学又は医学を履修する博士課程	41.7	25.0	2.8		12.5	8.3	2.8
専門職学位課程	33.0	34.1		1.1	9.9	2.2	4.4
未 婚	26.7	35.2	1.1	3.7	12.9	9.5	2.8
既 婚	31.7	34.5	2.8	1.4	10.3	6.2	3.4
文科系	32.7	33.6	1.5	3.3	10.6	6.4	2.4
理科系	25.2	35.7	1.2	3.4	13.3	10.2	3.0

区 分	四国地方	九州・沖縄 地方	日本国 以外	事例数
2009年(59回)	% (2.4)	% (5.3)	% (0.3)	人 (1312)
全 体	2.3	5.8	0.3	1185
男 子	2.6	5.8	0.4	850
女 子	1.6	6.2	0.0	322
本 郷	2.3	5.6	0.4	751
駒場Ⅰ		8.7		138
駒場Ⅱ	2.9	4.3		70
柏	3.4	4.1		148
その他	4.2	5.6		72
修士課程	2.9	4.4	0.3	617
博士課程	1.0	6.9		403
獣医学又は医学を履修する博士課程	2.8	2.8	1.4	72
専門職学位課程	2.2	13.2		91
未 婚	2.2	5.7	0.3	1040
既 婚	2.8	6.9		145
文科系	1.8	7.6		330
理科系	2.5	5.2	0.4	854

7-2表 未婚者・既婚者 (設問66)

区 分	未婚	既婚	事例数
2009年(59回)	% (86.5)	% (13.5)	人 (1315)
全 体	87.8	12.2	1185
男 子	89.4	10.6	850
女 子	83.9	16.1	322
本 郷	85.6	14.4	751
駒場Ⅰ	88.4	11.6	138
駒場Ⅱ	90.0	10.0	70
柏	95.9	4.1	148
その他	93.1	6.9	72
修士課程	95.1	4.9	617
博士課程	81.4	18.6	403
獣医学又は医学を履修する博士課程	58.3	41.7	72
専門職学位課程	89.0	11.0	91
文科系	85.5	14.5	330
理科系	88.6	11.4	854

7-3表 子供の数 (設問67)

区 分	0人	1人	2人	3人以上	事例数
2009年(59回)	% (48.6)	% (31.1)	% (14.7)	% (5.6)	人 (177)
全 体	93.4	2.9	2.9	0.9	1175
男 子	94.4	2.3	2.8	0.5	843
女 子	90.9	4.4	2.8	1.9	319
本 郷	92.2	3.4	3.9	0.5	743
駒場Ⅰ	95.7	1.4	0.7	2.2	138
駒場Ⅱ	94.2		2.9	2.9	69
柏	97.3	2.0	0.7		147
その他	95.8	4.2			72
修士課程	98.0	0.8	0.8	0.3	612
博士課程	89.5	4.2	4.2	2.0	401
獣医学又は医学を履修する博士課程	73.2	14.1	12.7		71
専門職学位課程	94.4	2.2	3.4		89
文科系	93.2	2.2	3.4	1.2	325
理科系	93.4	3.2	2.7	0.7	849

7-4表 あなたの子供の世話は誰がしていますか (設問68)

区 分	自分		配偶者		自分又は配偶者の親		その他の親族		知人		保育所・幼稚園等		その他	
	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数
2009年(59回)	% (-)	件 (-)	% (-)	件 (-)	% (-)	件 (-)	% (-)	件 (-)	% (-)	件 (-)	% (-)	件 (-)	% (-)	件 (-)
全 体	31.7	57	50.1	56	11.0	35	0.9	25	0.8	24	22.6	38	0.4	17
未 婚	50.0	1									50.0	1		
既 婚	31.4	56	50.1	56	11.0	35	0.9	25	0.8	24	22.0	37	0.4	17
男 子	18.1	35	66.6	37	10.1	21	1.0	15	0.7	14	17.4	21	0.1	8
女 子	53.4	22	18.2	19	12.4	14	0.8	10	1.0	10	29.1	17	0.6	9
修士課程	52.0	5	41.0	5	10.0	1	5.0	1			30.0	4		
博士課程	32.0	31	52.8	29	8.5	18	0.8	13	1.2	13	22.9	17	0.5	10
獣医学又は医学を履修する博士課程	27.8	18	51.3	18	9.6	13	0.6	8	0.6	8	18.5	13	0.2	5
専門職学位課程	17.7	3	36.8	4	32.3	3	1.0	3	0.0	3	27.5	4	0.0	2
文科系	35.2	14	48.4	13	14.0	5	1.0	3	2.5	4	38.1	8	0.0	3
理科系	30.6	43	50.7	43	10.5	30	0.9	22	0.5	20	18.5	30	0.4	14

7-5表 家族数 (設問69)

区 分	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人以上	事例数
2009年(59回)	% (18.1)	% (9.0)	% (24.6)	% (29.6)	% (13.8)	% (3.7)	% (1.0)	% (0.2)	% (0.1)	人 (1308)
全 体	18.0	9.4	23.1	32.5	12.4	3.6	0.8	0.2	0.0	1180
未 婚	20.4	8.4	22.2	32.2	12.4	3.4	0.8	0.2	0.0	1036
既 婚	11.3	12.2	25.4	33.9	12.2	4.4	0.6	0.0	0.0	144
男 子	20.4	8.4	22.2	32.2	12.4	3.4	0.8	0.2		848
女 子	11.3	12.2	25.4	33.9	12.2	4.4	0.6	0.2		319
修士課程	9.4	6.3	22.7	39.8	14.8	5.4	1.3	0.3		616
博士課程	30.5	12.5	23.5	21.5	10.3	1.8				400
医学又は医学を履修する博士課程	29.2	19.4	25.0	20.8	2.8	1.4	1.4			72
専門職学位課程	12.2	8.9	22.0	42.2	12.2	2.2				90
文科系	13.1	13.1	22.8	35.0	13.1	2.4	0.3	0.3		329
理科系	19.8	8.0	23.3	31.6	12.1	4.1	0.9	0.1		850

7-6表 生計をささえているのはだれですか (設問70)

区 分		父	母	本人	配偶者	その他	事例数
2009年(59回)		% (50.2)	% (17.2)	% (24.9)	% (5.0)	% (2.8)	件 (1670)
全 体		51.9	17.0	24.2	5.3	1.7	1451
未 婚		52.1	17.4	26.4	2.6	1.5	1272
既 婚		52.3	15.3	18.1	12.3	2.0	179
男 子		52.1	17.4	26.4	2.6	1.5	1035
女 子		52.3	15.3	18.1	12.3	2.0	398
修士課程		65.2	23.0	7.5	2.5	1.8	762
博士課程		33.5	10.6	45.2	8.8	1.8	489
獣医学又は医学を履修する博士課程		23.2	1.2	63.4	11.0	1.2	82
専門職学位課程		61.2	15.5	18.1	5.2	0.0	116
文科系		51.3	16.3	22.7	7.6	2.1	423
理科系		52.2	17.2	24.7	4.4	1.5	1027
未 婚	男 子	70.5	23.8	26.4	0.0	2.1	757
	女 子	76.7	22.6	18.9	0.4	2.6	270
	修士課程	84.6	29.9	7.5	0.0	2.2	585
	博士課程	50.2	15.9	52.0	0.3	2.8	327
	獣医学又は医学を履修する博士課程	38.1	2.4	66.7	0.0	2.4	42
専門職学位課程		86.4	2.2	16.0	0.0	0.0	81
既 婚	男 子	5.6		82.0	30.3	0.0	89
	女 子	1.9		40.4	92.3	1.9	52
	修士課程	6.7		43.3	63.6	3.3	30
	博士課程	0.0		68.9	56.8	0.0	74
	獣医学又は医学を履修する博士課程	10.0		80.0	30.0	0.0	30
専門職学位課程		10.0		80.0	60.0	0.0	10

7-7表 親元の年収 (設問71)

区 分		250万円 未満	250～350 万円	350～450 万円	450～550 万円	550～650 万円	650～750 万円	750～850 万円	850～950 万円	950～ 1050万円	1050～ 1150万円	1150～ 1250万円	1250～ 1350万円	1350～ 1450万円	1450～ 1550万円	1550万円 以上	平均年収額 (十万)	事例数
2009年(59回)		% (9.6)	% (4.7)	% (5.8)	% (7.8)	% (5.7)	% (7.6)	% (10.9)	% (5.7)	% (14.8)	% (2.8)	% (6.0)	% (1.5)	% (1.8)	% (5.8)	% (9.6)	(96.6)	人 (616)
全 体		14.7	5.4	7.0	6.3	7.2	6.0	8.3	6.0	14.7	1.7	5.2	2.6	1.7	4.0	9.3	89.4	653
未 婚		13.6	4.5	6.9	5.9	7.4	6.4	8.6	5.9	15.5	1.9	5.5	2.8	1.7	4.1	9.2	91.4	579
既 婚		23.0	12.2	8.1	9.5	5.4	2.7	5.4	6.8	8.1	0.0	2.7	1.4	1.4	2.7	10.8	73.7	74
男 子		15.6	5.6	6.6	6.6	8.2	5.3	8.2	6.8	15.6	1.4	4.7	2.1	1.4	3.5	8.2	87.3	486
女 子		10.7	5.0	8.2	5.7	4.4	7.5	8.2	3.8	11.9	2.5	6.9	4.4	2.5	5.0	13.2	97.1	159
修士課程		10.3	6.7	7.6	5.5	6.1	5.8	10.6	5.2	17.0	2.4	6.1	2.1	2.4	4.8	7.6	90.4	330
博士課程		21.5	4.3	6.0	7.3	9.4	5.6	6.0	8.2	11.2	0.9	3.0	4.3	0.9	2.1	9.4	82.3	233
獣医学又は医学を履修する博士課程		9.8	0.0	9.8	9.8	4.9	7.3	4.9	7.3	19.5	0.0	12.2	0.0	0.0	0.0	14.6	114.1	41
専門職学位課程		16.7	6.3	6.3	4.2	6.3	6.3	6.3	0.0	12.5	2.1	4.2	0.0	2.1	10.4	16.7	96.0	48
文科系		19.8	6.6	6.6	4.8	8.4	4.8	6.6	4.2	10.8	1.8	4.8	3.0	3.0	5.4	9.6	85.4	167
理科系		12.8	4.9	7.2	6.8	6.8	6.4	8.9	6.6	16.1	1.6	5.4	2.5	1.2	3.5	9.3	90.9	485
未 婚	男 子	14.4	5.0	6.6	6.4	8.5	5.7	8.7	6.4	16.5	1.6	4.8	2.1	1.6	3.9	7.8	88.6	437
	女 子	9.6	3.0	7.4	4.4	4.4	8.1	8.1	4.4	13.3	3.0	8.1	5.2	2.2	4.4	14.1	102.2	135
	修士課程	9.3	5.8	7.7	5.1	6.4	5.8	10.6	5.5	17.7	2.6	6.1	1.9	2.3	5.1	8.0	92.6	311
	博士課程	21.8	3.0	5.1	7.1	9.6	6.1	6.1	7.6	12.2	1.0	3.6	5.1	1.0	1.5	9.1	84.4	197
獣医学又は医学を履修する博士課程		3.7	0.0	11.1	11.1	3.7	11.1	7.4	7.4	18.5	0.0	14.8	0.0	0.0	0.0	11.1	115.5	27
専門職学位課程		14.0	4.7	7.0	2.3	7.0	7.0	7.0	0.0	14.0	2.3	4.7	0.0	2.3	11.6	16.3	100.0	43
既 婚	男 子	26.5	10.2	6.1	8.2	6.1	2.0	4.1	10.2	8.2		4.1	2.0	0.0	0.0	12.2	75.9	49
	女 子	16.7	16.7	12.5	12.5	4.2	4.2	8.3	0.0	4.2		0.0	0.0	4.2	8.3	8.3	68.3	24
	修士課程	26.3	21.1	5.3	10.5	0.0	5.3	10.5	0.0	5.3		5.3	5.3	5.3	0.0	0.0	53.8	19
	博士課程	19.4	11.1	11.1	8.3	8.3	2.8	5.6	11.1	5.6		0.0	0.0	0.0	5.6	11.1	71.3	36
獣医学又は医学を履修する博士課程		21.4	0.0	7.1	7.1	7.1	0.0	0.0	7.1	21.4		7.1	0.0	0.0	0.0	21.4	111.4	14
専門職学位課程		40.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	61.8	5

7-8表 父親の職業 (設問72)

区 分	専門的、 技術的 職業	教育的 職業	管理的 職業	事 務	販 売	農・ 林・ 漁業	生産 工程	建設・ 採掘	輸送・ 機械運 転	保安 職業	サービ ス業	運搬・ 清掃	無 職	その他	事例数
2009年(59回)	% (27.6)	% (14.2)	% (25.8)	% (5.0)	% (3.3)	% (1.5)	(1.9)	%		(9.5)	%		% (8.1)	% (3.1)	人 (782)
全 体	25.3	10.9	20.8	5.9	3.0	1.3	2.8	3.4	0.8	1.2	8.5	0.4	11.0	4.7	1076
未 婚	24.9	11.1	21.3	6.6	3.0	1.2	2.9	3.6	0.9	1.1	9.1	0.4	8.9	4.8	961
既 婚	28.7	8.7	16.5	0.9	2.6	1.7	1.7	1.7	0.0	1.7	3.5	0.0	27.8	4.3	115
男 子	24.1	11.1	20.4	6.5	3.8	1.4	2.9	3.4	0.8	1.7	9.4	0.4	9.4	4.9	769
女 子	28.6	10.4	21.2	4.7	1.0	1.0	2.7	3.4	1.0	0.0	6.4	0.0	15.5	4.0	297
修士課程	25.4	10.2	23.4	6.9	4.0	0.9	2.3	3.2	0.9	1.2	10.0	0.4	7.7	3.5	568
博士課程	22.1	13.1	17.9	4.7	2.0	2.0	4.2	3.9	1.1	0.8	6.4	0.0	15.6	6.1	358
獣医学又は医学を履修する博士課程	40.0	10.8	10.8	1.5	1.5	3.1	0.0	1.5	0.0	4.6	3.1	0.0	15.4	7.7	65
専門職学位課程	27.7	4.8	22.9	8.4	1.2	0.0	2.4	4.8	0.0	0.0	10.8	2.4	9.6	4.8	83
文科系	20.3	12.0	23.0	5.2	2.4	1.4	2.7	3.8	0.3	0.0	8.6	0.7	14.4	5.2	291
理科系	27.2	10.5	20.0	6.3	3.2	1.3	2.8	3.3	1.0	1.7	8.4	0.3	9.6	4.6	7894

7-9表 母親の職業

区 分	専門的、 技術的 職業	教育的 職業	管理的 職業	事 務	販 売	農・ 林・ 漁業	生産 工程	建設・ 採掘	輸送・ 機械運 転	保安 職業	サービ ス業	運搬・ 清掃	無 職	その他	事例数
2009年(59回)	% (11.2)	% (19.4)	% (3.5)	% (16.0)	% (5.3)	% (1.3)	(1.2)	%		(5.2)	%		% (30.4)	% (6.5)	人 (599)
全 体	8.3	12.9	1.7	13.0	3.2	0.6	0.9	0.1	0.1	0.2	8.4	0.6	43.7	6.1	1090
未 婚	8.0	13.4	1.7	14.1	3.3	0.6	1.0	0.1	0.1	0.2	9.0	0.7	41.1	6.6	960
既 婚	10.0	9.2	2.3	5.4	2.3	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	4.6	0.0	62.3	3.1	130
男 子	7.1	12.4	1.5	14.2	3.9	0.6	1.0	0.1	0.1	0.3	8.8	0.6	43.0	6.4	777
女 子	11.3	14.6	2.3	9.6	1.7	0.7	0.7	0.0	0.0	0.0	7.9	0.0	46.0	5.3	302
修士課程	8.5	15.0	1.9	15.0	3.4	0.5	1.1	0.0	0.2	0.2	9.2	0.9	37.9	6.2	565
博士課程	8.0	11.7	1.9	9.8	3.2	0.8	0.8	0.3	0.0	0.0	8.0	0.5	49.3	5.8	377
獣医学又は医学を履修する博士課程	13.6	7.6	0.0	4.5	1.5	1.5	0.0	0.0	0.0	1.5	1.5	0.0	60.6	7.6	66
専門職学位課程	3.8	8.8	1.3	21.3	3.8	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	11.3	0.0	42.5	6.3	80
文科系	7.4	12.4	2.3	11.0	2.7	0.7	1.0	0.0	0.0	0.0	9.4	0.7	47.8	4.7	299
理科系	8.6	13.2	1.5	13.8	3.4	0.6	0.9	0.1	0.1	0.3	8.1	0.6	42.0	6.7	790

7-10表 本人の職業

区 分	専門的、 技術的 職業	教育的 職業	管理的 職業	事 務	販 売	農・ 林・ 漁業	生産 工程	建設・ 採掘	輸送・ 機械運 転	保安 職業	サービ ス業	運搬・ 清掃	無 職	その他	事例数
2009年(59回)	% (43.1)	% (11.4)	% (5.7)	% (4.9)	% (0.4)	% (0.0)	(0.0)	%		(4.5)	%		% (22.0)	% (8.1)	人 (246)
全 体	64.6	15.7	2.6	3.5	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	10.0	229
未 婚	63.6	16.4	1.4	2.1				0.0			3.6			12.9	140
既 婚	66.3	14.6	4.5	5.6				2.2			1.1			5.6	89
男 子	67.1	15.1	3.9	3.9				0.7			0.7			8.6	152
女 子	60.8	17.6	0.0	2.7				0.0			6.8			12.2	74
修士課程	34.1	2.8	9.8	4.9				2.4			12.2			9.4	41
博士課程	61.9	20.3	1.7	3.4				0.8			0.0			11.9	118
獣医学又は医学を履修する博士課程	94.3	0.0	0.0	0.0				0.0			0.0			5.7	53
専門職学位課程	64.7	5.9	0.0	11.8				0.0			5.9			11.8	17
文科系	43.2	33.8	4.1	4.1				0.0			5.4			9.5	74
理科系	75.3	7.1	1.9	3.2				1.3			1.3			9.7	154

8-1表 支出状況 (設問73)

単位：千円

区 分	衣料費		食費		住居費		光熱水費		研究・勉学費		教養・娯楽費		子供の養育・娯楽費	
	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数
2009年(59回)	(10.0)	(1275)	(33.7)	(1283)	(48.6)	(1284)	(7.9)	(1277)	(14.2)	(1275)	(14.5)	(1279)	(4.2)	(1242)
全 体	8.8	1153	32.1	1156	45.6	1148	7.8	1146	13.3	1151	16.5	1152	4.1	1118
未 婚	8.2	1015	30.0	1018	39.9	1012	6.6	1009	12.2	1013	16.5	1014	0.1	986
既 婚	13.2	138	49.6	138	87.9	136	17.1	137	21.6	138	16.6	138	34.1	132
男 子	7.5	831	33.6	833	45.4	831	7.8	830	12.4	829	17.0	832	3.4	807
女 子	12.1	312	28.2	313	45.9	307	7.6	306	15.5	312	15.2	310	6.0	302
修士課程	7.6	600	28.1	603	39.8	597	6.7	596	9.9	602	15.9	601	1.4	583
博士課程	8.5	396	35.5	395	46.4	394	8.8	395	15.6	392	16.4	394	5.9	384
獣医学又は医学を履修する博士課程	19.2	69	49.9	69	95.2	68	12.1	67	23.4	68	22.1	69	15.9	65
専門職学位課程	10.1	86	30.5	87	42.2	87	7.9	86	18.9	87	17.4	86	6.1	84
文科系	9.2	320	30.0	321	39.3	319	8.0	319	20.6	321	15.6	319	4.5	309
理科系	8.6	832	33.0	834	48.0	828	7.8	826	10.5	829	16.9	832	4.0	808

区 分	通学費		通信費		その他雑費		支出合計	
	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数
2009年(59回)	(7.6)	(1273)	(7.8)	(1275)	(11.4)	(1254)	(156.5)	(1266)
全 体	7.6	1148	9.3	1156	9.1	1149	147.7	1143
未 婚	6.9	1011	8.1	1019	8.3	1012	131.8	1008
既 婚	12.6	137	18.6	137	15.0	137	266.4	135
男 子	7.0	823	8.5	833	7.9	828	145.9	824
女 子	9.3	314	11.6	314	12.2	311	152.9	309
修士課程	6.9	602	8.0	603	7.4	597	124.7	596
博士課程	8.9	394	10.7	395	10.2	394	157.7	391
獣医学又は医学を履修する博士課程	7.4	65	12.6	69	17.1	69	274.9	69
専門職学位課程	7.2	85	9.6	87	8.7	87	158.1	85
文科系	8.7	320	8.7	321	10.1	319	148.7	317
理科系	7.2	827	9.6	834	8.7	829	147.4	825

8-2表 収入状況

単位：千円

区 分	家族からの仕送り・小遣い		助成金・奨学金		学内研究費等		アルバイト		定職		配偶者の収入		その他		収入合計	
	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数
2009年(59回)	(43.1)	(1261)	(58.0)	(1262)	(18.6)	(1236)	(22.5)	(1246)	(37.6)	(1226)	(22.6)	(1213)	(3.28)	(1119)	(188.2)	(1252)
全 体	41.0	1139	52.5	1130	19.2	1124	23.6	1120	54.4	1109	66.3	1087	6.4	1050	229.7	1131
未 婚	45.2	1006	55.2	999	19.4	990	19.8	989	19.1	974	1.4	959	3.6	933	154.6	1000
既 婚	9.3	133	32.0	131	17.6	134	524	131	309.1	135	552.3	128	28.7	117	803.1	131
男 子	40.3	821	55.7	817	19.3	811	25.2	807	53.8	800	16.4	787	4.9	760	202.9	822
女 子	42.7	309	43.2	303	18.7	304	19.8	303	56.7	300	186.0	291	8.7	280	287.0	300
修士課程	58.0	599	35.0	595	5.6	586	19.1	594	8.8	581	71.9	568	4.6	548	157.8	592
博士課程	14.1	386	88.2	382	41.2	386	9.5	375	75.7	378	54.5	374	9.5	361	274.2	388
獣医学又は医学を履修する博士課程	18.5	66	43.2	66	34.4	67	150.2	66	225.9	65	100.8	61	6.0	62	525.6	66
専門職学位課程	58.0	86	23.0	85	0.9	83	19.8	83	144.1	83	57.0	82	4.6	77	299.8	83
文科系	45.5	315	50.6	309	14.4	306	21.2	309	33.6	306	147.4	302	7.4	284	238.9	309
理科系	39.3	823	53.3	820	21.0	817	24.6	810	62.5	802	35.1	784	6.0	765	226.5	821

9-1表 現在、日本学術振興会の研究奨励金を受けていますか (設問74)

区 分	受けている	受けていない	事例数
2009年(59回)	% (21.1)	% (78.9)	人 (1275)
全 体	29.0	71.0	563
男 子	31.9	68.1	395
女 子	21.5	78.5	163
修士課程 博士課程	36.7	63.3	398
獣医学又は医学を履修する博士課程	19.4	80.6	72
専門職学位課程	2.2	97.8	91
文科系	21.4	78.6	201
理科系	33.1	66.9	362

9-2表 現在、日本学術振興会の研究奨励金を受けていない理由は何ですか (設問75)

区 分	事務手 続きが 煩雑だ から申 請しな かった	掲示等 に気が つかな かった	書類を 期限ま でに整 えられ なかつ た	出願資 格がな い	出願し たが採 用され なかつ た	貸与な ので申 請しな かった	受ける 必要が 無い	その他	事例数
2009年(59回)	% (9.1)	% (12.1)	% (8.5)	% (-)	% (29.4)	% (20.6)	% (-)	% (20.4)	人 (535)
全 体	8.3	5.6	1.6	21.2	23.9	15.0	18.0	6.4	373
男 子	8.8	6.0	2.0	19.7	26.9	13.3	18.9	4.4	249
女 子	7.4	5.0	0.8	24.0	16.5	19.0	16.5	10.7	121
修士課程 博士課程	9.2	1.3	2.1	19.2	33.9	11.7	14.2	8.4	239
獣医学又は医学を履修する博士課程	10.9	12.7	1.8	15.2	12.7	10.9	27.3	5.5	55
専門職学位課程	3.8	14.1		29.5	1.3	28.2	23.1		78
文科系	6.2	8.3	1.4	27.6	10.3	25.5	16.6	4.1	145
理科系	9.6	3.9	1.8	17.1	32.5	8.3	18.9	7.9	228

注：2009年(第59回)は、日本学術振興会の研究奨励金または、他の奨学的資金を受けていない理由はどれにあたるかとしている

9-3表 現在、他の奨学的資金を受けていますか (設問76)

区 分	受けている	受けていない	事例数
2009年(59回)	% (25.1)	% (74.9)	人 (1283)
全 体	24.8	75.2	1168
男 子	25.7	74.3	839
女 子	22.3	77.7	318
修士課程 博士課程	29.8	70.2	608
獣医学又は医学を履修する博士課程	19.8	80.2	399
専門職学位課程	12.9	87.1	70
文科系	22.5	77.5	89
理科系	20.9	79.1	326
理科系	26.4	73.6	841

9-4表 現在、他の奨学的資金を受けていない理由は何ですか (設問77)

区 分	事務手 続きが 煩雑だ から申 請しな かった	掲示等 に気が つかな かった	書類を 期限ま でに整 えられ なかつ た	出願資 格がな い	出願し たが採 用され なかつ た	貸与な ので申 請しな かった	受ける 必要が 無い	その他	事例数
2009年(59回)	% (9.1)	% (12.1)	% (8.5)	% (-)	% (29.4)	% (20.6)	% (-)	% (20.4)	人 (535)
全 体	8.4	6.7	2.0	27.4	5.4	17.4	29.2	3.5	809
男 子	9.1	5.8	2.3	28.3	5.1	17.0	29.2	3.2	569
女 子	6.9	8.6	1.3	25.4	6.5	18.5	28.9	3.9	232
修士課程 博士課程	10.5	7.8	2.8	17.0	4.3	18.5	37.0	2.3	400
獣医学又は医学を履修する博士課程	5.6	2.4	0.3	46.0	7.0	12.2	20.2	6.3	287
専門職学位課程	5.3	19.3	3.5	21.1	5.3	15.8	28.1	1.8	57
文科系	10.9	7.8	3.1	15.6	6.3	35.9	20.3		64
理科系	8.1	5.1	0.8	27.1	6.8	24.6	24.6	3.0	236
理科系	8.4	7.3	2.4	27.6	4.9	14.5	31.1	3.7	572

注：2009年(第59回)は、日本学術振興会の研究奨励金または、他の奨学的資金を受けていない理由はどれにあたるかとしている

9-5表 どの奨学的な資金を受けていますか (設問78)

(複数回答)

区 分	日本学術 振興会 (特別研究員)	日本学生 支援機構	地方公共団 体(自治体)	民間の 奨学団体	日本以外の 奨学団体	事例数
2009年(59回)	% (22.4)	% (70.5)	% (0.2)	% (6.0)	% (0.9)	件 (535)
全 体	25.1	66.4	0.9	7.6	0.0	459
男 子	25.8	65.9	0.9	7.4		349
女 子	23.3	67.0	1.0	8.7		103
修士課程	0.0	88.7	1.3	10.0		231
博士課程	57.6	38.6	0.5	3.3		184
獣医学又は医学を履修する博士課程	47.4	31.6	0.0	21.1		19
専門職学位課程	0.0	91.3	0.0	8.7		23
文科系	28.8	64.4	1.0	5.8		104
理科系	24.0	66.9	0.8	8.2		354

9-6表 奨学的な資金の主たる目的(用途)はどれにあたりますか(設問79)

(3つまで)

区 分	生活費 (衣・食・ 住居費)	授業料	研究・ 勉学費	教養・ 娯楽費	旅費 (帰省も 含む)	技術・ 資格等 取得の 費用	貯金	その他	事例数
2009年(59回)	% (37.0)	% (21.0)	% (21.8)	% (10.2)	% (2.2)	% (1.3)	% (5.6)	% (0.9)	件 (1198)
全 体	35.2	20.9	20.5	12.8	2.6	0.8	6.6	0.6	1079
男 子	36.3	20.1	19.9	13.2	2.5	0.4	6.9	0.6	824
女 子	31.5	22.8	22.4	11.2	2.9	2.5	5.8	0.8	241
修士課程	37.1	16.1	19.0	16.9	3.2	0.6	6.3	0.8	496
博士課程	34.0	25.0	20.4	9.8	2.3	0.4	7.7	0.4	480
獣医学又は医学を履修する博士課程	30.2	24.5	28.3	5.7	1.9	5.7	3.8	0.0	53
専門職学位課程	31.3	25.0	29.2	8.3	0.0	2.1	2.1	2.1	48
文科系	32.1	22.6	29.0	8.7	1.6	0.8	4.8	0.4	252
理科系	36.1	20.3	17.9	14.0	2.9	0.8	7.1	0.7	826

10-1表 過去1年間にアルバイトをしましたか(設問80)

区 分	継続的 (1ヶ月以上) アルバイトを した	臨時 (1ヶ月未満) アルバイトを した	継続的なアル バイトと臨時 的アルバイト の両方をした)	しなかった	事例数
2009年(59回)	% (37.9)	% (11.6)	% (9.0)	% (41.5)	人 (1088)
全 体	39.1	13.2	9.6	38.1	1179
男 子	38.8	13.7	8.4	39.1	845
女 子	40.1	12.1	12.7	35.1	322
修士課程	47.1	15.6	10.9	26.4	614
博士課程	28.9	10.2	6.7	54.2	402
獣医学又は医学を履修する博士課程	37.5	8.3	16.7	37.5	72
専門職学位課程	31.5	14.6	7.9	46.1	89
未 婚	41.1	13.6	9.5	35.8	1035
既 婚	25.0	10.4	10.4	54.2	144
文科系	41.7	13.5	12.0	32.8	326
理科系	38.1	13.1	8.7	40.0	852

10-2表 アルバイトの種類 (設問81)

(2つまで)

区 分	大学な どの 非常勤 講師	T A ・ R A	研究事 務補助	小・中・ 稿等学 校の 講師	塾・予 備校の 講師	家庭 教師	試験監 督・採 点・通 信教育 の添削	執筆・ 翻訳・ 通訳・ 編集	一般 事務
2009年(59回)	% (2.4)	% (21.2)	% (8.5)	% (0.9)	% (12.6)	% (10.8)	% (5.7)	% (4.3)	% (5.6)
全 体	2.1	26.1	5.9	0.6	12.7	8.9	7.0	4.9	4.8
男 子	1.1	27.7	5.8	0.7	15.1	8.0	6.7	4.1	4.0
女 子	4.3	22.3	6.2	0.3	6.6	11.5	7.9	6.6	6.6
修士課程	0.5	23.6	5.2	0.8	15.1	10.8	8.1	3.7	5.2
博士課程	6.1	36.7	9.1	0.4	8.0	6.4	4.5	8.3	2.3
獣医学又は医学を履修する博士課程	5.1	20.3	1.7	0.0	1.7	0.0	1.7	5.1	3.4
専門職学位課程	0.0	11.7	3.3	0.0	18.3	8.3	11.7	3.3	13.3
未 婚	1.5	26.5	5.7	0.6	13.4	9.2	7.2	4.6	4.8
既 婚	9.0	21.3	7.9	0.0	4.5	5.6	4.5	7.9	4.5
文科系	2.8	23.3	6.6	1.3	14.2	7.5	7.9	9.1	6.6
理科系	1.8	27.3	5.5	0.3	12.0	9.5	6.6	3.0	4.0
人文社会系研究科	1.7	18.6	10.2	0.0	13.6	8.5	10.2	13.6	5.1
教育学研究科	6.3	14.6	6.3	0.0	20.8	12.5	4.2	6.3	10.4
法学政治学研究科	0.0	7.3	2.4	2.4	24.4	4.9	12.2	2.4	12.2
経済学研究科	0.0	30.0	10.0	5.0	15.0	0.0	10.0	0.0	5.0
総合文化研究科	3.8	33.1	5.4	1.5	9.2	6.2	6.2	13.1	2.3
理学系研究科	1.8	36.4	7.3	0.0	16.4	7.3	7.3	1.8	4.5
工学系研究科	0.5	26.3	3.9	0.0	12.2	14.6	7.3	3.9	4.4
農学生命科学研究科	1.2	26.2	8.3	0.0	13.1	9.5	9.5	0.0	3.6
医学系研究科	5.1	23.5	3.1	0.0	5.1	2.0	3.1	8.2	3.1
薬学系研究科	0.0	36.4	4.5	0.0	18.2	9.1	9.1	0.0	0.0
数理科学研究科	0.0	47.6	0.0	4.8	19.0	0.0	4.8	0.0	4.8
新領域創設科学研究科	1.7	20.3	9.3	0.8	11.0	8.5	5.9	1.7	5.9
情報理工学系研究科	0.0	31.1	0.0	0.0	11.1	17.8	6.7	2.2	2.2
情報学環・学際情報学府	9.5	14.3	9.5	0.0	9.5	4.8	4.8	4.8	0.0
公共政策学教育部	0.0	20.0	10.0	0.0	10.0	15.0	10.0	0.0	20.0

区 分	販売・サ ービス 業	セール ス・訪問 調査	飲食店	宿直・ 警備	肉体 労働	上記以外 の専門性 を生かし たもの	その他	事例数
2009年(59回)	% (7.4)	% (0.2)	% (3.9)	% (1.2)	% (3.0)	% (9.6)	% (2.7)	件 (1088)
全 体	6.2	0.1	4.5	0.5	3.2	9.1	3.5	1042
男 子	5.4	0.1	4.5	0.5	3.7	9.1	3.4	728
女 子	8.2	0.0	4.6	0.3	1.6	9.5	3.6	305
修士課程	7.6	0.2	6.2	0.6	4.3	5.2	3.2	657
博士課程	4.2	0.0	1.5	0.0	0.4	9.1	3.0	264
獣医学又は医学を履修する博士課程	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	50.8	8.5	59
専門職学位課程	6.7	0.0	1.7	1.7	5.0	11.7	3.3	60
未 婚	6.7	0.1	4.7	0.5	3.4	7.2	3.7	953
既 婚	1.1	0.0	2.2	0.0	1.1	29.2	1.1	89
文科系	5.0	0.0	4.7	0.6	2.2	5.0	3.1	318
理科系	6.8	0.1	4.4	0.4	3.6	10.9	3.6	724
人文社会系研究科	3.4	0.0	6.8	0.0	0.0	6.8	1.7	59
教育学研究科	4.2	0.0	4.2	0.0	0.0	6.3	4.2	48
法学政治学研究科	7.3	0.0	0.0	2.4	9.8	7.3	4.9	41
経済学研究科	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	10.0	10.0	20
総合文化研究科	6.2	0.0	5.4	0.8	2.3	2.3	2.3	130
理学系研究科	5.5	0.0	2.7	0.0	4.5	2.7	1.8	110
工学系研究科	7.3	0.5	6.3	0.0	3.9	5.9	2.9	205
農学生命科学研究科	8.3	0.0	8.3	0.0	4.8	2.4	4.8	84
医学系研究科	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	40.8	5.1	98
薬学系研究科	9.1	0.0	0.0	4.5	4.5	4.5	0.0	22
数理科学研究科	4.8	0.0	0.0	0.0	4.8	4.8	4.8	21
新領域創設科学研究科	11.9	0.0	6.8	0.8	5.1	5.1	5.1	118
情報理工学系研究科	4.4	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	2.2	45
情報学環・学際情報学府	9.5	0.0	4.8	4.8	0.0	19.0	4.8	21
公共政策学教育部	5.0	0.0	5.0	0.0	0.0	5.0	0.0	20

10-3表 アルバイトに費やす時間と収入額 (設問82)

区 分	平均時間 (時間/週)		平均収入 (千円/月)	
	時間 (分)	事例数 (人)	金額 (千円)	事例数 (人)
2009年(59回)	(12.7)	(730)	(62.4)	(730)
全 体	10.5	711	60.8	712
男 子	10.6	503	60.8	504
女 子	10.3	202	61.6	202
修士課程	9.6	443	40.6	443
博士課程	11.2	177	55.1	179
獣医学又は医学を履修する博士課程	12.9	45	286.0	43
専門職学位課程	14.2	45	60.8	46
未 婚	10.3	647	49.6	649
既 婚	11.8	64	176.1	62
文科系	11.6	215	51.0	215
理科系	10.0	496	65.0	497
人文社会系研究科	10.5	37	43.2	37
教育学研究科	9.2	32	48.6	32
法学政治学研究科	12.4	31	45.6	32
経済学研究科	12.6	14	84.6	14
総合文化研究科	12.0	86	51.5	85
理学系研究科	10.0	74	48.3	75
工学系研究科	9.7	142	41.4	142
農学生命科学研究科	9.1	55	36.2	55
医学系研究科	12.0	68	217.0	66
薬学系研究科	10.1	15	39.4	16
数理科学研究科	12.6	14	49.5	14
新領域創設科学研究科	10.2	82	39.6	83
情報理工学系研究科	6.9	32	35.2	32
情報学環・学際情報学府	10.6	14	53.8	14
公共政策学教育部	14.3	15	52.9	15

10-4表 アルバイトの紹介者 (設問83)

(2つまで)

区 分	大学の 担当 事務	指導 教員	日本学 生支援 機構	新聞広 告・ア ルバイ ト広告 誌	インター ネット	友人・ 知人等	アルバ イト先 と直接	伝言版	その他	事例数
2009年(59回)	% (8.5)	% (17.2)	% (0.1)	% (6.9)	% (19.3)	% (29.1)	% (12.9)	% (1.0)	% (5.0)	件 (952)
全 体	8.0	19.6	0.0	6.3	18.8	29.2	13.1	1.1	4.0	703
男 子	7.7	20.5		6.4	19.5	28.0	13.1	1.5	3.3	482
女 子	8.8	17.7		5.6	17.7	30.7	13.5	0.5	5.6	215
修士課程	6.4	15.3		7.8	22.2	30.2	14.2	1.2	2.8	424
博士課程	11.7	28.7		3.7	10.6	28.2	12.8	0.5	3.7	188
獣医学又は医学を履修する博士課程	8.7	34.8		0.0	15.2	23.9	6.5	0.0	10.9	46
専門職学位課程	7.0	4.7		9.3	25.6	3.02	11.6	2.3	9.3	43
未 婚	8.1	18.4		6.7	19.8	28.8	13.1	1.2	3.9	642
既 婚	6.6	32.8		1.6	8.2	32.8	13.1	0.0	4.9	61
文科系	7.7	14.4		6.8	18.5	32.9	13.5	1.4	5.0	222
理科系	8.1	22.0		6.0	18.9	27.4	12.9	1.0	3.5	481
人文社会系研究科	8.6	8.6		5.7	11.4	28.6	22.9	0.0	14.3	35
教育学研究科	8.8	8.8		2.9	17.6	41.2	14.7	0.0	5.9	34
法学政治学研究科	6.9	3.4		10.3	24.1	34.5	13.8	3.4	3.4	29
経済学研究科	13.3	26.7		0.0	20.0	33.3	6.7	0.0	0.0	15
総合文化研究科	6.4	21.3		8.5	17.0	30.9	11.7	1.1	3.2	94
理学系研究科	16.4	23.3		4.1	19.2	23.3	12.3	1.4	0.0	73
工学系研究科	5.2	17.8		8.9	21.5	32.6	11.9	0.7	1.5	135
農学生命科学研究科	5.3	26.3		7.0	21.1	22.8	12.3	3.5	1.8	57
医学系研究科	8.6	34.3		0.0	17.1	21.4	5.7	0.0	12.9	70
薬学系研究科	7.7	7.7		0.0	0.0	30.8	46.2	0.0	7.7	13
数理科学研究科	53.3	6.7		0.0	0.0	6.7	26.7	0.0	6.7	15
新領域創設科学研究科	2.9	17.1		14.0	21.4	22.9	15.7	1.4	4.3	70
情報理工学系研究科	0.0	26.7		0.0	10.0	53.3	10.0	0.0	0.0	30
情報学環・学際情報学府	0.0	22.2		0.0	33.3	33.3	11.1	0.0	0.0	18
公共政策学教育部	6.7	6.7		6.7	33.3	33.3	6.7	6.7	0.0	15

10-5表 アルバイトをした理由 (設問84)

区 分	生活費を稼ぐため	勉学費を稼ぐため	学生生活を 楽しむため	社会経験の ため	その他	事例数
2009年(59回)	% (49.6)	% (14.7)	% (13.9)	% (15.5)	% (6.3)	人 (821)
全 体	54.0	13.6	12.6	14.2	5.7	565
男 子	56.7	10.9	12.7	13.5	6.1	393
女 子	47.3	20.4	12.6	15.0	4.8	167
修士課程	51.0	12.0	16.9	16.3	3.7	349
博士課程	56.0	18.4	5.7	10.6	9.2	141
獣医学又は医学を履修する博士課程	74.4	7.7	2.6	7.7	7.7	39
専門職学位課程	51.4	17.1	8.6	14.3	8.6	35
未 婚	53.1	13.0	13.8	14.8	5.3	514
既 婚	62.7	19.6		7.8	9.8	51
文科系	47.1	23.8	8.1	14.5	6.4	172
理科系	57.0	9.2	14.5	14.0	5.3	393
人文社会系研究科	31.0	48.3	3.4	13.8	3.4	29
教育学研究科	44.4	25.9	3.7	14.8	11.1	27
法学政治学研究科	39.1	26.1	13.0	13.0	8.7	23
経済学研究科	66.7	8.3	8.3	8.3	8.3	12
総合文化研究科	53.6	17.4	7.2	17.4	4.3	69
理学系研究科	73.7	8.8	5.3	12.3		57
工学系研究科	43.8	5.4	22.3	25.0	3.6	112
農学生命科学研究科	52.3	15.9	20.5	4.5	6.8	44
医学系研究科	67.2	12.1	3.4	10.3	6.9	58
薬学系研究科	75.0		16.7	8.3		12
数理科学研究科	69.2	15.4	7.7	7.7		13
新領域創設科学研究科	52.6	10.5	21.1	7.0	8.8	57
情報理工学系研究科	61.5	3.8	7.7	19.2	7.7	26
情報学環・学際情報学府	50.0	14.3	7.1	7.1	21.4	14
公共政策学教育部	50.0	8.3	25.0	8.3	8.3	12

10-6表 アルバイト収入の使途 (設問85)

(2つまで)

区 分	生活費 (衣・食・ 住居費)	授業料	研究・ 勉学費	教養・ 娯楽費	旅費(帰 省も含 む)	技術・ 資格等 取得の 費用	貯金	その他	事例数
2009年(59回)	% (38.6)	% (8.8)	% (14.3)	% (23.2)	% (6.0)	% (0.8)	% (7.4)	% (1.0)	件 (1242)
全 体	39.6	8.0	12.2	25.4	5.3	0.7	7.7	1.0	908
男 子	39.9	8.7	10.3	26.3	5.5	0.5	7.9	0.9	634
女 子	39.3	6.4	16.5	23.6	4.9	1.1	7.1	1.1	267
修士課程	37.9	4.3	9.7	31.3	7.6	0.5	7.9	0.7	556
博士課程	39.7	13.1	19.2	17.9	1.7	0.4	6.6	1.3	229
獣医学又は医学を履修する博士課程	50.7	20.3	13.0	5.8	0.0	2.9	7.2	0.0	69
専門職学位課程	41.5	9.4	7.5	22.6	3.8	0.0	11.3	3.8	53
未 婚	39.1	7.2	11.3	27.4	5.7	0.7	7.6	1.0	829
既 婚	45.6	16.5	21.5	5.1	1.3	0.0	8.9	1.3	79
文科系	33.3	7.1	23.2	24.0	2.2	0.4	7.9	1.9	267
理科系	42.3	8.4	7.6	26.1	6.6	0.8	7.6	0.6	641
人文社会系研究科	21.3	8.5	34.0	25.5	0.0	0.0	10.6	0.0	47
教育学研究科	31.6	2.6	31.6	21.1	2.6	0.0	2.6	7.9	38
法学政治学研究科	28.6	5.7	20.0	22.9	2.9	2.9	14.3	2.9	35
経済学研究科	38.9	11.1	27.8	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	18
総合文化研究科	37.8	8.1	18.9	23.4	2.7	0.0	8.1	0.9	111
理学系研究科	46.4	11.3	9.3	21.6	5.2	0.0	6.2	0.0	97
工学系研究科	40.1	4.0	5.6	31.6	11.3	0.0	6.8	0.6	177
農学生命科学研究科	37.8	9.5	8.1	28.4	4.1	1.4	9.5	1.4	74
医学系研究科	47.5	18.2	13.1	10.1	1.0	2.0	7.1	1.0	99
薬学系研究科	55.6	0.0	0.0	44.4	0.0	0.0	0.0	0.0	18
数理科学研究科	40.0	5.0	15.0	25.0	0.0	0.0	15.0	0.0	20
新領域創設科学研究科	43.3	6.7	4.4	26.7	10.0	0.0	8.9	0.0	90
情報理工学系研究科	34.1	2.3	0.0	38.6	9.1	2.3	11.4	2.3	44
情報学環・学際情報学府	36.4	13.6	18.2	22.7	0.0	4.5	4.5	0.0	22
公共政策学教育部	44.4	5.6	5.6	33.3	5.6	0.0	5.6	0.0	18

10-7表 継続的アルバイトは勉学の妨げになりませんでしたか (設問86)

区 分	かなり妨げになった	多少妨げになった	妨げにならなかった	事例数
	%	%	%	人
2009年(59回)	(12.8)	(41.0)	(46.2)	(586)
全 体	10.2	42.6	47.2	566
男 子	10.4	42.7	46.8	393
女 子	9.5	42.9	47.6	168
修士課程	8.9	43.0	48.1	349
博士課程	13.4	40.1	46.5	142
獣医学又は医学を履修する博士課程	12.8	48.7	38.5	39
専門職学位課程	8.6	40.0	51.4	35
未 婚	9.3	42.3	48.3	515
既 婚	19.6	45.1	35.3	51
文科系	15.1	44.2	40.7	172
理科系	8.1	41.9	50.0	394
人文社会系研究科	10.3	51.7	37.9	29
教育学研究科	18.5	33.3	48.1	27
法学政治学研究科	8.7	60.9	30.4	23
経済学研究科	8.3	50.0	41.7	12
総合文化研究科	20.3	43.5	36.2	69
理学系研究科	5.2	39.7	55.2	58
工学系研究科	9.8	40.2	50.0	112
農学生命科学研究科	4.5	54.5	40.9	44
医学系研究科	13.8	39.7	46.6	58
薬学系研究科	8.3	50.0	41.7	12
数理科学研究科	7.7	38.5	53.8	13
新領域創設科学研究科	7.0	40.4	52.6	57
情報理工学系研究科	3.8	38.5	57.7	26
情報学環・学際情報学府	7.1	42.9	50.0	14
公共政策学教育部	8.3	16.7	75.0	12

10-8表 現在の暮らし向き (設問87)

区 分	かなり 楽な方	やや 楽な方	普通	やや 苦しい方	大変 苦しい方	わから ない	事例数
	%	%	%	%	%	%	人
2009年(59回)	(13.7)	(19.8)	(35.7)	(21.1)	(9.1)	(0.5)	(1296)
全 体	15.4	14.6	41.1	22.2	5.9	0.8	1178
男 子	16.1	14.4	39.8	23.3	5.7	0.7	845
女 子	14.4	14.7	44.1	19.4	6.6	0.9	320
修士課程	18.0	17.6	38.0	21.0	4.6	0.8	615
博士課程	11.1	12.3	45.0	22.9	7.8	1.0	398
獣医学又は医学を履修する博士課程	13.9	9.7	48.6	22.2	5.6		72
専門職学位課程	17.6	8.8	38.5	27.5	7.7		91
未 婚	16.3	15.0	40.8	21.6	5.5	0.8	1034
既 婚	9.0	11.8	43.1	26.4	9.0	0.7	144
文科系	10.9	12.8	42.2	23.1	9.7	1.2	329
理科系	17.2	15.3	40.7	21.8	4.4	0.6	848
人文社会系研究科	7.1	10.7	55.4	17.9	7.1	1.8	56
教育学研究科	16.3	11.6	44.2	20.9	4.7	2.3	43
法学政治学研究科	17.1	10.0	40.0	24.3	8.6		70
経済学研究科	10.0	10.0	50.0	10.0	15.0	5.0	20
総合文化研究科	6.9	16.4	36.2	25.9	13.8	0.9	116
理学系研究科	13.3	12.6	41.3	26.6	6.3		143
工学系研究科	19.7	17.0	41.3	16.6	4.5	0.9	223
農学生命科学研究科	16.5	13.6	42.7	24.3	2.9		103
医学系研究科	14.2	13.2	40.6	25.5	6.6		106
薬学系研究科	17.9	12.8	35.9	28.2	2.6	2.6	39
数理科学研究科	16.7	33.3	33.3	16.7			18
新領域創設科学研究科	19.7	11.6	44.2	21.1	3.4		147
情報理工学系研究科	18.8	29.2	31.3	12.5	4.2	4.2	48
情報学環・学際情報学府	14.3	19.0	33.3	33.3			21
公共政策学教育部	12.5	12.5	37.5	33.3	4.2		24

11-1表 通学に利用している交通機関 (設問88)

(複数回答)

区 分	電車	バス	自家用車	バイク	自転車	徒歩のみ	その他	事例数
2009年(59回)	% (49.2)	% (8.0)	% (2.8)	% (2.6)	% (30.9)	% (6.7)	% (0.5)	(1706)
全 体	48.3	7.4	2.6	1.8	30.7	8.8	0.5	1530
男 子	45.8	6.4	2.8	2.3	34.0	8.5	0.3	1095
女 子	55.4	9.6	1.9	0.5	22.1	9.4	1.2	417
文科系	61.2	8.2	1.2	0.0	21.4	7.5	0.5	415
理科系	43.5	7.1	3.1	2.4	34.0	9.2	0.5	1114
本 郷	50.3	6.0	1.6	1.4	30.0	10.0	0.7	959
駒場Ⅰ	65.7	7.1	0.0	0.0	18.3	8.3	0.6	169
駒場Ⅱ	59.5	2.4	1.2	4.8	26.2	6.0	0.0	84
柏	25.7	15.3	8.1	3.6	44.6	2.7	0.0	222
その他	40.2	5.7	6.9	2.3	31.0	13.8	0.0	87

11-2表 片道の通学所要時間 (設問89)

区 分	平均値	度数
2009年(59回)	分 (46.32)	% (1335)
全 体	48.0	1181
男 子	45.9	847
女 子	53.4	321
文科系	52.7	328
理科系	46.2	852
本 郷	49.2	748
駒場Ⅰ	51.3	138
駒場Ⅱ	52.0	70
柏	40.3	147
その他	38.9	72

11-3表 本学の課外活動施設、福利厚生施設等のうち、あなたは諸施設の現状をどう思いますか (設問90)

11-3-1表 研究科内の学生控室・談話室・ラウンジ

区 分	満 足	どちらとも言えない	不 満	利用したことがない	事例数
2009年(59回)	% (23.5)	% (32.5)	% (23.9)	% (20.1)	人 (1309)
全 体	23.1	31.4	22.9	22.6	1177
男 子	23.2	32.8	21.1	23.0	845
女 子	22.9	27.6	27.3	22.3	319
文科系	20.1	32.3	36.6	11.0	328
理科系	24.3	31.1	17.5	27.1	848
本 郷	20.0	31.0	24.6	24.4	745
駒場Ⅰ	26.8	32.6	24.6	15.9	138
駒場Ⅱ	24.3	40.0	17.1	18.6	70
柏	36.5	29.1	14.9	19.6	148
その他	18.3	32.4	22.5	26.8	71

11-3-2表 学生会館、課外活動共用施設、キャンパスプラザ(駒場)

区 分	満 足	どちらとも言えない	不 満	利用したことがない	事例数
2009年(59回)	% (10.4)	% (23.6)	% (5.1)	% (60.9)	人 (1304)
全 体	11.0	31.5	4.6	52.9	1178
男 子	10.0	32.6	4.8	52.5	846
女 子	13.5	28.5	3.4	54.5	319
文科系	10.4	35.4	5.8	48.5	328
理科系	11.3	30.0	4.0	54.7	849
本 郷	9.0	31.8	4.6	54.6	745
駒場Ⅰ	18.1	31.9	8.0	42.0	138
駒場Ⅱ	21.4	34.3	2.9	41.4	70
柏	12.8	29.7	3.4	54.1	148
その他	5.6	31.0	1.4	62.0	71

11-3-3表 学生相談所

区 分	満 足	どちらとも 言えない	不 満	利用した ことがない	事例数
2009年(59回)	% (5.6)	% (16.5)	% (3.1)	% (74.8)	人 (1307)
全 体	6.9	23.8	2.1	67.1	1175
男 子	6.4	24.2	1.9	67.5	843
女 子	7.8	22.6	2.5	67.1	319
文科系	5.5	26.3	2.4	65.7	327
理科系	7.4	22.9	1.9	67.8	847
本 郷	5.8	24.3	2.3	67.7	742
駒場Ⅰ	10.9	23.9	2.9	62.3	138
駒場Ⅱ	8.6	28.6	1.4	61.4	70
柏	10.1	21.6	0.7	67.6	148
その他	2.8	21.1	1.4	74.6	71

11-3-4表 屋内体育施設・駒場

区 分	満 足	どちらとも 言えない	不 満	利用した ことがない	事例数
2009年(59回)	% (6.8)	% (19.1)	% (3.8)	% (70.4)	人 (1303)
全 体	6.7	23.5	4.7	65.1	1177
男 子	7.2	24.9	4.9	63.0	844
女 子	5.3	20.0	4.4	70.3	320
文科系	3.4	21.3	4.9	70.4	328
理科系	8.0	24.4	4.5	63.1	848
本 郷	7.3	25.4	4.0	63.3	744
駒場Ⅰ	3.6	18.1	9.4	68.8	138
駒場Ⅱ	8.6	20.0	7.1	64.3	70
柏	6.8	17.6	3.4	72.3	148
その他	4.2	32.4	1.4	62.0	71

11-3-5表 屋外体育施設・駒場（野球場、テニスコート等）

区 分	満 足	どちらとも 言えない	不 満	利用した ことがない	事例数
2009年(59回)	% (6.5)	% (15.4)	% (1.9)	% (76.1)	人 (1298)
全 体	6.3	18.6	3.2	71.9	1179
男 子	6.9	19.9	3.8	69.5	846
女 子	4.7	15.3	1.9	78.1	320
文科系	3.4	19.2	3.0	74.4	328
理科系	7.4	18.4	3.2	71.1	850
本 郷	7.0	19.2	2.7	71.2	746
駒場Ⅰ	5.8	19.6	5.1	69.6	138
駒場Ⅱ	5.7	15.7	7.1	71.4	70
柏	4.7	14.9	2.0	78.4	148
その他	2.8	22.5	2.8	71.8	71

11-3-6表 屋内体育施設・本郷（御殿下記念館、二食プール）

区 分	満 足	どちらとも 言えない	不 満	利用した ことがない	事例数
2009年(59回)	% (30.4)	% (16.3)	% (3.9)	% (49.4)	人 (1306)
全 体	29.8	21.9	2.6	45.7	1179
男 子	30.5	22.8	2.6	44.0	845
女 子	28.3	19.3	2.8	49.5	321
文科系	22.6	24.1	2.7	50.6	328
理科系	32.6	21.1	2.5	43.9	850
本 郷	37.1	24.4	3.2	35.3	747
駒場Ⅰ	12.3	18.8	2.2	66.7	138
駒場Ⅱ	17.4	17.4	4.3	60.9	69
柏	14.9	17.6		67.6	148
その他	31.0	16.9		52.1	71

11-3-7表 屋外体育施設・本郷（御殿下グラウンド、農学部グラウンド、野球場等）

区 分	満 足	どちらとも 言えない	不 満	利用した ことがない	事例数
2009年(59回)	% (15.9)	% (14.5)	% (3.3)	% (66.4)	人 (1305)
全 体	17.1	18.3	2.0	62.6	1179
男 子	19.1	19.1	2.1	59.6	846
女 子	11.9	16.3	1.6	70.3	320
文科系	10.4	19.5	1.2	68.9	328
理科系	19.8	17.9	2.1	60.2	850
本 郷	22.1	19.8	2.5	55.5	746
駒場Ⅰ	3.6	14.5	0.7	81.2	138
駒場Ⅱ	8.6	18.6	1.4	71.4	70
柏	8.8	14.9		76.4	148
その他	16.9	16.9	1.4	64.8	71

11-3-8表 屋内体育施設・柏（トレーニング施設）

区 分	満 足	どちらとも 言えない	不 満	利用した ことがない	事例数
2009年(59回)	% (2.8)	% (7.1)	% (1.9)	% (88.1)	人 (1307)
全 体	3.5	9.8	1.3	85.4	1178
男 子	3.9	10.5	1.4	84.1	845
女 子	2.2	8.1	0.9	88.8	320
文科系	1.8	10.4	0.6	87.2	328
理科系	4.1	9.7	1.4	84.8	849
本 郷	2.1	8.7	0.3	88.9	746
駒場Ⅰ	2.2	11.6	0.7	85.5	138
駒場Ⅱ		7.1		92.9	70
柏	13.6	15.6	7.5	63.3	147
その他	1.4	9.9		88.7	71

11-3-9表 屋外体育施設・柏（ラグビー場）

区 分	満 足	どちらとも 言えない	不 満	利用した ことがない	事例数
2009年(59回)	% (1.7)	% (7.0)	% (0.7)	% (90.7)	人 (1307)
全 体	2.4	9.6	0.8	87.3	1178
男 子	2.6	10.2	0.8	86.4	845
女 子	1.6	8.1	0.6	89.7	320
文科系	1.5	10.7	0.6	87.2	328
理科系	2.7	9.2	0.7	87.4	849
本 郷	1.7	8.6	0.3	89.4	746
駒場Ⅰ	2.2	11.6	0.7	85.5	138
駒場Ⅱ		7.1		92.9	70
柏	7.5	14.3	2.7	75.5	147
その他	1.4	9.9		88.7	71

11-3-10表 二食ホール、サークル部室等（本郷）

区 分	満 足	どちらとも 言えない	不 満	利用した ことがない	事例数
2009年(59回)	% (4.4)	% (12.5)	% (3.1)	% (80.1)	人 (1304)
全 体	5.5	16.9	3.5	74.1	1179
男 子	5.3	18.3	3.4	72.9	846
女 子	5.9	13.4	3.8	76.9	320
文科系	5.5	18.4	3.4	72.7	326
理科系	5.5	16.3	3.4	74.8	852
本 郷	6.2	16.9	4.1	72.8	747
駒場Ⅰ	2.9	15.3	1.5	80.3	137
駒場Ⅱ	1.4	15.7	2.9	80.0	70
柏	5.4	18.9	2.7	73.0	148
その他	8.5	18.3	1.4	71.8	71

11-3-11表 検見川総合運動場、検見川セミナーハウス

区 分	満 足	どちらとも 言えない	不 満	利用した ことがない	事例数
2009年(59回)	% (10.0)	% (15.2)	% (2.5)	% (72.3)	人 (1305)
全 体	8.6	17.4	2.4	71.6	1178
男 子	9.3	17.9	2.4	70.4	845
女 子	6.6	15.9	2.5	75.0	320
文科系	3.7	13.7	1.8	80.8	328
理科系	10.5	18.8	2.5	68.2	849
本 郷	9.8	17.6	2.8	69.9	746
駒場Ⅰ	2.9	15.9	1.4	79.7	138
駒場Ⅱ	5.8	13.0		81.2	69
柏	8.1	19.6	1.4	70.9	148
その他	9.9	19.7	2.8	67.6	71

11-3-12表 スポーティア（戸田、山中、下賀茂、乗鞍）

区 分	満 足	どちらとも 言えない	不 満	利用した ことがない	事例数
2009年(59回)	% (4.1)	% (8.8)	% (1.1)	% (86.0)	人 (1306)
全 体	4.3	12.3	1.1	82.4	1175
男 子	4.6	13.3	1.3	80.8	843
女 子	3.1	9.4	0.6	86.8	319
文科系	2.8	11.0	1.5	84.7	326
理科系	4.8	12.7	0.8	81.6	848
本 郷	4.6	13.3	0.9	81.2	746
駒場Ⅰ	2.9	11.8	2.2	83.1	136
駒場Ⅱ	5.7	7.1		87.1	70
柏	3.4	10.8	1.4	84.5	148
その他	4.3	11.6		84.1	69

11-3-13表 学内食堂

区 分	満 足	どちらとも 言えない	不 満	利用した ことがない	事例数
2009年(59回)	% (30.3)	% (38.8)	% (26.5)	% (4.4)	人 (1307)
全 体	28.1	40.6	26.4	4.9	1181
男 子	27.5	39.1	28.6	4.8	847
女 子	29.0	44.9	21.2	5.0	321
文科系	32.0	40.2	23.5	4.3	328
理科系	26.6	40.7	27.5	5.2	852
本 郷	27.9	42.9	24.7	4.4	748
駒場Ⅰ	37.0	33.3	23.9	5.8	138
駒場Ⅱ	22.9	32.9	37.1	7.1	70
柏	25.7	34.5	36.5	3.4	148
その他	23.9	50.7	15.5	9.9	71

11-3-14表 学寮

(豊島国際学生宿舎、追分インターナショナルハウス、三鷹国際学生宿舎)

区 分	満 足	どちらとも 言えない	不 満	利用した ことがない	事例数
2009年(59回)	% (2.9)	% (7.1)	% (2.1)	% (87.9)	人 (1302)
全 体	2.5	8.4	2.2	86.8	1178
男 子	2.6	8.7	1.9	86.8	846
女 子	2.2	7.5	3.1	87.1	319
文科系	1.5	9.5	3.4	85.7	328
理科系	2.9	8.0	1.6	87.4	849
本 郷	2.8	8.0	2.0	87.1	746
駒場Ⅰ	2.2	10.1	3.6	84.1	138
駒場Ⅱ	1.4	8.7	1.4	88.4	69
柏	1.4	7.4	2.0	89.2	148
その他	4.2	11.3	1.4	83.1	71

11-3-15表 保健センター

区 分	満 足	どちらとも 言えない	不 満	利用した ことがない	事例数
2009年(59回)	% (30.6)	% (39.1)	% (7.3)	% (23.0)	人 (1306)
全 体	28.2	43.9	5.3	22.5	1180
男 子	27.5	44.7	4.6	23.2	846
女 子	30.8	41.7	7.2	20.2	321
文科系	28.4	43.6	5.2	22.9	328
理科系	28.2	44.1	5.3	22.4	851
本 郷	30.4	42.7	5.1	21.8	747
駒場 I	26.1	47.1	10.1	16.7	138
駒場 II	20.0	47.1	1.4	31.4	70
柏	29.7	41.2	4.7	24.3	148
その他	16.9	54.9	2.8	25.4	71

学生委員会 学生生活調査室

平成24年11月現在

調査室長	柳川 範之 (大学院経済学研究科・経済学部)
副調査室長	大久保 達也 (大学院工学系研究科・工学部)
室員	伊藤 洋一 (大学院法学政治学研究科・法学部)
〃	吉川 雅英 (大学院医学系研究科・医学部)
〃	出口 剛司 (大学院人文社会系研究科・文学部)
〃	永原 裕子 (大学院理学系研究科・理学部)
〃	吉田 薫 (大学院農学生命科学研究科・農学部)
〃	山口 泰 (大学院総合文化研究科・教養学部)
〃	田中 智志 (大学院教育学研究科・教育学部)
〃	村田 茂穂 (大学院薬学系研究科・薬学部)
〃	高野 明 (学生相談ネットワーク本部)
〃	小林 雅之 (大学総合教育研究センター)
〃	佐藤 香 (社会科学研究所)
〃	富田 靖博 (本部部長 (教育・学生支援部))
〃	関根 弘 (本部課長 (教育・学生支援部))

担当部署 本部学務課学生総務チーム (教育・学生支援部)

2012年12月14日

東京大学学生委員会学生生活調査室

〒113-8654 東京都文京区本郷7丁目3番1号